

第 34 回 「県民健康調査」 検討委員会次第

日時：平成 31 年 4 月 8 日（月）13:30～16:00

場所：ホテル福島グリーンパレス 2階 多目的ホール「瑞光」

1 開 会

2 議 事

- (1) 妊産婦に関する調査について
- (2) 健康診査について
- (3) 甲状腺検査について
- (4) 第 12 回甲状腺検査評価部会開催報告について
- (5) 第 7 回学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会開催報告について
- (6) その他

3 閉 会

配付資料一覧

- 次第
- 出席者名簿
- 座席表

資料 1-1	平成 29 年度「妊産婦に関する調査」結果報告
資料 1-2	平成 25 年度「妊産婦に関する調査」回答者に対するフォローアップ調査結果報告
資料 1-3	県民健康調査「妊産婦に関する調査」平成 29 年度（本調査・フォローアップ調査） ポイントまとめ
資料 1-4	平成 31 年度「妊産婦に関する調査」実施計画（案）
資料 2-1	県民健康調査「健康診査」平成 23～30 年度実施状況
資料 2-2	平成 23～29 年度県民健康調査「小児健康診査」における身長・体重の結果について
資料 2-3	平成 23～29 年度県民健康調査「健康診査」健診項目別受診実績基礎統計表
資料 2-4	県民健康調査「健康診査」関連論文の紹介（避難生活による影響）
資料 2-5	県民健康調査「健康診査」平成 31 年度実施計画（案）
資料 2-6	県民健康調査「健康診査」既存健診対象外の県民に対する健康診査の実施状況について
資料 3-1	県民健康調査「甲状腺検査【本格検査（検査 3 回目）】」実施状況
資料 3-2	県民健康調査「甲状腺検査【本格検査（検査 4 回目）】」実施状況
資料 4	第 12 回 甲状腺検査評価部会 開催報告
資料 5	第 7 回 学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会 開催報告
資料 6	県民健康調査甲状腺検査サポート事業の実施状況について
参考資料 1	甲状腺検査結果の状況
参考資料 2	福島県における妊産婦・乳幼児に対する支援体制

第34回「県民健康調査」検討委員会 出席者名簿

平成31年4月8日

○委員

50音順、敬称略

氏名	所属及び職名	出欠
明石 真言	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 執行役	出席
○ 稲葉 俊哉	国立大学法人 広島大学 原爆放射線医科学研究所 教授	出席
井上 仁	一般社団法人 福島県病院協会 会長	出席
梅田 珠実	環境省 大臣官房環境保健部長	出席
小笹 晃太郎	公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部長	出席
柏倉 幾郎	国立大学法人 弘前大学 副学長 (被ばく医療、COI担当)	出席
春日 文子	国立研究開発法人 国立環境研究所 特任フェロー (日本学術会議 推薦)	出席
加藤 寛	公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 兵庫県こころのケアセンター長 (一般社団法人日本トラウマティック・ストレス学会 推薦)	欠席
清水 一雄	医療法人社団 金地病院 名誉院長 (日本内分泌外科学会及び日本甲状腺外科学会 推薦)	出席
高野 徹	国立大学法人 大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌代謝内科学 講師 (日本甲状腺学会 推薦)	出席
高村 昇	国立大学法人 長崎大学 原爆後障害医療研究所 国際保健医療福祉学研究分野 教授	出席
◇ 津金 昌一郎	国立研究開発法人 国立がん研究センター 社会と健康研究センター長	出席
富田 哲	国立大学法人 福島大学 行政政策学類 教授	出席
成井 香苗	NPO法人 ハートフルハート未来を育む会 理事長 (福島県臨床心理士会 推薦)	出席
◎ 星 北斗	一般社団法人 福島県医師会 副会長	出席
堀川 章仁	一般社団法人 双葉郡医師会 会長	出席
室月 淳	地方独立行政法人 宮城県立こども病院 産科科長 (公益社団法人日本産科婦人科学会 推薦)	出席
山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター 副センター長・保健センター長 (公益社団法人日本小児科学会 推薦)	出席

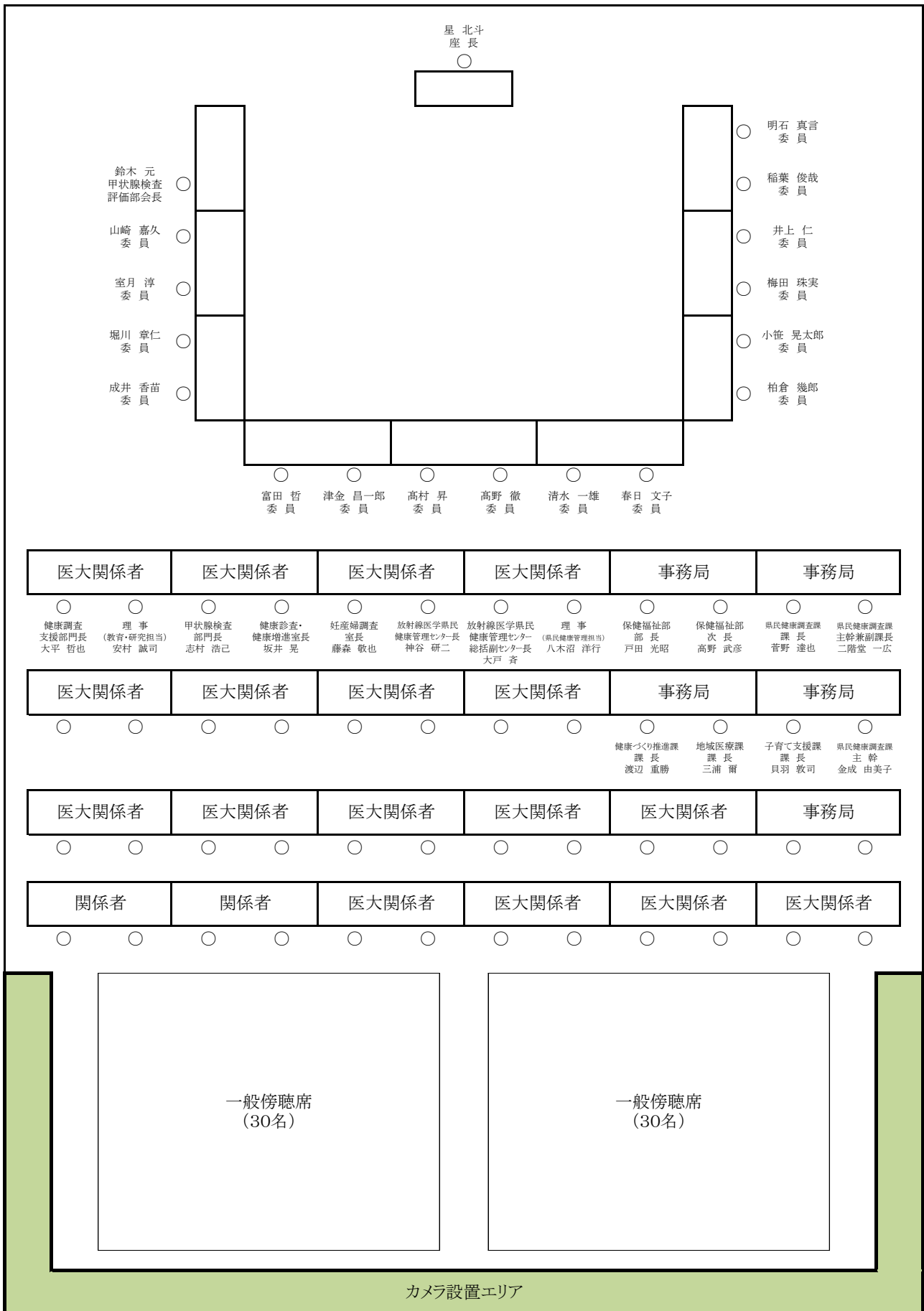
◎：座長 ○：座長代行 ◇：学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会 部会長

○甲状腺検査評価部会 部会長

氏名	所属及び職名
鈴木 元	国際医療福祉大学クリニック 院長 (一般社団法人日本放射線影響学会 推薦)

第34回「県民健康調査」検討委員会 座席表

開催日時：平成31年4月8日(月) 13:30～16:00
 会場：ホテル福島グリーンパレス 2階 多目的ホール「瑞光」



医大関係者	医大関係者	医大関係者	医大関係者	事務局	事務局
-------	-------	-------	-------	-----	-----

○	○	○	○	○	○
健康調査 支援部門長 大平 哲也	理事 (教育・研究担当) 安村 誠司	甲状腺検査 部門長 志村 浩己	健康診査・ 健康増進室長 坂井 晃	妊産婦調査 室長 藤森 敬也	放射線医学県民 健康管理センター長 神谷 研二

医大関係者	医大関係者	医大関係者	医大関係者	事務局	事務局
-------	-------	-------	-------	-----	-----

○	○	○	○	○	○
				健康づくり推進課 課長 渡辺 重勝	地域医療課 課長 三浦 爾

医大関係者	医大関係者	医大関係者	医大関係者	医大関係者	事務局
-------	-------	-------	-------	-------	-----

○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

関係者	関係者	医大関係者	医大関係者	医大関係者	医大関係者
-----	-----	-------	-------	-------	-------

○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

一般傍聴席
(30名)

一般傍聴席
(30名)

カメラ設置エリア

平成 29 年度「妊産婦に関する調査」結果報告

1 調査概要

(1) 目的

福島県で子どもを産み育てようとする妊産婦の現状、こころや身体健康度、意見・要望等を的確に把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに、安心の提供と今後の福島県内の産科・周産期医療の充実へつなげていくこと。

(2) 対象者

下記に該当する 13,552 人

- ① 平成 28 年 8 月 1 日から平成 29 年 7 月 31 日までに、福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された者
- ② 上記期間内に福島県外から母子健康手帳を交付された者のうち、福島県で妊婦健診を受診し分娩した者（いわゆる里帰り分娩をした者）

〔参考〕

調査年度	対象者数
平成 23 年度	16,001 人
平成 24 年度	14,516 人
平成 25 年度	15,218 人
平成 26 年度	15,125 人
平成 27 年度	14,572 人
平成 28 年度	14,154 人
平成 29 年度	13,552 人

(3) 実施方法

ア 調査票：自記式調査票

イ 調査票送付日：【対象者①】平成 29 年 11 月 1 日、平成 30 年 1 月 12 日、3 月 12 日

【対象者②】福島県内の産科医療機関の協力のもと随時調査票を配布

※対象者①へは、福島県内 59 市町村から得られた妊娠届出情報をもとに、分娩予定日により 3 回に分けて調査票を送付した。

平成 29 年度調査：対象者情報提供依頼時に全市町村に対してあらかじめ、流産、死産および児の生存が確認できない方は件数のみの報告とし対象者からは除外するよう求めた。

平成 28 年度調査：調査票送付前に、市町村から流産、死産および児の生存が確認できない方について情報提供があった場合には、それらの方を除いた。

平成 27 年度調査まで：妊娠した全ての方に対して調査票を送付した。

ウ 調査回答方法：郵送及びオンライン

※オンライン回答期間は、平成 29 年 11 月 1 日から平成 30 年 4 月 30 日

(4) 調査項目

主な調査項目は以下のとおり

- ア 妊産婦のこころの健康度
- イ 現在の生活状況（避難生活、家族離散の状況）
- ウ 出産状況や妊娠経過中の妊産婦の健康状態
- エ 育児の自信
- オ 次回妊娠に対する意識

(5) 集計対象期間

平成 29 年 11 月 1 日から平成 30 年 12 月 21 日の回答

2 集計結果概要

集計結果は、『5 平成 29 年度「妊産婦に関する調査」結果集計 (1)、(2)、(3)』のとおり。
なお、各項目に欠損値があるため、合計は有効回答数と一致しない場合がある。

(1) 回答数及び回答率について (参照：表 1-1)

平成 29 年度の回答者数 (回答率) は 6,449 人 (47.6%) であった。集計対象とした有効回答数は 6,422 人、無効回答数は 27 人であった。

【参考】	調査年度	回答数 (回答率)
	平成 23 年度	9,316 人 (58.2%)
	平成 24 年度	7,181 人 (49.5%)
	平成 25 年度	7,260 人 (47.7%)
	平成 26 年度	7,132 人 (47.2%)
	平成 27 年度	7,031 人 (48.3%)
	平成 28 年度	7,326 人 (51.8%)
	平成 29 年度	6,449 人 (47.6%)

(2) 地域別回答者数について (参照：表 1-1、表 1-2)

- ア 平成 29 年度の回答者数 (回答率) を地域別にみると、県北地域 1,634 人 (50.9%)、県中地域 1,862 人 (46.8%)、県南地域 473 人 (45.1%)、相双地域 442 人 (40.5%)、いわき地域 1,054 人 (45.5%)、会津地域 788 人 (47.8%)、南会津地域 79 人 (57.7%)、県外 117 人であった。
- イ 回答者の年齢は、30～34 歳が最も多く、次いで 25～29 歳、35～39 歳であった。

(3) 回答結果について

ア 妊娠結果について (参照：表 9-2、表 13-3、表 14-8、表 14-21～表 14-24)

- (ア) 市町村からの情報提供時に把握できていなかった、あるいはその後の流産の割合は 0.34%、中絶の割合は 0.06%であった。(問 9)

【参考】	調査年度	流産の割合	中絶の割合	参考 (調査票送付対象者)
	平成 23 年度	0.77%	0.06%	妊娠した全ての方に対して調査票を送付
	平成 24 年度	0.81%	0.08%	
	平成 25 年度	0.78%	0.04%	
	平成 26 年度	0.62%	0.07%	
	平成 27 年度	0.81%	0.16%	
	平成 28 年度	0.85%	0.16%	調査票送付前に、市町村から流産、死産および児の生存が確認できない方について情報提供があった場合には、それらの方を除いた。
	平成 29 年度	0.34%	0.06%	対象者情報提供依頼時に全市町村に対してあらかじめ、流産、死産および児の生存が確認できない方は件数のみの報告とし対象者からは除外するよう求めた。

※平成 29 年度は、調査票送付対象者が異なるため、前年度と比較はできない。

(イ) 早産の割合は5.4%であった。(問 13)

【参考】	調査年度	早産の割合
	平成 23 年度	4.8%
	平成 24 年度	5.7%
	平成 25 年度	5.4%
	平成 26 年度	5.4%
	平成 27 年度	5.8%
	平成 28 年度	5.4%
	平成 29 年度	5.4%

参考値：平成 28 年人口動態統計による全国の出生のうち早産の割合は 5.6%

(ウ) 出生児のうち、低出生体重児（2,500g 未満）の割合は 9.4%であった。(問 14)

【参考】	調査年度	低出生体重児の割合
	平成 23 年度	8.9%
	平成 24 年度	9.6%
	平成 25 年度	9.9%
	平成 26 年度	10.1%
	平成 27 年度	9.8%
	平成 28 年度	9.5%
	平成 29 年度	9.4%

参考値：平成 28 年人口動態統計による全国の出生のうち低出生体重児の割合は 9.4%

(エ) 先天奇形・先天異常の発生率（単胎）は 2.38%であり、最も多かった疾患は心臓奇形（発生率 0.62%）であった。(問 14)

【参考】	調査年度	先天奇形・先天異常の発生率（単胎）	心臓奇形の発生率
	平成 23 年度	2.85% ¹⁾	0.89% ¹⁾
	平成 24 年度	2.39%	0.79%
	平成 25 年度	2.35%	0.91%
	平成 26 年度	2.30%	0.74%
	平成 27 年度	2.24%	0.75%
	平成 28 年度	2.55%	0.91%
	平成 29 年度	2.38%	0.62%

参考値：一般的な発生率は、3～5%であり、心臓奇形の自然発生率は約 1%とされている。

¹⁾平成 23 年度調査結果報告書では、無効回答を含めて計算した数値であり、本数値とは異なる。

イ 母親のメンタルヘルスについて（参照：表 4-1～4-3）

うつ傾向ありと判定された母親の割合は 20.7%であった。

参考として、「健やか親子 21（母子保健の国民運動計画）」によると、エジンバラ産後うつ指標を用いて評価した全国の産後うつ病疑いの割合は 9.0%（平成 25 年）である。（「健やか親子 21（第 2 次）」では数値の見直しが行われ、平成 25 年度の産後うつ病疑いの割合は 8.4%に修正された。）

なお、本調査結果からエジンバラ産後うつ指標による産後うつの推定割合は 11.1%と算出される。（算出に用いた資料：Mishina H, et al. *Pediatr Int.* 2009; 51: 48.）

【参考】	調査年度	うつ傾向ありの割合
	平成 23 年度	27.1%
	平成 24 年度	25.5%
	平成 25 年度	24.5%
	平成 26 年度	23.4%
	平成 27 年度	22.0%
	平成 28 年度	21.1%
	平成 29 年度	20.7%

ウ 妊娠・分娩のケアについて（参照：表 3）

「今回の妊娠・分娩全般に関して十分にケアを受けられたと思いますか」に対し、「そう思わない」、「全くそう思わない」と回答した割合は 1.7%であった。（問 3）

【参考】	調査年度	「そう思わない」、「全くそう思わない」と回答した割合
	平成 23 年度	該当設問なし
	平成 24 年度	3.5%
	平成 25 年度	2.3%
	平成 26 年度	2.7%
	平成 27 年度	2.4%
	平成 28 年度	2.1%
	平成 29 年度	1.7%

エ 家庭と育児の状況について（参照：表 5-1、表 15）

- ・ 現在避難生活をしている（仮設、仮設以外含む）割合は減少しており、県全体で 2.3%であった。（問 5）

【参考】	調査年度	現在避難生活をしている （仮設、仮設以外含む）割合
	平成 23 年度	該当設問なし
	平成 24 年度	7.7%
	平成 25 年度	5.5%
	平成 26 年度	4.9%
	平成 27 年度	3.8%
	平成 28 年度	3.4%
	平成 29 年度	2.3%

- ・ 育児に自信がもてないことがあると回答した割合は 18.1%であった。（問 15）

【参考】	調査年度	育児に自信がもてないことがある と回答した割合
	平成 23 年度	該当設問なし
	平成 24 年度	15.4%
	平成 25 年度	17.5%
	平成 26 年度	16.6%
	平成 27 年度	17.7%
	平成 28 年度	16.6%
	平成 29 年度	18.1%

参考値：平成 25 年度厚生労働科学研究「「健やか親子 21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究」（山縣然太郎班）によると、3・4ヶ月児健診における子育てに自信が持てない母親の割合は 19.3%

オ 次回の妊娠・出産の希望、要望について（参照：表 17-1～表 17-3）

- ・ 次回の妊娠・出産を希望すると回答した割合は 52.4%であった。
- ・ 次回妊娠の希望者があったらよいと思うサービスは、「保育所・延長保育・病児保育などの充実」が 79.9%と最も多く、次いで「育児や小児医療に関する情報やサービス」が 65.6%であった。
- ・ 次回の妊娠を希望しないと回答した理由として、「希望していない」が 52.2%と最も多く、次いで「年齢や健康上の理由のため」が 38.4%であった。「放射線の影響が心配なため」と回答した割合は 0.8%であった。

【参考】	調査年度	次回の妊娠・出産を希望すると回答した割合	次回の妊娠を希望しない理由として「放射線の影響が心配なため」と回答した割合
	平成 23 年度	該当設問なし	該当設問なし
	平成 24 年度	52.9%	14.8%
	平成 25 年度	52.8%	5.6%
	平成 26 年度	57.1%	3.9%
	平成 27 年度	53.3%	1.6%
	平成 28 年度	54.6%	1.2%
	平成 29 年度	52.4%	0.8%

参考値：第 14 回（平成 22 年）出生動向基本調査によると、結婚 10 年未満の夫婦で子どもを予定している割合は 58%（既に子どもがいる場合に限ると 51%）

カ 自由記載内容について（参照：表 18）

- ・ 自由記載欄の記載者数（記載割合）は 799 人（12.4%）であった。
- ・ 自由記載内容は、「育児相談」（34.5%）が最も多く、次いで「育児支援サービスの充実の要望」（27.3%）であった。
- ・ 「胎児・子どもへの放射線の影響について」の記載割合は 4.8%であった。

【参考】	調査年度	自由記載欄の記載者数（記載割合）	「胎児・子どもへの放射線の影響について」の割合
	平成 23 年度	3,722 人（42.2%）	29.6%
	平成 24 年度	1,481 人（20.7%）	26.4%
	平成 25 年度	867 人（12.0%）	12.9%
	平成 26 年度	745 人（10.5%）	9.5%
	平成 27 年度	1,101 人（15.7%）	5.2%
	平成 28 年度	965 人（13.3%）	6.1%
	平成 29 年度	799 人（12.4%）	4.8%

(4) まとめ

ア 妊娠結果について

早産、低出生体重児の割合は、平成 28 年度までの調査結果と同様であった。単胎における先天奇形・先天異常の発生率も同様であり、一般的な発生率と比べて高くはなかった。

イ 母親のメンタルヘルスについて

うつ傾向ありと判定された母親の割合は、経年的に減少傾向を示しているが、産後うつ病疑いの推定割合は全国データよりも未だ高率であった。

ウ 自由記載内容について

自由記載内容は、「育児相談」が最も多く、次いで「育児支援サービスの充実の要望」であった。平成 23、24 年度に最も多かった「胎児・子どもへの放射線の影響について」は減少傾向であった。

3 支援概要

(1) 支援目的

平成 29 年度「妊産婦に関する調査」の回答者のうち、相談・支援の必要があると判断された者に、助産師・保健師等による電話・メールによる相談・支援を実施することにより不安等を軽減させること。

(2) 要支援対象者（参照：表 19）

平成 29 年度妊産婦に関する調査回答者（平成 29 年 11 月 1 日から平成 30 年 12 月 21 日の期間内に回答があった者）のうち、電話による相談・支援が必要だと判断された者（以下「要支援者」という。）

(3) 支援選定基準（参照：表 20）

下記のア、イいずれかに該当する者

ア 調査票のうつ 2 項目に該当のある者（問 4-1、問 4-2）

イ 調査票の自由記載欄の内容から抽出された者

例：落ち込みの激しい書き込みがあった者、育児支援を必要としている者、放射線の数値について気にしている者、体調不良を訴えている者、直接的要望・具体的に回答を希望している者、支援要望のあった者など

(4) 方法

電話やメールによる相談・支援

4 支援結果概要

支援結果は『5 平成 29 年度「妊産婦に関する調査」結果集計 (4) 支援状況』のとおりである。

(1) 要支援者数について（参照：表 19）

- 平成 29 年 11 月 1 日から平成 30 年 12 月 21 日の期間内の回答者 6,449 人のうち、電話による相談・支援が必要だと判断された者（以下「要支援者」という。）は 799 人であった。要支援率は 12.4%であった。
- 支援の内訳として、うつ項目による支援は 7.0%、自由記載内容による支援は 5.4%であった。平成 24 年度以降、より多くの方を支援できるように自由記載内容による支援対象を広げた。

【参考】

調査年度	回答者数	うつ項目による支援要支援者数	自由記載内容による要支援者数	合計要支援者数 (要支援率)
平成 23 年度	9,316	1,224 (13.1%)	177 (1.9%)	1,401 (15.0%)
平成 24 年度	7,181	751 (10.5%)	353 (4.9%)	1,104 (15.4%)
平成 25 年度	7,260	744 (10.2%)	357 (4.9%)	1,101 (15.2%)
平成 26 年度	7,132	645 (9.0%)	185 (2.6%)	830 (11.6%)
平成 27 年度	7,031	549 (7.8%)	364 (5.2%)	913 (13.0%)
平成 28 年度	7,326	573 (7.8%)	378 (5.2%)	951 (13.0%)
平成 29 年度	6,449	449 (7.0%)	350 (5.4%)	799 (12.4%)

(2) 相談内容について（参照：表 21）

- ・ 要支援者における相談内容は「母親の心身の状態に関すること」55.6%が最も多く、次いで、「子育て関連（生活）のこと」51.8%、「家庭生活に関すること」16.4%であった。（「子育て関連」の具体的な内容は、授乳量や離乳食、発育・発達、子どもへの関わり方など）
- ・ 「放射線の影響や心配に関すること」の相談は4.1%であった。

【参考】

調査年度	相談内容			「放射線の影響や心配に関すること」の相談の割合
	第1位	第2位	第3位	
平成 23 年度	放射線の影響や心配に関すること 29.2%	母親の心身の状態に関すること 20.2%	子育て関連（生活）のこと 14.0%	29.2%
平成 24 年度	母親の心身の状態に関すること 33.4%	子育て関連（生活）のこと 26.7%	放射線の影響や心配に関すること 23.7%	23.7%
平成 25 年度	母親の心身の状態に関すること 42.5%	子育て関連（生活）のこと 38.7%	子どもの心身の健康に関すること 20.3%	17.1%
平成 26 年度	母親の心身の状態に関すること 49.5%	子育て関連（生活）のこと 36.1%	家庭生活に関すること 20.5%	9.5%
平成 27 年度	母親の心身の状態に関すること 53.1%	子育て関連（生活）のこと 40.9%	家庭生活に関すること 21.8%	5.9%
平成 28 年度	母親の心身の状態に関すること 59.8%	子育て関連（生活）のこと 43.4%	家庭生活に関すること 19.5%	5.0%
平成 29 年度	母親の心身の状態に関すること 55.6%	子育て関連（生活）のこと 51.8%	家庭生活に関すること 16.4%	4.1%

(3) 支援終了の理由について（参照：表 22）

支援終了の理由は、「傾聴（対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了）」577人（72.2%）、「情報提供・行政窓口を紹介し終了」238人（29.8%）、「既に受診先や相談先があることを確認し終了」212人（26.5%）であった（複数回答あり。割合の分母は要支援者数）。

(4) まとめ

- ・ 平成 29 年度のうつ項目による要支援率は、平成 23 年度以降減少傾向であった。
- ・ 平成 29 年度の相談内容は、平成 24 年度以降、「母親の心身の状態に関すること」が一番多かった。また、「放射線の影響や心配に関すること」の相談割合は、経年的に減少傾向を示した。

5 平成29年度「妊産婦に関する調査」結果集計

集計における「県外」は、福島県内の産科医療機関の協力により調査票を配布し、回答をいただいた（里帰り出産）者のこと

(1) 送付数と回答状況

【表 1-1】送付数と回答状況

地域	送付数		回答数（回答率）		うちオンライン回答数（回答率）	
県北	3,212	23.7%	1,634	50.9%	282	17.3%
県中	3,980	29.4%	1,862	46.8%	371	19.9%
県南	1,048	7.7%	473	45.1%	82	17.3%
相双	1,091	8.1%	442	40.5%	80	18.1%
いわき	2,317	17.1%	1,054	45.5%	184	17.5%
会津	1,650	12.2%	788	47.8%	150	19.0%
南会津	137	1.0%	79	57.7%	10	12.7%
県外	117	0.9%	117	100.0%	18	15.4%
合計	13,552	100.0%	6,449	47.6%	1,177	18.3%

【表 1-2】回答者の年齢分類（年齢は転帰（出産、死産等）発生時年齢とした）

回答者6,449人より無効回答27人を除いた6,422人について集計した。

なお、各項目には、それぞれ無回答・無効回答がある。また、割合（%）は、端数処理を行っているため、各項目の%の合計は100%とならないこともある。

地域	15～19歳		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳		40～44歳		45～49歳		無・無効回答 ¹⁾	合計	
県北	14	0.9%	138	8.5%	466	28.6%	569	35.0%	343	21.1%	74	4.5%	4	0.2%	20	1.2%	1,628
県中	13	0.7%	168	9.1%	539	29.0%	668	36.0%	372	20.0%	79	4.3%	1	0.1%	16	0.9%	1,856
県南	5	1.1%	47	10.0%	123	26.1%	183	38.8%	87	18.4%	15	3.2%	0	0.0%	12	2.5%	472
相双	4	0.9%	50	11.4%	127	28.9%	164	37.3%	72	16.4%	19	4.3%	1	0.2%	3	0.7%	440
いわき	14	1.3%	111	10.5%	292	27.7%	329	31.2%	245	23.3%	47	4.5%	3	0.3%	12	1.1%	1,053
会津	4	0.5%	59	7.5%	225	28.7%	291	37.1%	154	19.6%	39	5.0%	0	0.0%	12	1.5%	784
南会津	0	0.0%	9	11.5%	24	30.8%	31	39.7%	12	15.4%	1	1.3%	0	0.0%	1	1.3%	78
県外	0	0.0%	1	0.9%	42	37.8%	48	43.2%	18	16.2%	1	0.9%	0	0.0%	1	0.9%	111
合計	54	0.8%	583	9.1%	1,838	28.6%	2,283	35.5%	1,303	20.3%	275	4.3%	9	0.1%	77	1.2%	6,422

¹⁾無・無効回答：転帰（出産、死産等）の日付がなかった者

(2) 調査項目別集計

【表 2】ふだんご自分で健康だと思いますか（問2）

地域	非常に健康		まあ健康な者		あまり健康ではない		健康ではない		無・無効回答		合計
県北	411	25.2%	1,161	71.3%	48	2.9%	2	0.1%	6	0.4%	1,628
県中	489	26.3%	1,286	69.3%	72	3.9%	5	0.3%	4	0.2%	1,856
県南	129	27.3%	328	69.5%	13	2.8%	1	0.2%	1	0.2%	472
相双	85	19.3%	330	75.0%	23	5.2%	1	0.2%	1	0.2%	440
いわき	326	31.0%	682	64.8%	34	3.2%	6	0.6%	5	0.5%	1,053
会津	194	24.7%	556	70.9%	27	3.4%	2	0.3%	5	0.6%	784
南会津	23	29.5%	53	67.9%	2	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	78
県外	34	30.6%	76	68.5%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	111
合計	1,691	26.3%	4,472	69.6%	220	3.4%	17	0.3%	22	0.3%	6,422

【表 3】今回の妊娠・分娩全般に関して十分にケアが受けられたと思いますか（問3）

地域	とてもそう思う		そう思う		どちらともいえない		そう思わない		全くそう思わない		無・無効回答		合計
県北	496	30.5%	984	60.4%	118	7.2%	22	1.4%	2	0.1%	6	0.4%	1,628
県中	561	30.2%	1,075	57.9%	185	10.0%	28	1.5%	1	0.1%	6	0.3%	1,856
県南	129	27.3%	284	60.2%	45	9.5%	12	2.5%	1	0.2%	1	0.2%	472
相双	124	28.2%	267	60.7%	41	9.3%	6	1.4%	1	0.2%	1	0.2%	440
いわき	337	32.0%	598	56.8%	87	8.3%	22	2.1%	2	0.2%	7	0.7%	1,053
会津	215	27.4%	484	61.7%	74	9.4%	6	0.8%	1	0.1%	4	0.5%	784
南会津	22	28.2%	45	57.7%	9	11.5%	2	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	78
県外	36	32.4%	63	56.8%	9	8.1%	1	0.9%	1	0.9%	1	0.9%	111
合計	1,920	29.9%	3,800	59.2%	568	8.8%	99	1.5%	9	0.1%	26	0.4%	6,422

【表 4-1】ここ最近1ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか。(問 4-1)

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	347	21.3%	1,275	78.3%	6	0.4%	1,628
県中	350	18.9%	1,501	80.9%	5	0.3%	1,856
県南	94	19.9%	376	79.7%	2	0.4%	472
相双	97	22.0%	341	77.5%	2	0.5%	440
いわき	161	15.3%	884	84.0%	8	0.8%	1,053
会津	151	19.3%	628	80.1%	5	0.6%	784
南会津	16	20.5%	62	79.5%	0	0.0%	78
県外	31	27.9%	80	72.1%	0	0.0%	111
合計	1,247	19.4%	5,147	80.1%	28	0.4%	6,422

【表 4-2】ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がつかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(問4-2)

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	149	9.2%	1,473	90.5%	6	0.4%	1,628
県中	138	7.4%	1,713	92.3%	5	0.3%	1,856
県南	36	7.6%	434	91.9%	2	0.4%	472
相双	49	11.1%	389	88.4%	2	0.5%	440
いわき	72	6.8%	973	92.4%	8	0.8%	1,053
会津	66	8.4%	713	90.9%	5	0.6%	784
南会津	10	12.8%	68	87.2%	0	0.0%	78
県外	9	8.1%	102	91.9%	0	0.0%	111
合計	529	8.2%	5,865	91.3%	28	0.4%	6,422

【表 4-3】うつ傾向 問 4-1)、4-2) の両設間で両方「はい」、いずれかに「はい」と答えた者

地域	両方「はい」		いずれかに「はい」		両方「いいえ」		無・無効回答		合計
県北	127	7.8%	242	14.9%	1,253	77.0%	6	0.4%	1,628
県中	115	6.2%	258	13.9%	1,478	79.6%	5	0.3%	1,856
県南	33	7.0%	64	13.6%	373	79.0%	2	0.4%	472
相双	42	9.5%	62	14.1%	334	75.9%	2	0.5%	440
いわき	62	5.9%	109	10.4%	874	83.0%	8	0.8%	1,053
会津	52	6.6%	113	14.4%	614	78.3%	5	0.6%	784
南会津	9	11.5%	8	10.3%	61	78.2%	0	0.0%	78
県外	7	6.3%	26	23.4%	78	70.3%	0	0.0%	111
合計	447	7.0%	882	13.7%	5,065	78.9%	28	0.4%	6,422

※うつ傾向 20.7% [(両方「はい」447人+いずれかに「はい」882人) / 合計6,422人]

【表 5-1】現在、避難生活をしていますか (問 5)

地域	現在避難中で 仮設住宅で生活		現在避難中で 仮設住宅以外で生活		避難生活していた ことがあるが 現在は自宅で生活		避難していたこと はない		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	1	0.1%	10	0.6%	124	7.6%	1,462	89.8%	31	1.9%	1,628
県中	1	0.1%	9	0.5%	172	9.3%	1,647	88.7%	27	1.5%	1,856
県南	0	0.0%	2	0.4%	22	4.7%	437	92.6%	11	2.3%	472
相双	4	0.9%	111	25.2%	134	30.5%	184	41.8%	7	1.6%	440
いわき	0	0.0%	6	0.6%	334	31.7%	694	65.9%	19	1.8%	1,053
会津	0	0.0%	4	0.5%	21	2.7%	735	93.8%	24	3.1%	784
南会津	0	0.0%	0	0.0%	3	3.8%	73	93.6%	2	2.6%	78
県外	0	0.0%	0	0.0%	3	2.7%	107	96.4%	1	0.9%	111
合計	6	0.1%	142	2.2%	813	12.7%	5,339	83.1%	122	1.9%	6,422

【表 5-2】避難生活のため、もともと同居していた家族と離れて生活していますか（問 5）

（「現在避難中で仮設住宅で生活」または「現在避難中で仮設住宅以外で生活」と回答した者 148 人のみ対象）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	8	72.7%	3	27.3%	0	0.0%	11
県中	3	30.0%	7	70.0%	0	0.0%	10
県南	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	2
相双	41	35.7%	74	64.3%	0	0.0%	115
いわき	4	66.7%	2	33.3%	0	0.0%	6
会津	1	25.0%	3	75.0%	0	0.0%	4
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	58	39.2%	90	60.8%	0	0.0%	148

【表 5-3】家族とコミュニケーションがとれていますか（問 5）

（「避難生活のため、もともと同居していた家族と離れて生活していますか」に「はい」と答えた者 58 人のみ対象）

地域	はい		いいえ		どちらともいえない		無・無効回答		合計
県北	7	87.5%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	8
県中	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3
県南	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
相双	34	82.9%	2	4.9%	5	12.2%	0	0.0%	41
いわき	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
会津	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	50	86.2%	3	5.2%	5	8.6%	0	0.0%	58

【表 6】現在どなたと同居していますか。当てはまるもの全てにご記入ください。（問 6）

（複数回答あり）

地域	一人暮らし		夫またはパートナー		子ども		義理または実父母		その他		有効回答
県北	2	0.1%	1,524	93.9%	1,384	85.3%	408	25.1%	106	6.5%	1,623
県中	2	0.1%	1,729	93.5%	1,586	85.7%	495	26.8%	120	6.5%	1,850
県南	0	0.0%	442	94.0%	406	86.4%	170	36.2%	33	7.0%	470
相双	1	0.2%	397	90.4%	392	89.3%	136	31.0%	36	8.2%	439
いわき	1	0.1%	994	94.8%	920	87.7%	229	21.8%	30	2.9%	1,049
会津	3	0.4%	738	94.7%	676	86.8%	278	35.7%	69	8.9%	779
南会津	0	0.0%	73	93.6%	62	79.5%	39	50.0%	10	12.8%	78
県外	0	0.0%	108	97.3%	64	57.7%	9	8.1%	1	0.9%	111
合計	9	0.1%	6,005	93.8%	5,490	85.8%	1,764	27.6%	405	6.3%	6,399

※割合は有効回答を分母とする（問 6 に回答があった者）。複数回答があるため、割合の合計は 100.0%にならない。

【表 7-1】今回の妊娠届出時に、あなたはタバコを吸っていましたか（問 7-1）

地域	吸ったことはない		今回の妊娠に 気づく前にやめた		今回の妊娠に 気づいてやめた		吸っていた		無・無効回答		合計
県北	1,192	73.2%	190	11.7%	175	10.7%	67	4.1%	4	0.2%	1,628
県中	1,297	69.9%	220	11.9%	222	12.0%	113	6.1%	4	0.2%	1,856
県南	320	67.8%	64	13.6%	58	12.3%	28	5.9%	2	0.4%	472
相双	299	68.0%	66	15.0%	52	11.8%	22	5.0%	1	0.2%	440
いわき	726	68.9%	136	12.9%	133	12.6%	52	4.9%	6	0.6%	1,053
会津	550	70.2%	101	12.9%	86	11.0%	43	5.5%	4	0.5%	784
南会津	55	70.5%	10	12.8%	8	10.3%	5	6.4%	0	0.0%	78
県外	79	71.2%	10	9.0%	15	13.5%	7	6.3%	0	0.0%	111
合計	4,518	70.4%	797	12.4%	749	11.7%	337	5.2%	21	0.3%	6,422

【表 7-2】 その後の妊娠期間中、あなたはタバコを吸っていましたか（問 7-2）

地域	吸っていなかった		吸っていた		無・無効回答		合計
県北	1,593	97.9%	30	1.8%	5	0.3%	1,628
県中	1,804	97.2%	47	2.5%	5	0.3%	1,856
県南	458	97.0%	12	2.5%	2	0.4%	472
相双	424	96.4%	14	3.2%	2	0.5%	440
いわき	1,017	96.6%	28	2.7%	8	0.8%	1,053
会津	751	95.8%	25	3.2%	8	1.0%	784
南会津	74	94.9%	3	3.8%	1	1.3%	78
県外	108	97.3%	3	2.7%	0	0.0%	111
合計	6,229	97.0%	162	2.5%	31	0.5%	6,422

【表 7-3】 現在、あなたはタバコを吸っていますか（問 7-3）

地域	吸っていない		吸っている		無・無効回答		合計
県北	1,569	96.4%	54	3.3%	5	0.3%	1,628
県中	1,780	95.9%	71	3.8%	5	0.3%	1,856
県南	447	94.7%	23	4.9%	2	0.4%	472
相双	417	94.8%	21	4.8%	2	0.5%	440
いわき	996	94.6%	50	4.7%	7	0.7%	1,053
会津	733	93.5%	45	5.7%	6	0.8%	784
南会津	77	98.7%	1	1.3%	0	0.0%	78
県外	106	95.5%	5	4.5%	0	0.0%	111
合計	6,125	95.4%	270	4.2%	27	0.4%	6,422

【表 8】 おなかの赤ちゃん（分娩（出産・死産を含む）した赤ちゃん）は一人（単胎）ですか二人（ふたご）ですか（問 8）

地域	一人		ふたご		無・無効回答		合計
県北	1,614	99.1%	14	0.9%	0	0.0%	1,628
県中	1,845	99.4%	11	0.6%	0	0.0%	1,856
県南	469	99.4%	3	0.6%	0	0.0%	472
相双	434	98.6%	5	1.1%	1	0.2%	440
いわき	1,045	99.2%	8	0.8%	0	0.0%	1,053
会津	779	99.4%	5	0.6%	0	0.0%	784
南会津	76	97.4%	2	2.6%	0	0.0%	78
県外	110	99.1%	1	0.9%	0	0.0%	111
合計	6,372	99.2%	49	0.8%	1	0.0%	6,422

【表 9-1】 妊娠様式（問 9）

地域	自然妊娠		排卵誘発		人工授精		体外受精		排卵誘発と人工授精		排卵誘発と体外受精		無・無効回答		合計
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
県北	1,478	90.8%	51	3.1%	18	1.1%	65	4.0%	4	0.2%	6	0.4%	6	0.4%	1,628
県中	1,718	92.6%	32	1.7%	25	1.3%	61	3.3%	3	0.2%	7	0.4%	10	0.5%	1,856
県南	433	91.7%	16	3.4%	6	1.3%	16	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	472
相双	396	90.0%	10	2.3%	8	1.8%	19	4.3%	2	0.5%	4	0.9%	1	0.2%	440
いわき	962	91.4%	32	3.0%	19	1.8%	27	2.6%	4	0.4%	2	0.2%	7	0.7%	1,053
会津	716	91.3%	19	2.4%	14	1.8%	27	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	8	1.0%	784
南会津	70	89.7%	2	2.6%	2	2.6%	1	1.3%	1	1.3%	1	1.3%	1	1.3%	78
県外	97	87.4%	4	3.6%	0	0.0%	9	8.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	111
合計	5,870	91.4%	166	2.6%	92	1.4%	225	3.5%	14	0.2%	20	0.3%	35	0.5%	6,422

【表 9-2】妊娠結果（問 9）※基本的に双胎は出産1回として集計した。ただし、双胎で第1子と第2子で転帰が違う3人については、妊娠結果を別々に計上した。例えば、双胎で第1子出産、第2子流産の場合は、出産1回、流産1回として計上した。

地域	出産		流産		中絶		死産		合計
県北	1,624	99.69%	2	0.12%	1	0.06%	2	0.12%	1,629
県中	1,840	99.14%	10	0.54%	3	0.16%	3	0.16%	1,856
県南	470	99.37%	2	0.42%	0	0.00%	1	0.21%	473
相双	437	99.32%	2	0.45%	0	0.00%	1	0.23%	440
いわき	1,043	98.96%	6	0.57%	0	0.00%	5	0.47%	1,054
会津	783	99.87%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.13%	784
南会津	77	98.72%	0	0.00%	0	0.00%	1	1.28%	78
県外	111	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	111
合計	6,385	99.38%	22	0.34%	4	0.06%	14	0.22%	6,425

【表 10-1】今まで流産の経験はございますか（問 10-1）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	314	19.3%	1,302	80.0%	12	0.7%	1,628
県中	354	19.1%	1,482	79.8%	20	1.1%	1,856
県南	102	21.6%	369	78.2%	1	0.2%	472
相双	98	22.3%	337	76.6%	5	1.1%	440
いわき	226	21.5%	822	78.1%	5	0.5%	1,053
会津	170	21.7%	604	77.0%	10	1.3%	784
南会津	10	12.8%	68	87.2%	0	0.0%	78
県外	19	17.1%	92	82.9%	0	0.0%	111
合計	1,293	20.1%	5,076	79.0%	53	0.8%	6,422

【表 10-2】今まで中絶の経験はございますか（問 10-2）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	219	13.5%	1,347	82.7%	62	3.8%	1,628
県中	240	12.9%	1,558	83.9%	58	3.1%	1,856
県南	45	9.5%	411	87.1%	16	3.4%	472
相双	71	16.1%	356	80.9%	13	3.0%	440
いわき	161	15.3%	862	81.9%	30	2.8%	1,053
会津	121	15.4%	639	81.5%	24	3.1%	784
南会津	10	12.8%	62	79.5%	6	7.7%	78
県外	12	10.8%	96	86.5%	3	2.7%	111
合計	879	13.7%	5,331	83.0%	212	3.3%	6,422

【表 10-3】今まで死産の経験はございますか（問 10-3）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	13	0.8%	1,598	98.2%	17	1.0%	1,628
県中	28	1.5%	1,807	97.4%	21	1.1%	1,856
県南	6	1.3%	463	98.1%	3	0.6%	472
相双	9	2.0%	425	96.6%	6	1.4%	440
いわき	9	0.9%	1,037	98.5%	7	0.7%	1,053
会津	6	0.8%	767	97.8%	11	1.4%	784
南会津	0	0.0%	78	100.0%	0	0.0%	78
県外	0	0.0%	111	100.0%	0	0.0%	111
合計	71	1.1%	6,286	97.9%	65	1.0%	6,422

【表 10-4】今まで出産の経験はございますか（問 10-4）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	824	50.6%	743	45.6%	61	3.7%	1,628
県中	892	48.1%	904	48.7%	60	3.2%	1,856
県南	262	55.5%	199	42.2%	11	2.3%	472
相双	249	56.6%	177	40.2%	14	3.2%	440
いわき	526	50.0%	498	47.3%	29	2.8%	1,053
会津	407	51.9%	351	44.8%	26	3.3%	784
南会津	35	44.9%	38	48.7%	5	6.4%	78
県外	36	32.4%	70	63.1%	5	4.5%	111
合計	3,231	50.3%	2,980	46.4%	211	3.3%	6,422

【表 10-5】今までふたごの出産の経験はございますか（問 10-5）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	6	0.4%	1,602	98.4%	20	1.2%	1,628
県中	14	0.8%	1,819	98.0%	23	1.2%	1,856
県南	4	0.8%	465	98.5%	3	0.6%	472
相双	6	1.4%	427	97.0%	7	1.6%	440
いわき	8	0.8%	1,038	98.6%	7	0.7%	1,053
会津	4	0.5%	768	98.0%	12	1.5%	784
南会津	0	0.0%	78	100.0%	0	0.0%	78
県外	0	0.0%	111	100.0%	0	0.0%	111
合計	42	0.7%	6,308	98.2%	72	1.1%	6,422

【表 11-1】あなたは、今回の妊娠前にかかったことのある病気がありましたか（問 11）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	501	30.8%	1,125	69.1%	2	0.1%	1,628
県中	578	31.1%	1,274	68.6%	4	0.2%	1,856
県南	126	26.7%	344	72.9%	2	0.4%	472
相双	132	30.0%	307	69.8%	1	0.2%	440
いわき	342	32.5%	705	67.0%	6	0.6%	1,053
会津	258	32.9%	525	67.0%	1	0.1%	784
南会津	27	34.6%	51	65.4%	0	0.0%	78
県外	31	27.9%	80	72.1%	0	0.0%	111
合計	1,995	31.1%	4,411	68.7%	16	0.2%	6,422

【表 11-2】問 11 の設問に「はい」と答えた者の具体的な病名数の合計に占める割合

(有効回答 1,994 人 無・無効回答 1 人)

地域	他のアレルギー性疾患 ¹⁾		呼吸器の疾患 ²⁾		精神疾患 ³⁾		甲状腺疾患		腸の病気		脳の疾患 ⁴⁾		心臓病 ⁵⁾		高血圧		がん	
県北	275	42.0%	116	17.7%	62	9.5%	40	6.1%	23	3.5%	22	3.4%	10	1.5%	9	1.4%	9	1.4%
県中	325	43.2%	136	18.1%	53	7.0%	44	5.9%	31	4.1%	17	2.3%	11	1.5%	17	2.3%	10	1.3%
県南	59	34.9%	29	17.2%	15	8.9%	9	5.3%	8	4.7%	4	2.4%	8	4.7%	0	0.0%	3	1.8%
相双	69	42.1%	27	16.5%	20	12.2%	11	6.7%	4	2.4%	3	1.8%	2	1.2%	2	1.2%	2	1.2%
いわき	208	43.2%	91	18.9%	40	8.3%	19	4.0%	10	2.1%	5	1.0%	16	3.3%	6	1.2%	5	1.0%
会津	124	37.8%	57	17.4%	34	10.4%	25	7.6%	16	4.9%	8	2.4%	8	2.4%	2	0.6%	3	0.9%
南会津	13	33.3%	5	12.8%	5	12.8%	3	7.7%	2	5.1%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
県外	19	51.4%	7	18.9%	3	8.1%	0	0.0%	1	2.7%	1	2.7%	1	2.7%	0	0.0%	1	2.7%
合計	1,092	41.6%	468	17.8%	232	8.8%	151	5.8%	95	3.6%	61	2.3%	56	2.1%	36	1.4%	33	1.3%

地域	膠原病 ⁶⁾		血液の疾患 ⁷⁾		高脂血症		感染症 ⁸⁾		肝臓の病気 ⁹⁾		糖尿病		神経・筋疾患 ¹⁰⁾		その他		合計
県北	7	1.1%	7	1.1%	4	0.6%	1	0.2%	7	1.1%	1	0.2%	1	0.2%	61	9.3%	655
県中	6	0.8%	6	0.8%	6	0.8%	9	1.2%	5	0.7%	3	0.4%	3	0.4%	70	9.3%	752
県南	3	1.8%	2	1.2%	3	1.8%	1	0.6%	1	0.6%	1	0.6%	0	0.0%	23	13.6%	169
相双	2	1.2%	2	1.2%	1	0.6%	2	1.2%	0	0.0%	4	2.4%	0	0.0%	13	7.9%	164
いわき	5	1.0%	5	1.0%	4	0.8%	4	0.8%	4	0.8%	7	1.5%	3	0.6%	49	10.2%	481
会津	2	0.6%	0	0.0%	3	0.9%	2	0.6%	3	0.9%	3	0.9%	1	0.3%	37	11.3%	328
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	23.1%	39
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	10.8%	37
合計	25	1.0%	22	0.8%	21	0.8%	20	0.8%	20	0.8%	19	0.7%	8	0.3%	266	10.1%	2,625

¹⁾アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎など ²⁾肺炎、喘息など ³⁾うつ病、統合性失調症など ⁴⁾脳卒中、てんかんなど⁵⁾心筋梗塞・狭心症、不整脈、先天性心疾患など ⁶⁾SLE、エリテマトーデスなど ⁷⁾特発性血小板減少症など ⁸⁾結核など ⁹⁾慢性肝炎など ¹⁰⁾重症筋無力症など

※複数回答あり

【表 11-3】 問 11 の設問に「はい」と答えた者の具体的な病気の「その他」の内訳（複数回答あり）

卵巣腫瘍	72	突発性難聴	2	股関節ペルテス病	1	仙腸関節炎	1
子宮筋腫	37	難聴	2	口唇顎裂	1	先天性のう胞	1
子宮内膜症	33	乳腺線維腺腫	2	腰椎椎間板症	1	先天性角化症	1
子宮頸上皮内腫瘍	12	尿路結石	2	骨粗鬆症	1	先天性股関節脱臼	1
メニエール病	10	胞状奇胎	2	子宮外妊娠	1	先天性脊柱後側弯症	1
腎盂腎炎	10	アレルギー性紫斑病	1	子宮腺筋症	1	先天性胆管拡張症	1
多のう胞性卵巣症候群	10	サルコイドーシス	1	糸球体腎炎	1	尖圭コンジローマ	1
IgA 腎症	6	ナットクラッカー症候群	1	紫斑病	1	胆石症	1
緑内障	6	ナルコレプシー	1	脂肪腫	1	中耳炎	1
子宮内膜ポリープ	5	ぶどう膜炎	1	視神経脊髄炎	1	特発性難聴	1
川崎病	5	ヘルニア	1	痔核	1	乳腺葉状腫瘍	1
高プロラクチン血症	3	リベド血管炎	1	耳硬化症	1	敗血症	1
腎炎	3	亜急性リンパ節炎	1	縦隔気腫	1	発達障害	1
尿管結石症	3	胃粘膜下腫瘍	1	書癩	1	鼻中隔彎曲症	1
膝炎	3	白蓋形成不全	1	深部静脈血栓症	1	副鼻腔炎	1
円形脱毛症	2	黄斑円孔	1	腎のう胞	1	腹壁腫瘍	1
血尿	2	乾癬	1	腎結石	1	網膜剥離	1
腰椎椎間板ヘルニア	2	奇形腫	1	腎腫瘍	1	扁桃炎	1
子宮内膜増殖症	2	頸椎椎間板ヘルニア	1	腎不全	1	膀胱炎	1
耳下腺腫瘍	2	血管腫	1	水腎症	1		

【表 12-1】 あなたは今回の妊娠中に告げられた病気・状態がありましたか（問 12）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	474	29.1%	1,150	70.6%	4	0.2%	1,628
県中	546	29.4%	1,306	70.4%	4	0.2%	1,856
県南	120	25.4%	351	74.4%	1	0.2%	472
相双	108	24.5%	326	74.1%	6	1.4%	440
いわき	298	28.3%	753	71.5%	2	0.2%	1,053
会津	227	29.0%	557	71.0%	0	0.0%	784
南会津	22	28.2%	56	71.8%	0	0.0%	78
県外	35	31.5%	76	68.5%	0	0.0%	111
合計	1,830	28.5%	4,575	71.2%	17	0.3%	6,422

地域	全疾患の発生率 ¹⁾		有効回答
県北	474	29.2%	1,624
県中	546	29.5%	1,852
県南	120	25.5%	471
相双	108	24.9%	434
いわき	298	28.4%	1,051
会津	227	29.0%	784
南会津	22	28.2%	78
県外	35	31.5%	111
合計	1,830	28.6%	6,405

¹⁾発生率の分母は有効回答（「はい」「いいえ」の合計数）

【表 12-2】各疾患の発生率

(複数回答あり)

地域	切迫早産		切迫流産		妊娠高血圧症候群		妊娠糖尿病		感染症 ¹⁾		羊水過少		早産	
県北	207	12.7%	124	7.6%	58	3.6%	69	4.2%	41	2.5%	20	1.2%	25	1.5%
県中	234	12.6%	108	5.8%	69	3.7%	72	3.9%	47	2.5%	64	3.5%	20	1.1%
県南	45	9.6%	28	5.9%	17	3.6%	7	1.5%	9	1.9%	10	2.1%	7	1.5%
相双	50	11.5%	32	7.4%	16	3.7%	15	3.5%	12	2.8%	4	0.9%	4	0.9%
いわき	124	11.8%	76	7.2%	40	3.8%	19	1.8%	33	3.1%	18	1.7%	13	1.2%
会津	105	13.4%	67	8.5%	16	2.0%	34	4.3%	25	3.2%	11	1.4%	13	1.7%
南会津	9	11.5%	6	7.7%	0	0.0%	3	3.8%	5	6.4%	2	2.6%	1	1.3%
県外	16	14.4%	13	11.7%	4	3.6%	1	0.9%	1	0.9%	2	1.8%	0	0.0%
合計	790	12.3%	454	7.1%	220	3.4%	220	3.4%	173	2.7%	131	2.0%	83	1.3%

地域	前置胎盤		不眠・不安などの精神的問題		羊水過多		流産		外傷		血栓症 ²⁾		脳卒中 ³⁾		その他	
県北	18	1.1%	11	0.7%	1	0.1%	1	0.1%	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	24	1.5%
県中	17	0.9%	8	0.4%	11	0.6%	2	0.1%	1	0.1%	2	0.1%	1	0.1%	43	2.3%
県南	3	0.6%	1	0.2%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	17	3.6%
相双	4	0.9%	3	0.7%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	1.4%
いわき	7	0.7%	9	0.9%	5	0.5%	4	0.4%	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	18	1.7%
会津	11	1.4%	2	0.3%	3	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	1.5%
南会津	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	4.5%
合計	60	0.9%	35	0.5%	23	0.4%	7	0.1%	4	0.1%	3	0.0%	1	0.0%	126	2.0%

¹⁾肺炎・インフルエンザ・破傷風等、²⁾血栓症(エコノミークラス症候群)・肺塞栓症、³⁾脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血など
 ※分母は問12に「はい」または「いいえ」と回答した者6,405人。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない

【表 12-3】問12の設問に「はい」と答えた者の具体的な病気・状態の「その他」の内訳(複数回答あり)

子宮筋腫	28	副鼻腔炎	3	甲状腺機能低下症	1	低音障害型感音難聴	1
卵巣腫瘍	13	バセドウ病	2	甲状腺腫	1	特発性血小板減少性紫斑病	1
子宮頸癌	8	橋本病	2	子宮頸管無力症	2	突発性難聴	1
喘息	8	虫垂炎	2	痔核	1	妊娠性血小板減少症	1
子宮頸上皮内腫瘍	5	椎間板ヘルニア	2	食中毒	1	肺水腫	1
妊娠性痒疹	5	WPW症候群	1	腎盂腎炎	1	白血病	1
帯状疱疹	4	コンジローマ	1	髄膜腫	1	不整脈	1
癒着胎盤	4	プロテインC欠乏症	1	切迫子宮破裂	1	卵巣出血	1
子宮頸管ポリープ	3	ポリープ	1	前置血管	1	癒着部妊娠	1
手根管症候群	3	悪性高血圧症	1	前庭神経炎	1	膣ポリープ	1
静脈瘤	3	横紋筋融解症	1	全身性エリテマトーデス	1	腓炎	1
双胎間輸血症候群	3	原田病	1	潰瘍性大腸炎	1	鼠径ヘルニア	1

【表 12-4】妊娠12週以降(妊娠4か月以降)に分娩した者

地域	単胎(一人)		双胎(ふたご)		無・無効回答		合計
県北	1,612	99.1%	14	0.9%	0	0.0%	1,626
県中	1,837	99.4%	11	0.6%	0	0.0%	1,848
県南	468	99.4%	3	0.6%	0	0.0%	471
相双	434	98.9%	5	1.1%	0	0.0%	439
いわき	1,042	99.2%	8	0.8%	0	0.0%	1,050
会津	779	99.4%	5	0.6%	0	0.0%	784
南会津	76	97.4%	2	2.6%	0	0.0%	78
県外	110	99.1%	1	0.9%	0	0.0%	111
合計	6,358	99.2%	49	0.8%	0	0.0%	6,407

【表 13-1】妊娠何週何日で分娩しましたか 単胎（一人）（問 13）

地域	12週～21週		22週～23週		24週～27週		28週～31週		32週～36週		37週～41週		42週～		合計
県北	1	0.1%	0	0.0%	3	0.2%	7	0.4%	53	3.3%	1,547	96.0%	1	0.1%	1,612
県中	5	0.3%	2	0.1%	4	0.2%	10	0.5%	72	3.9%	1,741	94.8%	3	0.2%	1,837
県南	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%	22	4.7%	442	94.4%	1	0.2%	468
相双	1	0.2%	1	0.2%	2	0.5%	1	0.2%	14	3.2%	414	95.4%	1	0.2%	434
いわき	2	0.2%	1	0.1%	2	0.2%	6	0.6%	52	5.0%	977	93.8%	2	0.2%	1,042
会津	0	0.0%	1	0.1%	4	0.5%	10	1.3%	30	3.9%	733	94.1%	1	0.1%	779
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.6%	74	97.4%	0	0.0%	76
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.8%	108	98.2%	0	0.0%	110
合計	10	0.2%	5	0.1%	15	0.2%	36	0.6%	247	3.9%	6,036	94.9%	9	0.1%	6,358

表 13-2～表 14-28 の双胎（ふたご）の第 1 子と第 2 子を別々に集計した表では、第 2 子を 12 週未満で流産した者がいるため、第 1 子と第 2 子の数は一致しない。

【表 13-2】妊娠何週何日で分娩しましたか 双胎（ふたご）（問 13）

地域	12週～21週		22週～23週		24週～27週		28週～31週		32週～36週		37週～41週		42週～		合計
県北	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.4%	8	29.6%	17	63.0%	0	0.0%	27
県中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.1%	16	72.7%	4	18.2%	0	0.0%	22
県南	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%	1	20.0%	0	0.0%	5
相双	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	40.0%	6	60.0%	0	0.0%	10
いわき	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	26.7%	11	73.3%	0	0.0%	15
会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	40.0%	6	60.0%	0	0.0%	10
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%	4
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	6.3%	40	42.1%	49	51.6%	0	0.0%	95

【表 13-3】分娩週数と早産率 単胎・双胎（ふたご）

地域	(単胎・ふたご) 分娩週数								早産率 ¹⁾	
	12週～ 21週	22週～ 23週	24週～ 27週	28週～ 31週	32週～ 36週	37週～ 41週	42週～	合計	22週～ 36週計	(22週～36週) /(合計-12週～21週)
県北	1	0	3	9	61	1,564	1	1,639	73	4.5%
県中	5	2	4	12	88	1,745	3	1,859	106	5.7%
県南	1	0	0	2	26	443	1	473	28	5.9%
相双	1	1	2	1	18	420	1	444	22	5.0%
いわき	2	1	2	6	56	988	2	1,057	65	6.2%
会津	0	1	4	10	34	739	1	789	49	6.2%
南会津	0	0	0	0	2	78	0	80	2	2.5%
県外	0	0	0	2	2	108	0	112	4	3.6%
合計	10	5	15	42	287	6,085	9	6,453	349	5.4%

※早産とは、在胎週数が 22 週～36 週で出産すること。

¹⁾早産率は、胎児数不明、週数不明と 12 週未満の者を除いて集計した総分娩数(6,453)から 22 週未満の分娩数(10)を引いたものを分母とした。

【表 13-4】分娩様式 単胎（一人）（問 13）

地域	自然分娩		吸引・鉗子分娩		帝王切開		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	1,094	67.9%	231	14.3%	282	17.5%	5	0.3%	1,612
県中	1,198	65.2%	226	12.3%	401	21.8%	12	0.7%	1,837
県南	324	69.2%	57	12.2%	80	17.1%	7	1.5%	468
相双	222	51.2%	98	22.6%	110	25.3%	4	0.9%	434
いわき	665	63.8%	141	13.5%	228	21.9%	8	0.8%	1,042
会津	469	60.2%	100	12.8%	205	26.3%	5	0.6%	779
南会津	52	68.4%	7	9.2%	17	22.4%	0	0.0%	76
県外	67	60.9%	21	19.1%	20	18.2%	2	1.8%	110
合計	4,091	64.3%	881	13.9%	1,343	21.1%	43	0.7%	6,358

【表 13-5】分娩様式 双胎（ふたご）第1子（問 13）

地域	自然分娩		吸引・鉗子分娩		帝王切開		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	1	7.1%	2	14.3%	11	78.6%	0	0.0%	14
県中	0	0.0%	1	9.1%	10	90.9%	0	0.0%	11
県南	0	0.0%	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%	3
相双	1	20.0%	0	0.0%	4	80.0%	0	0.0%	5
いわき	1	12.5%	0	0.0%	7	87.5%	0	0.0%	8
会津	0	0.0%	0	0.0%	5	100.0%	0	0.0%	5
南会津	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	2
県外	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1
合計	3	6.1%	4	8.2%	42	85.7%	0	0.0%	49

【表 13-6】分娩様式 双胎（ふたご）第2子（問 13）

地域	自然分娩		吸引・鉗子分娩		帝王切開		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	1	7.7%	2	15.4%	10	76.9%	0	0.0%	13
県中	0	0.0%	1	9.1%	10	90.9%	0	0.0%	11
県南	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	2
相双	0	0.0%	1	20.0%	4	80.0%	0	0.0%	5
いわき	0	0.0%	0	0.0%	7	100.0%	0	0.0%	7
会津	0	0.0%	0	0.0%	5	100.0%	0	0.0%	5
南会津	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	2
県外	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1
合計	1	2.2%	4	8.7%	41	89.1%	0	0.0%	46

表 14-1～表 14-14 については、全体の無・無効回答者数は一番右側に示した。(人数)は有効回答である。性別が未回答の場合があるため、男児女児の合計は必ずしも全体の人数にはならないこともある。

【表 14-1】(出産状況) 分娩児の性別 (単胎・ふたご第1子、第2子) (問 14)

地域	男児		女児		無・無効回答		合計
県北	792	48.3%	824	50.3%	23	1.4%	1,639
県中	907	48.8%	910	49.0%	42	2.3%	1,859
県南	242	51.2%	227	48.0%	4	0.8%	473
相双	227	51.1%	214	48.2%	3	0.7%	444
いわき	552	52.2%	494	46.7%	11	1.0%	1,057
会津	398	50.4%	378	47.9%	13	1.6%	789
南会津	46	57.5%	33	41.3%	1	1.3%	80
県外	54	48.2%	58	51.8%	0	0.0%	112
合計	3,218	49.9%	3,138	48.6%	97	1.5%	6,453

【表 14-2】(分娩児の体重) 単胎 (一人) 全体 (問 14)

地域	1.0 kg未満		1.0～1.5 kg未満		1.5～2.0 kg未満		2.0～2.5 kg未満		2.5～3.0 kg未満	
県北	2	0.1%	4	0.2%	17	1.1%	115	7.1%	629	39.0%
県中	7	0.4%	5	0.3%	11	0.6%	129	7.0%	719	39.1%
県南	1	0.2%	1	0.2%	2	0.4%	32	6.8%	187	40.0%
相双	3	0.7%	1	0.2%	4	0.9%	33	7.6%	158	36.4%
いわき	4	0.4%	9	0.9%	9	0.9%	71	6.8%	395	37.9%
会津	3	0.4%	6	0.8%	5	0.6%	47	6.0%	286	36.7%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	10.5%	25	32.9%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.7%	31	28.2%
合計	20	0.3%	26	0.4%	48	0.8%	438	6.9%	2,430	38.2%

地域	3.0～3.5 kg未満		3.5～4.0 kg未満		4.0～4.5 kg未満		4.5kg 以上		無・無効回答		合計
県北	688	42.7%	141	8.7%	10	0.6%	3	0.2%	3	0.2%	1,612
県中	759	41.3%	180	9.8%	19	1.0%	0	0.0%	8	0.4%	1,837
県南	195	41.7%	45	9.6%	4	0.9%	0	0.0%	1	0.2%	468
相双	192	44.2%	38	8.8%	4	0.9%	0	0.0%	1	0.2%	434
いわき	440	42.2%	106	10.2%	5	0.5%	1	0.1%	2	0.2%	1,042
会津	341	43.8%	84	10.8%	4	0.5%	0	0.0%	3	0.4%	779
南会津	35	46.1%	8	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	76
県外	61	55.5%	14	12.7%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	110
合計	2,711	42.6%	616	9.7%	47	0.7%	4	0.1%	18	0.3%	6,358

【表 14-3】(分娩児の体重) 単胎 (一人) 男児 (問 14)

地域	1.0 kg未満		1.0～1.5 kg未満		1.5～2.0 kg未満		2.0～2.5 kg未満		2.5～3.0 kg未満	
県北	0	0.0%	1	0.1%	11	1.4%	47	6.0%	284	36.1%
県中	3	0.3%	4	0.4%	6	0.7%	46	5.1%	339	37.8%
県南	1	0.4%	1	0.4%	1	0.4%	10	4.1%	96	39.7%
相双	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	12	5.5%	75	34.2%
いわき	1	0.2%	6	1.1%	3	0.6%	32	5.9%	180	33.0%
会津	2	0.5%	3	0.8%	2	0.5%	21	5.3%	131	33.3%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.7%	12	27.9%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	25.9%
合計	7	0.2%	15	0.5%	24	0.8%	170	5.3%	1,131	35.6%

地域	3.0～3.5 kg未満		3.5～4.0 kg未満		4.0～4.5 kg未満		4.5 kg以上		無・無効回答		合計
県北	344	43.8%	91	11.6%	6	0.8%	1	0.1%	1	0.1%	786
県中	378	42.1%	107	11.9%	12	1.3%	0	0.0%	3	0.3%	898
県南	108	44.6%	23	9.5%	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	242
相双	106	48.4%	22	10.0%	3	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	219
いわき	262	48.1%	56	10.3%	3	0.6%	1	0.2%	1	0.2%	545
会津	180	45.8%	50	12.7%	4	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	393
南会津	22	51.2%	7	16.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	43
県外	31	57.4%	8	14.8%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	54
合計	1,431	45.0%	364	11.4%	31	1.0%	2	0.1%	5	0.2%	3,180

【表 14-4】(分娩児の体重) 単胎 (一人) 女児 (問 14)

地域	1.0 kg未満		1.0～1.5 kg未満		1.5～2.0 kg未満		2.0～2.5 kg未満		2.5～3.0 kg未満	
県北	2	0.2%	3	0.4%	6	0.7%	67	8.3%	335	41.7%
県中	3	0.3%	1	0.1%	4	0.4%	82	9.1%	369	41.1%
県南	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	21	9.5%	89	40.1%
相双	3	1.4%	1	0.5%	3	1.4%	21	9.9%	83	39.2%
いわき	2	0.4%	3	0.6%	6	1.2%	39	8.0%	212	43.4%
会津	1	0.3%	3	0.8%	3	0.8%	25	6.7%	151	40.5%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	15.6%	13	40.6%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	5.4%	17	30.4%
合計	11	0.4%	11	0.4%	23	0.7%	263	8.5%	1,269	41.2%

地域	3.0～3.5 kg未満		3.5～4.0 kg未満		4.0～4.5 kg未満		4.5 kg以上		無・無効回答		合計
県北	334	41.6%	49	6.1%	3	0.4%	2	0.2%	2	0.2%	803
県中	361	40.2%	70	7.8%	7	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	897
県南	87	39.2%	22	9.9%	2	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	222
相双	84	39.6%	15	7.1%	1	0.5%	0	0.0%	1	0.5%	212
いわき	176	36.1%	48	9.8%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	488
会津	156	41.8%	32	8.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	373
南会津	13	40.6%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	32
県外	30	53.6%	6	10.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	56
合計	1,241	40.3%	243	7.9%	15	0.5%	2	0.1%	5	0.2%	3,083

【表 14-5】(分娩児の体重) 双胎(ふたご) 全体 (問 14)

地域	1.0 kg未満		1.0~1.5 kg未満		1.5~2.0 kg未満		2.0~2.5 kg未満		2.5~3.0 kg未満		3.0~3.5 kg未満		3.5 kg以上		合計
県北	0	0.0%	2	7.4%	5	18.5%	11	40.7%	6	22.2%	3	11.1%	0	0.0%	27
県中	0	0.0%	4	18.2%	8	36.4%	7	31.8%	3	13.6%	0	0.0%	0	0.0%	22
県南	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	5
相双	0	0.0%	0	0.0%	3	30.0%	7	70.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10
いわき	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	8	53.3%	5	33.3%	1	6.7%	0	0.0%	15
会津	0	0.0%	0	0.0%	2	20.0%	4	40.0%	4	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	10
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	50.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
県外	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
合計	0	0.0%	8	8.4%	22	23.2%	40	42.1%	20	21.1%	4	4.2%	1	1.1%	95

【表 14-6】(分娩児の体重) 双胎(ふたご) 男児 (問 14)

地域	1.0 kg未満		1.0~1.5 kg未満		1.5~2.0 kg未満		2.0~2.5 kg未満		2.5~3.0 kg未満		3.0~3.5 kg未満		無・無効回答		合計
県北	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	1	16.7%	3	50.0%	1	16.7%	0	0.0%	6
県中	0	0.0%	0	0.0%	3	33.3%	6	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9
県南	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
相双	0	0.0%	0	0.0%	2	25.0%	6	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	25.0%	8
いわき	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	71.4%	2	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	7
会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	4	80.0%	0	0.0%	0	0.0%	5
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	1	33.3%	3
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	0	0.0%	0	0.0%	7	18.4%	20	52.6%	10	26.3%	1	2.6%	0	0.0%	38

【表 14-7】(分娩児の体重) 双胎(ふたご) 女児 (問 14)

地域	1.0 kg未満		1.0~1.5 kg未満		1.5~2.0 kg未満		2.0~2.5 kg未満		2.5~3.0 kg未満		3.0~3.5 kg未満		3.5 kg以上		合計
県北	0	0.0%	2	9.5%	4	19.0%	10	47.6%	3	14.3%	2	9.5%	0	0.0%	21
県中	0	0.0%	4	30.8%	5	38.5%	1	7.7%	3	23.1%	0	0.0%	0	0.0%	13
県南	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	5
相双	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
いわき	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	2	33.3%	3	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	6
会津	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	3	60.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
県外	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
合計	0	0.0%	8	14.5%	15	27.3%	19	34.5%	10	18.2%	2	3.6%	1	1.8%	55

【表 14-8】分娩児の体重(単胎・双胎) (問 14) 単胎(一人)・双胎(ふたご)の無・無効回答 18人を除く

地域	1.0 kg未満		1.0~1.5 kg未満		1.5~2.0 kg未満		2.0~2.5 kg未満		2.5~3.0 kg未満		3.0~3.5 kg未満		3.5 kg以上		合計	低出生体重児	低出生体重児割合
	1.0 kg未満	1.0~1.5 kg未満	1.5~2.0 kg未満	2.0~2.5 kg未満	2.5~3.0 kg未満	3.0~3.5 kg未満	3.5 kg以上										
県北	2	6	22	126	635	691	141	10	3	1,636	156	9.5%					
県中	7	9	19	136	722	759	180	19	0	1,851	171	9.2%					
県南	1	1	4	33	188	195	46	4	0	472	39	8.3%					
相双	3	1	7	40	158	192	38	4	0	443	51	11.5%					
いわき	4	9	10	79	400	441	106	5	1	1,055	102	9.7%					
会津	3	6	7	51	290	341	84	4	0	786	67	8.5%					
南会津	0	0	1	10	26	35	8	0	0	80	11	13.8%					
県外	0	2	0	3	31	61	14	1	0	112	5	4.5%					
合計	20	34	70	478	2,450	2,715	617	47	4	6,435	602	9.4%					

※低出生体重児とは、出生時に体重が2.5kg未満の新生児のこと

【表 14-9】(分娩児の身長) 単胎(一人) 全体 (問 14)

地域	47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49～50cm 未満		50～51cm 未満	
県北	163	10.1%	168	10.4%	264	16.4%	334	20.7%	365	22.6%
県中	215	11.7%	199	10.8%	246	13.4%	401	21.8%	420	22.9%
県南	40	8.5%	41	8.8%	47	10.0%	89	19.0%	114	24.4%
相双	63	14.5%	43	9.9%	67	15.4%	77	17.7%	99	22.8%
いわき	115	11.0%	107	10.3%	168	16.1%	228	21.9%	198	19.0%
会津	121	15.5%	83	10.7%	148	19.0%	139	17.8%	155	19.9%
南会津	10	13.2%	9	11.8%	12	15.8%	9	11.8%	21	27.6%
県外	9	8.2%	7	6.4%	16	14.5%	27	24.5%	27	24.5%
合計	736	11.6%	657	10.3%	968	15.2%	1,304	20.5%	1,399	22.0%

地域	51～52cm 未満		52cm 以上		無・無効回答		合計
県北	194	12.0%	119	7.4%	5	0.3%	1,612
県中	202	11.0%	146	7.9%	8	0.4%	1,837
県南	81	17.3%	53	11.3%	3	0.6%	468
相双	53	12.2%	30	6.9%	2	0.5%	434
いわき	97	9.3%	125	12.0%	4	0.4%	1,042
会津	87	11.2%	41	5.3%	5	0.6%	779
南会津	9	11.8%	6	7.9%	0	0.0%	76
県外	16	14.5%	8	7.3%	0	0.0%	110
合計	739	11.6%	528	8.3%	27	0.4%	6,358

【表 14-10】(分娩児の身長) 単胎(一人) 男児 (問 14)

地域	47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49～50cm 未満		50～51cm 未満	
県北	58	7.4%	74	9.4%	122	15.5%	154	19.6%	192	24.4%
県中	81	9.0%	101	11.2%	105	11.7%	182	20.3%	209	23.3%
県南	19	7.9%	19	7.9%	16	6.6%	42	17.4%	61	25.2%
相双	22	10.0%	17	7.8%	32	14.6%	40	18.3%	59	26.9%
いわき	48	8.8%	50	9.2%	80	14.7%	122	22.4%	113	20.7%
会津	45	11.5%	37	9.4%	68	17.3%	80	20.4%	82	20.9%
南会津	4	9.3%	3	7.0%	9	20.9%	3	7.0%	13	30.2%
県外	4	7.4%	3	5.6%	4	7.4%	10	18.5%	16	29.6%
合計	281	8.8%	304	9.6%	436	13.7%	633	19.9%	745	23.4%

地域	51～52cm 未満		52cm 以上		無・無効回答		合計
県北	106	13.5%	79	10.1%	1	0.1%	786
県中	121	13.5%	98	10.9%	1	0.1%	898
県南	51	21.1%	33	13.6%	1	0.4%	242
相双	34	15.5%	15	6.8%	0	0.0%	219
いわき	62	11.4%	68	12.5%	2	0.4%	545
会津	51	13.0%	27	6.9%	3	0.8%	393
南会津	7	16.3%	4	9.3%	0	0.0%	43
県外	11	20.4%	6	11.1%	0	0.0%	54
合計	443	13.9%	330	10.4%	8	0.3%	3,180

【表 14-11】(分娩児の身長) 単胎(一人) 女児 (問 14)

地域	47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49～50cm 未満		50～51cm 未満	
県北	104	13.0%	91	11.3%	133	16.6%	175	21.8%	170	21.2%
県中	131	14.6%	95	10.6%	135	15.1%	215	24.0%	198	22.1%
県南	21	9.5%	22	9.9%	31	14.0%	46	20.7%	52	23.4%
相双	41	19.3%	26	12.3%	35	16.5%	37	17.5%	39	18.4%
いわき	66	13.5%	57	11.7%	86	17.6%	106	21.7%	84	17.2%
会津	73	19.6%	46	12.3%	77	20.6%	57	15.3%	72	19.3%
南会津	5	15.6%	6	18.8%	3	9.4%	6	18.8%	8	25.0%
県外	5	8.9%	4	7.1%	12	21.4%	17	30.4%	11	19.6%
合計	446	14.5%	347	11.3%	512	16.6%	659	21.4%	634	20.6%

地域	51～52cm 未満		52cm 以上		無・無効回答		合計
県北	87	10.8%	39	4.9%	4	0.5%	803
県中	77	8.6%	44	4.9%	2	0.2%	897
県南	29	13.1%	20	9.0%	1	0.5%	222
相双	18	8.5%	14	6.6%	2	0.9%	212
いわき	33	6.8%	55	11.3%	1	0.2%	488
会津	35	9.4%	12	3.2%	1	0.3%	373
南会津	2	6.3%	2	6.3%	0	0.0%	32
県外	5	8.9%	2	3.6%	0	0.0%	56
合計	286	9.3%	188	6.1%	11	0.4%	3,083

【表 14-12】(分娩児の身長) 双胎(ふたご) 全体 (問 14)

地域	44cm 未満		44～45cm 未満		45～46cm 未満		46～47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49cm 以上		無・無効回答	合計	
県北	8	29.6%	0	0.0%	2	7.4%	3	11.1%	4	14.8%	6	22.2%	4	14.8%	0	0.0%	27
県中	11	50.0%	0	0.0%	2	9.1%	5	22.7%	3	13.6%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	22
県南	1	20.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	5
相双	5	50.0%	1	10.0%	1	10.0%	1	10.0%	0	0.0%	2	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	10
いわき	1	6.7%	2	13.3%	3	20.0%	2	13.3%	4	26.7%	0	0.0%	3	20.0%	0	0.0%	15
会津	3	30.0%	1	10.0%	2	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	30.0%	1	10.0%	0	0.0%	10
南会津	1	25.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
県外	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
合計	32	33.7%	5	5.3%	12	12.6%	11	11.6%	13	13.7%	13	13.7%	9	9.5%	0	0.0%	95

【表 14-13】(分娩児の身長) 双胎(ふたご) 男児 (問 14)

地域	44cm 未満		44～45cm 未満		45～46cm 未満		46～47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49cm 以上		無・無効回答	合計	
県北	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	33.3%	2	33.3%	0	0.0%	6
県中	2	22.2%	0	0.0%	2	22.2%	4	44.4%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9
県南	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
相双	3	37.5%	1	12.5%	1	12.5%	1	12.5%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	8
いわき	1	14.3%	1	14.3%	1	14.3%	1	14.3%	1	14.3%	0	0.0%	2	28.6%	0	0.0%	7
会津	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	1	20.0%	0	0.0%	5
南会津	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	8	21.1%	3	7.9%	5	13.2%	6	15.8%	4	10.5%	7	18.4%	5	13.2%	0	0.0%	38

【表 14-14】(分娩児の身長) 双胎(ふたご) 女児 (問 14)

地域	44cm 未満		44～45cm 未満		45～46cm 未満		46～47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49cm 以上		合計
県北	7	33.3%	0	0.0%	1	4.8%	3	14.3%	4	19.0%	4	19.0%	2	9.5%	21
県中	9	69.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	2	15.4%	1	7.7%	0	0.0%	13
県南	1	20.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	5
相双	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
いわき	0	0.0%	1	16.7%	2	33.3%	0	0.0%	3	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	6
会津	3	60.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
県外	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
合計	24	43.6%	2	3.6%	7	12.7%	4	7.3%	9	16.4%	6	10.9%	3	5.5%	55

【表 14-15】 新生児仮死 単胎（一人）（問 14）

地域	あり		なし		無・無効回答		合計
県北	23	1.4%	1,580	98.0%	9	0.6%	1,612
県中	15	0.8%	1,794	97.7%	28	1.5%	1,837
県南	3	0.6%	462	98.7%	3	0.6%	468
相双	6	1.4%	425	97.9%	3	0.7%	434
いわき	8	0.8%	1,021	98.0%	13	1.2%	1,042
会津	6	0.8%	766	98.3%	7	0.9%	779
南会津	1	1.3%	75	98.7%	0	0.0%	76
県外	1	0.9%	108	98.2%	1	0.9%	110
合計	63	1.0%	6,231	98.0%	64	1.0%	6,358

【表 14-16】 蘇生の有無 単胎（一人）

新生児仮死「あり」63人のみ対象

地域	した		しなかった		わからない		無・無効回答		合計
県北	18	78.3%	2	8.7%	3	13.0%	0	0.0%	23
県中	11	73.3%	2	13.3%	2	13.3%	0	0.0%	15
県南	2	66.7%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	3
相双	4	66.7%	2	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	6
いわき	6	75.0%	1	12.5%	0	0.0%	1	12.5%	8
会津	5	83.3%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	6
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1
県外	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
合計	47	74.6%	7	11.1%	8	12.7%	1	1.6%	63

【表 14-17】 新生児仮死 双胎（ふたご第1子）

地域	あり	なし	無・無効回答	合計
県北	1	13	0	14
県中	0	11	0	11
県南	0	3	0	3
相双	0	5	0	5
いわき	0	8	0	8
会津	0	5	0	5
南会津	0	2	0	2
県外	0	1	0	1
合計	1	48	0	49

【表 14-18】 蘇生の有無 双胎（ふたご第1子）

新生児仮死「あり」1人のみ対象

地域	した	しなかった	わからない	合計
県北	1	0	0	1
県中	0	0	0	0
県南	0	0	0	0
相双	0	0	0	0
いわき	0	0	0	0
会津	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0
県外	0	0	0	0
合計	1	0	0	1

【表 14-19】 新生児仮死 双胎（ふたご第2子）

地域	あり	なし	無・無効回答	合計
県北	2	11	0	13
県中	0	11	0	11
県南	0	2	0	2
相双	0	5	0	5
いわき	0	7	0	7
会津	0	5	0	5
南会津	0	2	0	2
県外	0	1	0	1
合計	2	44	0	46

【表 14-20】 蘇生の有無 双胎（ふたご第2子）

新生児仮死「あり」2人のみ対象

地域	した	しなかった	わからない	合計
県北	2	0	0	2
県中	0	0	0	0
県南	0	0	0	0
相双	0	0	0	0
いわき	0	0	0	0
会津	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0
県外	0	0	0	0
合計	2	0	0	2

【表 14-21】 先天奇形・先天異常の有無 単胎（一人）

12週以降の分娩6,358人を対象とした（表13-1）

地域	あり		なし		無・無効回答		合計
県北	38	2.4%	1,559	96.7%	15	0.9%	1,612
県中	32	1.7%	1,786	97.2%	19	1.0%	1,837
県南	9	1.9%	453	96.8%	6	1.3%	468
相双	8	1.8%	424	97.7%	2	0.5%	434
いわき	33	3.2%	999	95.9%	10	1.0%	1,042
会津	26	3.3%	748	96.0%	5	0.6%	779
南会津	2	2.6%	73	96.1%	1	1.3%	76
県外	2	1.8%	107	97.3%	1	0.9%	110
合計	150	2.4%	6,149	96.7%	59	0.9%	6,358

【表 14-22】 先天奇形・先天異常の発症率 単胎（一人）

地域	先天奇形・異常の発症率 ¹⁾		有効回答
県北	38	2.38%	1,597
県中	32	1.76%	1,818
県南	9	1.95%	462
相双	8	1.85%	432
いわき	33	3.20%	1,032
会津	26	3.36%	774
南会津	2	2.67%	75
県外	2	1.83%	109
合計	150	2.38%	6,299

¹⁾発症率の分母は有効回答（単胎（一人）先天奇形・先天異常「あり」または「なし」いずれかに回答した者）

※平成23年度結果報告では、無効回答を含む合計数を分母としていたため本報告書の発症率とは異なる。

【表 14-23】 各疾患の発症率¹⁾

単胎（一人）先天奇形・先天異常「あり」150人を対象とした（複数回答あり）

地域	白内障	心臓奇形	腎臓・尿路奇形	二分脊椎	小頭症	水頭症	口唇・口蓋裂	消化管閉鎖 ²⁾	鎖肛	多指・合指症	その他
県北	0	6	5	1	0	1	1	0	2	7	18
県中	0	13	2	0	0	0	1	1	1	3	12
県南	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	4
相双	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	3
いわき	1	9	3	1	0	0	1	3	0	5	12
会津	0	4	9	1	0	0	4	1	0	1	8
南会津	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
県外	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	1	39	22	4	0	1	8	6	3	16	59
発症率	0.02%	0.62%	0.35%	0.06%	0.00%	0.02%	0.13%	0.10%	0.05%	0.25%	0.94%

¹⁾発症率の分母は有効回答（単胎（一人）先天奇形・先天異常「あり」または「なし」いずれかに回答した者6,299人）²⁾消化管（食道・十二指腸・空腸・回腸）閉鎖

【表 14-24】 単胎（一人）先天奇形・先天異常「あり」のうち「その他」の内訳（複数回答あり）

副耳	7	臍帯ヘルニア	2	先天性上気道閉鎖症	1	粘膜下口蓋裂	1
横隔膜ヘルニア	4	いちご状血管腫	1	先天性胆管拡張症	1	脳梁欠損	1
難聴	4	ピエール・ロバン症候群	1	先天性乳び胸	1	肺分画症	1
甲状腺機能低下症	3	外耳道閉鎖	1	単純性血管腫	1	鼻腔狭窄症	1
アミノ酸代謝異常症	2	眼皮皮膚白皮症	1	短指症	1	副腎過形成症	1
ダウン症候群	2	顔面神経麻痺	1	腸回転異常症	1	母指低形成	1
眼瞼下垂	2	喉頭軟化症	1	停留精巣	1	母斑	1
小耳症	2	絞扼輪症候群	1	停留睾丸	1	魔歯	1
色素失調症	2	耳の奇形	1	頭蓋骨早期癒合症	1	鰓弓症候群	1
先天性鼻涙管閉塞症	2	先天性脂肪酸代謝異常症	1	内反足	1		

【表 14-25】 先天奇形・先天異常の有無 双胎（ふたご）

12週以降の分娩95人を対象とした（表13-2）

地域	あり		なし		無・無効回答		合計
県北	2	7.4%	22	81.5%	3	11.1%	27
県中	2	9.1%	20	90.9%	0	0.0%	22
県南	0	0.0%	5	100.0%	0	0.0%	5
相双	0	0.0%	9	90.0%	1	10.0%	10
いわき	0	0.0%	15	100.0%	0	0.0%	15
会津	1	10.0%	9	90.0%	0	0.0%	10
南会津	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%	4
県外	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	2
合計	5	5.3%	84	88.4%	6	6.3%	95

【表 14-26】 先天奇形・先天異常の発生率 双胎（ふたご）

地域	先天奇形・異常の発生率 ¹⁾		有効回答
県北	2	8.33%	24
県中	2	9.09%	22
県南	0	0.00%	5
相双	0	0.00%	9
いわき	0	0.00%	15
会津	1	10.00%	10
南会津	0	0.00%	4
県外	0	0.00%	0
合計	5	5.62%	89

¹⁾発生率の分母は有効回答（「あり」「なし」を回答した人の合計数）。

※平成23年度調査報告書と比較する場合は、平成23年度は無効回答を含めて計算した数値を掲載しており、平成24年度以降と異なることに注意

【表 14-27】 各疾患の内訳

双胎（ふたご）先天奇形・異常「あり」5人を対象とした（複数回答あり）

地域	白内障	心臓奇形	腎・尿路奇形	二分脊椎	小頭症	水頭症	口唇口蓋裂	消化管閉鎖	鎖肛	多指・合指症	その他
県北	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
県中	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	1

【表 15】 育児に自信がもてないことがありますか (問 15)

出産の者 6,385 人のみを対象とした

地域	はい		いいえ		何ともいえない		無・無効回答		合計
県北	315	19.4%	530	32.6%	752	46.3%	27	1.7%	1,624
県中	329	17.9%	665	36.1%	823	44.7%	23	1.3%	1,840
県南	77	16.4%	185	39.4%	205	43.6%	3	0.6%	470
相双	66	15.1%	160	36.6%	204	46.7%	7	1.6%	437
いわき	167	16.0%	483	46.3%	385	36.9%	8	0.8%	1,043
会津	154	19.7%	304	38.8%	318	40.6%	7	0.9%	783
南会津	13	16.9%	18	23.4%	46	59.7%	0	0.0%	77
県外	36	32.4%	20	18.0%	55	49.5%	0	0.0%	111
合計	1,157	18.1%	2,365	37.0%	2,788	43.7%	75	1.2%	6,385

表 16-1～表 16-5 については、生後 60 日以下で 1 カ月健診を受診した者、6,309 人(単胎 6,214 人、ふたご 95 人、不明 0 人)を対象とした。

【表 16-1】 1 ヶ月健診平均受診時期

地域	該当数	受診時 平均生後日数
県北	1,606	34.5
県中	1,821	32.7
県南	456	32.8
相双	431	32.7
いわき	1,032	32.4
会津	774	32.5
南会津	79	32.5
県外	110	33.3
合計	6,309	33.1

表 16-2～表 16-5 については、性別が未回答の場合があるため、男児女児の合計は必ずしも全体の人数にはならない。また、全体の無・無効回答者数は一番右側に示した。(人数)は有効回答である。

【表 16-2】 体重 単胎 (一人)

(平均値 (g) ± 標準偏差 (人数))

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	4269.4 ± 576.5 (1,574)	4398.1 ± 587.5 (768)	4142.7 ± 535.7 (783)	5
県中	4185.7 ± 537.7 (1,789)	4286.7 ± 566.1 (882)	4080.8 ± 484.9 (871)	10
県南	4188.9 ± 552.0 (450)	4300.1 ± 555.6 (231)	4073.1 ± 524.3 (216)	1
相双	4155.7 ± 602.3 (420)	4306.7 ± 547.5 (212)	3994.0 ± 618.5 (205)	1
いわき	4139.8 ± 585.7 (1,015)	4246.2 ± 601.7 (531)	4019.9 ± 545.5 (477)	2
会津	4148.7 ± 591.6 (763)	4236.5 ± 597.8 (386)	4055.4 ± 577.1 (365)	1
南会津	4229.4 ± 530.4 (75)	4360.7 ± 543.3 (43)	4052.9 ± 464.3 (32)	0
県外	4269.6 ± 487.6 (108)	4377.3 ± 482.3 (53)	4165.8 ± 474.0 (55)	0
合計	4195.1 ± 568.9 (6,194)	4306.0 ± 580.5 (3,106)	4079.0 ± 533.5 (3,004)	20

【表 16-3】 体重 双胎 (ふたご)

(平均値 (g) ± 標準偏差 (人数))

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	3360.0 ± 885.7 (26)	3529.5 ± 991.3 (6)	3309.2 ± 872.8 (20)	1
県中	2764.3 ± 756.3 (22)	3154.7 ± 476.6 (9)	2494.1 ± 810.0 (13)	0
県南	3308.8 ± 810.1 (5)	(0)	3308.8 ± 810.1 (5)	0
相双	3033.7 ± 563.5 (10)	3132.6 ± 577.6 (8)	2638.0 ± 362.0 (2)	0
いわき	3152.9 ± 505.9 (15)	3067.6 ± 631.8 (7)	3074.3 ± 142.0 (6)	0
会津	3561.6 ± 576.2 (10)	4041.6 ± 372.7 (5)	3081.6 ± 179.3 (5)	0
南会津	3513.5 ± 638.0 (4)	3423.3 ± 749.5 (3)	3784.0 (1)	0
県外	1659.5 ± 78.5 (2)	(0)	1659.5 ± 78.5 (2)	0
合計	3141.9 ± 777.7 (94)	3331.1 ± 678.0 (38)	2988.6 ± 819.4 (54)	1

【表 16-4】身長 単胎（一人） (平均値 (cm) ± 標準偏差 (人数))

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	53.4 ± 2.6 (1,569)	53.8 ± 2.7 (768)	53.0 ± 2.5 (778)	10
県中	53.1 ± 2.7 (1,785)	53.3 ± 3.0 (880)	52.7 ± 2.5 (869)	14
県南	52.4 ± 2.7 (449)	52.8 ± 2.8 (231)	52.0 ± 2.6 (215)	2
相双	53.0 ± 2.8 (417)	53.4 ± 2.7 (210)	52.5 ± 2.9 (204)	4
いわき	52.9 ± 2.9 (1,011)	53.2 ± 3.0 (529)	52.5 ± 2.7 (475)	6
会津	53.1 ± 3.4 (759)	53.5 ± 3.3 (382)	52.7 ± 3.4 (365)	5
南会津	53.7 ± 2.5 (75)	54.5 ± 2.6 (43)	52.6 ± 2.1 (32)	0
県外	53.1 ± 2.5 (107)	53.3 ± 3.0 (53)	53.0 ± 1.8 (54)	1
合計	53.1 ± 2.8 (6,172)	53.4 ± 2.9 (3,096)	52.7 ± 2.7 (2,992)	42

【表 16-5】身長 双胎（ふたご） (平均値 (cm) ± 標準偏差 (人数))

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	50.3 ± 4.7 (26)	51.6 ± 4.3 (6)	49.9 ± 4.8 (20)	1
県中	47.3 ± 4.1 (22)	49.4 ± 2.4 (9)	45.8 ± 4.4 (13)	0
県南	48.5 ± 4.4 (5)	(0)	48.5 ± 4.4 (5)	0
相双	49.1 ± 2.3 (10)	49.5 ± 2.5 (8)	47.6 ± 0.1 (2)	0
いわき	49.6 ± 2.6 (15)	48.9 ± 3.2 (7)	49.6 ± 1.3 (6)	0
会津	50.2 ± 2.6 (10)	52.4 ± 1.6 (5)	48.0 ± 1.1 (5)	0
南会津	50.1 ± 2.9 (4)	49.8 ± 3.4 (3)	51.0 (1)	0
県外	40.9 ± 0.5 (2)	(0)	40.9 ± 0.5 (2)	0
合計	49.0 ± 4.0 (94)	50.1 ± 3.0 (38)	48.2 ± 4.4 (54)	1

【表 17-1】次回の妊娠・出産をお考えですか（問 17）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	849	52.1%	762	46.8%	17	1.0%	1,628
県中	993	53.5%	840	45.3%	23	1.2%	1,856
県南	232	49.2%	238	50.4%	2	0.4%	472
相双	219	49.8%	215	48.9%	6	1.4%	440
いわき	556	52.8%	485	46.1%	12	1.1%	1,053
会津	402	51.3%	374	47.7%	8	1.0%	784
南会津	40	51.3%	38	48.7%	0	0.0%	78
県外	75	67.6%	36	32.4%	0	0.0%	111
合計	3,366	52.4%	2,988	46.5%	68	1.1%	6,422

【表 17-2】次回の妊娠・出産に関することで、あったらよいと思うサービス (複数回答あり)

地域	保育所・延長保育・病児保育などの充実		育児や小児医療に関する情報やサービス		産休・育児休暇などの充実		放射線と健康リスクに関する情報		その他		有効回答
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	693	83.7%	511	61.7%	546	65.9%	169	20.4%	71	8.6%	828
県中	798	82.4%	639	66.0%	669	69.1%	211	21.8%	63	6.5%	968
県南	183	81.0%	152	67.3%	141	62.4%	51	22.6%	12	5.3%	226
相双	162	77.1%	154	73.3%	110	52.4%	47	22.4%	12	5.7%	210
いわき	409	76.7%	356	66.8%	345	64.7%	128	24.0%	36	6.8%	533
会津	273	72.8%	243	64.8%	252	67.2%	74	19.7%	28	7.5%	375
南会津	17	44.7%	27	71.1%	24	63.2%	4	10.5%	4	10.5%	38
県外	63	85.1%	50	67.6%	44	59.5%	9	12.2%	7	9.5%	74
合計	2,598	79.9%	2,132	65.6%	2,131	65.5%	693	21.3%	233	7.2%	3,252

※分母は有効回答（問 17 で「はい」と答えた者で「次回の妊娠・出産に関することで、あったらよいと思うサービス」に記載のあった者）。複数回答があるため、割合の合計は 100.0%にならない。

【表 17-3】 次回の妊娠を希望しない者の理由

(複数回答あり)

地域	希望していない		年齢や健康上の理由		今いる子どもに手がかかる		収入が不安定		家事・育児の協力者がいない		保育所などの預け先がない	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
県北	408	53.7%	292	38.4%	251	33.0%	178	23.4%	79	10.4%	112	14.7%
県中	398	47.7%	335	40.2%	282	33.8%	221	26.5%	102	12.2%	66	7.9%
県南	145	61.2%	79	33.3%	76	32.1%	49	20.7%	19	8.0%	19	8.0%
相双	115	54.2%	74	34.9%	82	38.7%	55	25.9%	23	10.8%	19	9.0%
いわき	242	50.1%	195	40.4%	165	34.2%	119	24.6%	46	9.5%	34	7.0%
会津	204	54.5%	144	38.5%	143	38.2%	93	24.9%	37	9.9%	15	4.0%
南会津	19	52.8%	12	33.3%	12	33.3%	13	36.1%	3	8.3%	1	2.8%
県外	21	58.3%	9	25.0%	15	41.7%	11	30.6%	7	19.4%	6	16.7%
合計	1,552	52.2%	1,140	38.4%	1,026	34.5%	739	24.9%	316	10.6%	272	9.2%

地域	家族と離れて生活しているため		放射線の影響が心配		避難生活をしているため		その他		有効回答
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	12	1.6%	3	0.4%	0	0.0%	32	4.2%	760
県中	20	2.4%	15	1.8%	0	0.0%	38	4.6%	834
県南	5	2.1%	2	0.8%	0	0.0%	11	4.6%	237
相双	6	2.8%	0	0.0%	2	0.9%	12	5.7%	212
いわき	12	2.5%	4	0.8%	0	0.0%	22	4.6%	483
会津	4	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	12	3.2%	374
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	13.9%	36
県外	4	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.8%	36
合計	63	2.1%	24	0.8%	2	0.1%	133	4.5%	2,972

※分母は有効回答（問 17 で「いいえ」と答えた者で「次回の妊娠を希望しない者の理由」の記載のあった者）。複数回答があるため、割合の合計は 100.0%にならない。

(3) 自由記載

有効回答 6,422 人中、調査票に自由記載があった 799 人の内容について集計した。

【表 18】自由記載内容の主な内訳（複数回答あり。記載内容の割合の分母は、自由記載ありの人数 799 人）

記載内容	件数	割合
育児相談 ¹⁾	276	34.5%
育児支援サービスの充実の要望について	218	27.3%
本人の精神的不調への訴え	121	15.1%
医療サービスの充実や体のケアに対する要望	105	13.1%
本人の身体的不調 ¹⁾	104	13.0%
検査・医療サービスの不足への不安や不満	79	9.9%
この調査への意見・苦情	76	9.5%
人間関係 ²⁾	55	6.9%
経済的支援の要望	44	5.5%
経済的な不安・負担に対するもの	43	5.4%
胎児・子どもへの放射線の影響について	38	4.8%
情報発信や調査結果の公表への要望について	38	4.8%
この調査への賛同	27	3.4%
除染・遊び場の確保への要望	24	3.0%
情報の信頼性・不足に対する不安や不満	11	1.4%
心のケアや相談窓口の充実の要望について	7	0.9%
水への放射線の影響についての心配	5	0.6%
甲状腺検査への要望について	5	0.6%
外出・外遊びでの放射線の心配	4	0.5%
今回妊娠の転帰との関連	3	0.4%
内部被ばく（ホールボディカウンタ等）検査の要望	3	0.4%
外部被ばく（ガラスバッジ配布、線量計配布等）に関すること	3	0.4%
検査健診全体への要望	3	0.4%
離乳食・食物への放射線の影響について	2	0.3%
県民健康調査への要望	2	0.3%
母乳・ミルクへの放射線の影響について	1	0.1%
その他	182	22.8%

¹⁾平成 23 年度調査ではみられなかった内容

²⁾平成 24 年度調査ではみられなかった内容

(4) 支援状況

平成 29 年 要支援者数 799 人 (回答 6,449 人) (要支援率 12.4%)

支援に関する集計は、平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 12 月 21 日の期間の回答者 (6,449 人) を対象に行った (対象外を含む)。

【表 19】 要支援者数

地域	回答者数	要支援者数	
県北	1,634	219	13.4%
県中	1,862	233	12.5%
県南	473	54	11.4%
相双	442	64	14.5%
いわき	1,054	112	10.6%
会津	788	89	11.3%
南会津	79	11	13.9%
県外	117	17	14.5%
合計	6,449	799	12.4%

※回答者数の割合の分母は送付数。要支援者数の割合の分母は回答者数。

【表 20】 地域別要支援者の内訳

地域	うつ項目による支援		自由記載内容による支援		合計
	数	割合	数	割合	
県北	127	58.0%	92	42.0%	219
県中	116	49.8%	117	50.2%	233
県南	33	61.1%	21	38.9%	54
相双	42	65.6%	22	34.4%	64
いわき	62	55.4%	50	44.6%	112
会津	53	59.6%	36	40.4%	89
南会津	9	81.8%	2	18.2%	11
県外	7	41.2%	10	58.8%	17
合計	449	56.2%	350	43.8%	799

【表 21】 地域別「主な相談内容」の内訳

地域	母親の心身の状態に関すること		子育て関連(生活)のこと		家庭生活に関すること		子どもの心身の健康に関すること		放射線の影響や心配に関すること		避難生活に関すること		その他		要支援者数
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
県北	131	59.8%	117	53.4%	38	17.4%	22	10.0%	13	5.9%	0	0.0%	56	25.6%	219
県中	127	54.5%	114	48.9%	38	16.3%	18	7.7%	11	4.7%	0	0.0%	65	27.9%	233
県南	27	50.0%	26	48.1%	5	9.3%	1	1.9%	1	1.9%	0	0.0%	20	37.0%	54
相双	33	51.6%	39	60.9%	14	21.9%	5	7.8%	2	3.1%	0	0.0%	20	31.3%	64
いわき	60	53.6%	55	49.1%	17	15.2%	14	12.5%	4	3.6%	0	0.0%	35	31.3%	112
会津	47	52.8%	47	52.8%	17	19.1%	8	9.0%	1	1.1%	0	0.0%	30	33.7%	89
南会津	9	81.8%	7	63.6%	2	18.2%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%	2	18.2%	11
県外	10	58.8%	9	52.9%	0	0.0%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	5	29.4%	17
総計	444	55.6%	414	51.8%	131	16.4%	69	8.6%	33	4.1%	0	0.0%	233	29.2%	799

※分母は要支援者数。複数回答があるため、割合の合計は 100.0%にならない。

【表 22】 支援終了の理由の内訳

地域	傾聴 ¹⁾		情報提供 ²⁾		受診先等あり ³⁾		Q&A 対応 ⁴⁾		受診勧奨 ⁵⁾		市町村へ ⁶⁾		こころへ ⁷⁾	
県北	163	74.4%	81	37.0%	60	27.4%	27	12.3%	21	9.6%	1	0.5%	1	0.5%
県中	168	72.1%	68	29.2%	61	26.2%	35	15.0%	29	12.4%	1	0.4%	0	0.0%
県南	33	61.1%	6	11.1%	8	14.8%	4	7.4%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
相双	46	71.9%	16	25.0%	16	25.0%	10	15.6%	5	7.8%	0	0.0%	1	1.6%
いわき	81	72.3%	32	28.6%	38	33.9%	17	15.2%	11	9.8%	0	0.0%	0	0.0%
会津	64	71.9%	23	25.8%	21	23.6%	18	20.2%	8	9.0%	2	2.2%	0	0.0%
南会津	9	81.8%	2	18.2%	5	45.5%	1	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
県外	13	76.5%	10	58.8%	3	17.6%	1	5.9%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%
総計	577	72.2%	238	29.8%	212	26.5%	113	14.1%	76	9.5%	4	0.5%	2	0.3%

地域	放射線へ ⁸⁾		専門医紹介 ⁹⁾		不在		連絡先不明		拒否		その他		要支援者数
県北	0	0.0%	0	0.0%	45	20.5%	4	1.8%	2	0.9%	1	0.5%	219
県中	0	0.0%	0	0.0%	53	22.7%	9	3.9%	0	0.0%	1	0.4%	233
県南	0	0.0%	0	0.0%	17	31.5%	2	3.7%	1	1.9%	0	0.0%	54
相双	0	0.0%	0	0.0%	13	20.3%	3	4.7%	0	0.0%	1	1.6%	64
いわき	0	0.0%	0	0.0%	28	25.0%	2	1.8%	1	0.9%	0	0.0%	112
会津	0	0.0%	0	0.0%	19	21.3%	5	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	89
南会津	0	0.0%	0	0.0%	2	18.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11
県外	0	0.0%	0	0.0%	4	23.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	17
総計	0	0.0%	0	0.0%	181	22.7%	25	3.1%	4	0.5%	3	0.4%	799

※分母は要支援者数。内訳は延べ数。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

¹⁾対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了。

²⁾対象者へ適切な情報提供・行政窓口を紹介し終了。

³⁾対象者に既に受診先や相談先があることを確認し終了。

⁴⁾対象者の疑問・質問に適切に回答し終了。

⁵⁾対象者に医師の診察を受けることを勧めて終了。

⁶⁾対象者の了承を得た上で、対象者の情報を市町村へ繋ぎ終了。

⁷⁾対象者の了承を得た上で、対象者の情報をこころの健康支援チーム（医大内）へ繋ぎ終了。

⁸⁾対象者の了承を得た上で、対象者の情報を放射線相談窓口（医大内）へ繋ぎ終了。

⁹⁾専門医（医大内）へ繋ぎ終了。

平成25年度「妊産婦に関する調査」回答者に対するフォローアップ調査結果報告

1 調査概要

(1) 目的

平成23年度以降、毎年異なる集団を対象とする横断調査「妊産婦に関する調査」を行っている。震災時に「妊産婦に関する調査」に回答した者は、特にうつ傾向の割合が高く、自由記載内容も深刻な内容を含んでいたため、平成23・24年度「妊産婦に関する調査」の回答者に対し、育児に自信がないと感じる母親が増加する時期である出産4年後にフォローアップ調査を行なった。その結果、うつ傾向と放射線の影響について不安を抱えている者が減少傾向であるが9割を占めたため、平成25年度「妊産婦に関する調査」の回答者に対してもフォローアップ調査を実施し、健康状態を把握し、支援が必要な者には電話支援を継続することを目的とした。

(2) 対象者

平成25年度の調査の回答者（流産、中絶、死産を除く）のうち、市町村への照会により母子ともに生存が確認された5,734人

[参考]	実施年度	対象者	対象者数
	平成27年度	平成23年度調査回答者	7,252人
	平成28年度	平成24年度調査回答者	5,602人
	平成29年度	平成25年度調査回答者	5,734人

(3) 実施方法

ア 調査票：自記式調査票（ハガキ）

イ 調査票送付日：平成30年1月12日

ウ 調査回答方法：郵送及びオンライン

※オンライン回答期間は、平成30年1月12日から平成30年4月30日

(4) 調査項目

調査項目は以下のとおり

問1 あなたはふだんご自分で健康だと思いますか？

問2 ここ最近1ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか？

問3 ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは、心から楽しめない感じがよくありましたか？

問4 育児に自信がもてないことがありますか？

問5 放射線の影響について不安なこと全ての□に✓を記入してください。

□水 □食品 □子どもの外遊び □子どもの健康 □偏見 □遺伝的な影響 □その他

問6 お子様はこれまでに入院を要した病気にかかったことがありますか？

問7 お子様のことで心配なこと全ての□に✓を記入してください。

□こころと身体の発達 □病気 □生活習慣 □その他

(5) 集計対象期間

平成30年1月12日から平成30年8月31日の回答

[参考]

実施年度	調査名	集計対象期間 (オンライン回答受付期間)
平成 27 年度	平成 23 年度調査回答者に対するフォローアップ調査 (以下「平成 23 年度フォローアップ調査」という。)	平成 27 年 9 月 14 日～平成 28 年 5 月 31 日 (オンライン回答は行っていない)
平成 28 年度	平成 24 年度調査回答者に対するフォローアップ調査 (以下「平成 24 年度フォローアップ調査」という。)	平成 28 年 11 月 22 日～平成 29 年 6 月 30 日 (平成 28 年 11 月 22 日～平成 29 年 6 月 30 日)
平成 29 年度	平成 25 年度調査回答者に対するフォローアップ調査 (以下「平成 25 年度フォローアップ調査」という。)	平成 30 年 1 月 12 日～8 月 31 日 (平成 30 年 1 月 12 日～4 月 30 日)

2 集計結果概要

集計結果は、『5 平成 25 年度フォローアップ調査結果集計(1)、(2)、(3)』のとおり。なお、各項目に欠損値があるため、合計は有効回答者数と一致しない場合がある。

(1) 回答数及び回答率について (参照：表 1)

平成 25 年度フォローアップ調査の回答者数 (回答率) は 2,706 人 (47.2%) であった。集計対象とした有効回答者数は 2,706 人であった (無効回答者数 0 人)。そのうち、オンライン回答者数 (回答率) は 644 人 (23.8%) であった。

[参考]

実施年度	調査名	回答者数 (人)			
		全体	回答方法の内訳		
		回答者数 (回答率)	郵送	オンライン	全回答のうち オンライン回答の 占める割合
平成 27 年度	平成 23 年度 フォローアップ調査	2,554 人 (35.2%)	2,554	-	-
平成 28 年度	平成 24 年度 フォローアップ調査	2,021 人 (36.1%)	1,719	302	14.9%
平成 29 年度	平成 25 年度 フォローアップ調査	2,706 人 (47.2%)	2,062	644	23.8%

(2) 地域別回答者数について (参照：表 1)

平成 25 年度フォローアップ調査の回答者数 (回答率) を地域別にみると、県北地域 770 人 (49.4%)、県中地域 716 人 (47.1%)、県南地域 204 人 (44.0%)、相双地域 192 人 (46.6%)、いわき地域 479 人 (46.0%)、会津地域 315 人 (46.9%)、南会津地域 30 人 (44.1%) であった。

[参考]

実施年度	調査名	地域別回答者数 (人) (地域別回答率：%)						
		県北	県中	県南	相双	いわき	会津	南会津
平成 27 年度	平成 23 年度 フォローアップ調査	679 (38.7)	721 (32.7)	168 (34.1)	256 (34.9)	434 (35.9)	271 (34.5)	25 (34.7)
平成 28 年度	平成 24 年度 フォローアップ調査	675 (45.3)	508 (32.2)	165 (36.4)	113 (30.5)	330 (32.5)	212 (33.4)	18 (29.0)
平成 29 年度	平成 25 年度 フォローアップ調査	770 (49.4)	716 (47.1)	204 (44.0)	192 (46.6)	479 (46.0)	315 (46.9)	30 (44.1)

(3) 母親のメンタルヘルスについて（参照：表 2～5）

ア 主観的健康感の悪い（「あまり健康ではない」または「健康ではない」と答えた母親の割合は 7.9%であった。4 年前の平成 25 年度調査では、3.7%であった。（問 1）

[参考]

	フォローアップ調査時	4 年前の調査時
平成 23 年度 対象者	9.6%	該当設問なし
平成 24 年度 対象者	9.3%	3.8%
平成 25 年度 対象者	7.9%	3.7%

イ うつ傾向ありと判定された母親の割合は 23.5%であった。4 年前の平成 25 年度調査では、24.5%であった。（問 2、問 3）

[参考]

調査名	フォローアップ調査時	4 年前の調査時
平成 23 年度 対象者	25.6%	27.1%
平成 24 年度 対象者	25.7%	25.5%
平成 25 年度 対象者	23.5%	24.5%

(4) 家庭と育児の状況について（参照：表 6）

育児の自信がもてないことがあると回答した割合は 16.7%であった。4 年前の平成 25 年度調査では、17.5%であった。（問 4）

[参考]

調査名	フォローアップ調査時	4 年前の調査時
平成 23 年度 対象者	15.8%	該当設問なし
平成 24 年度 対象者	18.2%	15.4%
平成 25 年度 対象者	16.7%	17.5%

参考値：平成 22 年乳幼児健康度調査によると、児が 4 歳の時に育児に自信がもてないことがあると回答した割合は 23.0%であった。

(5) 放射線の影響への不安について（参照：表 7）

放射線の影響への不安なことについて、項目にひとつでもチェックした人の割合は 87.5%であった。放射線の影響への不安にチェックをした人の中で、「子どもの健康」について不安があると回答した割合は 66.3%であった。（問 5）

[参考]

実施年度	調査名	放射線の影響への不安について、ひとつでもチェックした割合	放射線の影響への不安にチェックをした人の中で「子どもの健康」に不安があるにチェックした割合
平成 27 年度	平成 23 年度 フォローアップ調査	94.2%	79.5%
平成 28 年度	平成 24 年度 フォローアップ調査	90.9%	68.7%
平成 29 年度	平成 25 年度 フォローアップ調査	87.5%	66.3%

(6) 出産した子どもの健康状態・不安について（参照：表 8-1～8-2、表 9）

ア これまでに入院を要した病気にかかったことがある割合は 23.7%であった。

入院時の主な疾患は肺炎、RS ウイルス感染症、気管支炎などであった。（問 6）

[参考]

実施年度	調査名	これまでに入院を要した病気にかかったことがある割合
平成 27 年度	平成 23 年度 フォローアップ調査	24.7%
平成 28 年度	平成 24 年度 フォローアップ調査	24.4%
平成 29 年度	平成 25 年度 フォローアップ調査	23.7%

イ お子様のことで心配なことについて、ひとつでもチェックした割合は 61.2%であった。（問 7）

[参考]

実施年度	調査名	子どものことで心配について、ひとつでもチェックした割合	「こころと身体の発達」にチェックした人の割合	「病気」にチェックした人の割合
平成 27 年度	平成 23 年度 フォローアップ調査	70.8%	56.1%	57.6%
平成 28 年度	平成 24 年度 フォローアップ調査	66.9%	56.9%	45.5%
平成 29 年度	平成 25 年度 フォローアップ調査	61.2%	57.4%	40.4%

(7) 自由記載内容について（参照：表 10-1～10-2）

自由記載欄の記載者数（記載割合）は 208 人（7.7%）であった。記載内容を分類したところ、主な自由記載内容は、「この調査への賛同」、「この調査への意見・苦情」、「胎児・子どもへの放射線の影響の心配」であった。

[参考]

実施年度	調査名	自由記載の記載者数 (記載割合)	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
平成 27 年度	平成 23 年度 フォローアップ調査	383 人 (15.0%)	胎児・子どもへの放射線の影響の心配 53(13.8%)	この調査への賛同 47(12.3%)	この調査への意見・苦情 44(11.5%)	放射線についての情報発信や調査結果の公表の要望 37(9.7%)	甲状腺検査への要望 23(6.0%)
平成 28 年度	平成 24 年度 フォローアップ調査	186 人 (9.2%)	この調査への賛同 33(17.7%)	この調査への意見・苦情 24(12.9%)	胎児・子どもへの放射線の影響の心配 23(12.4%)	育児相談 17(9.1%)	育児支援サービスの充実の要望 14(7.5%)
平成 29 年度	平成 25 年度 フォローアップ調査	208 人 (7.7%)	この調査への賛同 36(17.3%)	この調査への意見・苦情 25(12.0%)	胎児・子どもへの放射線の影響の心配 24(11.5%)	本人の精神的不調の訴え 16(7.7%)	育児支援サービスの充実の要望 15(7.5%)

(8) まとめ

- ア 回答率は47.2%であり、これまでのフォローアップ調査より上回った。
- イ 主観的健康度の悪い者（あまり健康ではない、健康ではない）の割合は7.9%であり、平成23・24年度フォローアップ調査より下回った。
- ウ うつ傾向は23.5%であり、平成23・24年度フォローアップ調査、4年前の平成25年度調査より下回った。
- エ 放射線の影響への不安について、ひとつでもチェックした割合は87.5%であり、これまでのフォローアップ調査より下回った。
- オ お子様のことで心配なことについて回答した割合は61.2%であり、これまでのフォローアップ調査より下回った。心配の内容としては、「こころと身体の発達」の割合が最も高かった（57.4%）。
- カ 自由記載ありの割合は7.7%であり、これまでのフォローアップ調査より減少した。

平成25年度フォローアップ調査の回答者は平成23・24年度フォローアップ調査の回答者と比べて、主観的健康度が悪い、うつ傾向、放射線の影響への不安の割合が減少していた。

3 支援概要

(1) 支援目的

平成25年度フォローアップ調査の回答者のうち、相談・支援の必要があると判断された者に、助産師・保健師等による電話・メールによる相談・支援を実施することにより不安等を軽減させること。

(2) 要支援対象者（参照：表11）

平成25年度フォローアップ調査回答者（平成30年1月12日から平成30年8月31日の期間内に回答があった者）のうち、電話による相談・支援が必要だと判断された者（以下「要支援者」という。）

(3) 支援選定基準（参照：表12）

下記のア、イいずれかに該当する者

ア 調査票のうつ2項目に該当のある者（問2、問3）

イ 自由記載内容により支援が必要と判断された者（自由記載欄、その他の項目の記載内容）

例：落ち込みの激しい書き込みがあった者、育児支援を必要としている者、放射線の数値について気にしている者、体調不良を訴えている者、直接的要望・具体的に回答を希望している者、支援要望のあった者など

(4) 方法

電話やメールによる相談・支援

4 支援結果概要

支援結果は、『5 平成25年度フォローアップ調査結果集計（4）支援状況』のとおりである。

(1) 要支援者数について（参照：表11、表12）

平成30年1月12日から平成30年8月31日の期間内の回答者2,706人のうち、電話による相談・支援が必要だと判断された者（要支援者）は393人であった。

自由記載内容による支援については、平成29年度から、自由記載欄以外にその他の項目の記載内容に具体的な心配の内容を記載している者も支援対象へ加えた。その結果、うつ項目に

よる要支援率は10.2%、自由記載内容による要支援率は4.3%であり、合計要支援率は14.5%となった。

[参考]

実施年度	調査名	回答者数	うつ項目による 要支援者数 (要支援率)	自由記載内容による 要支援者数 (要支援率)		合計要支援者数 (要支援率)
				自由記載欄 内容	その他の項目 の 記載内容	
平成 27 年度	平成23年度 フォローアップ調査	2,554	299 (11.7%)	76 (3.0%)	-	375 (14.7%)
平成 28 年度	平成24年度 フォローアップ調査	2,021	209 (10.3%)	47 (2.3%)	-	256 (12.7%)
平成 29 年度	平成25年度 フォローアップ調査	2,706	277 (10.2%)	51 (1.9%)	65 (2.4%)	393 (14.5%)

(2) 相談内容について (参照：表13)

電話での相談内容は、これまでのフォローアップ調査と同様の支援基準によると「母親の心身の状態に関すること」36.0%が最も多く、次いで、「子育て関連（生活）のこと」27.7%であった。

「放射線の影響や心配に関すること」の相談割合は13.1%であり、前年度と同様の割合であった。

[参考]

実施年度	調査名	件(%)					要支援者数
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
平成 27 年度	平成23年度 フォローアップ調査 (うつ項目と自由記載欄)	母親の心身の 状態 に関すること 129(34.4%)	放射線の影響や 心配 に関すること 96(25.6%)	子育て関連 (生活)のこと 81(21.6%)	子どもの心身の 健康 に関すること 68(18.1%)	家庭生活 に関すること 52(13.9%)	375
平成 28 年度	平成24年度 フォローアップ調査 (うつ項目と自由記載欄)	母親の心身の 状態 に関すること 115(44.9%)	子育て関連 (生活)のこと 59(23.0%)	子どもの心身の 健康 に関すること 58(22.7%)	放射線の影響や 心配 に関すること 34(13.3%)	家庭生活 に関すること 27(10.5%)	256
平成 29 年度 ※1	平成25年度 フォローアップ調査 (うつ項目と自由記載欄)	母親の心身の 状態 に関すること 118(36.0%)	子育て関連 (生活)のこと 91(27.7%)	家庭生活 に関すること 48(14.6%)	放射線の影響や 心配 に関すること 43(13.1%)	子どもの心身の 健康 に関すること 32(9.8%)	328
	※2(その他の項目の 記載内容による支 援)	子育て関連 (生活)のこと 30(46.2%)	放射線の影響や 心配 に関すること 17(26.2%)	子どもの心身の 健康 に関すること 6(9.2%)	母親の心身の 状態 に関すること 4(6.2%)	家庭生活 に関すること 2(3.1%)	65

※1 平成25年度フォローアップ調査から支援基準や入力方法（入力フォームや入力者）に変更あり

※2 平成25年度フォローアップ調査で追加

(3) 支援終了の理由について（参照：表 14）

支援終了の理由は、「傾聴（対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了）」245 件（62.3%）、「情報提供・行政窓口を紹介し終了」133 件（33.8%）であった。不在は119 件（30.3%）であった（複数回答あり。割合の分母は要支援者数）。

[参考]

件(%)

実施年度	調査名	第1位	第2位	第3位	不在
平成27年度	平成23年度 フォローアップ調査	傾聴* ₁ 197(52.5%)	情報提供* ₂ 105(28.0%)	受診先等あり* ₃ 29(7.7%)	131 (34.9%)
平成28年度	平成24年度 フォローアップ調査	傾聴 159(62.1%)	情報提供 53(20.7%)	受診先等あり 26(10.2%)	70 (27.3%)
平成29年度	平成25年度 フォローアップ調査	傾聴 245(62.3%)	情報提供 133(33.8%)	受診先等あり 66(16.8%)	119 (30.3%)

*₁ 対象者の話をよく聴き、問題を整理し支援終了、*₂ 適切な情報提供・行政窓口を紹介し支援終了、

*₃ 既に受診先や相談先があることを確認し終了

(4) まとめ

ア うつ項目による要支援率は10.2%であり、前年度のフォローアップ調査と同様であった

イ 相談内容では、これまでのフォローアップ調査と同様の支援基準によると、「母親の心身の状態に関すること」が最も多かった。また、「放射線の影響や心配に関すること」の相談は4番目だった。

ウ 支援終了の理由は主に「傾聴（対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了）」であった。また、不在の割合は30.3%であり、4年前の平成25年度調査より多かった。

5 平成 25 年度フォローアップ調査結果集計

調査対象者：平成 25 年度妊産婦調査回答者の中で、出産された者のうち、平成 29 年 5 月に母子の生存が確認された 5,734 人

集計対象者：平成 30 年 1 月 12 日にアンケート送付。平成 30 年 1 月 12 日～平成 30 年 8 月 31 日までに回答のあった 2,706 人

※割合 (%) は、端数処理を行っているため、各項目の%の合計は 100%とならないこともある。

(1) 送付数と回答状況

【表 1】

地域	送付数		回答者数					
			全体 (回答率)	回答方法の内訳				
				郵送		オンライン		
県北	1,558	27.2%	770 (49.4%)	585	76.0%	185	24.0%	
県中	1,520	26.5%	716 (47.1%)	535	74.7%	181	25.3%	
県南	464	8.1%	204 (44.0%)	162	79.4%	42	20.6%	
相双	412	7.2%	192 (46.6%)	154	80.2%	38	19.8%	
いわき	1,041	18.2%	479 (46.0%)	355	74.1%	124	25.9%	
会津	671	11.7%	315 (46.9%)	246	78.1%	69	21.9%	
南会津	68	1.2%	30 (44.1%)	25	83.3%	5	16.7%	
合計	5,734	100.0%	2,706 (47.2%)	2,062	76.2%	644	23.8%	

(2) 調査項目別集計

回答者 2,706 人について集計した (無効回答 0 人)。なお、各項目には、それぞれ無回答・無効回答がある。

【表 2】あなたはふだんご自分で健康だと思いますか？ (問 1)

主観的健康度の悪い (「あまり健康ではない」または「健康ではない」と答えた) 者の割合 7.9%

地域	非常に健康		まあ健康な者		あまり健康ではない		健康ではない		無・無効回答		合計
県北	134	17.4%	578	75.1%	51	6.6%	6	0.8%	1	0.1%	770
県中	142	19.8%	513	71.6%	54	7.5%	5	0.7%	2	0.3%	716
県南	29	14.2%	152	74.5%	20	9.8%	3	1.5%	0	0.0%	204
相双	40	20.8%	137	71.4%	11	5.7%	3	1.6%	1	0.5%	192
いわき	107	22.3%	335	69.9%	33	6.9%	4	0.8%	0	0.0%	479
会津	57	18.1%	239	75.9%	18	5.7%	1	0.3%	0	0.0%	315
南会津	3	10.0%	23	76.7%	4	13.3%	0	0.0%	0	0.0%	30
合計	512	18.9%	1,977	73.1%	191	7.1%	22	0.8%	4	0.1%	2,706

【表 3】ここ最近 1 ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか？ (問 2)

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	172	22.3%	588	76.4%	10	1.3%	770
県中	153	21.4%	555	77.5%	8	1.1%	716
県南	37	18.1%	164	80.4%	3	1.5%	204
相双	41	21.4%	149	77.6%	2	1.0%	192
いわき	96	20.0%	381	79.5%	2	0.4%	479
会津	66	21.0%	246	78.1%	3	1.0%	315
南会津	8	26.7%	22	73.3%	0	0.0%	30
合計	573	21.2%	2,105	77.8%	28	1.0%	2,706

【表4】ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？(問3)

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	97	12.6%	663	86.1%	10	1.3%	770
県中	89	12.4%	619	86.5%	8	1.1%	716
県南	29	14.2%	172	84.3%	3	1.5%	204
相双	29	15.1%	161	83.9%	2	1.0%	192
いわき	54	11.3%	423	88.3%	2	0.4%	479
会津	36	11.4%	276	87.6%	3	1.0%	315
南会津	6	20.0%	24	80.0%	0	0.0%	30
合計	340	12.6%	2,338	86.4%	28	1.0%	2,706

【表5】うつ傾向 (②、③の両設問で「はい」またはいずれかに「はい」と答えた者)

地域	両方「はい」		いずれかが「はい」		両方「いいえ」		無・無効回答		合計
県北	81	10.5%	107	13.9%	572	74.3%	10	1.3%	770
県中	72	10.1%	98	13.7%	538	75.1%	8	1.1%	716
県南	20	9.8%	26	12.7%	155	76.0%	3	1.5%	204
相双	23	12.0%	24	12.5%	143	74.5%	2	1.0%	192
いわき	45	9.4%	60	12.5%	372	77.7%	2	0.4%	479
会津	30	9.5%	42	13.3%	240	76.2%	3	1.0%	315
南会津	6	20.0%	2	6.7%	22	73.3%	0	0.0%	30
合計	277	10.2%	359	13.3%	2,042	75.5%	28	1.0%	2,706

※うつ傾向 23.5% [636人(両方「はい」+いずれかが「はい」) / 合計 2,706人]

【表6】育児に自信がもてないことがありますか？(問4)

地域	はい		いいえ		何ともいえない		無・無効回答		合計
県北	139	18.1%	291	37.8%	334	43.4%	6	0.8%	770
県中	127	17.7%	304	42.5%	282	39.4%	3	0.4%	716
県南	38	18.6%	86	42.2%	79	38.7%	1	0.5%	204
相双	34	17.7%	84	43.8%	73	38.0%	1	0.5%	192
いわき	66	13.8%	237	49.5%	176	36.7%	0	0.0%	479
会津	39	12.4%	142	45.1%	130	41.3%	4	1.3%	315
南会津	8	26.7%	10	33.3%	12	40.0%	0	0.0%	30
合計	451	16.7%	1,154	42.6%	1,086	40.1%	15	0.6%	2,706

【表7】放射線の影響について不安なこと全ての□に✓を記入してください。(問5)

地域	子どもの健康		偏見		食品		遺伝的な影響		水		子どもの外遊び		その他		有効回答
県北	446	67.2%	303	45.6%	223	33.6%	240	36.1%	182	27.4%	192	28.9%	7	1.1%	664
県中	442	69.1%	301	47.0%	228	35.6%	240	37.5%	200	31.3%	206	32.2%	7	1.1%	640
県南	133	72.3%	85	46.2%	79	42.9%	61	33.2%	72	39.1%	56	30.4%	2	1.1%	184
相双	89	53.9%	84	50.9%	58	35.2%	51	30.9%	54	32.7%	33	20.0%	2	1.2%	165
いわき	266	63.8%	168	40.3%	190	45.6%	126	30.2%	172	41.2%	117	28.1%	6	1.4%	417
会津	174	64.2%	119	43.9%	111	41.0%	79	29.2%	77	28.4%	67	24.7%	1	0.4%	271
南会津	19	73.1%	11	42.3%	12	46.2%	9	34.6%	6	23.1%	11	42.3%	0	0.0%	26
合計	1,569	66.3%	1,071	45.2%	901	38.1%	806	34.1%	763	32.2%	682	28.8%	25	1.1%	2,367

※分母は有効回答(□に✓を記入した者)。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

以下の⑥、⑦は、平成24年8月1日～平成26年4月9日に生まれたお子様についてお尋ねいたします。

【表8-1】お子様はこれまでに入院を要した病気にかかったことがありますか？(問6)

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	191	24.8%	570	74.0%	9	1.2%	770
県中	178	24.9%	518	72.3%	20	2.8%	716
県南	55	27.0%	146	71.6%	3	1.5%	204
相双	40	20.8%	146	76.0%	6	3.1%	192
いわき	92	19.2%	381	79.5%	6	1.3%	479
会津	72	22.9%	235	74.6%	8	2.5%	315
南会津	13	43.3%	17	56.7%	0	0.0%	30
合計	641	23.7%	2,013	74.4%	52	1.9%	2,706

【表8-2】⑥の設問(お子様はこれまでに入院を要した病気にかかったことがありますか?)に「はい」と答えた者の病名の内訳(複数回答あり)

肺炎	144	耳瘻孔	3	リンパ腫瘍	1	水頭症	1
RSウイルス感染症	100	EBウイルス感染症	2	ロタウイルス胃腸炎	1	髄膜炎	1
気管支炎	62	ウイルス性胃腸炎	2	意識障害	1	正中頸嚢胞	1
熱性けいれん	41	かぜ症候群	2	胃食道逆流症	1	精巣腫瘍	1
川崎病	38	てんかん	2	陰嚢水腫	1	精巣捻転	1
喘息	28	ヒトメタニューモウイルス感染症	2	下咽頭梨状眼窩瘻	1	舌小帯短縮症	1
胃腸炎	23	ヒトメタニューモウイルス肺炎	2	化膿性リンパ節炎	1	先天性間葉芽腎腫	1
ロタウイルス感染症	20	ヒルシユスプルング病	2	化膿性扁桃炎	1	先天性難聴	1
RSウイルス肺炎	16	移動性精巣	2	仮性クループ	1	先天性乳び胸	1
気管支喘息	12	黄疸	2	過呼吸	1	早産	1
鼠径ヘルニア	11	手足口病	2	回腸末端炎	1	総肺静脈環流異常症	1
アデノウイルス感染症	11	上気道炎	2	角化嚢胞性歯原性腫瘍	1	多合指症	1
気管支肺炎	11	先天性心疾患	2	肝炎	1	多合趾症	1
突発性発疹	9	低血糖	2	眼瞼内反症	1	多指症	1
RSウイルス気管支炎	8	停留睾丸	2	気管支喘息重積発作	1	多趾症	1
ノロウイルス感染症	8	動脈管開存症	2	亀頭包皮炎	1	大腸ポリープ	1
マイコプラズマ肺炎	8	特発性血小板減少性紫斑病	2	急性胃粘膜炎	1	大動脈縮窄複合	1
咽頭炎	8	尿道下裂	2	急性脳症	1	低ナトリウム血症	1
インフルエンザ	7	無呼吸症候群	2	急性膀胱炎	1	低体温	1
クループ症候群	7	卵黄嚢腫瘍	2	胸膜胚芽腫	1	鉄欠乏性貧血	1
けいれん	7	膀胱尿管逆流症	2	菌血症	1	頭部骨折	1
中耳炎	7	臍ヘルニア	2	劇症肝炎	1	頭瘤	1
クループ	5	喘息性気管支炎	2	血管腫	1	内反足	1
尿路感染症	5	I型糖尿病	1	血管性紫斑病	1	難治性下痢症	1
溶連菌感染症	5	b型インフルエンザ菌	1	呼吸性アシドーシス	1	二分脊椎症	1
扁桃肥大	5	Hofa病	1	誤嚥性肺炎	1	乳児血管腫	1
RSウイルス細気管支炎	4	RSウイルス気管支肺炎	1	口腔内腫瘍	1	肺高血圧症	1
マイコプラズマ感染症	4	アレルギー	1	口唇口蓋裂	1	発達障害	1
心房中隔欠損症	4	アレルギー性紫斑病	1	口唇裂	1	百日咳	1
脱水	4	イレウス	1	鎖肛	1	不整脈	1
腸閉塞	4	インフルエンザ菌肺炎	1	三心房心	1	蜂巣炎	1
停留精巣	4	ウイルス性腸炎	1	斜視	1	麻痺性腸閉塞	1
複雑型熱性けいれん	4	けいれん重積発作	1	若年性ポリープ	1	埋没陰茎	1
アナフィラキシーショック	4	サイトメガロウイルス感染症	1	若年性骨髄単球性白血病	1	喘息発作	1
扁桃炎	4	ダウン症	1	消化管アレルギー	1	嵌頓	1
アデノイド	3	パレコウイルス感染症	1	症候性低血糖	1	扁桃切除	1
感染性胃腸炎	3	ヘルニア	1	色素失調症	1	膀胱炎	1
腸重積	3	ヘルパンギーナ	1	食物アレルギー	1	膀胱血管腫	1
低体重児	3	ミルクアレルギー	1	新生児黄疸	1	頸部リンパ節炎	1
喉頭炎	3	ムンプス	1	神経芽腫瘍	1		
細気管支炎	3	メタコンドロマトーシス	1	腎盂腎炎	1		

【表9】 お子様のことで心配なこと全ての口に✓を記入してください。(問7)

地域	ところと身体の発達		生活習慣		病気		その他		有効回答
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
県北	296	59.7%	233	47.0%	175	35.3%	28	5.6%	496
県中	266	57.6%	222	48.1%	194	42.0%	15	3.2%	462
県南	76	61.3%	56	45.2%	48	38.7%	5	4.0%	124
相双	54	48.6%	55	49.5%	45	40.5%	2	1.8%	111
いわき	146	55.5%	102	38.8%	117	44.5%	13	4.9%	263
会津	96	54.5%	86	48.9%	82	46.6%	7	4.0%	176
南会津	16	69.6%	14	60.9%	8	34.8%	0	0.0%	23
合計	950	57.4%	768	46.4%	669	40.4%	70	4.2%	1,655

※分母は有効回答（口に✓を記入した者）。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

(3) 自由記載

【表10-1】 自由記載ありの割合

地域	あり		なし		合計
	数	割合	数	割合	
県北	71	9.2%	699	90.8%	770
県中	59	8.2%	657	91.8%	716
県南	12	5.9%	192	94.1%	204
相双	12	6.3%	180	93.8%	192
いわき	36	7.5%	443	92.5%	479
会津	16	5.1%	299	94.9%	315
南会津	2	6.7%	28	93.3%	30
合計	208	7.7%	2,498	92.3%	2,706

【表10-2】 自由記載内容の内訳

記載内容	件数	割合
この調査への賛同	36	17.3%
この調査への意見・苦情	25	12.0%
胎児・子どもへの放射線の影響についての心配	24	11.5%
本人の精神的不調への訴え	16	7.7%
育児支援サービスの充実の要望について	15	7.2%
育児相談	15	7.2%
医療サービスの不足への不安や不満	10	4.8%
情報発信や調査結果の公表への要望について	9	4.3%
除染・遊び場の確保への要望	8	3.8%
甲状腺検査への要望について	7	3.4%
本人の身体的不調の訴え	5	2.4%
医療サービスの充実や体のケアに対する要望	5	2.4%
離乳食・食物への放射線の影響についての心配	4	1.9%
情報の信頼性・不足に対する不安や不満	4	1.9%
経済的支援の要望	4	1.9%
経済的な不安・負担に対するもの	3	1.4%
外部被ばく	2	1.0%
水への放射線の影響についての心配	1	0.5%
外出・外遊びでの放射線の心配	1	0.5%
今回妊娠の転帰との関連の心配	1	0.5%
次回妊娠への影響	1	0.5%
県民健康調査への要望	1	0.5%
母乳検査への要望	1	0.5%
その他の検査調査関係	1	0.5%
避難の支援	1	0.5%
心のケア	1	0.5%
人間関係	1	0.5%
その他	81	38.9%

(4) 支援状況

平成 25 年フォローアップ調査 要支援者数 393 人 (回答 2,706 人) (要支援率 14.5%)

支援に対しての集計は、平成 30 年 1 月 12 日～平成 30 年 8 月 31 日の回答者(2,706 人)を対象に行った。

【表 11】 要支援者数

地域	回答者数	要支援者数	
県北	770	123	16.0%
県中	716	104	14.5%
県南	204	28	13.7%
相双	192	28	14.6%
いわき	479	66	13.8%
会津	315	36	11.4%
南会津	30	8	26.7%
合計	2,706	393	14.5%

※回答者数の割合の分母は送付数。要支援者数の割合の分母は回答者数。

【表 12】 地域別要支援者の内訳

地域	うつ項目による支援		自由記載内容による支援		合計
県北	81	65.9%	42	34.1%	123
県中	72	69.2%	32	30.8%	104
県南	20	71.4%	8	28.6%	28
相双	23	82.1%	5	17.9%	28
いわき	45	68.2%	21	31.8%	66
会津	30	83.3%	6	16.7%	36
南会津	6	75.0%	2	25.0%	8
合計	277	70.5%	116	29.5%	393

※割合 (%) は、端数処理を行っているため、各項目の%の合計は 100%とならないこともある。

【表 13】 地域別「主な相談内容」の内訳

地域	母親の心身の状態 に関する事		子育て関連 (生活) の事		放射線の影響や 心配に関する事		家庭生活 に関する事		子どもの心身の健康 に関する事		避難生活 に関する事		その他		要支援者数
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
県北	36	29.3%	38	30.9%	25	20.3%	20	16.3%	14	11.4%	0	0.0%	47	38.2%	123
県中	30	28.8%	31	29.8%	16	15.4%	14	13.5%	11	10.6%	0	0.0%	47	45.2%	104
県南	13	46.4%	10	35.7%	4	14.3%	3	10.7%	2	7.1%	0	0.0%	12	42.9%	28
相双	10	35.7%	9	32.1%	5	17.9%	4	14.3%	4	14.3%	2	7.1%	11	39.3%	28
いわき	19	28.8%	21	31.8%	8	12.1%	5	7.6%	4	6.1%	0	0.0%	30	45.5%	66
会津	10	27.8%	10	27.8%	2	5.6%	2	5.6%	3	8.3%	0	0.0%	16	44.4%	36
南会津	4	50.0%	2	25.0%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	37.5%	8
合計	122	31.0%	121	30.8%	60	15.3%	50	12.7%	38	9.7%	2	0.5%	166	42.2%	393

※分母は要支援者数。複数回答があるため、割合の合計は 100.0%にならない。

【表 14】 支援終了の理由の内訳

	傾聴 ¹⁾		情報提供 ²⁾		受診先等あり ³⁾		Q&A 対応 ⁴⁾		受診勧奨 ⁵⁾		市町村へ ⁶⁾		ころへ ⁷⁾	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
県北	82	66.7%	46	37.4%	15	12.2%	16	13.0%	5	4.1%	2	1.6%	0	0.0%
県中	61	58.7%	33	31.7%	20	19.2%	7	6.7%	3	2.9%	0	0.0%	0	0.0%
県南	16	57.1%	9	32.1%	1	3.6%	4	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
相双	18	64.3%	11	39.3%	7	25.0%	2	7.1%	3	10.7%	0	0.0%	0	0.0%
いわき	41	62.1%	19	28.8%	12	18.2%	4	6.1%	3	4.5%	0	0.0%	1	1.5%
会津	21	58.3%	12	33.3%	8	22.2%	1	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
南会津	6	75.0%	3	37.5%	3	37.5%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%
合計	245	62.3%	133	33.8%	66	16.8%	34	8.7%	15	3.8%	2	0.5%	1	0.3%

	放射線へ ⁸⁾		専門医紹介 ⁹⁾		不在		連絡先不明		拒否		その他		要支援者数
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
県北	0	0.0%	0	0.0%	32	26.0%	6	4.9%	0	0.0%	1	0.8%	123
県中	0	0.0%	0	0.0%	34	32.7%	7	6.7%	1	1.0%	0	0.0%	104
県南	0	0.0%	0	0.0%	10	35.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.1%	28
相双	0	0.0%	0	0.0%	8	28.6%	2	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	28
いわき	0	0.0%	0	0.0%	20	30.3%	4	6.1%	0	0.0%	1	1.5%	66
会津	0	0.0%	0	0.0%	14	38.9%	1	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	36
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	8
合計	0	0.0%	0	0.0%	119	30.3%	21	5.3%	1	0.3%	4	1.0%	393

※分母は要支援者数。内訳は延べ数。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

1) 対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了。

2) 対象者へ適切な情報提供・行政窓口を紹介し終了。

3) 対象者に既に受診先や相談先があることを確認し終了。

4) 対象者の疑問・質問に適切に回答し終了。

5) 対象者に医師の診察を受けることを勧めて終了。

6) 対象者の了承を得た上で、市町村へ繋ぎ終了。

7) 対象者の了承を得た上で、対象者の情報をころの健康支援チーム（医大内）へ繋ぎ終了。

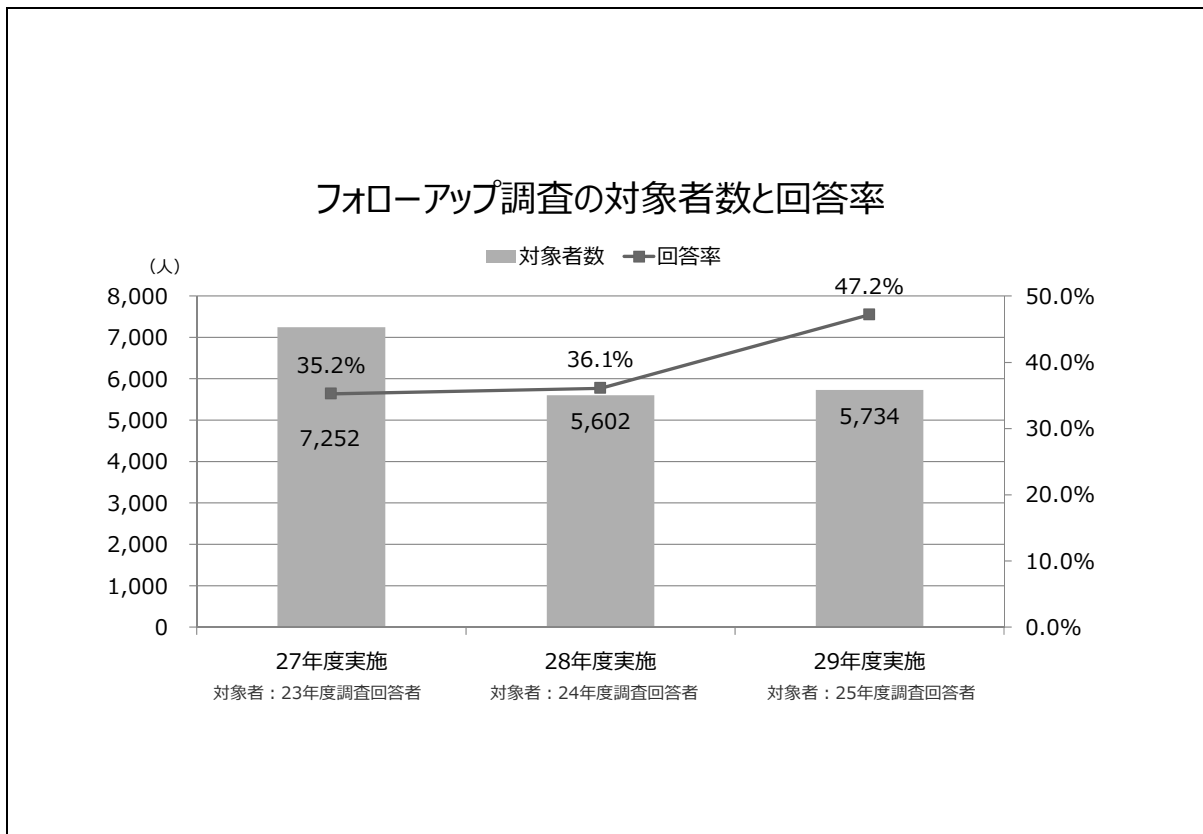
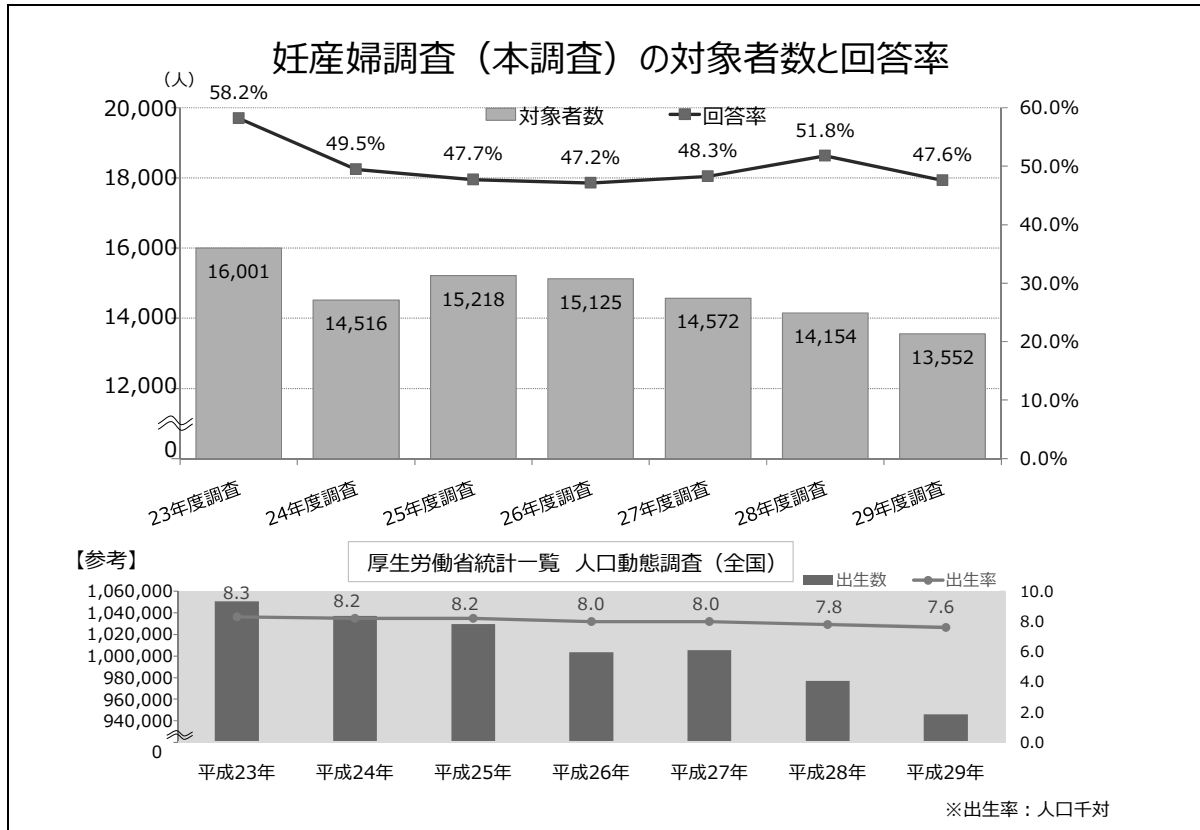
8) 対象者の了承を得た上で、対象者の情報を放射線相談窓口（医大内）へ繋ぎ終了。

9) 専門医（医大内）へ繋ぎ終了。

県民健康調査「妊産婦に関する調査」
平成29年度（本調査・フォローアップ調査）ポイントまとめ

- 1 調査状況
- 2 支援状況
- 3 うつ傾向と主な相談内容

1 調査状況



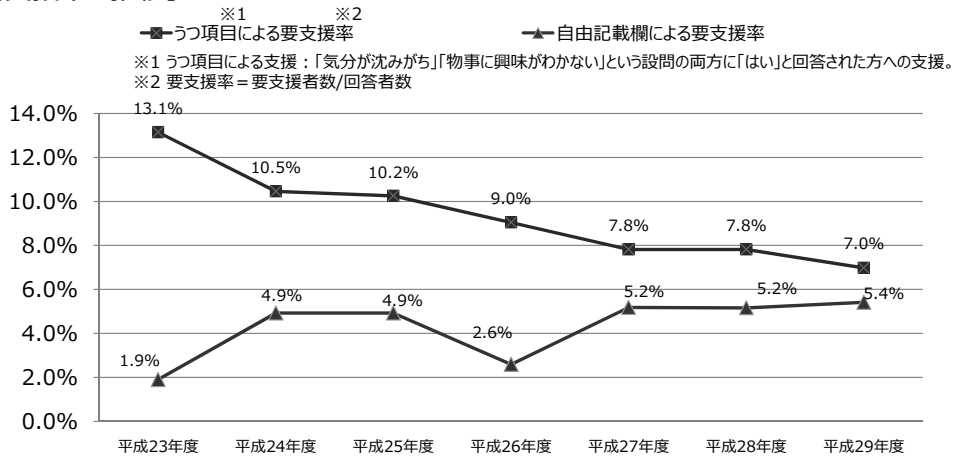
2 支援状況

支援実績と内容

調査票の回答者のうち、記載内容から相談・支援が必要と判断された者に、専任の助産師・保健師等による電話やメールによる相談・支援を行っている。

(本調査)

【要支援率の推移】



要支援者数	うつつ項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	自由記載欄	1,224人	751人	744人	645人	549人	573人	449人
回答者数		9,316人	7,181人	7,260人	7,132人	7,031人	7,326人	6,449人

平成24年度以降、より多くの方を支援できるよう自由記載内容による支援対象を広げている。

(本調査)

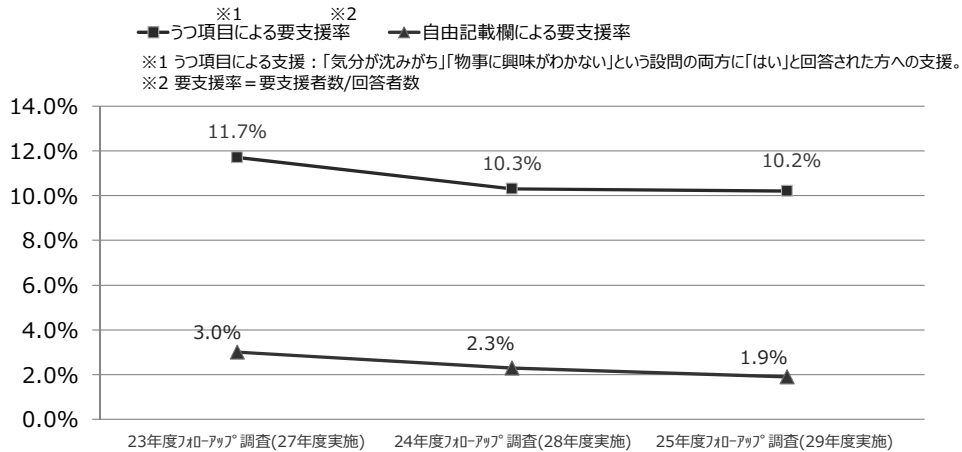
【電話による主な相談内容】

震災直後は、放射線の影響についての心配が最も多く、平成24年度以降は母親のこころや身体の健康についての相談が多い。(一人につき複数相談あり)

	23年度調査	24年度調査	25年度調査	26年度調査	27年度調査	28年度調査	29年度調査
第1位	放射線の影響や心配に関すること 29.2%	母親の心身の状態に関すること 33.4%	母親の心身の状態に関すること 42.5%	母親の心身の状態に関すること 49.5%	母親の心身の状態に関すること 53.1%	母親の心身の状態に関すること 59.8%	母親の心身の状態に関すること 55.6%
第2位	母親の心身の状態に関すること 20.2%	子育て関連(生活)のこと 26.7%	子育て関連(生活)のこと 38.7%	子育て関連(生活)のこと 36.1%	子育て関連(生活)のこと 40.9%	子育て関連(生活)のこと 43.4%	子育て関連(生活)のこと 51.8%
第3位	子育て関連(生活)のこと 14.0%	放射線の影響や心配に関すること 23.7%	子どもの心身の健康に関すること 20.3%	家庭生活に関すること 20.5%	家庭生活に関すること 21.8%	家庭生活に関すること 19.5%	家庭生活に関すること 16.4%
第4位	子どもの心身の健康に関すること 10.5%	子どもの心身の健康に関すること 13.4%	家庭生活に関すること 19.8%	子どもの心身の健康に関すること 14.5%	子どもの心身の健康に関すること 20.6%	子どもの心身の健康に関すること 18.0%	子どもの心身の健康に関すること 8.6%
第5位	避難生活に関すること 9.3%	家庭生活に関すること 10.3%	放射線の影響や心配に関すること 17.1%	放射線の影響や心配に関すること 9.5%	放射線の影響や心配に関すること 5.9%	放射線の影響や心配に関すること 5.0%	放射線の影響や心配に関すること 4.1%

(フォローアップ調査)

【要支援率の推移】



要支援者数	うつ項目	299人	209人	277人
	自由記載欄	76人	47人	51人
回答者数		2,554人	2,021人	2,706人

※ 25年度フォローアップ調査から、設問の「その他」の記載内容に具体的な心配の内容を記載している者へも支援を行っている

(フォローアップ調査)

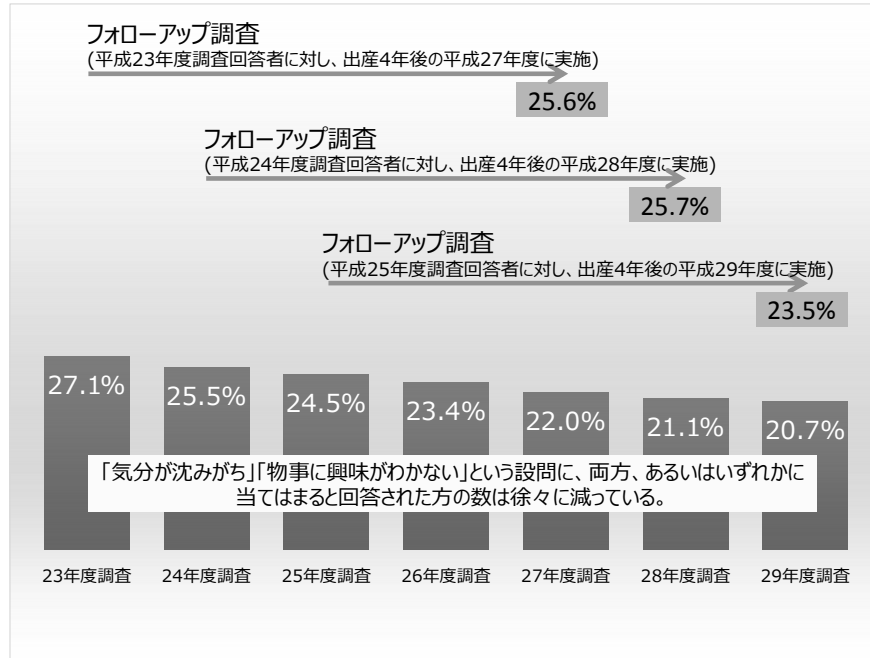
【電話による主な相談内容】 ※うつ項目と自由記載欄による支援

	27年度実施 23年度フォローアップ調査	28年度実施 24年度フォローアップ調査	29年度実施 25年度フォローアップ調査
第1位	母親の心身の状態に関する こと 34.4%	母親の心身の状態に関する こと 44.9%	母親の心身の状態に関する こと 36.0%
第2位	放射線の影響や心配に関する こと 25.6%	子育て関連（生活）の こと 23.0%	子育て関連（生活）の こと 27.7%
第3位	子育て関連（生活）の こと 21.6%	子どもの心身の健康に関する こと 22.7%	家庭生活に関する こと 14.6%
第4位	子どもの心身の健康に関する こと 18.1%	放射線の影響や心配に関する こと 13.3%	放射線の影響や心配に関する こと 13.1%
第5位	家庭生活に関する こと 13.9%	家庭生活に関する こと 10.5%	子どもの心身の健康に関する こと 9.8%

平成25年度フォローアップ調査から入力方法（入力フォームや入力者）を変更

3 うつ傾向と主な相談内容

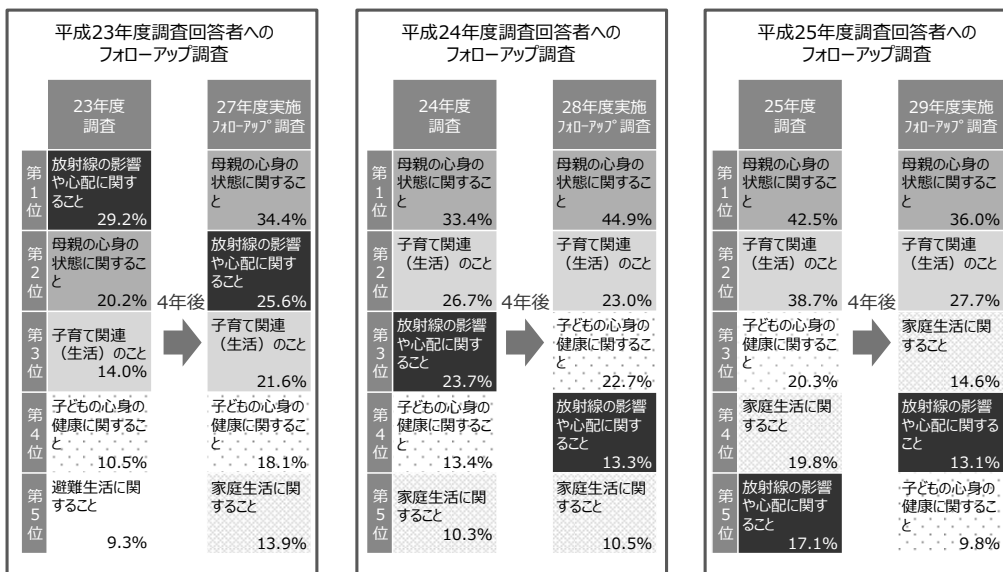
うつ傾向の推移



【電話による主な相談内容の推移】

※うつ項目と自由記載欄による支援

平成27年度より実施しているフォローアップ調査の電話相談では、「母親の心身の状態に関すること」が最も多い



平成25年度フォローアップ調査から入力方法(入力フォームや入力者)を変更

平成31年度「妊産婦に関する調査」実施計画（案）

1 平成31年度「妊産婦に関する調査」

(1) 実施目的

福島県で子どもを産み育てようとする妊産婦の現状、こころや身体健康度、意見・要望等を的確に把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに、安心の提供と今後の福島県内の産科・周産期医療の充実へつなげていくこと。

(2) 対象者

- ① 平成30年8月1日から2019年7月31日までに、福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された者
- ② 上記期間内に福島県外から母子健康手帳を交付された者のうち、福島県で妊婦健診を受診し分娩された者（いわゆる里帰り分娩をした者）

(3) 実施方法

ア 調査票の配布方法及び配布時期

【対象者①】福島県内59市町村から得られた対象者情報をもとに、分娩予定日により3回に分けて調査票を送付

※市町村が把握している流産、死産および児の生存が確認できない者を除く

【対象者②】福島県内の産科医療機関の協力のもと随時調査票を配布

イ 回答方法

郵送及びオンライン

ウ 支援の実施

- ・回答内容から支援が必要と思われる者に対し、助産師・保健師等による電話支援を行う。
- ・メールや専用ダイヤルによる支援体制を整え、調査対象者からの相談に応じる。

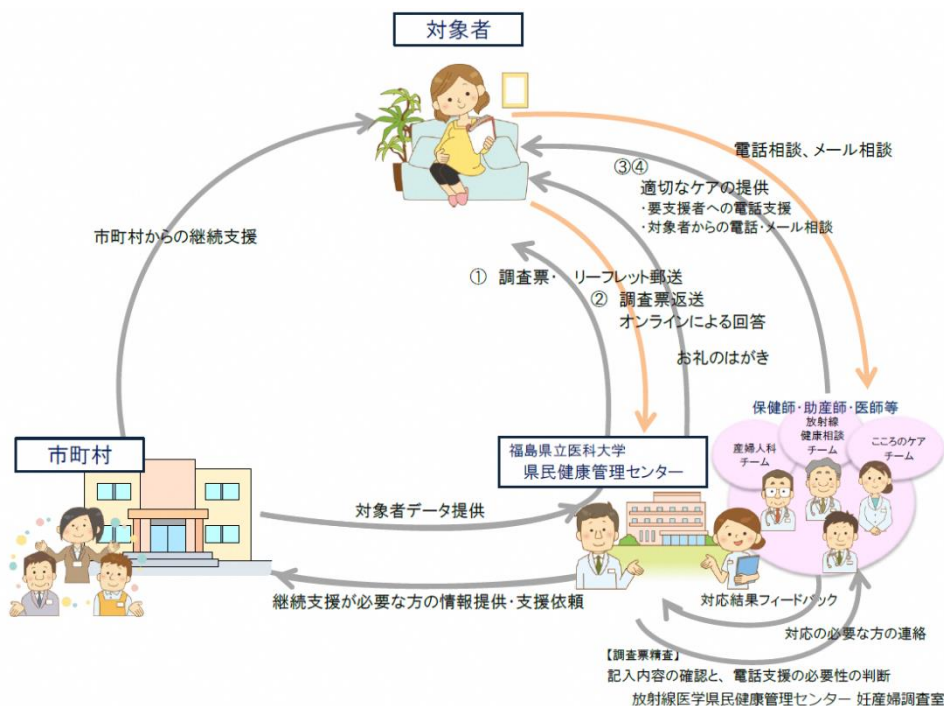
(4) 調査項目（平成30年度と大きな変更なし）

- ア 妊産婦のこころの健康度
- イ 現在の生活状況（避難生活、家族離散の状況）
- ウ 出産状況や妊娠経過中の妊産婦の健康状態
- エ 育児の自信
- オ 次回妊娠に対する意識

(5) スケジュール

内容	平成31年												2020年											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
平成31年度調査対象者情報提供を市町村へ依頼					▼																			
平成31年度調査調査票の発送									▼		▼		▼											
調査票の回収																								
回答者へのお礼状発送										→		→		→										
支援対象者への支援																								

(6) 調査及び支援の流れ



2 フォローアップ調査（追跡調査）

震災時の調査回答者は、特にうつ傾向の割合が高かったことから、育児に自信が無いと感じる母親が増加する時期の出産4年後にあたる平成27年度（平成23年度調査回答者）からフォローアップ調査を実施してきた。（平成30年度には、平成26年度調査回答者に対してフォローアップ調査を実施した。）

平成23・24年度調査回答者は、放射線に関する不安が強く、うつ傾向が高い状態であり、フォローアップ調査でも同様の傾向がみられたため震災時の影響が懸念された。一方、平成25・26年度調査回答者は、育児に関する一般的な悩みが多く、フォローアップ調査では、うつ傾向の割合が減少している。

このことから、平成31年度調査においては、平成27年度調査回答者に対する4年後のフォローアップ調査を行うことに替え、平成23年度調査回答者への2回目のフォローアップ（及び支援）を実施し、震災時に妊産婦であった方々の継続的な支援を行うこととしたい。

3 関係機関との連携

関係機関と連携をより密にし、各地域の意見を反映させつつ、回答率の向上及び得られた回答に基づく妊産婦支援の向上に努める。

(1) 調査結果の周知

市町村等関係機関との連携を図るため、福島県内の市町村保健師等母子保健に関わる方を対象とした研修会等にて報告を行う。

(2) リーフレットの作成・配布

- ア 調査票送付時に、調査に基づく結果内容や支援状況を説明したリーフレットを同封する。
- イ 県内の協力医療機関や関係機関に対して配布し、調査を周知する。

県民健康調査「健康診査」平成23～30年度実施状況

1 健康診査概要

(1) 目的

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により、多くの方が避難生活を余儀なくされ、食生活、運動習慣など生活習慣が大きく変化し、また、受診すべき健康診査も受けることができなくなるなど、健康に不安を抱えている住民もいることから、県民の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげることを目的に実施している。

(2) 対象者

- 平成23年3月11日から平成24年4月1日までに対象地域※に住民登録していた方（対象地域を転出後も対象とする）
- 実施年度の4月1日時点で避難区域等に住民登録をしていた方
- 上記以外で基本調査の結果、必要と認められた方

※対象地域：平成23年時に避難区域等に指定された市町村等

広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部（特定避難勧奨地点の属する区域）

(3) 健診項目

年齢区分	健診項目
0歳～6歳 (就学前乳幼児)	身長、体重、 [希望がある場合のみ] 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）
7歳～15歳 (小学校1年生～中学校3年生)	身長、体重、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） [希望による追加項目] 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 血清クレアチニン、尿酸）
16歳以上	身長、体重、腹囲（又はBMI）、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）、 尿検査（尿蛋白、尿糖、尿潜血） 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 血清クレアチニン、eGFR、尿酸） ※下線部は、通常、特定健康診査では検査しない追加項目

2 平成23～29年度の実施状況

(1) 実施方法等

年齢区分	居住地	実施方法	H29年度協力医療機関数	集計区分
16歳以上	県内	市町村が実施する特定健診・総合健診において、追加項目を上乗せして同時に実施する健診	—	県内市町村が実施する総合健診
		県内指定医療機関での個別健診	476施設	県内個別健診
		医大が実施する集団健診	県内29会場 (延べ49回実施)	県内集団健診
	県外	市町村が実施する特定健診・総合健診において、追加項目を上乗せして同時に実施する健診	—	その他※2
		県外指定医療機関での個別健診	669施設（うち270施設は15歳以下も対応可能）	県外個別健診
		県外指定医療機関での小児健診	400施設（うち270施設は16歳以上も対応可能）	県外小児健診
15歳以下	県内	県内指定医療機関での小児健診	94施設	県内小児健診
	県外	県外指定医療機関での小児健診	400施設（うち270施設は16歳以上も対応可能）	県外小児健診

(2) 受診状況

ア 実施方法及び受診場所（県内・県外）別受診者数

(ア) 16歳以上

平成29年度の受診率は20.5%で、平成28年度の20.9%と比較すると、0.4ポイント減少している。

(単位：人、%)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	確報値 平成24年9月11日	確報値 平成25年7月5日	確報値 平成26年9月1日	確報値 平成27年9月1日	確報値 平成28年9月1日	確報値 平成29年12月31日	確報値 平成30年3月31日
対象者数	182,370	184,910	186,970	188,328	190,019	191,101	191,636
県内市町村が実施する総合健診	8,798	23,907	25,604	25,913	26,195	26,636	26,411
県内個別健診	—	6,692	5,806	4,927	4,443	3,941	3,782
県内集団健診	41,949	10,603	6,767	5,808	5,183	4,341	3,963
県外個別健診	3,815	3,055	3,205	3,418	3,332	2,118	2,102
その他 ※1、※2	2,045	3,206	2,017	1,846	2,113	3,011	3,154
上記のうち 重複受診者数	208	454	359	38	55	57	45
合計 (重複受診者数を除く)	56,399	47,009	43,040	41,874	41,211	39,990	39,367
受診率(%)	30.9%	25.4%	23.0%	22.2%	21.7%	20.9%	20.5%

※1 その他（県内で実施（市町村が郡市医師会、医療機関へ委託したケース））

※2 その他（県外で実施（市町村が健診代行機関に委託したケース））

(イ) 15歳以下

平成29年度の受診率は22.8%で、平成28年度の26.1%と比較すると、3.3ポイント減少している。

(単位：人、%)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	確報値 平成24年9月11日	確報値 平成25年7月5日	確報値 平成26年9月1日	確報値 平成27年9月1日	確報値 平成28年9月1日	確報値 平成29年12月31日	確報値 平成30年3月31日
対象者数	27,819	27,077	26,474	25,883	25,296	24,600	23,660
県内小児健診	15,002	9,534	8,432	7,432	6,206	5,193	4,474
県外小児健診	2,949	2,283	1,822	1,792	1,403	1,226	929
上記のうち 重複受診者数	17	37	6	8	6	6	0
合計 (重複受診者数を除く)	17,934	11,780	10,248	9,216	7,603	6,413	5,403
受診率(%)	64.5%	43.5%	38.7%	35.6%	30.1%	26.1%	22.8%

【参考】平成29年度 受診者の健診案内送付先別（県内・県外）受診者数*

(16歳以上)	県内	県外	合計	(15歳以下)	県内	県外	合計
	対象者数(人)	161,841	29,795		191,636	対象者数(人)	18,854
受診者数(人)	35,634	3,733	39,367	受診者数(人)	4,398	1,005	5,403
受診率	22.0%	12.5%	20.5%	受診率	23.3%	20.9%	22.8%

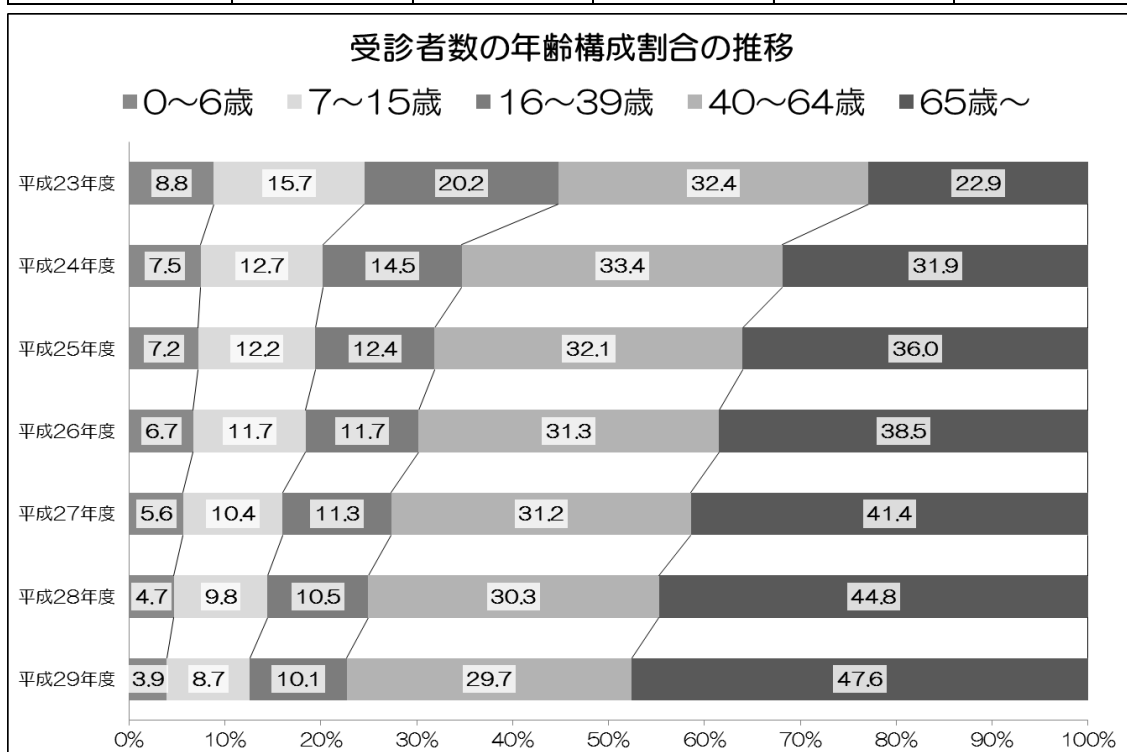
* 健診案内送付先の住所等を基に県外・県外を分けた。実施方法及び受診場所（県内・県外）別受診者数とは異なる。

イ 年齢区別受診者数の推移

0～6歳、7～15歳、16～39歳、40～64歳の受診者数は年々減少し、65歳以上の受診者数は増加している。

(人)

	0～6歳	7～15歳	16～39歳	40～64歳	65歳～
平成23年度	6,462	11,481	14,762	23,651	16,726
平成24年度	4,365	7,437	8,480	19,553	18,642
平成25年度	3,802	6,429	6,536	16,922	18,969
平成26年度	3,328	5,840	5,843	15,594	19,166
平成27年度	2,655	4,903	5,354	14,748	19,559
平成28年度	2,057	4,315	4,632	13,386	19,768
平成29年度	1,647	3,712	4,309	12,677	20,299



(グラフ中の数字は四捨五入して示しているため合計で100%とはならない場合があります)

【参考】平成29年度 年齢区別受診率

	0～6歳	7～15歳	16～39歳	40～64歳	65歳～
対象者数(人)	7,419	16,241	57,066	68,587	65,983
受診者数(人)	1,647	3,712	4,309	12,677	20,299
受診率	22.2%	22.9%	7.6%	18.5%	30.8%

引用資料：平成23～26年度；第21回検討委員会資料3-2「健診項目別受診実績基礎統計表」
 平成27年度；第26回検討委員会資料3-2「健診項目別受診実績基礎統計表」
 平成28年度；第30回検討委員会資料2-3「健診項目別受診実績基礎統計表」
 受診者数：健診項目のうち1項目でも受診した方

3 平成30年度の実施状況【平成30年12月31日現在】

対象者：214,718人（15歳以下22,744人、16歳以上191,974人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
16歳以上	県内	市町村が実施する特定健診・総合健診での上乗せ健診 田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町 川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村 受診者数 26,164人（速報値）										集団健診 1月12日より実施中	
	県外	県外指定医療機関での健診 受診者数 2,268人（速報値）										医療機関での個別健診 1月4日より実施中	
15歳以下	県内	県内指定医療機関での小児健診 受診者数 3,648人（速報値）											
	県外	県外指定医療機関での小児健診 受診者数 899人（速報値）											

(1) 県内に居住している対象者

ア 16歳以上

昨年度と同様に伊達市を除く12市町村において市町村が実施する特定健康診査・総合健診で追加項目を上乗せ（以下「上乗せ健診」という。）して同時に実施した。

また、上乗せ健診を受診出来なかった方等を対象とした集団健診や医療機関での個別健診を平成31年1月から実施した。（個別健診協力医療機関数471施設。）

イ 15歳以下

昨年度と同様に平成30年7月～12月までの約6ヶ月間で実施した。（協力医療機関数94施設。）

(2) 県外に居住している対象者

各都道府県で受診できるよう調整を行い、6月下旬より順次案内を発送し実施している。

(3) 健康診査受診結果の活用について

ア 対象市町村への情報還元

震災前後と震災後7年間の健康診査受診結果の推移について対象市町村ごとに「分析結果報告書」を作成し、各市町村に情報還元をしている。

また、受診結果や分析結果は、健康セミナーにおける医師等の講話にて対象市町村の住民へ報告をしている。

イ 健康セミナーの実施

住民が毎年度健康診査を受診する重要性について理解を深めるとともに、継続した健康診査の受診につながるよう支援することを目的に、対象市町村が実施する行事等において健康セミナーを実施している。

健康セミナーでは、対象市町村の住民に対し、医師等が受診結果や分析結果等を用いて健康講話を行ったり、専門職による個別相談、血圧・血糖測定等を実施したりしている。

実施時期	回数	実施内容・実施主体
5月	5会場	<ul style="list-style-type: none"> ・医師による講話 ・専門職による個別相談 ・血圧測定 ・血糖測定（協力機関 一般社団法人福島県臨床検査技師会） ・こころ調査に関すること
7月	4会場	
9月	8会場	
10月	4会場	
11月	3会場	
12月	1会場	
1月	1会場	

ウ 住民への啓発活動

対象者へ集団・個別健診の案内に、健康診査の結果から分かったこと等をまとめたリーフレットを同封している。

平成30年度は、糖尿病の現状や疾患の特徴、また生活上注意する点等について具体例を挙げて紹介している。

(4) 受診率向上の取組み

ア 生活習慣病予防等のための取組み

ふくしま健民アプリを活用し、自身が健康に関心を持ち、楽しく運動習慣を身につける等、生活習慣改善のきっかけとなるよう取組みを行っている。

イ 集団健診会場の確保

健康診査開始当初より対象者の多い地域に、集団健診会場を設置しているが、避難指示解除に伴い新たに会場を設置したり、対象者が少ない地域では、地域内で開催場所を変更したりするなど、対象者にとって利便性の良い会場の確保に努めている。

ウ 受診勧奨（リマインダー）の実施

健康診査受診の案内については、対象市町村の協力を得て広報誌に掲載したり、3（3）健康診査受診結果の活用を通じて、住民の方にきめ細かく周知できるよう広報活動を行っている。

また、期間の途中には、未受診の対象者に対し、受診勧奨（リマインダー）を行った。

平成23～29年度県民健康調査
「小児健康診査」における身長・体重の結果について

平成23～29年度県民健康調査「小児健康診査」
身長と体重の比較（0歳～6歳未満）

平成23～29年度県民健康調査「小児健康診査」
文部科学省学校保健統計調査との比較（6歳～15歳）

※年齢階級については受診時年齢を使用した。

結果とまとめ

【結果】

◆身長

平成29年度の男子未就学児童の身長は、平成23年度に比べ10カ月～1歳8カ月未満、1歳10カ月～2歳未満、3歳6カ月～4歳未満、4歳6カ月～5歳6カ月未満児で低かった。2歳6カ月～3歳未満児では変化なく、1歳8カ月～1歳10カ月未満、2歳～2歳6カ月未満、3歳～3歳6カ月未満、4歳～4歳6カ月未満、5歳6カ月～6歳未満児は高かった。

平成29年度の女子未就学児童の身長は、平成23年度に比べ10カ月～1歳6カ月未満、4歳～4歳6カ月未満児で低かったが、1歳6カ月～4歳未満、4歳6カ月～6歳未満児は高かった。

平成29年度の男子小中学生の身長は、平成23年度に比べ6歳、9歳～14歳の年齢で高く、8歳では変化なく、7歳でやや低く、同年度の全国平均と比べると8歳以外のすべての年齢で高かった。男子高校生（15歳）の身長は、平成23年度に比べ低く、同年度の全国平均と比べても低かった。

平成29年度の女子小中学生の身長は、平成23年度に比べ6歳、10歳、13歳～14歳の年齢で高く、7歳～9歳、11歳～12歳で低く、同年度の全国平均と比べると6歳、8歳、10歳、12歳～14歳での年齢で高く、7歳、9歳、11歳で低かった。女子高校生（15歳）の身長は、平成23年度に比べ変化なく、同年度の全国平均と比べるとやや低かった。

◆体重

平成29年度の男子未就学児童の体重は、平成23年度に比べ10カ月～5歳6カ月未満児で少なかったが、5歳6カ月～6歳未満児ではやや多かった。

平成29年度の女子未就学児童の体重は、平成23年度に比べ10カ月～4歳6カ月未満児で少なかったが、4歳6カ月～6歳未満児では多かった。

平成29年度の男子小中学生の体重は、平成23年度に比べ9歳と11歳を除いた他の年齢区分において少なかったが、同年度の全国平均と比べるといずれの年齢においても多かった。平成29年度の男子高校生（15歳）の体重も平成23年度に比べ多く、同年度における全国平均と比べても多かった。

平成29年度の女子小中学生の体重は、平成23年度に比べすべての年齢で少なかったが、全国平均と比べるとすべての年齢において多かった。女子高校生（15歳）の体重も平成23年度に比べ少なかったが、全国平均と比べると多かった。

【まとめ】

平成29年度の避難指示区域を含む本調査対象地域における小児は男女とも、平成23年度と比較し身長には一定の傾向はなかったが、体重は概ね少なかった。就学児童は全国平均と比べ身長は概ね高く、体重は概ね多かった。

平成23～29年度 県民健康調査「小児健康診査」
身長と体重の比較（0歳～6歳未満） — 男子 —

階級	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		差 (H29-H23) (g)-(a)
	人数(人)	平均(cm)(a)	人数(人)	平均(cm)(b)	人数(人)	平均(cm)(c)	人数(人)	平均(cm)(d)	人数(人)	平均(cm)(e)	人数(人)	平均(cm)(f)	人数(人)	平均(cm)(g)	
10ヵ月～1歳未満	44	73.6	46	73.3	42	72.7	41	72.9	36	72.2	23	72.3	34	72.5	△ 1.1
1歳0ヵ月～	77	74.8	52	74.1	47	74.4	44	75.2	40	74.7	25	75.0	31	74.3	△ 0.5
1歳2ヵ月～	68	76.5	64	77.2	35	77.0	35	77.3	24	77.1	27	76.1	24	75.0	△ 1.5
1歳4ヵ月～	93	78.7	54	79.1	43	78.1	32	79.2	33	78.9	31	77.5	17	77.7	△ 1.0
1歳6ヵ月～	80	81.2	59	80.2	30	79.8	45	80.0	39	79.8	38	80.5	12	78.5	△ 2.7
1歳8ヵ月～	73	82.1	56	82.5	32	82.6	32	81.1	26	82.9	26	82.1	25	82.8	0.7
1歳10ヵ月～2歳未満	83	83.8	52	83.7	44	83.4	21	84.3	22	84.2	27	83.1	19	82.4	△ 1.4
2歳0ヵ月～	281	86.6	181	87.4	177	87.1	111	86.1	87	86.3	80	86.7	65	87.2	0.6
2歳6ヵ月～	269	90.7	196	91.4	170	91.4	105	90.9	92	90.8	73	90.7	71	90.7	0.0
3歳0ヵ月～	281	94.8	193	94.9	179	95.3	148	94.8	76	94.5	67	95.2	62	95.1	0.3
3歳6ヵ月～	257	98.6	170	99.0	176	98.2	150	98.4	89	98.3	70	97.3	62	98.3	△ 0.3
4歳0ヵ月～	258	101.7	203	102.3	172	101.8	162	102.5	123	101.9	72	101.7	62	102.7	1.0
4歳6ヵ月～	280	105.7	193	105.7	177	105.6	176	105.2	122	105.6	81	105.2	64	104.6	△ 1.1
5歳0ヵ月～	286	108.5	182	108.9	175	108.9	187	108.4	135	108.8	119	108.8	56	107.8	△ 0.7
5歳6ヵ月～6歳未満	293	111.4	199	111.9	180	111.9	155	112.0	147	112.1	96	112.5	75	112.6	1.2
合計	2,723		1,900		1,679		1,444		1,091		855		679		

階級	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		差 (H29-H23) (g)-(a)
	人数(人)	平均(kg)(a)	人数(人)	平均(kg)(b)	人数(人)	平均(kg)(c)	人数(人)	平均(kg)(d)	人数(人)	平均(kg)(e)	人数(人)	平均(kg)(f)	人数(人)	平均(kg)(g)	
10ヵ月～1歳未満	44	9.8	46	9.4	42	9.3	41	9.2	36	9.2	23	9.1	34	9.1	△ 0.7
1歳0ヵ月～	77	9.9	52	9.5	47	9.4	44	9.7	40	9.5	25	9.7	31	9.3	△ 0.6
1歳2ヵ月～	68	10.4	64	10.2	35	10.1	35	10.2	24	10.0	27	9.9	24	9.9	△ 0.5
1歳4ヵ月～	93	10.9	54	10.5	44	10.3	32	10.6	33	10.6	31	10.1	17	10.2	△ 0.7
1歳6ヵ月～	80	11.2	59	11.2	30	11.0	45	10.9	39	10.6	38	10.9	12	10.0	△ 1.2
1歳8ヵ月～	73	11.6	56	11.4	32	11.4	32	11.0	26	11.5	26	11.0	25	11.5	△ 0.1
1歳10ヵ月～2歳未満	83	12.0	52	11.6	44	11.6	21	11.9	22	12.0	27	11.3	19	11.0	△ 1.0
2歳0ヵ月～	281	12.7	181	12.8	177	12.5	111	12.1	87	12.2	80	12.4	65	12.4	△ 0.3
2歳6ヵ月～	269	13.8	196	13.5	170	13.6	105	13.3	92	13.4	73	13.4	71	13.2	△ 0.6
3歳0ヵ月～	281	14.8	193	14.6	179	14.6	148	14.5	76	14.3	67	14.7	62	14.4	△ 0.4
3歳6ヵ月～	257	15.9	170	15.7	176	15.7	150	15.5	89	15.2	70	15.0	62	15.3	△ 0.6
4歳0ヵ月～	258	16.8	203	16.6	172	16.5	162	16.6	123	16.6	72	16.3	62	16.6	△ 0.2
4歳6ヵ月～	280	17.9	193	17.8	177	17.7	176	17.5	122	17.8	81	17.5	64	17.2	△ 0.7
5歳0ヵ月～	286	18.7	182	18.5	175	19.0	187	18.7	135	18.7	119	18.6	56	18.1	△ 0.6
5歳6ヵ月～6歳未満	293	20.0	199	19.9	180	20.2	155	19.7	147	20.0	96	20.1	75	20.1	0.1
合計	2,723		1,900		1,680		1,444		1,091		855		679		

平成23～29年度 県民健康調査「小児健康診査」
身長と体重の比較（0歳～6歳未満） — 女子 —

階級	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		差 (H29-H23) (g)-(a)
	人数(人)	平均(cm)(a)	人数(人)	平均(cm)(b)	人数(人)	平均(cm)(c)	人数(人)	平均(cm)(d)	人数(人)	平均(cm)(e)	人数(人)	平均(cm)(f)	人数(人)	平均(cm)(g)	
10ヵ月～1歳未満	36	71.5	49	72.0	45	72.6	39	71.3	22	70.4	27	71.1	24	70.3	△ 1.2
1歳0ヵ月～	79	73.7	60	73.4	45	74.0	33	73.3	33	73.2	37	73.3	26	73.6	△ 0.1
1歳2ヵ月～	85	75.1	41	75.2	43	75.9	34	74.5	34	74.3	17	75.6	21	74.6	△ 0.5
1歳4ヵ月～	80	77.4	54	77.8	28	78.7	26	77.9	39	76.9	18	77.5	23	76.9	△ 0.5
1歳6ヵ月～	78	78.9	53	78.9	23	79.6	34	79.0	26	78.3	18	77.9	28	79.3	0.4
1歳8ヵ月～	86	81.2	49	81.1	47	80.9	35	81.2	30	80.8	16	80.9	12	81.9	0.7
1歳10ヵ月～2歳未満	98	82.0	52	81.8	51	82.9	38	82.5	33	82.0	21	81.5	22	82.4	0.4
2歳0ヵ月～	263	85.4	178	85.6	148	85.8	107	85.3	86	85.0	90	85.5	64	85.7	0.3
2歳6ヵ月～	288	89.9	199	89.7	166	90.3	125	89.9	94	90.6	61	89.8	69	90.3	0.4
3歳0ヵ月～	255	93.5	208	94.0	164	94.0	134	93.5	83	93.8	77	92.8	78	93.7	0.2
3歳6ヵ月～	246	97.3	181	97.4	155	97.4	143	97.7	114	98.1	73	98.2	55	97.7	0.4
4歳0ヵ月～	275	100.6	175	100.8	197	101.3	163	101.1	111	100.8	60	101.4	64	100.3	△ 0.3
4歳6ヵ月～	253	104.2	192	103.9	175	104.5	161	104.3	119	104.9	94	105.1	59	105.3	1.1
5歳0ヵ月～	286	107.6	197	107.5	168	107.8	174	108.2	152	107.7	103	107.6	66	108.7	1.1
5歳6ヵ月～6歳未満	296	110.3	191	111.1	153	111.0	150	111.4	152	110.5	119	111.5	92	111.8	1.5
合計	2,704		1,879		1,608		1,396		1,128		831		703		

階級	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		差 (H29-H23) (g)-(a)
	人数(人)	平均(kg)(a)	人数(人)	平均(kg)(b)	人数(人)	平均(kg)(c)	人数(人)	平均(kg)(d)	人数(人)	平均(kg)(e)	人数(人)	平均(kg)(f)	人数(人)	平均(kg)(g)	
10ヵ月～1歳未満	36	8.9	49	8.7	45	8.9	39	8.6	22	8.4	27	8.5	24	8.5	△ 0.4
1歳0ヵ月～	79	9.4	60	9.1	45	9.0	33	9.0	33	9.0	37	9.2	26	9.1	△ 0.3
1歳2ヵ月～	85	9.7	41	9.4	43	9.5	34	9.0	34	9.1	17	9.5	21	9.2	△ 0.5
1歳4ヵ月～	80	10.3	54	10.1	28	10.7	26	10.0	39	10.0	18	9.7	23	9.9	△ 0.4
1歳6ヵ月～	79	10.5	53	10.4	23	10.8	34	10.0	26	10.0	18	10.0	28	10.2	△ 0.3
1歳8ヵ月～	86	11.0	49	10.5	47	10.7	35	11.1	30	10.8	16	10.6	12	10.7	△ 0.3
1歳10ヵ月～2歳未満	98	11.2	52	10.8	51	11.0	38	11.2	33	10.8	21	10.9	22	11.0	△ 0.2
2歳0ヵ月～	263	12.1	178	11.9	148	11.9	107	11.8	86	11.6	90	11.8	64	11.7	△ 0.4
2歳6ヵ月～	288	13.2	199	12.9	166	13.0	125	13.0	94	13.3	61	12.9	69	13.1	△ 0.1
3歳0ヵ月～	255	14.1	208	14.1	164	13.8	134	13.8	83	14.3	77	13.6	78	13.8	△ 0.3
3歳6ヵ月～	246	15.2	181	15.0	155	15.0	143	15.0	114	15.3	73	15.3	55	15.1	△ 0.1
4歳0ヵ月～	275	16.4	175	16.0	197	16.2	163	16.0	111	16.0	60	16.3	64	15.9	△ 0.5
4歳6ヵ月～	253	17.2	193	17.0	175	17.1	161	17.1	119	17.2	94	17.4	59	17.8	0.6
5歳0ヵ月～	286	18.4	197	18.2	168	18.5	174	18.4	152	18.0	103	18.4	66	19.0	0.6
5歳6ヵ月～6歳未満	296	19.3	191	19.6	153	19.6	150	19.6	152	19.1	119	19.7	92	19.9	0.6
合計	2,705		1,880		1,608		1,396		1,128		831		703		

平成23～29年度 県民健康調査「小児健康診査」
 文部科学省学校保健統計調査との比較（6歳～15歳） — 男子 —

男子【身長】	文部科学省学校保健統計調査										県民健康調査「小児健康診査」									
	平成22年度 全国平均	平成29年度 全国平均	差	平成22年度 福島県平均	平成29年度 福島県平均	差	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	差						
	平均値(a)	平均値(b)	(b)-(a)	平均値(c)	平均値(d)	(d)-(c)	平均値(e)	平均値(f)	平均値(g)	平均値(h)	平均値(i)	平均値(j)	平均値(k)	(k)-(e)	(k)-(b)					
小学校	6 歳	116.7	116.5	△ 0.2	116.6	116.4	△ 0.2	116.6	116.6	117.3	116.8	116.5	117.1	0.5	0.6					
	7 歳	122.5	122.5	0.0	122.3	122.8	0.5	122.8	123.0	122.8	123.4	122.7	122.7	△ 0.1	0.2					
	8 歳	128.2	128.2	0.0	128.3	128.4	0.1	128.1	128.5	128.3	128.9	128.9	128.1	0.0	△ 0.1					
	9 歳	133.5	133.5	0.0	133.7	133.4	△ 0.3	133.4	133.9	134.2	133.7	134.2	133.9	0.9	0.8					
	10 歳	138.8	139.0	0.2	138.8	138.9	0.1	139.3	139.4	139.1	139.8	139.5	140.4	0.4	0.7					
中学校	11 歳	145.0	145.0	0.0	145.6	145.4	△ 0.2	145.5	145.8	146.0	146.0	145.5	146.7	1.2	1.7					
	12 歳	152.4	152.8	0.4	153.3	152.9	△ 0.4	153.2	153.3	153.6	153.9	153.5	153.8	0.1	0.5					
	13 歳	159.7	160.0	0.3	160.1	160.5	0.4	160.1	160.6	160.0	161.0	161.3	160.5	0.6	0.7					
高等学校	14 歳	165.1	165.3	0.2	165.2	165.7	0.5	165.3	165.7	165.6	165.7	165.8	166.2	0.4	0.4					
	15 歳	168.2	168.2	0.0	168.6	168.3	△ 0.3	168.4	168.2	167.6	168.2	167.3	168.0	△ 0.3	△ 0.1					

文部科学省 平成22年度・平成29年度「学校保健統計調査」より抜粋

男子【体重】	文部科学省学校保健統計調査										県民健康調査「小児健康診査」									
	平成22年度 全国平均	平成29年度 全国平均	差	平成22年度 福島県平均	平成29年度 福島県平均	差	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	差						
	平均値(a)	平均値(b)	(b)-(a)	平均値(c)	平均値(d)	(d)-(c)	平均値(e)	平均値(f)	平均値(g)	平均値(h)	平均値(i)	平均値(j)	平均値(k)	(k)-(e)	(k)-(b)					
小学校	6 歳	21.4	21.4	0.0	21.7	21.6	△ 0.1	22.1	21.5	22.1	22.0	21.9	22.0	△ 0.1	0.6					
	7 歳	24.0	24.1	0.1	24.3	24.6	0.3	24.8	24.8	24.8	25.2	25.2	24.7	△ 0.1	0.6					
	8 歳	27.2	27.2	0.0	27.5	28.7	1.2	28.4	28.0	28.1	28.1	28.4	28.6	△ 0.1	1.1					
	9 歳	30.5	30.5	0.0	31.6	31.6	0.0	32.6	32.2	32.0	31.1	32.2	31.5	0.1	2.2					
	10 歳	34.1	34.2	0.1	34.3	35.5	1.2	36.0	35.9	35.9	35.8	35.3	36.3	△ 0.1	1.7					
中学校	11 歳	38.4	38.2	△ 0.2	39.7	39.7	0.0	40.5	40.7	40.6	41.0	40.4	39.2	0.0	2.3					
	12 歳	44.1	44.0	△ 0.1	45.7	44.9	△ 0.8	46.9	45.4	45.8	45.9	44.9	45.0	△ 2.1	0.8					
	13 歳	49.2	49.0	△ 0.2	50.6	50.6	0.0	51.2	51.5	50.5	50.2	51.0	49.8	△ 0.5	1.7					
高等学校	14 歳	54.4	53.9	△ 0.5	55.1	55.3	0.2	56.1	56.1	56.2	55.3	54.8	56.0	△ 1.0	1.2					
	15 歳	59.5	58.9	△ 0.6	61.7	59.6	△ 2.1	60.0	58.7	59.3	59.5	58.9	58.5	0.3	1.4					

文部科学省 平成22年度・平成29年度「学校保健統計調査」より抜粋

平成23～29年度 県民健康調査「小児健康診査」
 文部科学省学校保健統計調査との比較（6歳～15歳） — 女子 —

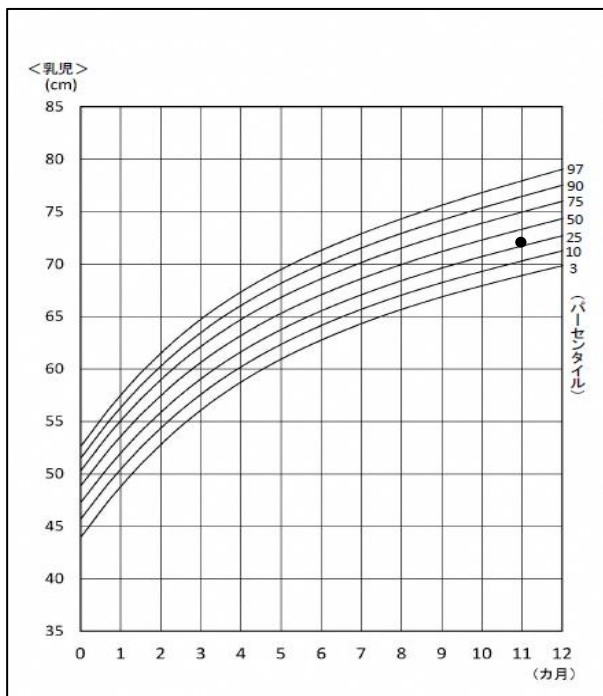
年齢	文部科学省学校保健統計調査										県民健康調査「小児健康診査」				差	
	平成22年度 全国平均	平成29年度 全国平均	差	平成22年度 福島県平均	平成29年度 福島県平均	差	平成23年度 平均値(e)	平成24年度 平均値(f)	平成25年度 平均値(g)	平成26年度 平均値(h)	平成27年度 平均値(i)	平成28年度 平均値(j)	平成29年度 平均値(k)	(H29小児)- (H23小児)	(H29小児)- (H29全国)	
	平均値(a)	平均値(b)	(b)-(a)	平均値(c)	平均値(d)	(d)-(c)	平均値(e)	平均値(f)	平均値(g)	平均値(h)	平均値(i)	平均値(j)	平均値(k)	(k)-(e)	(k)-(b)	
6 歳	115.8	115.7	△ 0.1	115.7	116.0	0.3	115.6	115.6	115.8	115.2	115.9	115.2	115.8	0.2	0.1	
	121.7	121.5	△ 0.2	122.0	121.4	△ 0.6	121.5	121.6	121.8	122.0	120.9	121.6	121.1	△ 0.4	△ 0.4	
7 歳	127.4	127.3	△ 0.1	128.1	127.5	△ 0.6	127.5	127.9	127.2	127.6	127.9	127.5	127.4	△ 0.1	0.1	
	133.5	133.4	△ 0.1	133.5	133.7	0.2	133.6	133.9	133.8	133.7	133.6	134.2	133.4	△ 0.2	△ 0.0	
8 歳	140.2	140.1	△ 0.1	139.7	140.3	0.6	140.4	140.0	140.8	140.8	140.5	139.9	140.9	0.5	0.8	
	146.8	146.7	△ 0.1	146.9	147.0	0.1	146.9	147.4	147.3	147.6	147.6	147.3	146.2	△ 0.7	△ 0.5	
9 歳	151.9	151.8	△ 0.1	151.6	151.5	△ 0.1	152.2	152.1	151.7	152.0	152.1	152.0	151.9	△ 0.3	0.1	
	155.0	154.9	△ 0.1	155.1	154.7	△ 0.4	154.6	154.9	155.2	154.1	154.7	155.2	155.3	0.7	0.4	
10 歳	156.5	156.5	0.0	156.2	156.3	0.1	156.4	156.4	156.1	156.4	155.8	156.7	156.8	0.4	0.3	
	157.1	157.1	0.0	156.7	156.5	△ 0.2	157.0	157.3	157.1	157.1	157.2	155.9	157.0	0.0	△ 0.1	

文部科学省 平成22年度・平成29年度「学校保健統計調査」より抜粋

年齢	文部科学省学校保健統計調査										県民健康調査「小児健康診査」				差	
	平成22年度 全国平均	平成29年度 全国平均	差	平成22年度 福島県平均	平成29年度 福島県平均	差	平成23年度 平均値(e)	平成24年度 平均値(f)	平成25年度 平均値(g)	平成26年度 平均値(h)	平成27年度 平均値(i)	平成28年度 平均値(j)	平成29年度 平均値(k)	(H29小児)- (H23小児)	(H29小児)- (H29全国)	
	平均値(a)	平均値(b)	(b)-(a)	平均値(c)	平均値(d)	(d)-(c)	平均値(e)	平均値(f)	平均値(g)	平均値(h)	平均値(i)	平均値(j)	平均値(k)	(k)-(e)	(k)-(b)	
6 歳	21.0	21.0	0.0	21.0	21.6	0.6	21.7	21.1	21.1	21.1	21.4	20.9	21.3	△ 0.4	0.3	
	23.5	23.5	0.0	24.1	23.9	△ 0.2	24.1	24.0	24.0	24.0	23.6	23.7	23.6	△ 0.5	0.1	
7 歳	26.5	26.4	△ 0.1	27.2	27.2	0.0	27.4	27.2	27.1	26.9	27.4	27.5	26.8	△ 0.6	0.4	
	30.0	29.9	△ 0.1	30.2	30.5	0.3	31.0	31.3	30.8	31.1	30.7	31.7	31.0	△ 0.0	1.1	
8 歳	34.1	34.0	△ 0.1	34.0	35.3	1.3	35.7	34.8	35.6	35.0	35.2	34.2	35.1	△ 0.6	1.1	
	39.0	39.0	0.0	40.0	40.5	0.5	40.5	40.7	40.6	40.2	40.1	40.4	39.2	△ 1.3	0.2	
9 歳	43.8	43.6	△ 0.2	45.1	44.7	△ 0.4	45.8	44.0	43.8	44.4	44.2	43.9	44.5	△ 1.3	0.9	
	47.3	47.2	△ 0.1	48.7	48.4	△ 0.3	48.5	47.4	47.8	46.7	48.3	48.0	47.5	△ 1.0	0.3	
10 歳	50.0	50.0	0.0	51.2	51.6	0.4	51.8	50.7	49.7	49.7	49.7	51.3	51.2	△ 0.6	1.2	
	51.6	51.6	0.0	53.1	52.9	△ 0.2	53.5	51.7	50.9	52.1	52.0	51.1	53.0	△ 0.5	1.4	

文部科学省 平成22年度・平成29年度「学校保健統計調査」より抜粋

平成29年度 小児健康診査（0歳～6歳未満）男子 【身長】

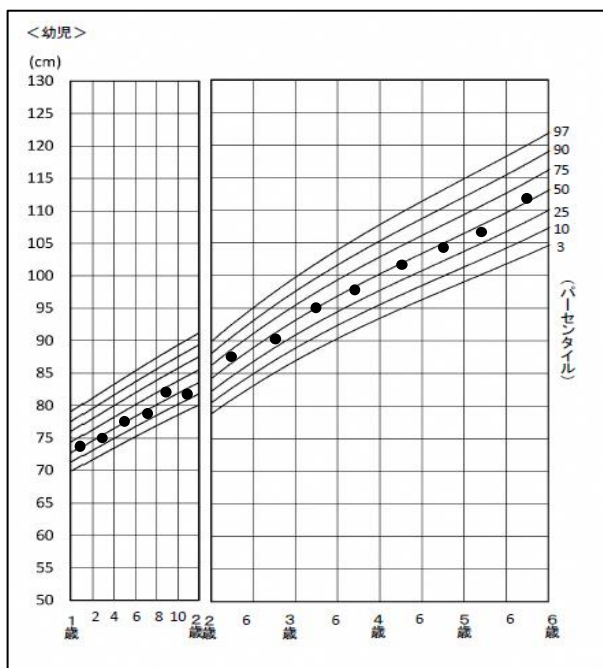


平成29年度小児健康診査【身長】集計結果

0歳10ヵ月～1歳未満（男子）

階級	人数（人）	平均（cm）	中央値（cm）
10ヵ月～1歳未満	34	72.5	72.2
合計	34		

- ◆成長曲線は厚生労働省「平成22年度乳幼児身体発育調査」より抜粋
- ◆グラフ上の点は、右表の平均値を成長曲線にプロットしたもの



平成29年度小児健康診査【身長】集計結果

1歳～2歳未満（男子）

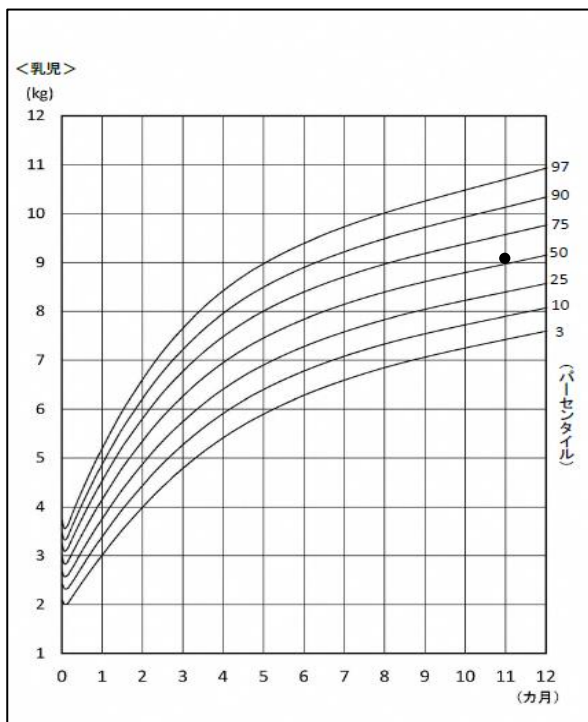
階級	人数（人）	平均（cm）	中央値（cm）
1歳0ヵ月～	31	74.3	74.5
1歳2ヵ月～	24	75.0	75.4
1歳4ヵ月～	17	77.7	77.9
1歳6ヵ月～	12	78.5	78.3
1歳8ヵ月～	25	82.8	83.4
1歳10ヵ月～2歳未満	19	82.4	83.2
合計	128		

2歳～6歳未満（男子）

階級	人数（人）	平均（cm）	中央値（cm）
2歳0ヵ月～	65	87.2	87.4
2歳6ヵ月～	71	90.7	90.8
3歳0ヵ月～	62	95.1	95.6
3歳6ヵ月～	62	98.3	98.1
4歳0ヵ月～	62	102.7	102.5
4歳6ヵ月～	64	104.6	104.3
5歳0ヵ月～	56	107.8	106.9
5歳6ヵ月～6歳未満	75	112.6	112.6
合計	517		

- ◆成長曲線は厚生労働省「平成22年度乳幼児身体発育調査」より抜粋
- ◆グラフ上の点は、右表の平均値を成長曲線にプロットしたもの

平成29年度 小児健康診査（0歳～6歳未満）男子 【体重】

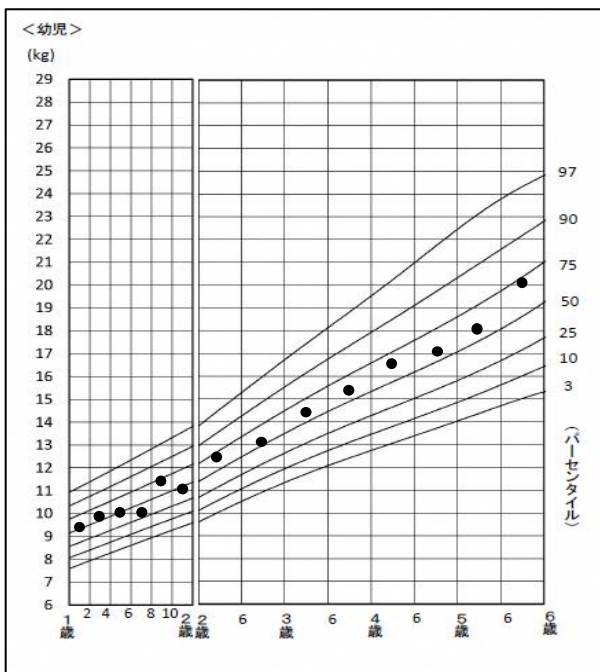


平成29年度小児健康診査【体重】集計結果

0歳10ヵ月～1歳未満（男子）

階級	人数（人）	平均（kg）	中央値（kg）
10ヵ月～1歳未満	34	9.1	9.2
合計	34		

- ◆成長曲線は厚生労働省「平成22年度乳幼児身体発育調査」より抜粋
- ◆グラフ上の点は、右表の平均値を成長曲線にプロットしたもの



平成29年度小児健康診査【体重】集計結果

1歳～2歳未満（男子）

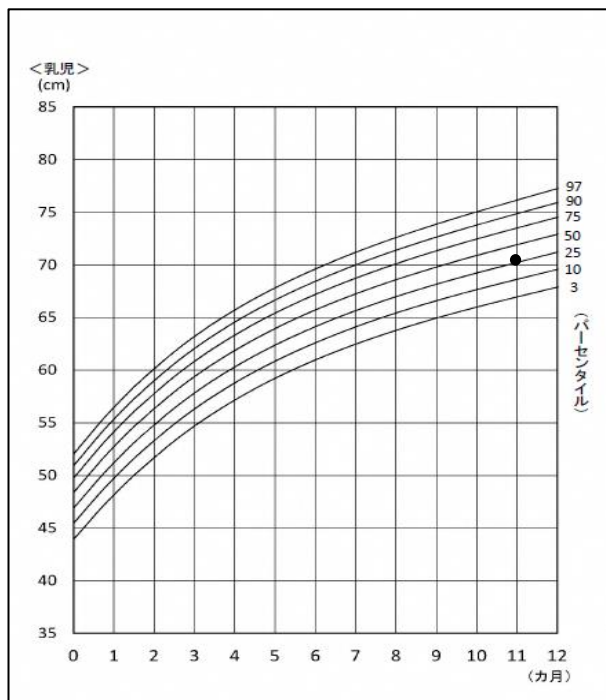
階級	人数（人）	平均（kg）	中央値（kg）
1歳0ヵ月～	31	9.3	9.4
1歳2ヵ月～	24	9.9	9.9
1歳4ヵ月～	17	10.2	9.9
1歳6ヵ月～	12	10.0	9.7
1歳8ヵ月～	25	11.5	11.5
1歳10ヵ月～2歳未満	19	11.0	11.1
合計	128		

2歳～6歳未満（男子）

階級	人数（人）	平均（kg）	中央値（kg）
2歳0ヵ月～	65	12.4	12.4
2歳6ヵ月～	71	13.2	13.0
3歳0ヵ月～	62	14.4	14.2
3歳6ヵ月～	62	15.3	15.1
4歳0ヵ月～	62	16.6	16.6
4歳6ヵ月～	64	17.2	17.0
5歳0ヵ月～	56	18.1	17.6
5歳6ヵ月～6歳未満	75	20.1	19.9
合計	517		

- ◆成長曲線は厚生労働省「平成22年度乳幼児身体発育調査」より抜粋
- ◆グラフ上の点は、右表の平均値を成長曲線にプロットしたもの

平成29年度 小児健康診査（0歳～6歳未満）女子 【身長】

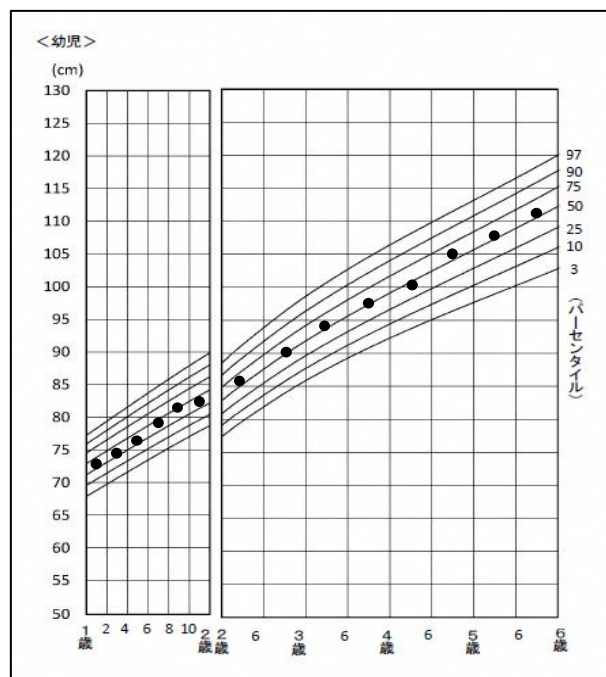


平成29年度小児健康診査【身長】集計結果

0歳10ヵ月～1歳未満（女子）

階級	人数（人）	平均（cm）	中央値（cm）
10ヵ月～1歳未満	24	70.3	70.3
合計	24		

- ◆成長曲線は厚生労働省「平成22年度乳幼児身体発育調査」より抜粋
- ◆グラフ上の点は、右表の平均値を成長曲線にプロットしたもの



平成29年度小児健康診査【身長】集計結果

1歳～2歳未満（女子）

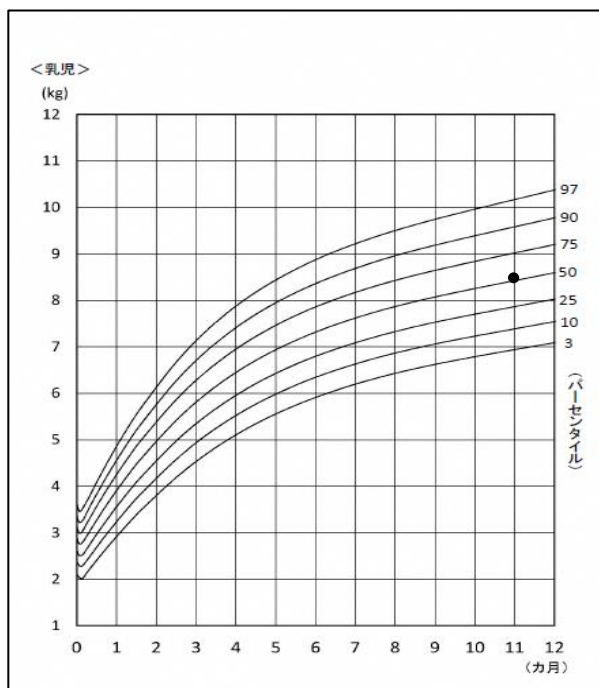
階級	人数（人）	平均（cm）	中央値（cm）
1歳0ヵ月～	26	73.6	73.9
1歳2ヵ月～	21	74.6	74.5
1歳4ヵ月～	23	76.9	77.3
1歳6ヵ月～	28	79.3	79.8
1歳8ヵ月～	12	81.9	82.3
1歳10ヵ月～2歳未満	22	82.4	82.5
合計	132		

2歳～6歳未満（女子）

階級	人数（人）	平均（cm）	中央値（cm）
2歳0ヵ月～	64	85.7	86.0
2歳6ヵ月～	69	90.3	90.4
3歳0ヵ月～	78	93.7	94.0
3歳6ヵ月～	55	97.7	98.0
4歳0ヵ月～	64	100.3	100.3
4歳6ヵ月～	59	105.3	105.3
5歳0ヵ月～	66	108.7	108.1
5歳6ヵ月～6歳未満	92	111.8	112.2
合計	547		

- ◆成長曲線は厚生労働省「平成22年度乳幼児身体発育調査」より抜粋
- ◆グラフ上の点は、右表の平均値を成長曲線にプロットしたもの

平成29年度 小児健康診査（0歳～6歳未満）女子 【体重】

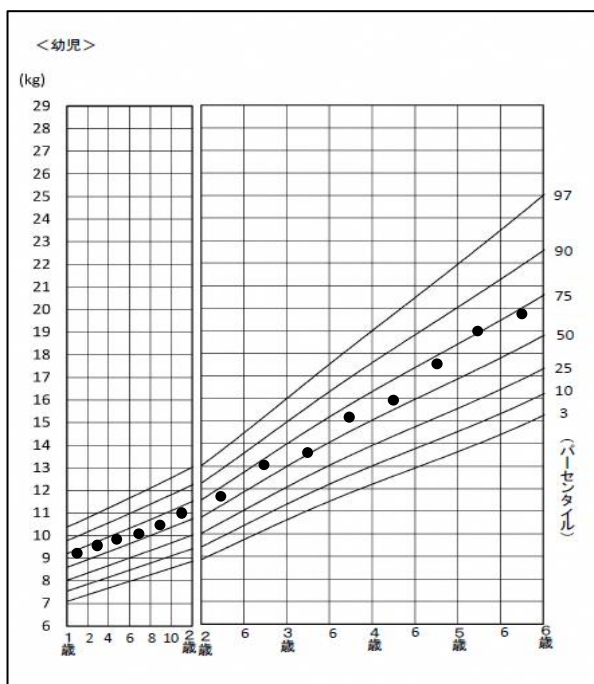


平成29年度小児健康診査【体重】集計結果

0歳10ヵ月～1歳未満（女子）

階級	人数（人）	平均（kg）	中央値（kg）
10ヵ月～1歳未満	24	8.5	8.6
合計			

- ◆成長曲線は厚生労働省「平成22年度乳幼児身体発育調査」より抜粋
- ◆グラフ上の点は、右表の平均値を成長曲線にプロットしたもの



平成29年度小児健康診査【体重】集計結果

1歳～2歳未満（女子）

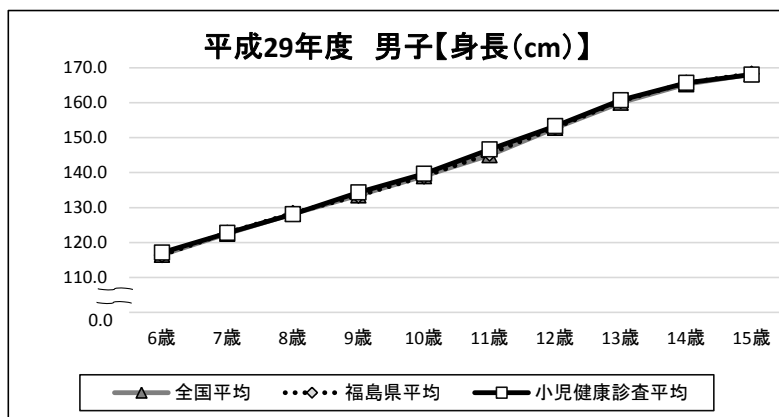
階級	人数（人）	平均（kg）	中央値（kg）
1歳0ヵ月～	26	9.1	9.1
1歳2ヵ月～	21	9.2	9.3
1歳4ヵ月～	23	9.9	9.9
1歳6ヵ月～	28	10.2	10.1
1歳8ヵ月～	12	10.7	10.5
1歳10ヵ月～2歳未満	22	11.0	10.9
合計	132		

2歳～6歳未満（女子）

階級	人数（人）	平均（kg）	中央値（kg）
2歳0ヵ月～	64	11.7	11.8
2歳6ヵ月～	69	13.1	12.8
3歳0ヵ月～	78	13.8	13.6
3歳6ヵ月～	55	15.1	15.0
4歳0ヵ月～	64	15.9	15.5
4歳6ヵ月～	59	17.8	17.3
5歳0ヵ月～	66	19.0	18.6
5歳6ヵ月～6歳未満	92	19.9	19.5
合計	547		

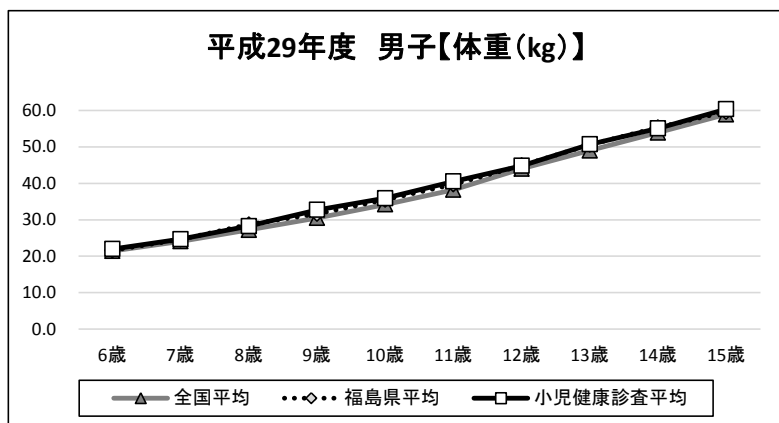
- ◆成長曲線は厚生労働省「平成22年度乳幼児身体発育調査」より抜粋
- ◆グラフ上の点は、右表の平均値を成長曲線にプロットしたもの

平成29年度 全国平均・福島県平均・小児健康診査平均の比較(身長・体重) 6歳～15歳 (男子)



平成29年度 男子【身長】 (cm)

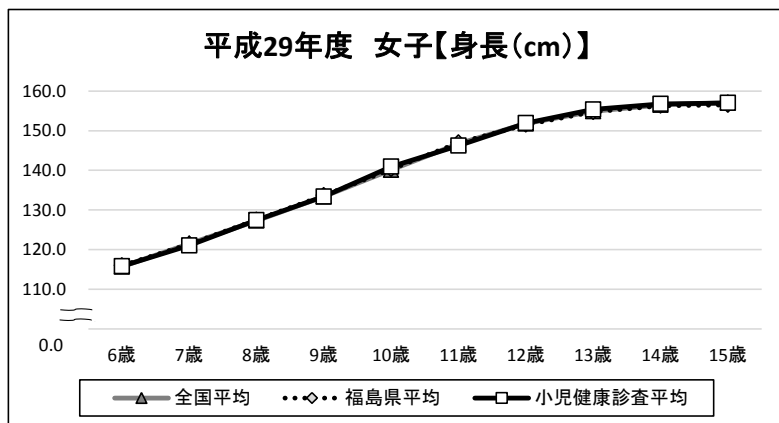
年齢	全国平均	福島県平均	小児健康診査平均
6歳	116.5	116.4	117.1
7歳	122.5	122.8	122.7
8歳	128.2	128.4	128.1
9歳	133.5	133.4	134.3
10歳	139.0	138.9	139.7
11歳	145.0	145.4	146.7
12歳	152.8	152.9	153.3
13歳	160.0	160.5	160.7
14歳	165.3	165.7	165.7
15歳	168.2	168.3	168.1



平成29年度 男子【体重】 (kg)

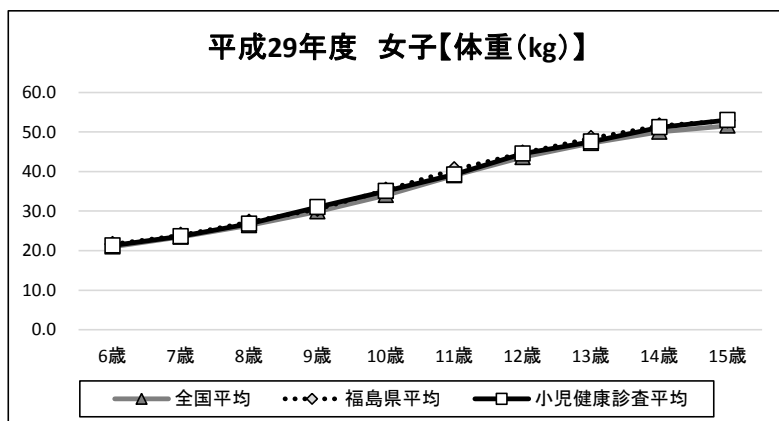
年齢	全国平均	福島県平均	小児健康診査平均
6歳	21.4	21.6	22.0
7歳	24.1	24.6	24.7
8歳	27.2	28.7	28.3
9歳	30.5	31.6	32.7
10歳	34.2	35.5	35.9
11歳	38.2	39.7	40.5
12歳	44.0	44.9	44.8
13歳	49.0	50.6	50.7
14歳	53.9	55.3	55.1
15歳	58.9	59.6	60.3

平成29年度 全国平均・福島県平均・小児健康診査平均の比較(身長・体重) 6歳～15歳 (女子)



平成29年度 女子【身長】 (cm)

年齢	全国平均	福島県平均	小児健康診査平均
6歳	115.7	116.0	115.8
7歳	121.5	121.4	121.1
8歳	127.3	127.5	127.4
9歳	133.4	133.7	133.4
10歳	140.1	140.3	140.9
11歳	146.7	147.0	146.2
12歳	151.8	151.5	151.9
13歳	154.9	154.7	155.3
14歳	156.5	156.3	156.8
15歳	157.1	156.5	157.0



平成29年度 女子【体重】 (kg)

年齢	全国平均	福島県平均	小児健康診査平均
6歳	21.0	21.6	21.3
7歳	23.5	23.9	23.6
8歳	26.4	27.2	26.8
9歳	29.9	30.5	31.0
10歳	34.0	35.3	35.1
11歳	39.0	40.5	39.2
12歳	43.6	44.7	44.5
13歳	47.2	48.4	47.5
14歳	50.0	51.6	51.2
15歳	51.6	52.9	53.0

平成23～29年度 県民健康調査「健康診査」 健診項目別受診実績基礎統計表

【対象者】

- 平成23年3月11日から平成24年4月1日までに対象地域※に住民登録していた方（対象地域を転出後も対象とする）
- 実施年度の4月1日時点で避難区域等に住民登録をしていた方
- 上記以外で基本調査の結果、必要と認められた方

※対象地域：平成23年時に避難区域等に指定された市町村等

広野町、榑葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部（特定避難勧奨地点の属する区域）

【健診項目】

年齢区分	健診項目
0歳～6歳 (就学前乳幼児)	身長、体重、 [希望がある場合のみ] 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）
7歳～15歳 (小学校1年生～中学校3年生)	身長、体重、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） [希望による追加項目] 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 血清クレアチニン、尿酸）
16歳以上	身長、体重、腹囲（又はBMI）、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） 尿検査（尿蛋白、尿糖、尿潜血） 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 血清クレアチニン、eGFR、尿酸） ※下線部は、通常、特定健康診査では検査しない追加項目

※平成23～29年度の健診結果については、一般的年齢区分と「健康診査」の健診項目の違いにより0～6歳、7～15歳、16～39歳、40～64歳、65歳以上の5つの年齢に区分し、健診項目毎に結果をグラフ化した。

※平成29年度の健診結果については、健診項目毎に年齢群別及び性別に集計した。

※集計結果には、同一年度に2回以上受診をした者（重複受診者）が含まれている。

※集計結果の基礎統計表の表章記号の規約は、厚生労働省の人口動態調査と同様に表記した。

計数のない場合	—
統計項目のない場合（年齢区分によって健診項目がない場合）	・
計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微小（0.05未満）の場合	0.0%

※統計ソフトウェアには、SAS 9.4 (SAS Institute Inc., Cary, NC, USA) を用いて、解析を行った。検査項目の結果は、平均値またはパーセンテージで示した。各変数は、性別（男性、女性）、年齢層別（7～15歳、16～39歳、40～64歳、65歳以上）に、各年度の結果を比較した。各項目は、Kruskal-Wallis testを行った後、さらにpost hoc testを用いて多重比較した。P<0.05を統計学的有意差ありとした。

※平成23年度と平成24年度～平成29年度では、健診の実施時期は異なる。

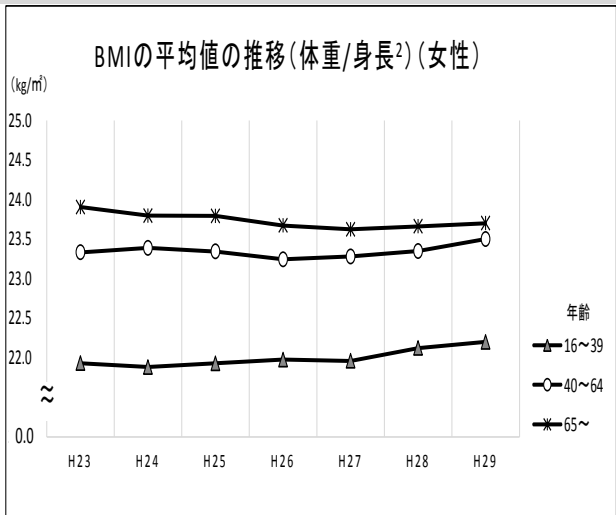
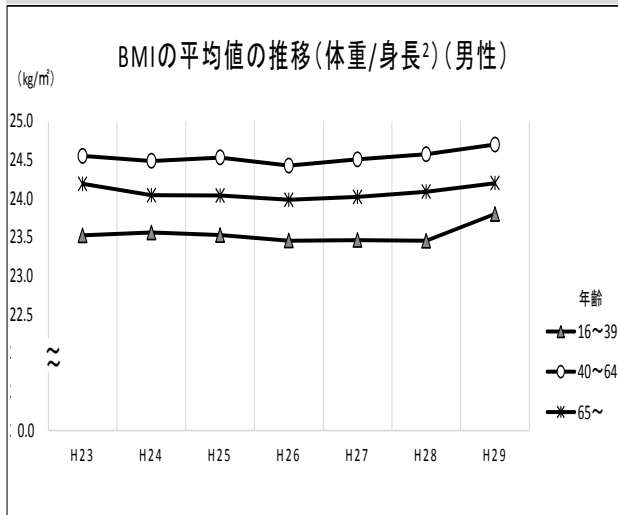
〈参考〉小児健康診査実施時期（0～15歳）
平成23年度：平成24年1月～3月
平成24～29年度：当該年度7月～12月

※参考資料

平成23～26年度：第21回検討委員会資料3-2「健診項目別受診実績基礎統計表」
平成27年度：第26回検討委員会資料3-2「健診項目別受診実績基礎統計表」
平成28年度：第30回検討委員会資料2-3「健診項目別受診実績基礎統計表」

【健診項目のまとめ】

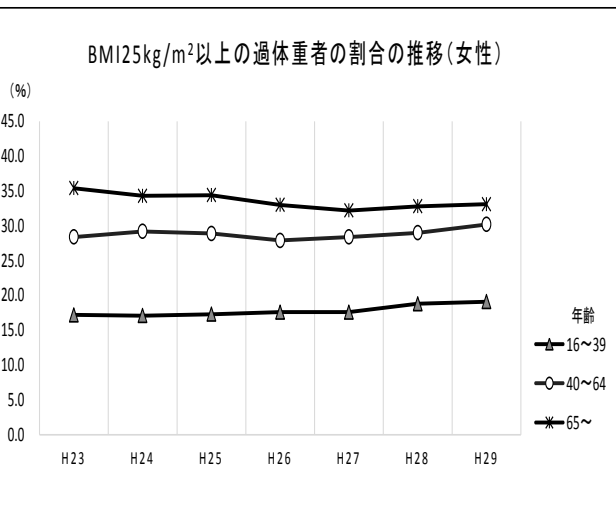
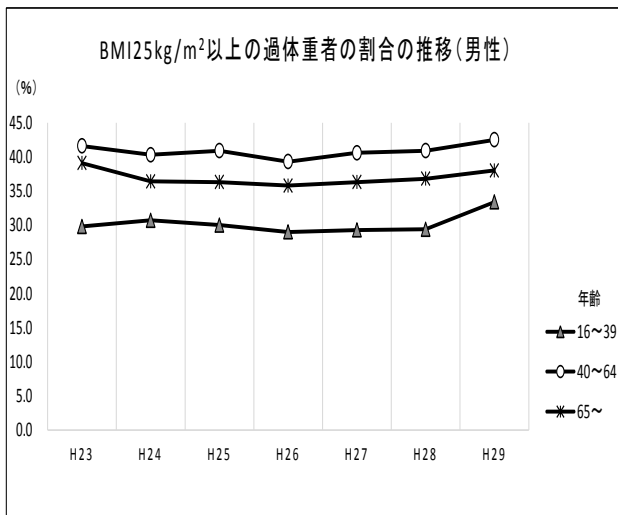
1.身体検査 (1) BMI



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
16~39	23.5	23.6	23.5	23.5	23.5	23.5	23.8
40~64	24.6	24.5	24.5	24.4	24.5	24.6	24.7
65~	24.2	24.0	24.0	24.0	24.0	24.1	24.2

年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
16~39	21.9	21.9	21.9	22.0	22.0	22.0	22.2
40~64	23.3	23.4	23.3	23.2	23.3	23.3	23.5
65~	23.9	23.8	23.8	23.7	23.6	23.7	23.7

BMIが25kg/m²の過体重者の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
16~39	29.8	30.7	30.0	29.0	29.3	29.4	33.4
40~64	41.6	40.3	40.9	39.3	40.6	40.9	42.5
65~	39.1	36.4	36.3	35.8	36.3	36.8	38.0

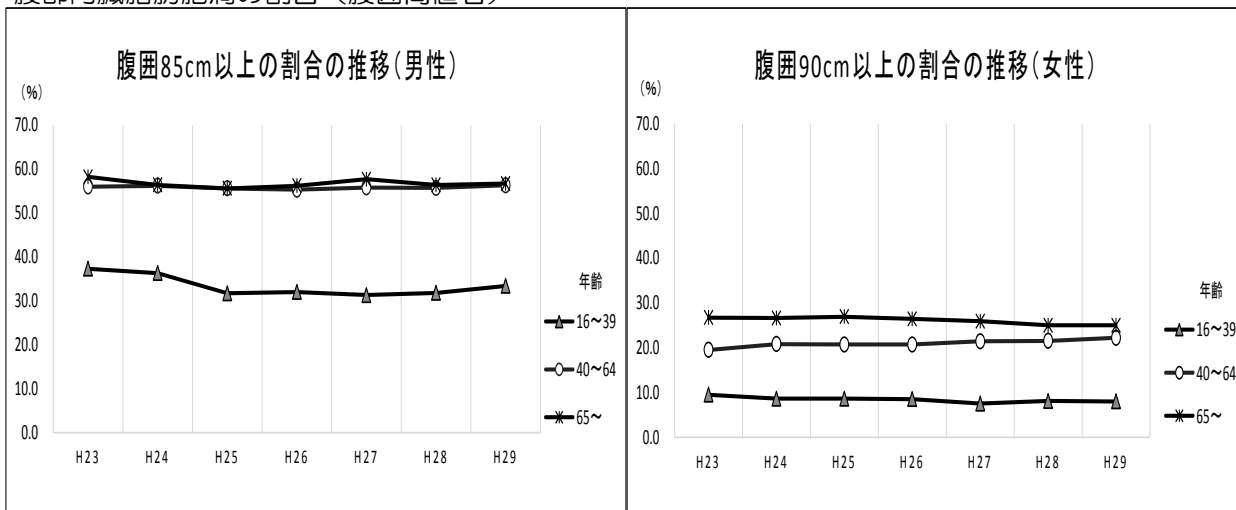
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
16~39	17.2	17.1	17.3	17.6	17.6	18.8	19.1
40~64	28.4	29.2	28.9	27.9	28.4	29.0	30.2
65~	35.4	34.3	34.4	33.0	32.2	32.8	33.1

◆解析(多重比較)の結果◆※P<0.05を統計学的有意差ありとした。

BMIが25kg/m²以上の過体重者の割合は、各年度とも女性と比較して、男性の方が高かった。男性では、平成23年度から平成29年度まで、全ての年齢区分で過体重者の割合に有意な変化はみられなかった。一方、65歳以上の女性では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意な減少がみられたが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

1.身体検査（2）腹囲

腹部内臓脂肪肥満の割合（腹囲高値者）



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
16~39	37.3	36.3	31.7	32.0	31.3	31.8	33.4
40~64	56.0	56.2	55.6	55.3	55.8	55.7	56.3
65~	58.2	56.4	55.6	56.2	57.7	56.4	56.7

年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
16~39	9.5	8.6	8.6	8.5	7.5	8.1	8.0
40~64	19.5	20.8	20.7	20.7	21.4	21.5	22.2
65~	26.7	26.6	26.9	26.4	25.9	25.0	25.0

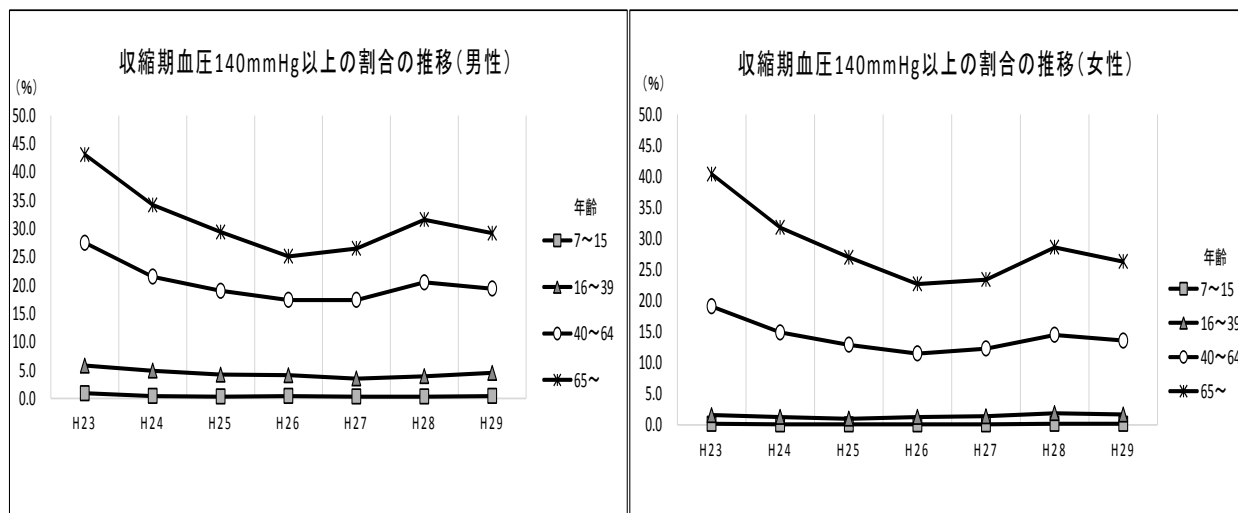
◆解析（多重比較）の結果◆※ $P < 0.05$ を統計学的有意差ありとした。

腹部内臓脂肪肥満の割合は、男性（85cm以上）では全ての年齢区分で、平成23年度から平成29年度まで有意な変化はみられなかった。

40~64歳の女性（90cm以上）では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に増加したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

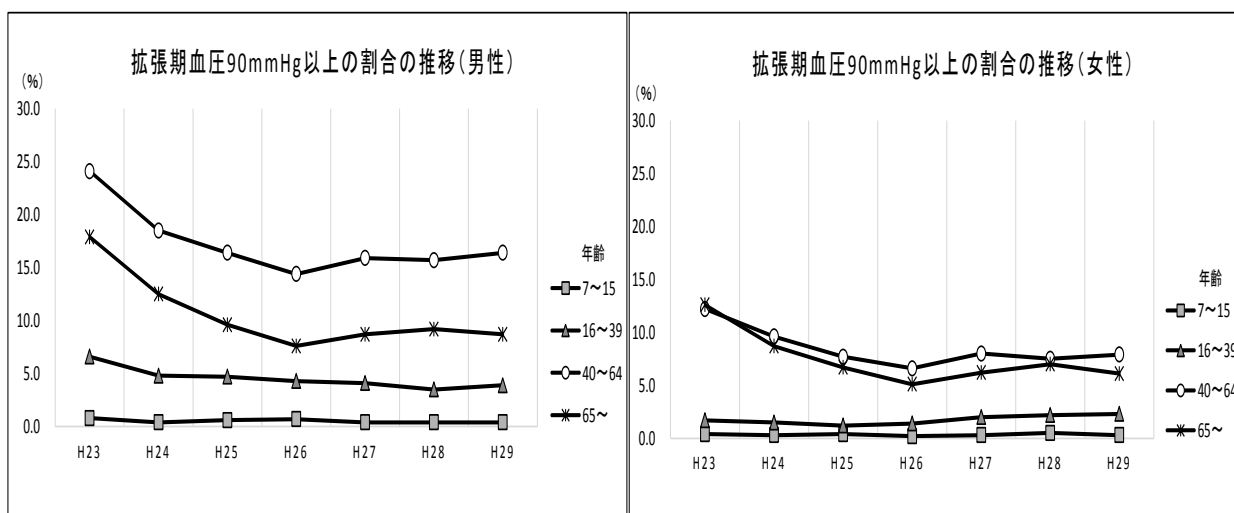
1.身体検査 (3) 血圧

高血圧者の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
7~15	0.9	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4
16~39	5.8	4.9	4.2	4.1	3.5	3.9	4.5
40~64	27.5	21.5	19.0	17.4	17.4	20.5	19.4
65~	43.1	34.2	29.4	25.1	26.5	31.6	29.2

年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
7~15	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2
16~39	1.6	1.3	1.0	1.3	1.4	1.9	1.7
40~64	19.1	14.9	12.9	11.5	12.3	14.5	13.6
65~	40.4	31.8	27.0	22.7	23.4	28.6	26.3



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
7~15	0.8	0.4	0.6	0.7	0.4	0.4	0.4
16~39	6.6	4.8	4.7	4.3	4.1	3.5	3.9
40~64	24.1	18.5	16.4	14.4	15.9	15.7	16.4
65~	17.9	12.5	9.6	7.6	8.7	9.2	8.7

年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
7~15	0.4	0.3	0.4	0.2	0.3	0.5	0.3
16~39	1.7	1.5	1.2	1.4	2.0	2.2	2.3
40~64	12.2	9.6	7.7	6.6	8.0	7.5	7.9
65~	12.6	8.7	6.7	5.1	6.2	7.0	6.1

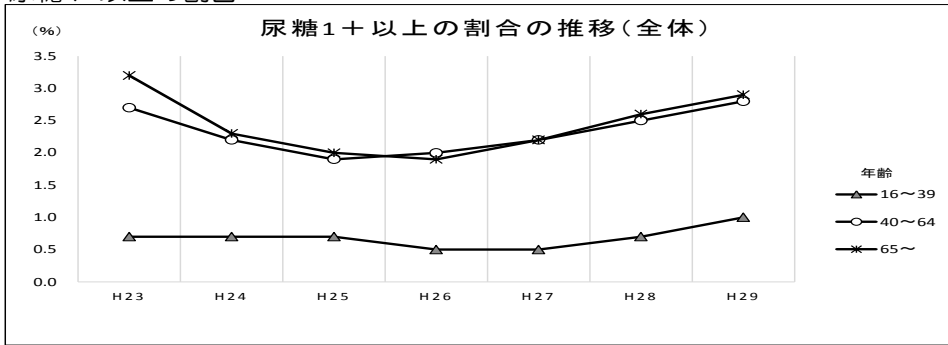
◆解析 (多重比較) の結果◆ ※P<0.05を統計学的有意差ありとした。

収縮期血圧140mmHg以上の割合は、40歳以上の男女ともに、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に減少していたが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

拡張期血圧90mmHg以上の割合についても、収縮期血圧と同様の傾向がみられた。加えて、16~39歳の男性では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に減少したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

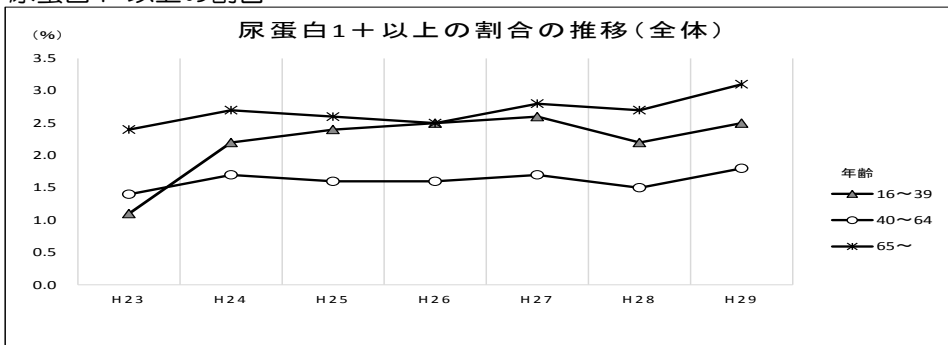
2.尿検査 (1) 尿糖 (2) 尿蛋白 (3) 尿潜血

尿糖1+以上の割合



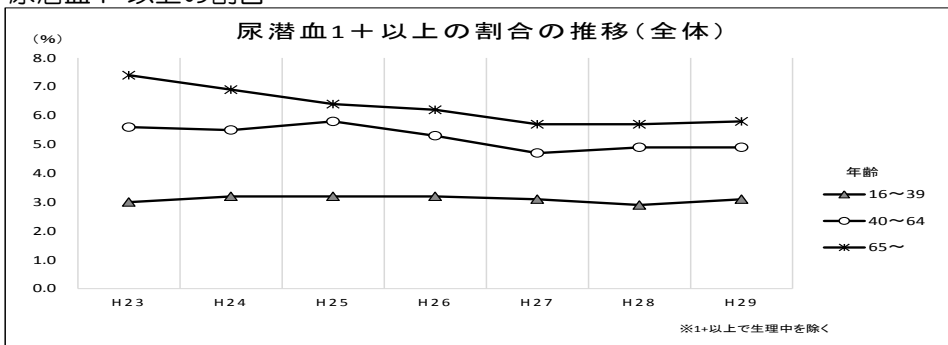
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
16~39	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.7	1.0
40~64	2.7	2.2	1.9	2.0	2.2	2.5	2.8
65~	3.2	2.3	2.0	1.9	2.2	2.6	2.9

尿蛋白1+以上の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
16~39	1.1	2.2	2.4	2.5	2.6	2.2	2.5
40~64	1.4	1.7	1.6	1.6	1.7	1.5	1.8
65~	2.4	2.7	2.6	2.5	2.8	2.7	3.1

尿潜血1+以上の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
16~39	3.0	3.2	3.2	3.2	3.1	2.9	3.1
40~64	5.6	5.5	5.8	5.3	4.7	4.9	4.9
65~	7.4	6.9	6.4	6.2	5.7	5.7	5.8

◆解析(多重比較)の結果◆ ※P<0.05を統計学的有意差ありとした。

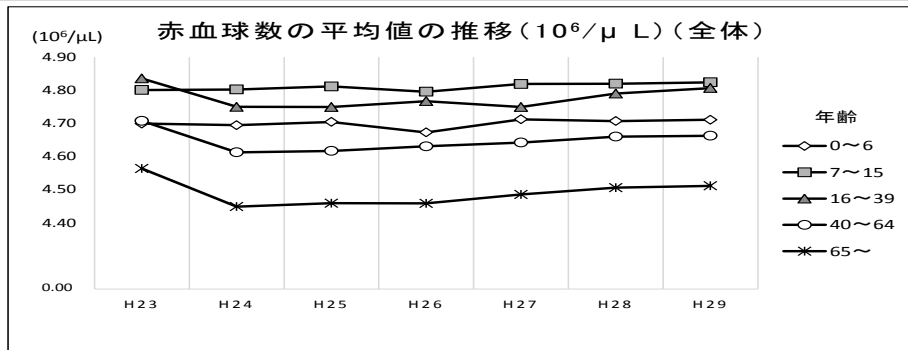
尿糖1+以上の割合は、平成23年度から平成29年度まで、全ての年齢区分で有意な変化はみられなかった。

尿蛋白1+以上の割合は、16~39歳および65歳以上では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に増加したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

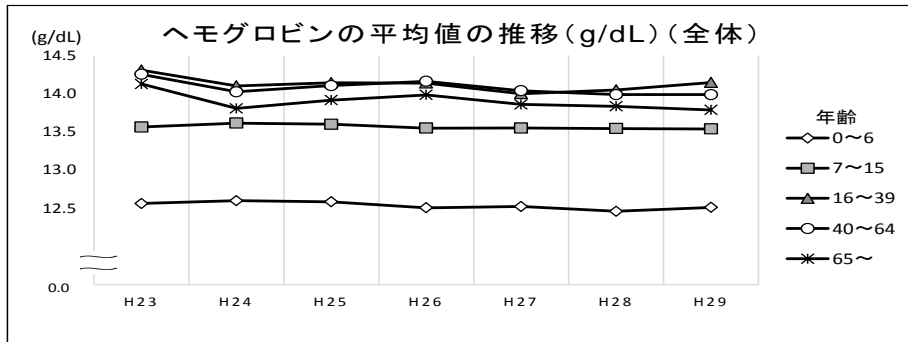
尿潜血1+以上の割合は、40歳以上では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に減少したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

3.末梢血液検査

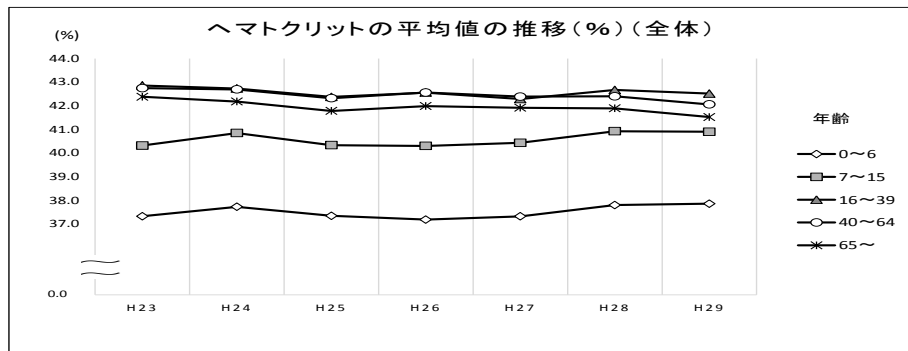
(1) 赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0~6	4.70	4.69	4.70	4.67	4.71	4.71	4.71
7~15	4.80	4.80	4.81	4.80	4.82	4.82	4.82
16~39	4.84	4.75	4.75	4.77	4.75	4.79	4.81
40~64	4.71	4.61	4.62	4.63	4.64	4.66	4.66
65~	4.56	4.45	4.46	4.46	4.49	4.51	4.51



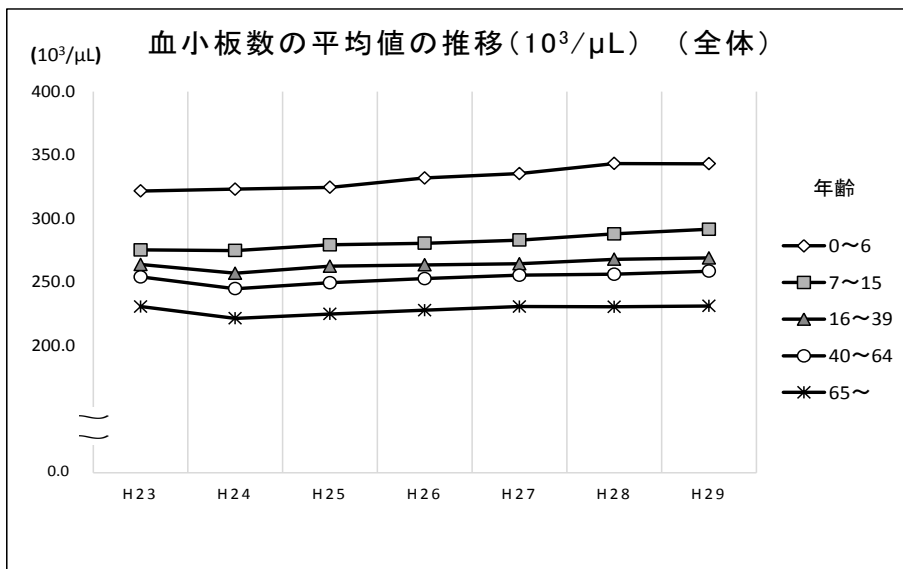
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0~6	12.6	12.6	12.6	12.5	12.5	12.5	12.5
7~15	13.6	13.6	13.6	13.5	13.5	13.5	13.5
16~39	14.3	14.1	14.1	14.1	14.0	14.0	14.1
40~64	14.3	14.0	14.1	14.2	14.0	14.0	14.0
65~	14.1	13.8	13.9	14.0	13.9	13.8	13.8



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0~6	37.3	37.7	37.3	37.2	37.3	37.8	37.9
7~15	40.3	40.8	40.3	40.3	40.4	40.9	40.9
16~39	42.9	42.7	42.4	42.6	42.3	42.7	42.5
40~64	42.8	42.7	42.3	42.6	42.4	42.4	42.1
65~	42.4	42.2	41.8	42.0	41.9	41.9	41.5

赤血球数、ヘモグロビンは16歳以上で平成23から24年度にかけて減少しているが、平成25年度以降は増加し全ての年齢区分で大きな変化はみられなかった。

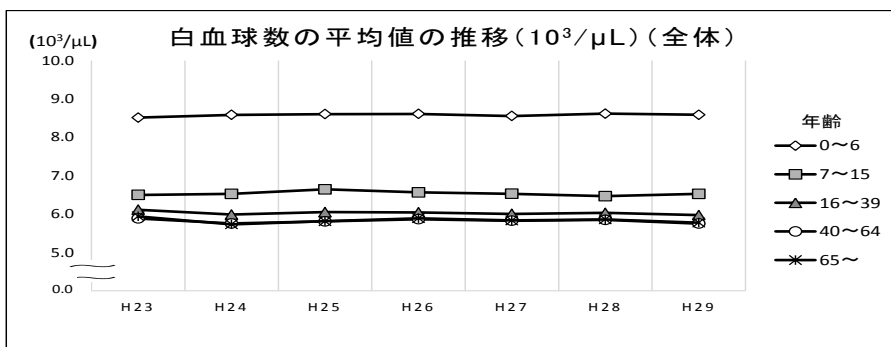
3.末梢血液検査 (2) 血小板数



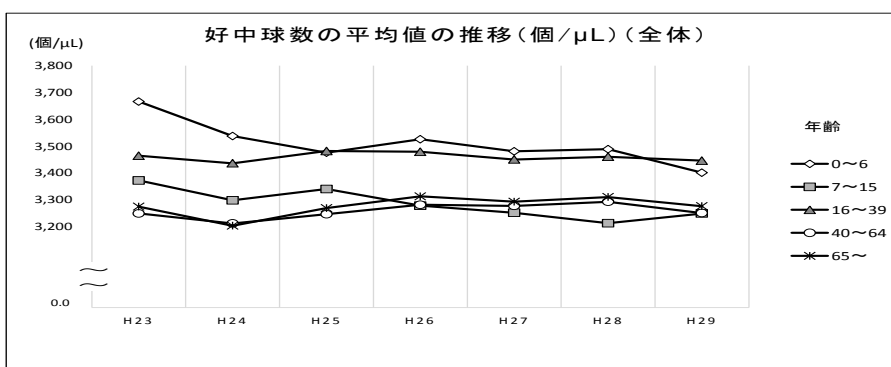
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0~6	321.9	323.3	324.7	332.1	335.6	343.5	343.3
7~15	275.4	275.0	279.5	280.7	283.2	288.1	291.7
16~39	263.9	257.0	262.6	263.7	264.5	268.1	269.1
40~64	254.2	244.9	249.7	252.9	255.6	256.3	258.7
65~	230.9	221.6	225.1	228.0	230.8	230.6	231.3

平成23から29年度まで、全ての年齢区分で大きな変化はみられなかった。

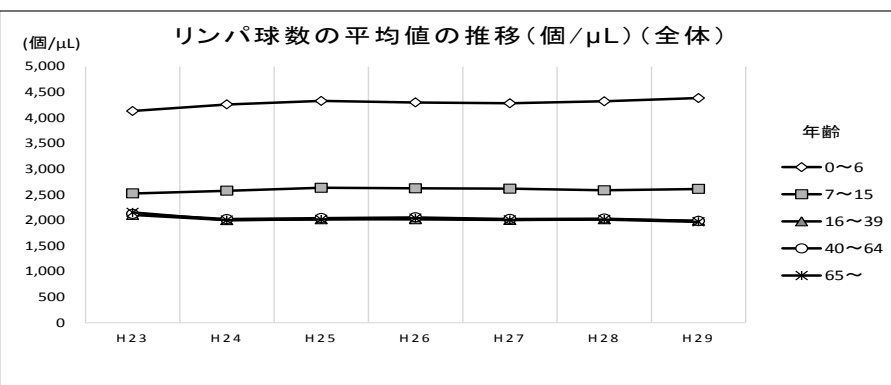
3.末梢血液検査 (3) 白血球数、白血球分画



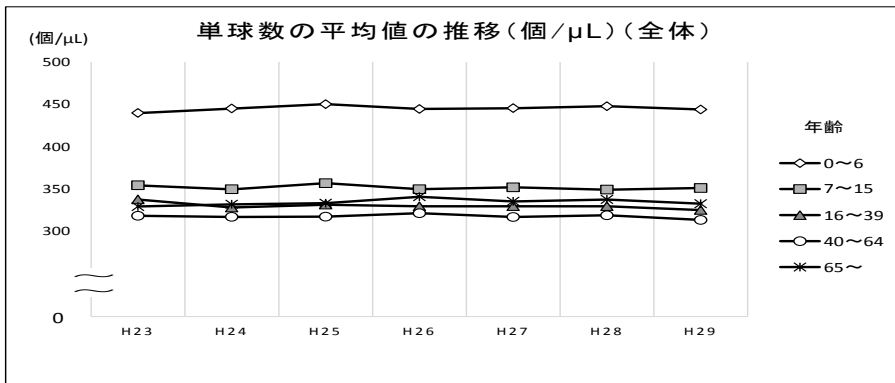
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0~6	8.5	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6
7~15	6.5	6.5	6.6	6.6	6.5	6.5	6.5
16~39	6.1	6.0	6.1	6.0	6.0	6.0	6.0
40~64	5.9	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8
65~	5.9	5.7	5.8	5.9	5.8	5.9	5.8



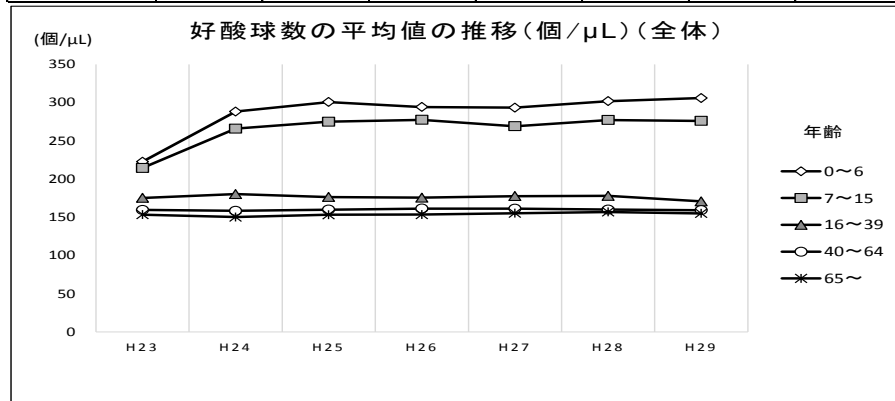
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0~6	3,666	3,538	3,476	3,526	3,481	3,489	3,402
7~15	3,373	3,299	3,341	3,279	3,253	3,214	3,250
16~39	3,465	3,437	3,482	3,479	3,451	3,461	3,447
40~64	3,250	3,213	3,247	3,282	3,278	3,293	3,252
65~	3,275	3,204	3,270	3,314	3,294	3,311	3,277



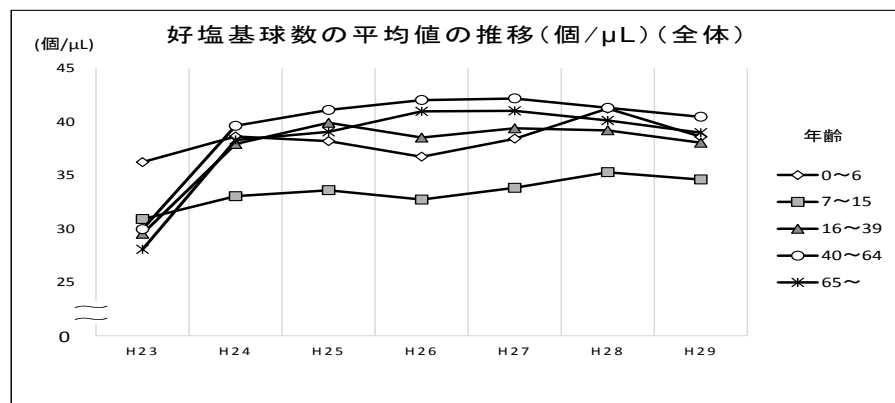
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0~6	4,134	4,261	4,330	4,299	4,283	4,323	4,386
7~15	2,524	2,575	2,633	2,624	2,617	2,585	2,611
16~39	2,105	2,002	2,020	2,018	2,006	2,019	1,990
40~64	2,125	2,023	2,042	2,057	2,026	2,032	1,987
65~	2,153	2,003	2,017	2,040	2,006	2,014	1,969



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0~6	440	445	450	445	446	448	444
7~15	355	350	357	350	352	350	352
16~39	338	329	332	330	330	330	326
40~64	319	317	318	322	317	319	314
65~	330	332	334	341	336	338	333



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0~6	223	288	301	294	293	302	306
7~15	214	266	275	277	269	277	276
16~39	175	180	176	176	178	178	171
40~64	160	158	160	161	161	160	159
65~	153	150	153	154	155	157	155



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0~6	36	39	38	37	38	41	39
7~15	31	33	34	33	34	35	35
16~39	30	38	40	39	39	39	38
40~64	30	40	41	42	42	41	40
65~	28	38	39	41	41	40	39

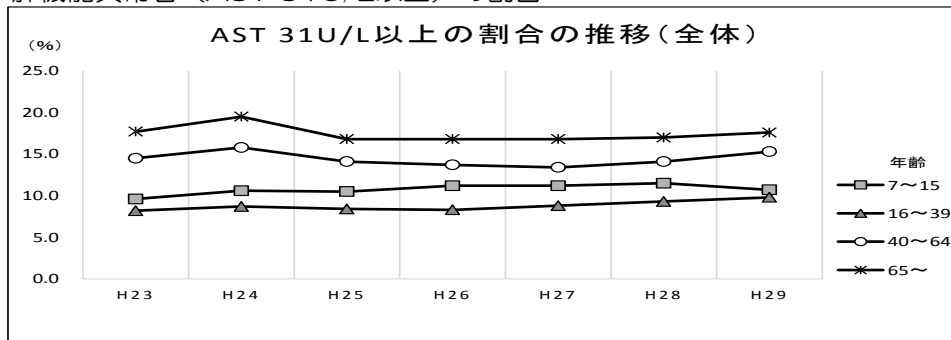
白血球数は、平成23から29年度まで、全ての年齢区分で大きな変化はみられなかった。

さらに白血球分画では、好中球数、リンパ球数、単球数、好酸球数、好塩基球数の平均値には、各年齢層において、平成23から29年度まで大きな変化はみられなかった。

小児の赤血球数、白血球数、血小板数においては、平成23年度と比較して平成24から29年度は、赤血球数、白血球数、血小板数の平均値は変化はみられなかった。

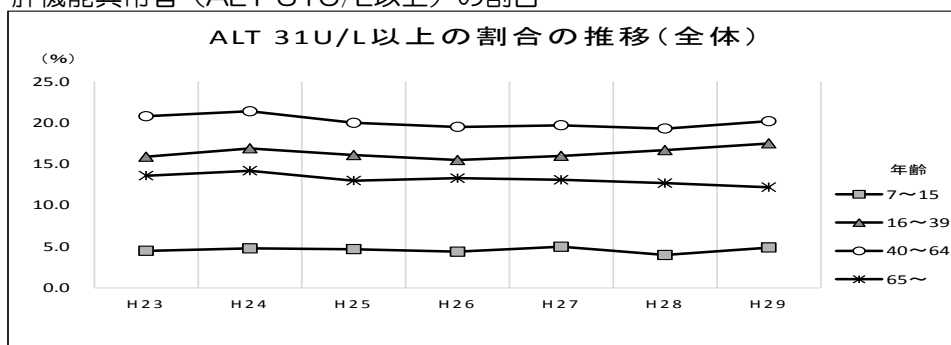
4.血液生化学 (1) 肝機能 (AST、ALT、 γ -GT)

肝機能異常者 (AST 31U/L以上) の割合



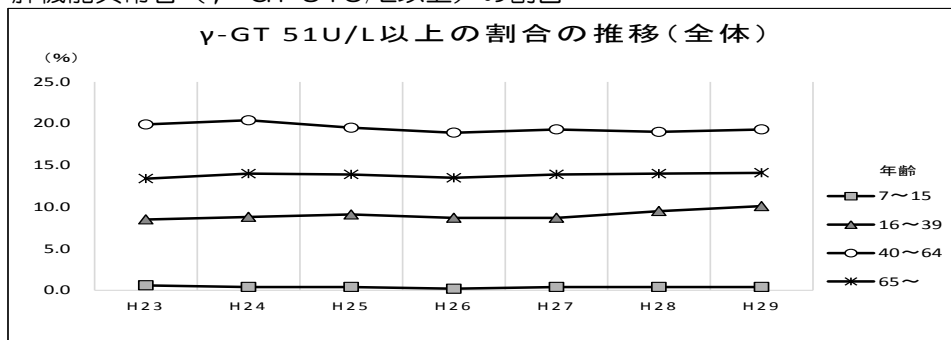
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
7~15	9.6	10.6	10.5	11.2	11.2	11.5	10.7
16~39	8.2	8.7	8.4	8.3	8.8	9.3	9.8
40~64	14.5	15.8	14.1	13.7	13.4	14.1	15.3
65~	17.7	19.5	16.8	16.8	16.8	17.0	17.6

肝機能異常者 (ALT 31U/L以上) の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
7~15	4.5	4.8	4.7	4.4	5.0	4.0	4.9
16~39	15.9	16.9	16.1	15.5	16.0	16.7	17.5
40~64	20.8	21.4	20.0	19.5	19.7	19.3	20.2
65~	13.6	14.2	13.0	13.3	13.1	12.7	12.2

肝機能異常者 (γ -GT 51U/L以上) の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
7~15	0.6	0.4	0.4	0.2	0.4	0.4	0.4
16~39	8.5	8.8	9.1	8.7	8.7	9.5	10.1
40~64	19.9	20.4	19.5	18.9	19.3	19.0	19.3
65~	13.4	14.0	13.9	13.5	13.9	14.0	14.1

◆解析 (多重比較) の結果◆ ※ $P < 0.05$ を統計学的有意差ありとした。

AST31U/L以上の割合は、16~39歳では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に増加したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

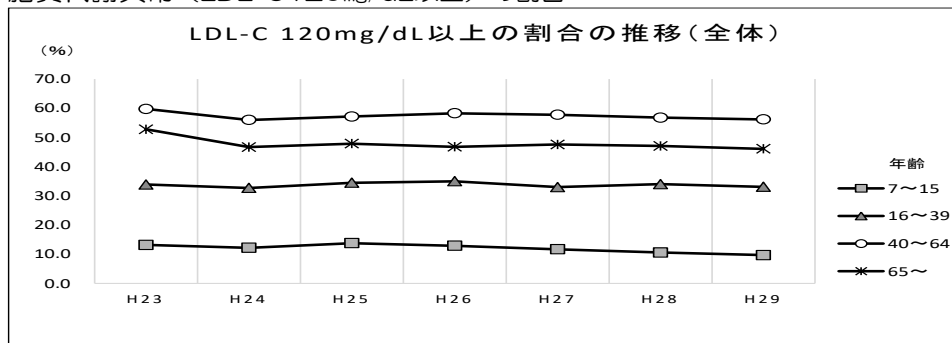
ALT31U/L以上の割合は、65歳以上では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に減少したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

γ -GT51U/L以上の割合は、16~39歳では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に増加したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

4.血液生化学

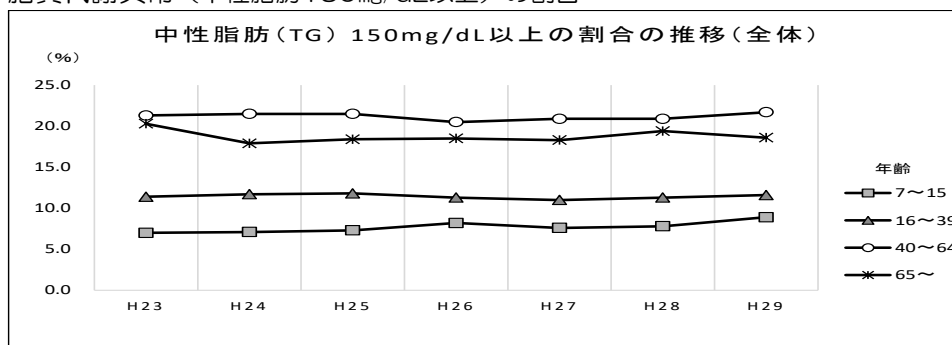
(2) 脂質 (LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール)

脂質代謝異常 (LDL-C120mg/dL以上) の割合



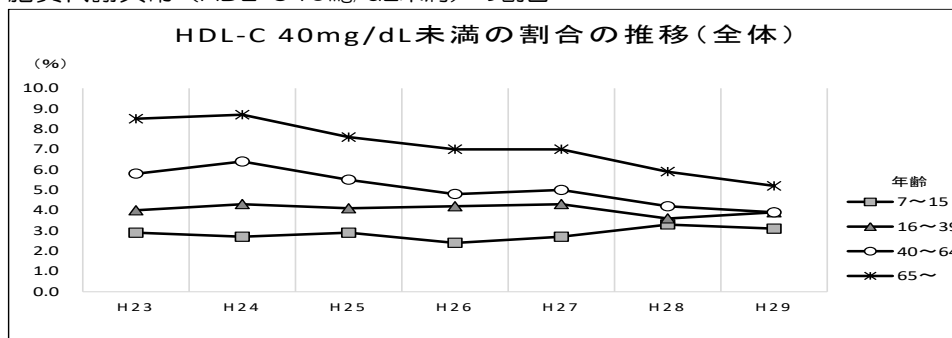
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
7~15	13.2	12.2	13.8	12.9	11.7	10.6	9.7
16~39	33.9	32.7	34.5	35.0	33.0	34.0	33.1
40~64	59.8	56.0	57.2	58.3	57.8	56.8	56.2
65~	52.8	46.7	47.9	46.8	47.6	47.1	46.1

脂質代謝異常 (中性脂肪150mg/dL以上) の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
7~15	7.0	7.1	7.3	8.2	7.6	7.8	8.9
16~39	11.4	11.7	11.8	11.3	11.0	11.3	11.6
40~64	21.3	21.5	21.5	20.5	20.9	20.9	21.7
65~	20.3	17.9	18.4	18.5	18.3	19.4	18.6

脂質代謝異常 (HDL-C40mg/dL未満) の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
7~15	2.9	2.7	2.9	2.4	2.7	3.3	3.1
16~39	4.0	4.3	4.1	4.2	4.3	3.6	3.9
40~64	5.8	6.4	5.5	4.8	5.0	4.2	3.9
65~	8.5	8.7	7.6	7.0	7.0	5.9	5.2

◆解析 (多重比較) の結果◆ *P<0.05を統計学的有意差ありとした。

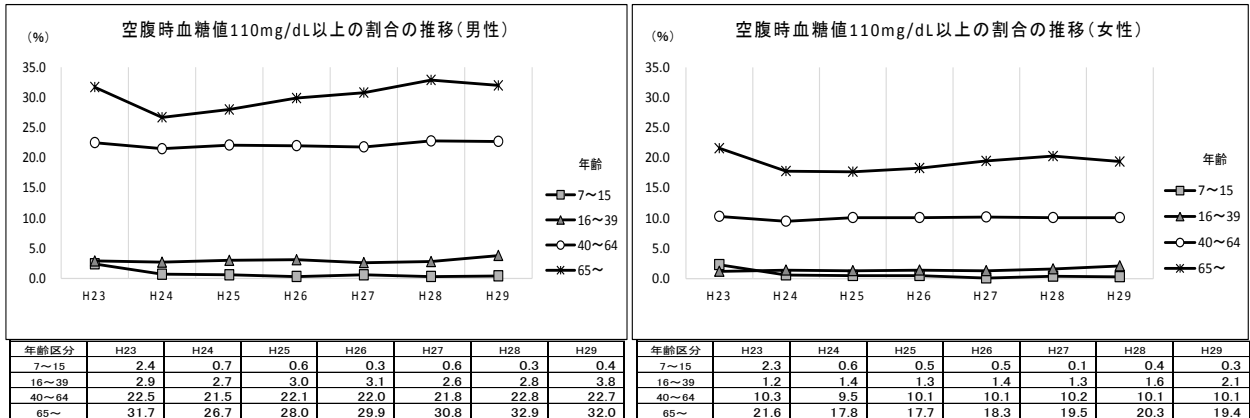
LDL-C120mg/dL以上の割合は、7~15歳および40歳以上では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に減少したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

TG150mg/dL以上の割合は、7~15歳では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に増加したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。一方、65歳以上では、平成29年度の割合は、平成23年度と比較して有意に減少したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

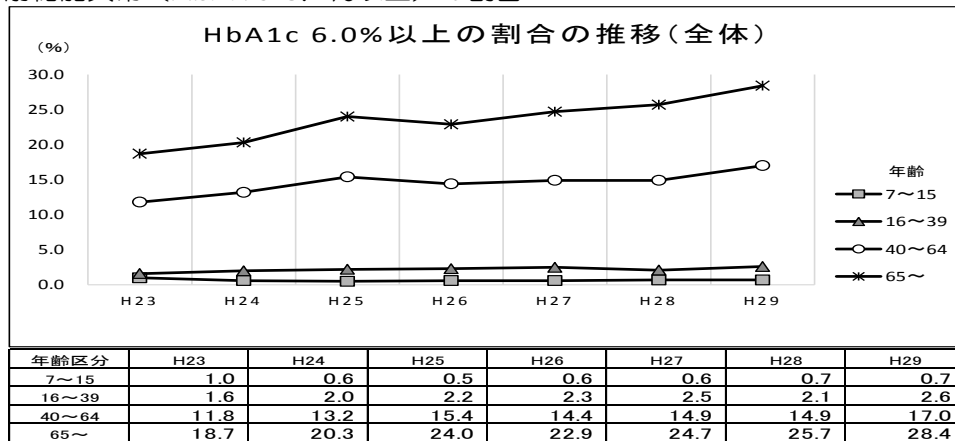
HDL-C40mg/dL未満の割合は、40~64歳では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に減少したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。また、65歳以上では、平成29年度の割合は、平成23年度と比較して有意に減少し、平成28年度と比較しても減少する傾向にあった。

4.血液生化学 (3) 糖 (空腹時血糖、HbA1c)

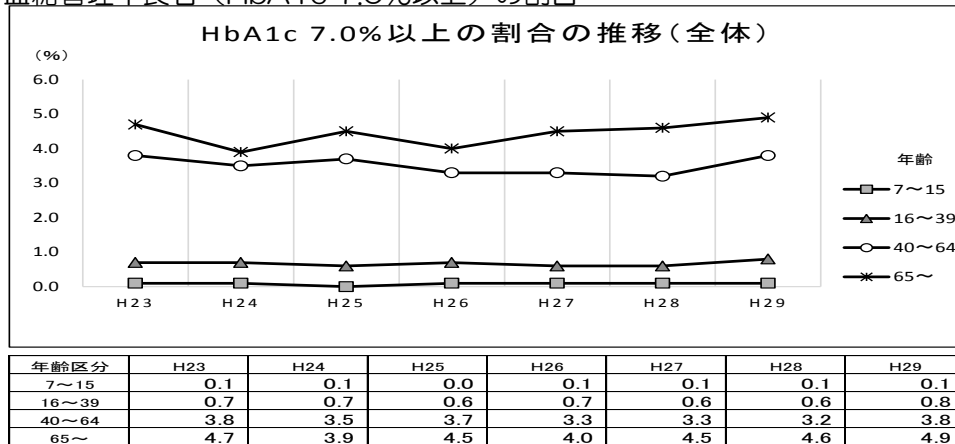
耐糖能異常 (空腹時血糖値110mg/dL以上) の割合



耐糖能異常 (HbA1c 6.0%以上) の割合



血糖管理不良者 (HbA1c 7.0%以上) の割合



◆解析 (多重比較) の結果◆ ※P<0.05を統計学的有意差ありとした。

男性の空腹時血糖値110mg/dL以上の割合は、7~15歳では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に減少したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。また、その他の年齢区分では、平成23年度から平成29年度まで有意な変化はみられなかった。

女性の空腹時血糖値110mg/dL以上の割合は、7~39歳および65歳以上では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に減少したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。40~64歳では、平成23年度から平成29年度まで有意な変化はみられなかった。

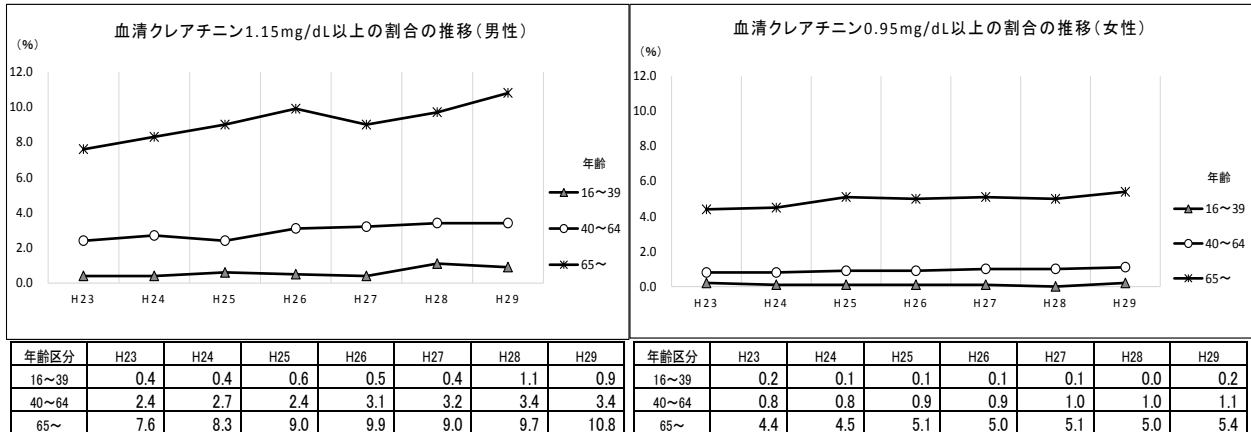
HbA1c6.0%以上の割合は、16~39歳では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に増加したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。40歳以上では、平成29年度の割合は、平成23年度と比較して有意に増加し、平成28年度との比較でも有意に増加した。

HbA1c7.0%以上の割合は、全ての年齢区分で有意な変化はみられなかった。

4.血液生化学

(4) 腎機能 (血清クレアチニン、eGFR、尿酸)

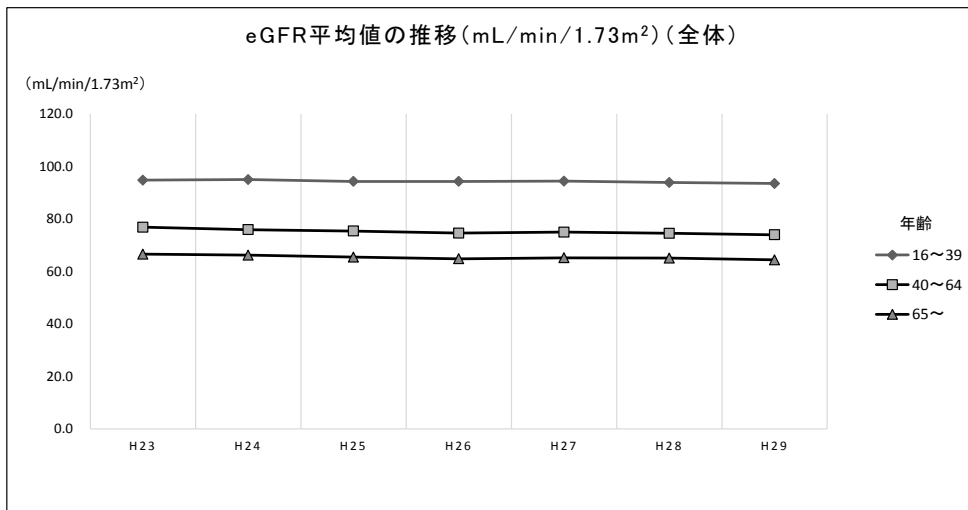
血清クレアチニン (男性) 1.15mg/dL以上の割合と (女性) 0.95mg/dL以上の割合



◆解析 (多重比較) の結果◆ ※P<0.05を統計学的有意差ありとした。

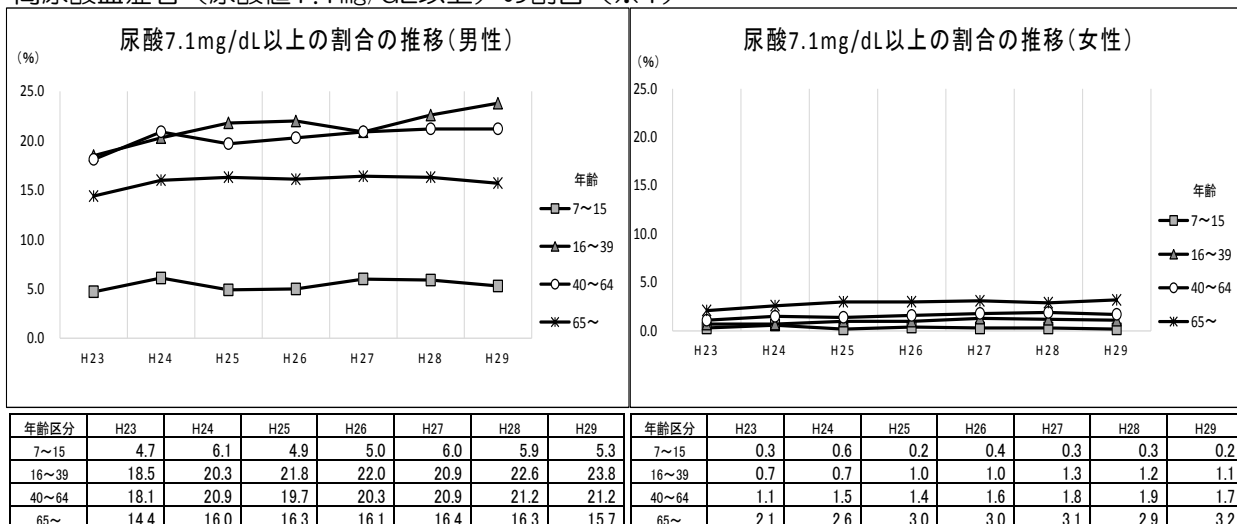
血清クレアチニン値が高い人の割合は、40歳以上の男性 (1.15mg/dL以上) では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に増加したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

また、65歳以上の女性 (0.95mg/dL以上) では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に増加したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

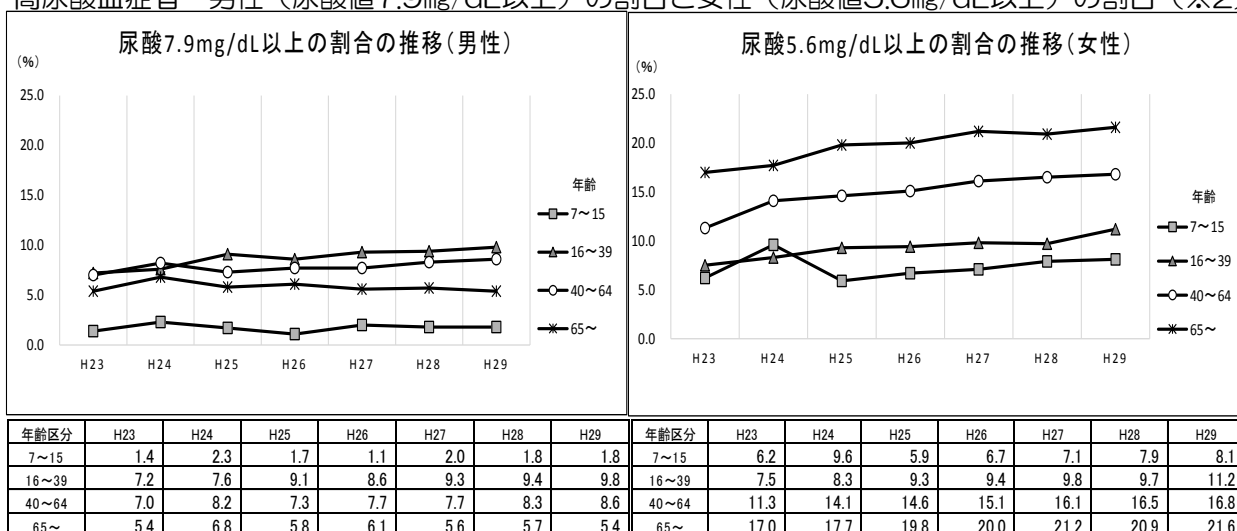


年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
16~39	94.8	95.0	94.3	94.3	94.4	93.9	93.5
40~64	76.9	75.9	75.4	74.6	75.0	74.5	74.0
65~	66.6	66.2	65.5	64.8	65.2	65.1	64.4

高尿酸血症者（尿酸値7.1mg/dL以上）の割合（※1）



高尿酸血症者 男性（尿酸値7.9mg/dL以上）の割合と女性（尿酸値5.6mg/dL以上）の割合（※2）



◆解析（多重比較）の結果◆ ※P<0.05を統計学的有意差ありとした。

尿酸値7.1mg/dL以上の割合は、16~64歳の男性では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に増加したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。また、40歳以上の女性では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に増加したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

尿酸値が高い男性（7.9mg/dL以上）の割合は、16~64歳では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に増加したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

尿酸値が高い女性（5.6 mg/dL以上）の割合は、16歳以上の女性では、平成29年度において、平成23年度と比較して有意に増加したが、平成28年度との比較では有意な変化はみられなかった。

※1：日本痛風・核酸代謝学会作成「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン」の定義による

※2：日本臨床検査標準化協議会設定共用基準範囲による

【平成29年度健康診査結果詳細】

身長

身長 (cm) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0～6	1,647	3.6	95.0
7～15	3,712	10.8	141.6
16～39	4,309	29.2	163.1
40～64	12,677	55.1	160.4
65～	20,296	73.3	155.3

身長 (cm) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	150cm以下	170cm以上
0～6	817	3.5	95.0	…	…
7～15	1,886	10.9	143.1	…	…
16～39	1,671	28.0	171.1	0.6%	58.1%
40～64	4,622	55.3	168.5	0.2%	40.7%
65～	9,333	73.4	162.3	2.6%	10.8%

身長 (cm) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	140cm以下	160cm以上
0～6	830	3.6	95.0	…	…
7～15	1,826	10.8	140.0	…	…
16～39	2,638	29.9	158.0	0.2%	36.8%
40～64	8,055	54.9	155.7	0.4%	22.6%
65～	10,963	73.2	149.4	5.8%	3.2%

体重

体重 (kg) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0～6	1,647	3.6	14.8
7～15	3,712	10.8	37.6
16～39	4,308	29.2	61.0
40～64	12,676	55.1	61.7
65～	20,296	73.3	57.9

体重 (kg) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	50kg以下	70kg以上
0～6	817	3.5	14.9	…	…
7～15	1,886	10.9	38.8	…	…
16～39	1,671	28.0	69.7	4.5%	42.5%
40～64	4,621	55.3	70.1	1.9%	46.7%
65～	9,333	73.4	63.8	6.6%	24.2%

体重 (kg) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	45kg以下	65kg以上
0～6	830	3.6	14.8	…	…
7～15	1,826	10.8	36.4	…	…
16～39	2,637	29.9	55.4	13.2%	15.8%
40～64	8,055	54.9	56.9	9.0%	18.6%
65～	10,963	73.2	52.9	17.6%	8.8%

1.身体検査 (1) BMI

BMI (体重/身長 ²) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	18未満	25以上
0~6
7~15
16~39	4,308	29.2	22.8	8.6%	24.7%
40~64	12,676	55.1	23.9	3.6%	34.7%
65~	20,296	73.3	23.9	3.0%	35.3%

BMI (体重/身長 ²) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	18未満	25以上
0~6
7~15
16~39	1,671	28.0	23.8	5.7%	33.4%
40~64	4,621	55.3	24.7	1.5%	42.5%
65~	9,333	73.4	24.2	2.0%	38.0%

BMI (体重/身長 ²) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	18未満	25以上
0~6
7~15
16~39	2,637	29.9	22.2	10.5%	19.1%
40~64	8,055	54.9	23.5	4.7%	30.2%
65~	10,963	73.2	23.7	3.8%	33.1%

1.身体検査 (2) 腹囲

腹囲 (cm) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	.	.	.
7~15	.	.	.
16~39	936	29.0	77.6
40~64	12,675	55.1	84.0
65~	13,198	69.5	85.1

腹囲 (cm) (男性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	85cm以上
0~6
7~15
16~39	413	28.6	80.7	33.4%
40~64	4,621	55.3	86.8	56.3%
65~	6,040	69.6	86.4	56.7%

腹囲 (cm) (女性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90cm以上
0~6
7~15
16~39	523	29.3	75.1	8.0%
40~64	8,054	54.9	82.4	22.2%
65~	7,158	69.5	84.0	25.0%

1.身体検査 (3) 血圧

収縮期血圧 (mmHg) (全体)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	140mmHg以上
0~6
7~15	3,702	10.8	104.4	0.3%
16~39	4,309	29.2	112.0	2.8%
40~64	12,678	55.1	124.0	15.7%
65~	20,299	73.3	131.1	27.6%

収縮期血圧 (mmHg) (男性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	140mmHg以上
0~6
7~15	1,880	10.9	105.6	0.4%
16~39	1,671	28.0	117.2	4.5%
40~64	4,622	55.3	127.0	19.4%
65~	9,336	73.4	131.8	29.2%

収縮期血圧 (mmHg) (女性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	140mmHg以上
0~6
7~15	1,822	10.8	103.1	0.2%
16~39	2,638	29.9	108.6	1.7%
40~64	8,056	54.9	122.2	13.6%
65~	10,963	73.2	130.5	26.3%

拡張期血圧 (mmHg) (全体)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90mmHg以上
0~6
7~15	3,702	10.8	60.9	0.4%
16~39	4,309	29.2	67.0	2.9%
40~64	12,678	55.1	75.3	11.0%
65~	20,299	73.3	73.6	7.3%

拡張期血圧 (mmHg) (男性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90mmHg以上
0~6
7~15	1,880	10.9	61.2	0.4%
16~39	1,671	28.0	69.8	3.9%
40~64	4,622	55.3	78.6	16.4%
65~	9,336	73.4	74.6	8.7%

拡張期血圧 (mmHg) (女性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90mmHg以上
0~6
7~15	1,822	10.8	60.6	0.3%
16~39	2,638	29.9	65.3	2.3%
40~64	8,056	54.9	73.3	7.9%
65~	10,963	73.2	72.7	6.1%

2.尿検査（1）尿糖

尿糖（全体）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0～6	.	.	.
7～15	.	.	.
16～39	4,288	29.2	1.0%
40～64	12,647	55.1	2.8%
65～	20,235	73.3	2.9%

尿糖（男性）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0～6	.	.	.
7～15	.	.	.
16～39	1,671	28.0	1.6%
40～64	4,613	55.3	4.9%
65～	9,314	73.4	4.5%

尿糖（女性）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0～6	.	.	.
7～15	.	.	.
16～39	2,617	30.0	0.6%
40～64	8,034	55.0	1.6%
65～	10,921	73.2	1.5%

2.尿検査（2）尿蛋白

尿蛋白（全体）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0～6	.	.	.
7～15	.	.	.
16～39	4,288	29.2	2.5%
40～64	12,647	55.1	1.8%
65～	20,235	73.3	3.1%

尿蛋白（男性）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0～6	.	.	.
7～15	.	.	.
16～39	1,671	28.0	2.9%
40～64	4,613	55.3	2.6%
65～	9,314	73.4	4.5%

尿蛋白（女性）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0～6	.	.	.
7～15	.	.	.
16～39	2,617	30.0	2.3%
40～64	8,034	55.0	1.3%
65～	10,921	73.2	1.8%

2.尿検査 (3) 尿潜血

尿潜血 (全体)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上	(1+)以上で生理中を除く
0~6
7~15
16~39	4,286	29.2	7.2%	3.1%
40~64	12,645	55.1	6.1%	4.9%
65~	20,233	73.3	5.8%	5.8%

尿潜血 (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0~6	.	.	.
7~15	.	.	.
16~39	1,670	28.0	1.0%
40~64	4,613	55.3	2.6%
65~	9,313	73.4	4.0%

尿潜血 (女性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上	(1+)以上で生理中を除く
0~6
7~15
16~39	2,616	30.0	11.1%	4.4%
40~64	8,032	55.0	8.0%	6.2%
65~	10,920	73.2	7.4%	7.4%

3.末梢血液検査 (1) -1 赤血球

赤血球数 ($10^6/\mu\text{L}$) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,526	3.6	4.71
7~15	3,696	10.8	4.82
16~39	4,306	29.2	4.81
40~64	12,675	55.1	4.66
65~	20,291	73.3	4.51

赤血球数 ($10^6/\mu\text{L}$) (男性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$3.69 \times 10^6/\mu\text{L}$ 以下	$3.99 \times 10^6/\mu\text{L}$ 以下	$5.80 \times 10^6/\mu\text{L}$ 以上
0~6	756	3.6	4.74	-	-	0.1%
7~15	1,880	10.9	4.94	-	0.1%	1.0%
16~39	1,670	28.0	5.22	-	0.1%	4.9%
40~64	4,622	55.3	4.94	0.7%	1.7%	2.9%
65~	9,334	73.4	4.68	2.7%	7.5%	1.0%

赤血球数 ($10^6/\mu\text{L}$) (女性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$3.39 \times 10^6/\mu\text{L}$ 以下	$3.69 \times 10^6/\mu\text{L}$ 以下	$5.50 \times 10^6/\mu\text{L}$ 以上
0~6	770	3.7	4.69	-	-	0.4%
7~15	1,816	10.8	4.71	-	-	0.4%
16~39	2,636	29.9	4.54	0.1%	0.9%	0.5%
40~64	8,053	54.9	4.50	0.3%	1.3%	0.6%
65~	10,957	73.2	4.37	1.1%	4.8%	0.2%

3.末梢血液検査 (1) -2 ヘモグロビン

ヘモグロビン (g/dL) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,526	3.6	12.5
7~15	3,696	10.8	13.5
16~39	4,306	29.2	14.1
40~64	12,675	55.1	14.0
65~	20,291	73.3	13.8

ヘモグロビン (g/dL) (男性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	12.0g/dL以下	13.0g/dL以下	18.0g/dL以上
0~6	756	3.6	12.5	26.7%	74.7%	-
7~15	1,880	10.9	13.8	3.8%	23.1%	0.1%
16~39	1,670	28.0	15.7	0.1%	0.7%	1.1%
40~64	4,622	55.3	15.2	1.0%	3.3%	1.3%
65~	9,334	73.4	14.5	4.6%	13.4%	0.7%

ヘモグロビン (g/dL) (女性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	11.0g/dL以下	12.0g/dL以下	16.0g/dL以上
0~6	770	3.7	12.5	4.5%	25.8%	-
7~15	1,816	10.8	13.3	2.0%	8.0%	-
16~39	2,636	29.9	13.2	4.9%	13.4%	0.3%
40~64	8,053	54.9	13.3	4.3%	11.6%	0.7%
65~	10,957	73.2	13.2	3.3%	14.5%	0.4%

3.末梢血液検査 (1) -3 ヘマトクリット

ヘマトクリット (%) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,526	3.6	37.9
7~15	3,696	10.8	40.9
16~39	4,306	29.2	42.5
40~64	12,675	55.1	42.1
65~	20,291	73.3	41.5

ヘマトクリット (%) (男性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	35.9%以下	37.9%以下	55.0%以上
0~6	756	3.6	37.8	22.1%	54.4%	-
7~15	1,880	10.9	41.5	3.4%	13.0%	-
16~39	1,670	28.0	46.4	0.1%	0.4%	0.1%
40~64	4,622	55.3	45.1	0.7%	2.0%	0.3%
65~	9,334	73.4	43.4	3.8%	8.2%	0.2%

ヘマトクリット (%) (女性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	28.9%以下	32.9%以下	48.0%以上
0~6	770	3.7	38.0	-	2.1%	-
7~15	1,816	10.8	40.3	0.1%	0.8%	0.1%
16~39	2,636	29.9	40.1	0.2%	1.8%	0.3%
40~64	8,053	54.9	40.3	0.6%	2.3%	0.6%
65~	10,957	73.2	40.0	0.3%	2.0%	0.5%

3.末梢血液検査 (2) 血小板数

血小板数 ($10^3/\mu\text{L}$) (全体)							
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$89\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$129\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$370\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上	$450\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上
0~6	1,524	3.6	343.3	0.3%	0.3%	31.4%	9.5%
7~15	3,695	10.8	291.7	0.0%	0.2%	10.0%	1.1%
16~39	4,305	29.2	269.1	0.1%	0.3%	5.3%	0.7%
40~64	12,670	55.1	258.7	0.2%	0.7%	4.5%	0.7%
65~	20,279	73.3	231.3	0.3%	1.9%	1.6%	0.3%

血小板数 ($10^3/\mu\text{L}$) (男性)							
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$89\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$129\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$370\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上	$450\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上
0~6	754	3.6	341.7	0.3%	0.3%	31.3%	9.7%
7~15	1,879	10.9	292.2	-	0.1%	10.5%	1.3%
16~39	1,669	28.0	260.7	-	0.2%	3.2%	0.4%
40~64	4,620	55.3	251.0	0.3%	1.0%	3.2%	0.3%
65~	9,329	73.4	223.4	0.4%	2.5%	1.4%	0.3%

血小板数 ($10^3/\mu\text{L}$) (女性)							
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$89\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$129\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$370\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上	$450\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上
0~6	770	3.7	344.8	0.3%	0.3%	31.6%	9.4%
7~15	1,816	10.8	291.1	0.1%	0.2%	9.4%	0.9%
16~39	2,636	29.9	274.4	0.1%	0.4%	6.7%	0.8%
40~64	8,050	54.9	263.1	0.1%	0.5%	5.3%	0.9%
65~	10,950	73.2	238.0	0.3%	1.3%	1.8%	0.3%

3.末梢血液検査 (3) -1 白血球数

白血球数 ($10^3/\mu\text{L}$) (全体)							
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$2.9\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$3.9\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$9.6\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上	$11.1\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上
0~6	1,526	3.6	8.6	-	0.3%	28.8%	14.3%
7~15	3,696	10.8	6.5	0.1%	2.9%	5.6%	1.6%
16~39	4,306	29.2	6.0	0.5%	7.7%	3.4%	0.9%
40~64	12,675	55.1	5.8	1.0%	9.9%	2.5%	0.8%
65~	20,291	73.3	5.8	0.6%	8.2%	2.1%	0.6%

白血球数 ($10^3/\mu\text{L}$) (男性)							
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$2.9\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$3.9\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$9.6\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上	$11.1\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上
0~6	756	3.6	8.6	-	0.4%	28.4%	14.9%
7~15	1,880	10.9	6.5	0.1%	3.4%	5.7%	1.6%
16~39	1,670	28.0	6.1	0.2%	6.5%	3.5%	1.0%
40~64	4,622	55.3	6.2	0.3%	5.3%	4.1%	1.3%
65~	9,334	73.4	6.0	0.4%	6.1%	2.9%	0.9%

白血球数 ($10^3/\mu\text{L}$) (女性)							
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$2.9\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$3.9\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$9.6\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上	$11.1\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上
0~6	770	3.7	8.6	-	0.3%	29.1%	13.6%
7~15	1,816	10.8	6.6	0.1%	2.5%	5.4%	1.5%
16~39	2,636	29.9	5.9	0.7%	8.4%	3.3%	0.8%
40~64	8,053	54.9	5.5	1.3%	12.5%	1.6%	0.5%
65~	10,957	73.2	5.6	0.9%	10.0%	1.4%	0.3%

3.末梢血液検査 (3) -2 白血球分画 (好中球)

好中球数 (個/ μ L) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,526	3.6	3,402
7~15	3,696	10.8	3,250
16~39	4,302	29.2	3,447
40~64	12,666	55.1	3,252
65~	20,286	73.3	3,277

好中球数 (個/ μ L) (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	756	3.6	3,323
7~15	1,880	10.9	3,184
16~39	1,668	28.0	3,379
40~64	4,620	55.3	3,497
65~	9,332	73.4	3,453

好中球数 (個/ μ L) (女性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	770	3.7	3,478
7~15	1,816	10.8	3,318
16~39	2,634	29.9	3,489
40~64	8,046	54.9	3,111
65~	10,954	73.2	3,127

3.末梢血液検査 (3) -3 白血球分画 (リンパ球)

リンパ球数 (個/ μ L) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,526	3.6	4,386
7~15	3,696	10.8	2,611
16~39	4,302	29.2	1,990
40~64	12,666	55.1	1,987
65~	20,286	73.3	1,969

リンパ球数 (個/ μ L) (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	756	3.6	4,407
7~15	1,880	10.9	2,596
16~39	1,668	28.0	2,088
40~64	4,620	55.3	2,084
65~	9,332	73.4	1,970

リンパ球数 (個/ μ L) (女性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	770	3.7	4,365
7~15	1,816	10.8	2,627
16~39	2,634	29.9	1,927
40~64	8,046	54.9	1,931
65~	10,954	73.2	1,969

3.末梢血液検査 (3) -4 白血球分画 (单球)

单球数 (個/ μ L) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,526	3.6	444
7~15	3,696	10.8	352
16~39	4,302	29.2	326
40~64	12,666	55.1	314
65~	20,286	73.3	333

单球数 (個/ μ L) (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	756	3.6	450
7~15	1,880	10.9	362
16~39	1,668	28.0	347
40~64	4,620	55.3	358
65~	9,332	73.4	369

单球数 (個/ μ L) (女性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	770	3.7	438
7~15	1,816	10.8	341
16~39	2,634	29.9	312
40~64	8,046	54.9	288
65~	10,954	73.2	303

3.末梢血液検査 (3) -5 白血球分画 (好酸球)

好酸球数 (個/ μ L) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,526	3.6	306
7~15	3,696	10.8	276
16~39	4,302	29.2	171
40~64	12,666	55.1	159
65~	20,286	73.3	155

好酸球数 (個/ μ L) (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	756	3.6	341
7~15	1,880	10.9	318
16~39	1,668	28.0	197
40~64	4,620	55.3	189
65~	9,332	73.4	179

好酸球数 (個/ μ L) (女性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	770	3.7	271
7~15	1,816	10.8	233
16~39	2,634	29.9	154
40~64	8,046	54.9	142
65~	10,954	73.2	135

3.末梢血液検査 (3) -6 白血球分画 (好塩基球)

好塩基球数 (個/ μ L) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,526	3.6	39
7~15	3,696	10.8	35
16~39	4,302	29.2	38
40~64	12,666	55.1	40
65~	20,286	73.3	39

好塩基球数 (個/ μ L) (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	756	3.6	42
7~15	1,880	10.9	37
16~39	1,668	28.0	39
40~64	4,620	55.3	44
65~	9,332	73.4	41

好塩基球数 (個/ μ L) (女性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	770	3.7	36
7~15	1,816	10.8	32
16~39	2,634	29.9	37
40~64	8,046	54.9	38
65~	10,954	73.2	37

4.血液生化学 (1) -1 肝機能 (AST)

AST (U/L) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/L以上	51 U/L以上
0~6
7~15	3,621	10.9	24.2	10.7%	0.7%
16~39	4,307	29.2	21.3	9.8%	2.3%
40~64	12,676	55.1	24.5	15.3%	3.1%
65~	20,293	73.3	25.7	17.6%	2.7%

AST (U/L) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/L以上	51 U/L以上
0~6
7~15	1,841	10.9	25.7	14.3%	1.0%
16~39	1,671	28.0	25.3	18.8%	4.4%
40~64	4,622	55.3	27.4	23.0%	4.7%
65~	9,334	73.4	26.9	22.3%	3.4%

AST (U/L) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/L以上	51 U/L以上
0~6
7~15	1,780	10.8	22.7	6.9%	0.5%
16~39	2,636	29.9	18.8	4.2%	1.0%
40~64	8,054	54.9	22.9	10.8%	2.2%
65~	10,959	73.2	24.7	13.6%	2.0%

4.血液生化学 (1) -2 肝機能 (ALT)

ALT (U/L) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/L以上	51 U/L以上
0~6
7~15	3,621	10.9	15.9	4.9%	1.9%
16~39	4,307	29.2	22.8	17.5%	8.1%
40~64	12,676	55.1	24.0	20.2%	6.9%
65~	20,293	73.3	20.5	12.2%	3.2%

ALT (U/L) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/L以上	51 U/L以上
0~6
7~15	1,841	10.9	18.3	7.6%	3.2%
16~39	1,671	28.0	33.6	34.5%	16.5%
40~64	4,622	55.3	30.0	33.3%	12.1%
65~	9,334	73.4	22.5	16.4%	4.3%

ALT (U/L) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/L以上	51 U/L以上
0~6
7~15	1,780	10.8	13.3	2.1%	0.5%
16~39	2,636	29.9	16.0	6.8%	2.7%
40~64	8,054	54.9	20.6	12.7%	3.9%
65~	10,959	73.2	18.9	8.6%	2.3%

4.血液生化学 (1) -3 肝機能 (γ -GT)

γ -GT (U/L) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	51 U/L以上	101 U/L以上
0~6
7~15	3,621	10.9	14.5	0.4%	0.0%
16~39	4,307	29.2	26.9	10.1%	3.0%
40~64	12,676	55.1	40.1	19.3%	6.4%
65~	20,293	73.3	33.8	14.1%	3.8%

γ -GT (U/L) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	51 U/L以上	101 U/L以上
0~6
7~15	1,841	10.9	15.8	0.8%	0.1%
16~39	1,671	28.0	39.9	21.0%	6.6%
40~64	4,622	55.3	60.5	34.9%	12.8%
65~	9,334	73.4	43.9	22.3%	6.6%

γ -GT (U/L) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	51 U/L以上	101 U/L以上
0~6
7~15	1,780	10.8	13.1	0.1%	-
16~39	2,636	29.9	18.6	3.3%	0.7%
40~64	8,054	54.9	28.5	10.4%	2.7%
65~	10,959	73.2	25.2	7.0%	1.5%

4.血液生化学 (2) -1 脂質 (LDLコレステロール)

LDL-C (mg/dL) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	120 mg/dL以上	140 mg/dL以上
0~6
7~15	3,621	10.9	91.7	9.7%	2.5%
16~39	4,307	29.2	109.7	33.1%	15.6%
40~64	12,676	55.1	126.0	56.2%	31.4%
65~	20,293	73.3	118.2	46.1%	22.6%

LDL-C (mg/dL) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	120 mg/dL以上	140 mg/dL以上
0~6
7~15	1,841	10.9	90.0	8.5%	1.9%
16~39	1,671	28.0	114.5	40.8%	21.1%
40~64	4,622	55.3	123.9	54.2%	29.0%
65~	9,334	73.4	114.3	41.6%	19.3%

LDL-C (mg/dL) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	120 mg/dL以上	140 mg/dL以上
0~6
7~15	1,780	10.8	93.5	11.0%	3.0%
16~39	2,636	29.9	106.7	28.2%	12.1%
40~64	8,054	54.9	127.3	57.3%	32.8%
65~	10,959	73.2	121.6	49.9%	25.4%

4.血液生化学 (2) -2 脂質 (中性脂肪)

中性脂肪 (TG) (mg/dL) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	150 mg/dL以上	300 mg/dL以上
0~6
7~15	3,621	10.9	81.5	8.9%	0.9%
16~39	4,307	29.2	91.5	11.6%	2.0%
40~64	12,676	55.1	118.0	21.7%	3.0%
65~	20,293	73.3	112.2	18.6%	1.6%

中性脂肪 (TG) (mg/dL) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	150 mg/dL以上	300 mg/dL以上
0~6
7~15	1,841	10.9	80.5	9.7%	1.1%
16~39	1,671	28.0	116.0	19.4%	4.2%
40~64	4,622	55.3	143.7	33.0%	5.9%
65~	9,334	73.4	117.6	21.6%	2.2%

中性脂肪 (TG) (mg/dL) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	150 mg/dL以上	300 mg/dL以上
0~6
7~15	1,780	10.8	82.4	8.0%	0.6%
16~39	2,636	29.9	76.0	6.6%	0.5%
40~64	8,054	54.9	103.2	15.3%	1.4%
65~	10,959	73.2	107.6	15.9%	1.0%

4.血液生化学 (2) -3 脂質 (HDLコレステロール)

HDL-C (mg/dL) (全体)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	40 mg/dL未満
0~6
7~15	3,621	10.9	60.5	3.1%
16~39	4,307	29.2	62.8	3.9%
40~64	12,676	55.1	63.8	3.9%
65~	20,293	73.3	61.1	5.2%

HDL-C (mg/dL) (男性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	40 mg/dL未満
0~6
7~15	1,841	10.9	60.8	3.4%
16~39	1,671	28.0	56.4	7.3%
40~64	4,622	55.3	57.5	8.1%
65~	9,334	73.4	57.5	8.4%

HDL-C (mg/dL) (女性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	40 mg/dL未満
0~6
7~15	1,780	10.8	60.2	2.9%
16~39	2,636	29.9	66.8	1.7%
40~64	8,054	54.9	67.5	1.5%
65~	10,959	73.2	64.2	2.5%

4.血液生化学 (3) -1 糖 (空腹時血糖)

空腹時血糖値 (mg/dL) (全体)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	110 mg/dL以上	130 mg/dL以上	160 mg/dL以上
0~6
7~15	2,211	11.2	87.1	0.3%	0.1%	0.1%
16~39	3,849	29.2	89.5	2.7%	0.8%	0.3%
40~64	11,449	55.1	99.0	14.6%	5.0%	1.5%
65~	17,521	73.0	104.1	25.2%	8.3%	1.9%

空腹時血糖値 (mg/dL) (男性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	110 mg/dL以上	130 mg/dL以上	160 mg/dL以上
0~6
7~15	1,139	11.2	87.9	0.4%	0.1%	0.1%
16~39	1,483	28.1	91.6	3.8%	1.5%	0.7%
40~64	4,119	55.3	103.8	22.7%	8.8%	2.6%
65~	8,061	73.2	107.5	32.0%	11.4%	2.7%

空腹時血糖値 (mg/dL) (女性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	110 mg/dL以上	130 mg/dL以上	160 mg/dL以上
0~6
7~15	1,072	11.1	86.3	0.3%	0.1%	0.1%
16~39	2,366	29.9	88.3	2.1%	0.4%	0.1%
40~64	7,330	54.9	96.3	10.1%	2.9%	0.8%
65~	9,460	72.9	101.3	19.4%	5.7%	1.1%

4.血液生化学 (3) -2 糖 (HbA1c)

HbA1c (%) (NGSP) (全体)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	6.0%以上	7.0%以上	8.0%以上
0~6
7~15	3,621	10.9	5.3	0.7%	0.1%	0.1%
16~39	4,307	29.2	5.3	2.6%	0.8%	0.4%
40~64	12,674	55.1	5.7	17.0%	3.8%	1.2%
65~	20,293	73.3	5.8	28.4%	4.9%	1.2%

HbA1c (%) (NGSP) (男性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	6.0%以上	7.0%以上	8.0%以上
0~6
7~15	1,841	10.9	5.3	0.9%	0.2%	0.2%
16~39	1,671	28.0	5.3	3.4%	1.4%	0.8%
40~64	4,621	55.3	5.7	20.2%	5.6%	2.0%
65~	9,334	73.4	5.9	31.0%	6.3%	1.6%

HbA1c (%) (NGSP) (女性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	6.0%以上	7.0%以上	8.0%以上
0~6
7~15	1,780	10.8	5.3	0.4%	0.1%	-
16~39	2,636	29.9	5.3	2.2%	0.4%	0.2%
40~64	8,053	54.9	5.6	15.1%	2.7%	0.8%
65~	10,959	73.2	5.8	26.2%	3.7%	0.8%

4.血液生化学 (4) -1 腎機能 (血清クレアチニン)

血清クレアチニン (mg/dL) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	.	.	.
7~15	3,621	10.9	0.48
16~39	4,306	29.2	0.71
40~64	12,676	55.1	0.74
65~	20,290	73.3	0.81

血清クレアチニン (mg/dL) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	1.15mg/dL以上	1.35mg/dL以上
0~6
7~15	1,841	10.9	0.49	-	-
16~39	1,670	28.0	0.84	0.9%	0.1%
40~64	4,622	55.3	0.88	3.4%	1.1%
65~	9,333	73.4	0.93	10.8%	3.8%

血清クレアチニン (mg/dL) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	0.95mg/dL以上	1.15mg/dL以上
0~6
7~15	1,780	10.8	0.46	-	-
16~39	2,636	29.9	0.62	0.2%	-
40~64	8,054	54.9	0.66	1.1%	0.4%
65~	10,957	73.2	0.71	5.4%	1.5%

4.血液生化学 (4) -2 腎機能 (eGFR)

eGFR (mL/min/1.73m ²) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	.	.	.
7~15	.	.	.
16~39	4,306	29.2	93.5
40~64	12,676	55.1	74.0
65~	20,290	73.3	64.4

eGFR (mL/min/1.73m ²) (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	.	.	.
7~15	.	.	.
16~39	1,670	28.0	92.8
40~64	4,622	55.3	74.2
65~	9,333	73.4	64.9

eGFR (mL/min/1.73m ²) (女性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	.	.	.
7~15	.	.	.
16~39	2,636	29.9	93.9
40~64	8,054	54.9	73.8
65~	10,957	73.2	63.9

4.血液生化学 (4) -3 腎機能 (尿酸)

尿酸 (mg/dL) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	7.1mg/dL以上	8.0mg/dL以上
0~6
7~15	3,616	10.9	4.6	2.8%	0.6%
16~39	4,306	29.2	5.1	9.9%	3.8%
40~64	12,676	55.1	5.1	8.8%	2.9%
65~	20,292	73.3	5.2	9.0%	2.6%

尿酸 (mg/dL) (男性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	7.1mg/dL以上	7.9mg/dL以上	8.0mg/dL以上
0~6
7~15	1,840	10.9	4.8	5.3%	1.8%	1.3%
16~39	1,670	28.0	6.2	23.8%	9.8%	9.2%
40~64	4,622	55.3	6.1	21.2%	8.6%	7.6%
65~	9,334	73.4	5.8	15.7%	5.4%	4.7%

尿酸 (mg/dL) (女性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	5.6mg/dL以上	7.1mg/dL以上	8.0mg/dL以上
0~6
7~15	1,776	10.8	4.3	8.1%	0.2%	-
16~39	2,636	29.9	4.3	11.2%	1.1%	0.4%
40~64	8,054	54.9	4.6	16.8%	1.7%	0.2%
65~	10,958	73.2	4.7	21.6%	3.2%	0.7%

【 判定基準一覧表 】

※集団健診・個別健診で使用している基準値

※小児は、年齢や月齢で基準が異なるため基準値は定めていない（参考値のみ有り）。

※白血球分画について、以下は「%」で参考値を示しているが、基礎統計表では「個数」を示している。

項目	判定区分		基準範囲内	軽度異常		異常	単 位	
	項目							
肥満度	BMI (体格指数)		18.5~24.9	18.4 以下	25.0 以上	—	kg/m ³	
	腹囲	男	84.9 以下	85.0 以上		—	cm	
		女	89.9 以下	90.0 以上		—		
血圧	収縮期(最高)血圧		129 以下	130~139		140 以上	mmHg	
	拡張期(最低)血圧		84 以下	85~89		90 以上		
腎臓・ 尿路	血清クレアチニン (酵素法)	男	0.45~1.14	1.15~1.34		1.35 以上	mg/dL	
		女	0.35~0.94	0.95~1.14		1.15 以上		
	eGFR(推算糸球体濾過量)		60以上	50~59		49 以下	mL/min./1.73m ²	
	尿蛋白		(-)	(±)		(+) 以上		
	尿潜血		(-)	(±)		(+) 以上		
糖	尿糖		(-)	(±)		(+) 以上		
	血糖	空腹時	99 以下	100~125		126 以上	mg/dL	
		随 時	139 以下	140~199		200 以上		
	ヘモグロビンA1c (NGSP)		5.5 以下	5.6~6.4		6.5以上	%	
脂質	HDLコレステロール		40 以上	35~39		34 以下	mg/dL	
	LDLコレステロール		119 以下	120~139		140 以上	mg/dL	
	中性脂肪		149以下	150~299		300 以上	mg/dL	
肝臓	AST(GOT)		30 以下	31~50		51 以上	U/L	
	ALT(GPT)		30 以下	31~50		51 以上	U/L	
	γ-GT		50 以下	51~100		101 以上	U/L	
痛風	尿酸 (UA)		7.0 以下	7.1~7.9		8.0 以上	mg/dL	
血液一般	赤血球数	男	4.00~5.79	3.70~3.99	5.80 以上	3.69 以下	×10 ⁶ /μL	
		女	3.70~5.49	3.40~3.69	5.50 以上	3.39 以下		
	血色素量	男	13.1~17.9	12.1~13.0		12.0 以下	18.0 以上	g/dL
		女	12.1~15.9	11.1~12.0		11.0 以下	16.0 以上	
	ヘマトクリット値	男	38.0~54.9	36.0~37.9	55.0 以上	35.9 以下		%
		女	33.0~47.9	29.0~32.9	48.0 以上	28.9 以下		
血小板数		130~369	90~129	370~449	89以下	450以上	×10 ³ /μL	
白血球数		4.0~9.5	3.0~3.9	9.6~11.0	2.9 以下	11.1 以上	×10 ³ /μL	
(白 参 考 値 分 画)	好中球		40.0~75.0					%
	リンパ球		20.0~55.0					
	単球		0~12.0					
	好酸球		0~10.0					
	好塩基球		0~3.0					

県民健康調査「健康診査」関連論文※の紹介
(避難生活による影響)

放射線医学県民健康管理センター
健康診査・健康増進室

※第30回検討委員会以降に公表されたもの

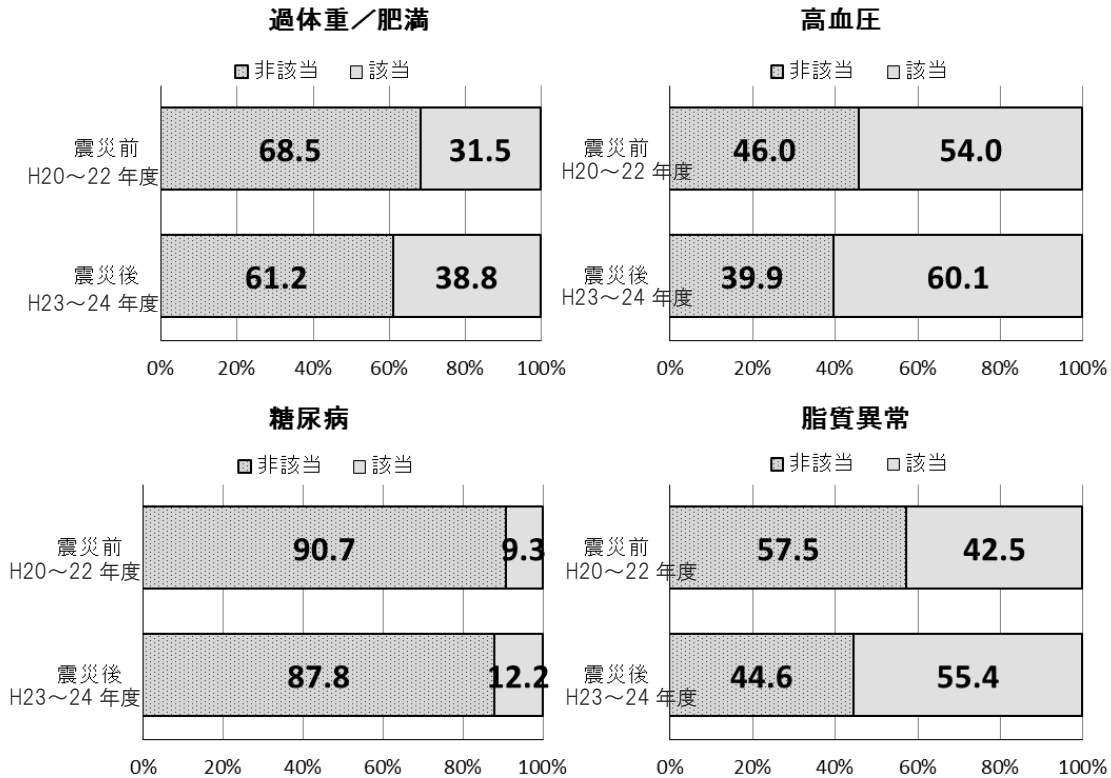
参考論文 1

Trends in lifestyle-related diseases before and after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima Health Management Survey

東日本大震災前後における生活習慣病の推移：福島県県民健康調査

大平哲也（福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター）他

「Journal of National Institute of Public Health」(2018)



2011年3月11日、東日本大震災が発生し、それに引き続き福島第一原子力発電所の放射線事故が起こった。原子力発電所周辺の多くの住民が避難を余儀なくされ、生活習慣に変化が起こってきた。そこで、各市町村で実施している健康診査、及び福島県で実施している県民健康調査のデータを用いて、震災後の避難が循環器疾患危険因子及び生活習慣病に影響する可能性を検討した。本稿では、震災前後における健康診査結果の変化及び県民健康調査の生活習慣病に関する縦断的検討の結果を概説する。震災前後において健康診査データを比較した結果、震災後、避難区域住民においては過体重・肥満の人の割合、及び高血圧、糖尿病、脂質異常、肝機能異常、心房細動、多血症有病率の上昇がみられた。

さらに、震災後1~2年間（H23~24年度）と3~4年間（H25~26年度）の健診データを比較したところ、糖尿病、脂質異常についてはさらなる増加がみられた。したがって、避難区域住民、特に実際に避難した人においては心筋梗塞や脳卒中などの循環器疾患が震災後に起こりやすくなる可能性が考えられた。また、これらの要因としては震災後の仕事状況の変化、避難による住居の変化などによる身体活動量の低下、心理的ストレスの増加などが考えられた。今後、避難者の循環器疾患を予防するために、地域行政と地域住民が協働して肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常の予防事業に取り組む必要がある。

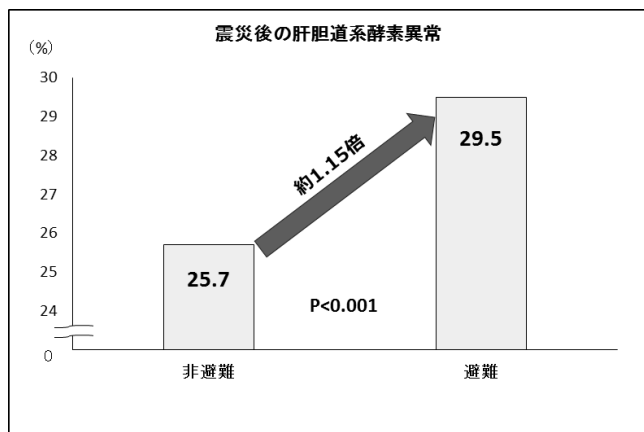
参考文献 2

Effects of lifestyle on hepatobiliary enzyme abnormalities following the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident: The Fukushima health management survey

震災後の肝胆道系酵素異常への生活習慣因子の影響：福島県県民健康調査

高橋敦史（福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター）他

「Medicine」(2018) . 2018, 97(42):e12890.



22,246人における震災後の肝胆道系酵素異常に影響する因子の多変量ロジスティック回帰分析

	非避難者 (12,705)		避難者 (9541)	
	OR (95% CI)	P	OR (95% CI)	P
年齢 (+1歳)	1.01 (1.01-1.01)	<.001	1.01 (1.01-1.02)	<.001
性別(男性)	3.63 (3.29-4.00)	<.001	3.74 (3.35-4.16)	<.001
喫煙(はい)	1.06 (0.95-1.18)	0.32	1.06 (0.94-1.19)	0.345
アルコール摂取量				
軽め	0.99 (0.89-1.10)	0.846	1.10 (0.98-1.23)	0.109
中程度/多量飲酒者	1.83 (1.62-2.06)	<.001	1.80 (1.58-2.05)	<.001
身体活動				
週に2~4回	1.21 (1.04-1.41)	0.014	1.20 (1.02-1.42)	0.03
週に1回	1.33 (1.13-1.56)	<.001	1.31 (1.09-1.57)	0.004
なし	1.35 (1.18-1.55)	<.001	1.39 (1.19-1.61)	<.001
転職	1.16 (1.05-1.28)	0.002	1.15 (1.02-1.29)	0.021
失業	0.98 (0.85-1.13)	0.734	1.18 (1.05-1.32)	0.005
睡眠不満(はい)	1.04 (0.97-1.13)	0.462	1.04 (0.94-1.16)	0.462
K6 ≥13	0.96 (0.81-1.13)	0.591	1.05 (0.90-1.22)	0.569
PCL-S ≥44	1.02 (0.89-1.18)	0.747	0.99 (0.87-1.14)	0.922

ロジスティック回帰分析を使用した(従属変数:肝胆道系酵素異常、関心のある独立変数:各生活様式の有無、調整変数:年齢、性別、避難、喫煙、アルコール摂取、身体活動、転職、失業、睡眠不満、心理的苦痛および心的外傷後ストレス障害)

CI =信頼区間、K6 =ケスラー6項目尺度、OR =オッズ比、PCL-S =心的外傷後ストレス障害チェックリスト

2011年の東日本大震災以降、避難区域を含む13市町村の地域住民の方を対象に県民健康調査「健康診査」と「こころの健康度・生活習慣に関する調査」が実施されている。これまで我々は健康診査の結果から、震災後に肝障害（肝胆道系酵素異常）の割合が増加し、震災後の避難が肝障害のリスクとなることを報告した。本論文では、健康診査の結果（H23年度）にこころの健康度・生活習慣に関する調査の結果（H23年度）を連結して、肝障害の要因を明らかにすることを目的とした。肝障害は対象（22,246人）の27.3%で認められた。実際の避難生活の有無別では、避難生活者でその頻度が高く（避難29.5%、非避難25.7%、 $P < 0.001$ ）、男性、中等量以上の飲酒、活動量低下は避難の有無に関わらず肝障害のリスク要因となった。さらに、非避難者では転職が、避難者では非雇用がそれぞれ肝障害のリスク要因であった。本論文で、震災後の肝障害に様々な要因が影響していることが示された。

県民健康調査「健康診査」平成31年度実施計画（案）

1 目的

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により、多くの方が避難生活を余儀なくされ、食生活、運動習慣など生活習慣が大きく変化し、また、受診すべき健康診査も受けることができなくなるなど、健康に不安を抱えている住民もいることから、県民の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげることを目的に実施している。

2 対象者

- 平成23年3月11日から平成24年4月1日までに対象地域※に住民登録していた方（対象地域を転出後も対象とする）
- 実施年度の4月1日時点で避難区域等に住民登録をしていた方
- 上記以外で基本調査の結果、必要と認められた方

※対象地域：平成23年時に避難区域等に指定された市町村等

広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部（特定避難勧奨地点の属する区域）

3 健診項目

年齢区分	健診項目
0歳～6歳 (就学前乳幼児)	身長、体重、 [希望がある場合のみ] 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）
7歳～15歳 (小学校1年生～中学校3年生)	身長、体重、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） [希望による追加項目] 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 血清クレアチニン、尿酸）
16歳以上	身長、体重、腹囲（又はBMI）、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）、 尿検査（尿蛋白、尿糖、尿潜血） 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 血清クレアチニン、eGFR、尿酸） ※下線部は、通常、特定健康診査では検査しない追加項目

4 実施方法

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
16歳以上	県内		市町村が実施する特定健診・総合健診での 上乗せ健診									集団健診			
	県外				県外指定医療機関での健診										
15歳以下	県内				県内指定医療機関での小児健診										
	県外				県外指定医療機関での小児健診										

- ・ 県内に居住している対象者

次年度も引き続き、市町村が行う特定健診・総合健診で追加項目を上乗せして同時に実施するとともに、集団健診や医療機関での個別健診、小児健診を実施する。

- ・ 県外に避難している対象者

次年度も引き続き、各都道府県の医療機関での個別健診、小児健診を実施する。

5 受診率向上の取組み

- ア 生活習慣病予防等のための取組み
- イ 集団健診会場の確保
- ウ 受診勧奨（リマインダー）の実施

県民健康調査「健康診査」
既存健診対象外の県民に対する健康診査の実施状況について

1 目的

県民健康調査の一環として、これまで既存制度では健康診査を受診する機会がなかった県民に対して「健康診査」の機会を提供し、県民の皆様の健康の保持・増進を図り、健康長寿県を目指す。

2 対象者

健康診査実施年度に概ね 19 歳から 39 歳の年齢に達する者であって、実施年度の 4 月 1 日時点で福島県内に住民登録をしていた者のうち、別表に定める既存制度の健診を受診する機会がある者を除く。

【別表】

- ・ 労働安全衛生法に基づく健康診断（定期健康診断等）
 - ・ 学校保健安全法第 13 条に基づく児童生徒等の健康診断
 - ・ 県民健康調査として避難区域等^{*}の県民を対象として県が行う健診（項目を上乗せして行う健診）等
- ^{*} 避難区域等とは田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村の全域、及び伊達市の一部（特定避難勧奨地点が属する区域）等

3 健診項目

身長、体重、BMI、血圧、尿検査（尿糖及び尿蛋白）、血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、空腹時血糖（又は随時血糖））

4 実施方法

市町村及び健診実施代行機関に実施を委託し、県内外の医療機関等または、集団健診において実施する。

5 実績

(単位:人)

実施方法別		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
市町村に実施を委託		12,148	5,559	5,484	5,291	4,962	4,751
健診実施 代行機関 に実施を 委託	県内医療機関等受診者	10,703	9,093	8,087	7,147	6,725	6,193
	県内集団健診受診者	613	1,074	925	611	567	499
	県外医療機関等受診者	457	223	88	59	32	22
小計		11,773	10,390	9,100	7,817	7,324	6,714
合計		23,921	15,949	14,584	13,108	12,286	11,465

6 平成 31 年度実施計画（案）

32 市町村が市町村の実施する集団健診で実施予定。23 市町村が健診実施代行機関を活用し実施予定（「市町村に実施を委託」との重複市町村を含む）。



※案内送付者数：対象者について、加入保険の種別等を事前に把握できないことから、案内送付者とした。

県民健康調査「甲状腺検査【本格検査（検査3回目）】」実施状況

I 調査概要

1. 目的

子どもたちの健康を長期に見守るために、現時点での甲状腺の状態を把握するための先行検査及び甲状腺の状態を継続して確認するための本格検査（検査2回目）に引き続き、本格検査（検査3回目）を実施している。

2. 対象者

先行検査における対象者（平成4年4月2日から平成23年4月1日までに生まれた福島県民）に加え、本格検査（検査2回目）から平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民にまで拡大して検査を実施している。

3. 実施期間

平成28年5月1日から検査を開始し、20歳を超えるまでの対象者に、平成28年度及び平成29年度の2か年で市町村順に検査を実施し、それ以降は市町村順の枠組みをなくし、受診者に対し受診時期を分かり易くするため、25歳、30歳等の5年ごとの節目の検査を実施している。ただし、25歳時の検査までは5年以上空けないこととする。

4. 実施機関

福島県から委託を受けた福島県立医科大学が、対象者の利便性も考慮し、福島県内外の医療機関等と連携して検査を実施している。（平成30年12月31日現在の協定締結数）

(1) 一次検査

- (i) 県内検査実施機関 77 か所
- (ii) 県外検査実施機関 116 か所

(2) 二次検査

- (i) 県内検査実施機関 5 か所（福島県立医科大学を含む）
- (ii) 県外検査実施機関 36 か所

5. 検査方法

(1) 一次検査

超音波画像診断装置により甲状腺の超音波検査を実施。

なお、検査の結果は、以下の基準により複数の専門医により判定している。

- (i) A判定：A1、A2判定の場合は次回（平成30年度以降）の一次検査を行う。

(A1) 結節やのう胞を認めなかった場合。

(A2) 5.0 mm以下の結節や20.0 mm以下ののう胞を認めた場合。

- (ii) B判定：B判定の場合は二次検査を実施している。

5.1 mm以上の結節や20.1 mm以上ののう胞を認めた場合。

なお、A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した方について、B判定としている。

- (iii) C判定：C判定の場合は二次検査を実施している。

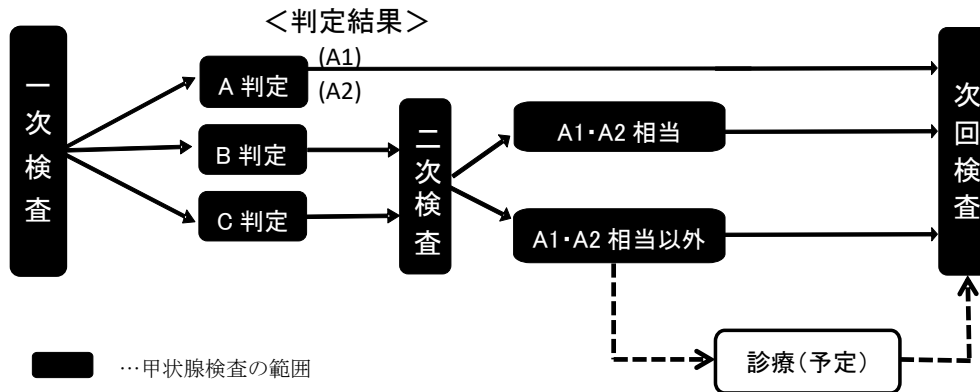
甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要する場合。

(2) 二次検査

一次検査の結果、B判定またはC判定となった場合は、二次検査の対象となる。二次検査では、詳細な超音波検査、血液検査及び尿検査を行い、必要に応じて穿刺吸引細胞診を実施する。早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施する。
なお、二次検査の結果、診療（予定）となる方がいる。

(3) 検査の流れ

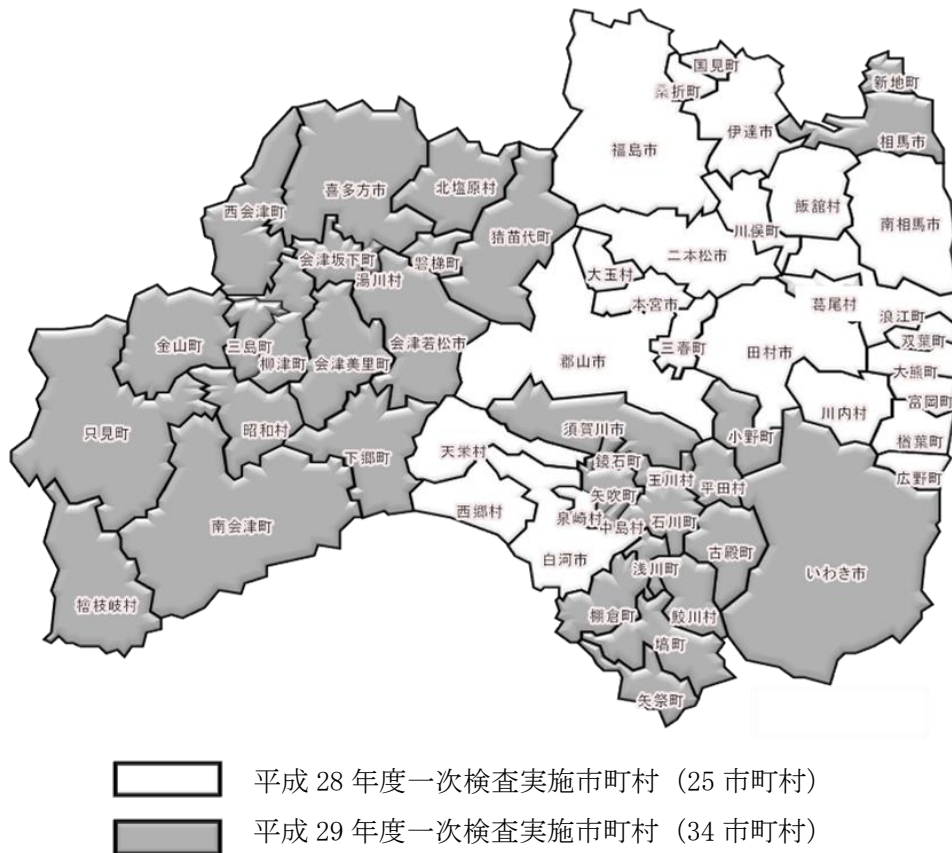
図 1.検査の流れ



6. 実施対象年度別市町村

平成 28 年度及び平成 29 年度の各実施対象市町村は次のとおり。

図 2. 実施対象年度別市町村



II 調査結果概要（平成 30 年 12 月 31 日現在）

1. 一次検査結果

（1）一次検査実施状況

平成 28 年 5 月 1 日から検査を開始し、平成 28 年度の 25 市町村及び平成 29 年度の 34 市町村の計 59 市町村 336,669 人を対象として、217,676 人（64.7%）の検査を実施した（市町村別受診状況及び本県以外の都道府県受診状況は、別表 1 及び別表 2 のとおり）。

そのうち、217,530 人（99.9%）の受診者について検査結果が確定し、結果通知を発送した（市町村別結果状況は、別表 3 のとおり）。

検査結果は A 判定（表 1 の A1 及び A2 判定）の方が 216,043 人（99.3%）、B 判定の方が 1,487 人（0.7%）、C 判定の方は 0 人であった。

表 1.一次検査進捗状況

平成 30 年 12 月 31 日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ (ウ/イ)	結果判定数(人)				
		受診率 (%) イ (イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合%)				
					A		二次検査対象者		
					A1	エ (エ/ウ)	A2	オ (オ/ウ)	B
平成28年度 実施対象市町村計	191,876	126,247 (65.8)	8,874	126,177 (99.9)	43,937 (34.8)	81,444 (64.5)	796 (0.6)	0 (0.0)	
平成29年度 実施対象市町村計	144,793	91,429 (63.1)	3,575	91,353 (99.9)	32,306 (35.4)	58,356 (63.9)	691 (0.8)	0 (0.0)	
合計	336,669	217,676 (64.7)	12,449	217,530 (99.9)	76,243 (35.0)	139,800 (64.3)	1,487 (0.7)	0 (0.0)	

表 2.結節・のう胞の人数・割合

平成 30 年 12 月 31 日現在

	結果判定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合%)			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ (イ/ア)	5.0mm以下 ウ (ウ/ア)	20.1mm以上 エ (エ/ア)	20.0mm以下 オ (オ/ア)
平成28年度 実施対象市町村計	126,177	796 (0.6)	427 (0.3)	0 (0.0)	81,823 (64.8)
平成29年度 実施対象市町村計	91,353	688 (0.8)	396 (0.4)	3 (0.0)	58,655 (64.2)
合計	217,530	1,484 (0.7)	823 (0.4)	3 (0.0)	140,478 (64.6)

- ・小数で表示されている数値は、その下の位で四捨五入している。以降の表、別表も同様である。
- ・平成 28 年度実施対象市町村及び平成 29 年度実施対象市町村の対象者は、2 年間で、前半・後半に分けて、市町村ごとに行う本格検査対象者（20 歳を超えるまで）を計上しており、5 年ごとの節目の検査対象者（平成 4 年度、平成 5 年度生まれ）を除いている。
- ・節目の検査対象者については、別途、計上する。平成 4 年度生まれの対象者（約 22,000 人）は平成 29 年度、平成 5 年度生まれの対象者（約 22,000 人）は平成 30 年度に検査を実施する。

(2) 年齢階級別受診率

平成 28 年度実施対象市町村の平成 28 年 4 月 1 日時点の年齢階級別の受診率は、18 歳以上で 16.9%であった。

平成 29 年度実施対象市町村の平成 29 年 4 月 1 日時点の年齢階級別の受診率は、18 歳以上で 16.3%であった。

表 3.実施対象市町村における年齢階級別受診率

平成 30 年 12 月 31 日現在

		計	年齢階級別内訳			
			4～7歳	8～12歳	13～17歳	18～23歳
平成28年度実施対象市町村計	年齢階級 注					
	対象者数(人) ア	191,876	36,620	51,003	56,840	47,413
	受診者数(人) イ	126,247	26,425	45,553	46,267	8,002
	受診率(%) イ/ア	65.8	72.2	89.3	81.4	16.9
平成29年度実施対象市町村計	年齢階級 注					
	対象者数(人) ア	144,793	19,316	37,165	41,995	46,317
	受診者数(人) イ	91,429	14,957	33,947	34,966	7,559
	受診率(%) イ/ア	63.1	77.4	91.3	83.3	16.3
合 計	対象者数(人) ア	336,669	55,936	88,168	98,835	93,730
	受診者数(人) イ	217,676	41,382	79,500	81,233	15,561
	受診率(%) イ/ア	64.7	74.0	90.2	82.2	16.6

注 年齢階級は、各年度 4 月 1 日時点の年齢

(3) 本格検査（検査 2 回目）結果との比較

本格検査（検査 3 回目）を受診した方の本格検査（検査 2 回目）結果との比較については、表 4 のとおり。

検査 2 回目で A 判定（A1 及び A2 判定）と判断された 201,321 人のうち、検査 3 回目で A 判定（A1 及び A2 判定）は 200,629 人（99.7%）、B 判定は 692 人（0.3%）であった。

また、検査 2 回目で B 判定と判断された 1,138 人のうち、検査 3 回目で A 判定（A1 及び A2 判定）は 438 人（38.5%）、B 判定は 700 人（61.5%）であった。

表 4.本格検査(検査 2 回目)結果との比較

平成 30 年 12 月 31 日現在

		本格検査 (検査2回目)結果 計 注1	本格検査(検査3回目)結果内訳 注2				
			A		B	C	
			A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)	エ (エ/ア)	オ (オ/ア)	
本格検査 (検査2 回目) 検査結果	A	A1	79,669 (100.0)	57,561 (72.3)	21,973 (27.6)	135 (0.2)	0 (0.0)
		A2	121,652 (100.0)	12,143 (10.0)	108,952 (89.6)	557 (0.5)	0 (0.0)
	B	1,138 (100.0)	62 (5.4)	376 (33.0)	700 (61.5)	0 (0.0)	
	C	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	受診なし	15,071 (100.0)	6,477 (43.0)	8,499 (56.4)	95 (0.6)	0 (0.0)	
計		217,530 (100.0)	76,243 (35.0)	139,800 (64.3)	1,487 (0.7)	0 (0.0)	

注1 上段は検査 3 回目結果確定者の検査 2 回目検査結果(人)。検査 2 回目結果総数(270,529 人)の内訳ではない。

注2 上段は検査 2 回目結果に対する検査 3 回目結果内訳(人)。下段は割合(%)。

2. 二次検査結果

(1) 二次検査実施状況

平成 28 年 10 月から二次検査を実施し、対象者 1,487 人のうち 1,059 人 (71.2%) が受診し、そのうち 995 人 (94.0%) が二次検査を終了した (地域別実施状況については別表 5 のとおり)。

その 995 人のうち、詳細な検査の結果、104 人 (A1 相当 8 人と A2 相当の 96 人) (10.5%) は、一次検査基準で A1、A2 の範囲内であることが確認された (甲状腺に疾病のある方を含む)。891 人 (89.5%) は、A1・A2 相当以外と確認された。

表 5. 二次検査進捗状況

平成 30 年 12 月 31 日現在

	対象者数 (人)	受診者数(人) 受診率 (%)	結果確定数(人)				
			確定率 (%)	A1相当	A2相当	A1・A2相当以外	
						ウ(ウ/イ)	エ(エ/ウ)
ア	イ(イ/ア)	ウ(ウ/イ)	エ(エ/ウ)	オ(オ/ウ)	カ(カ/ウ)	キ(キ/カ)	
平成28年度 実施対象市町村計	796	598 (75.1)	568 (95.0)	5 (0.9)	55 (9.7)	508 (89.4)	37 (7.3)
平成29年度 実施対象市町村計	691	461 (66.7)	427 (92.6)	3 (0.7)	41 (9.6)	383 (89.7)	27 (7.0)
合計	1,487	1,059 (71.2)	995 (94.0)	8 (0.8)	96 (9.6)	891 (89.5)	64 (7.2)

(2) 細胞診等結果

穿刺吸引細胞診を実施した方のうち、21 人が悪性ないし悪性疑いの判定となった。

21 人の性別は男性 8 人、女性 13 人であった。また、二次検査時点での年齢は 12 歳から 23 歳 (平均年齢は 16.7 ± 2.8 歳)、腫瘍の大きさは 5.6mm から 33.0mm (平均腫瘍径は 14.2 ± 6.9 mm) であった。

なお、21 人の本格検査 (検査 2 回目) の結果は、A 判定が 13 人 (A1 が 4 人、A2 が 9 人)、B 判定が 5 人であり、未受診が 3 人であった。

表 6. 細胞診結果 (平均年齢と平均腫瘍径の () 内は範囲を示す)

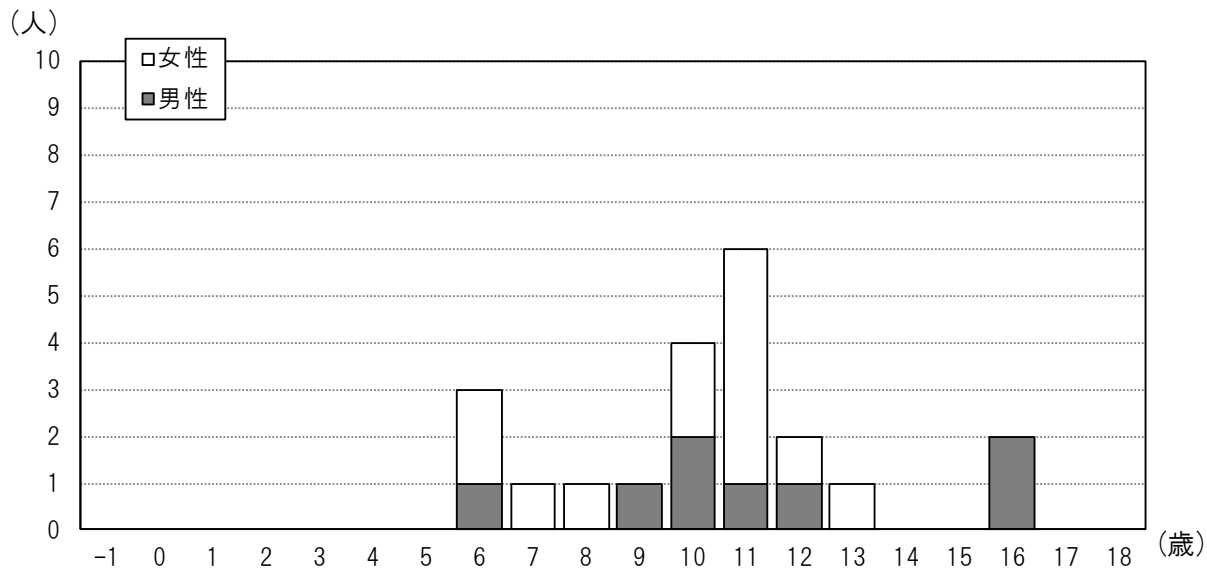
ア	平成 28 年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 12 人 注
	・男性：女性 6 人：6 人
イ	平成 29 年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 9 人 注
	・男性：女性 2 人：7 人
ウ	合計
	・悪性ないし悪性疑い 21 人 注
	・男性：女性 8 人：13 人
	・平均年齢 16.7 ± 2.8 歳 (12-23 歳)、震災当時 10.3 ± 2.8 歳 (6-16 歳)
	・平均腫瘍径 14.2 ± 6.9 mm (5.6-33.0 mm)

注 手術症例については別表 6 のとおり。

(3) 細胞診等で悪性ないし悪性疑いであった方の年齢分布

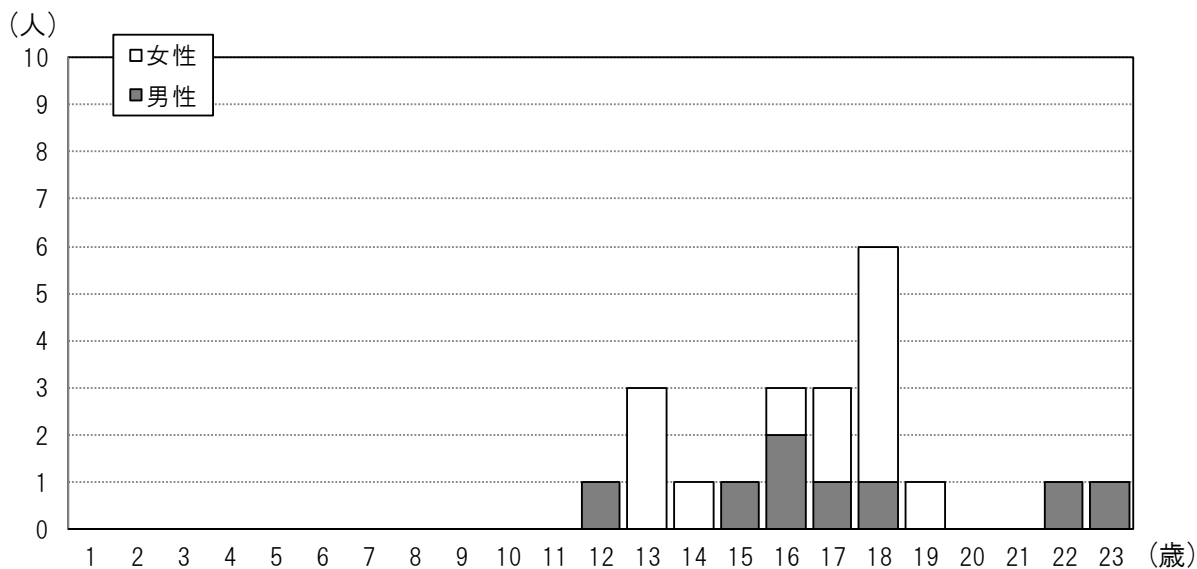
細胞診等で悪性ないし悪性疑いであった21人の平成23年3月11日時点の年齢による分布は図3、二次検査時点の年齢による分布は図4のとおり。

図3.平成23年3月11日時点の年齢による分布



-1は、平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民

図4.二次検査時点の年齢による分布



(4) 細胞診等による悪性ないし悪性疑いであった方の基本調査結果

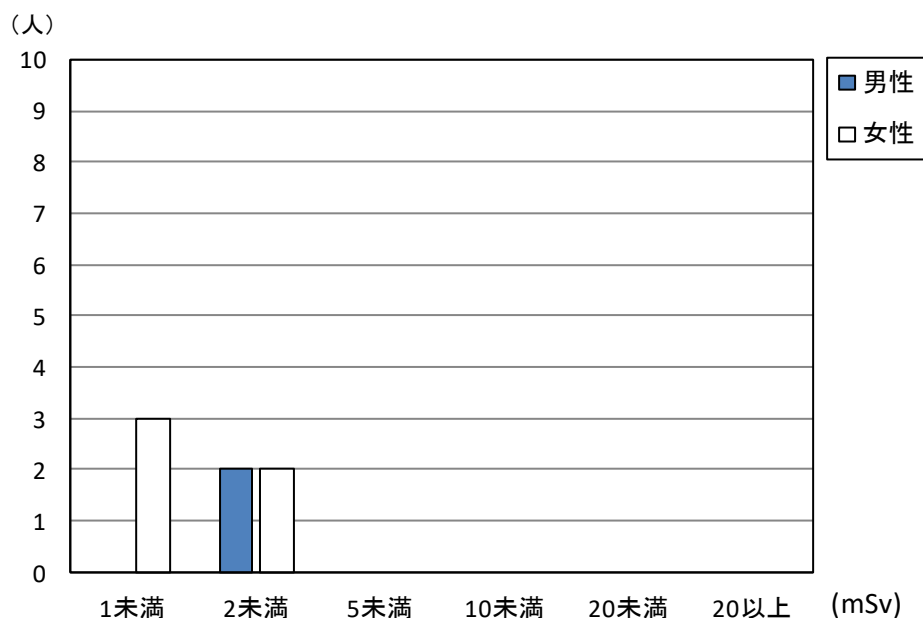
21人のうち基本調査問診票を提出した方は7人(33.3%)で、推計結果が通知された方は7人であった。このうち最大実効線量は1.5mSvであった。

表 7. 基本調査問診票提出者の外部被ばく実効線量推計内訳(人)

平成 30 年 12 月 31 日現在

実効線量 (mSv)	震災時年齢(歳)									
	0~5		6~10		11~15		16~18		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1未満	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
2未満	0	0	1	1	1	1	0	0	2	2
5未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	1	1	4	0	0	2	5

図 5. 基本調査問診票提出者の外部被ばく実効線量推計内訳



(5) 血液検査及び尿中ヨウ素(平成 30 年 12 月 31 日現在)

表 8. 血液データ 平均±SD(異常値の割合)

	FT4 注1 (ng/dL)	FT3 注2 (pg/mL)	TSH 注3 (μ IU/mL)	Tg 注4 (ng/mL)	TgAb 注5 (IU/mL)	TPOAb 注6 (IU/mL)
基準値	0.95~1.74 注7	2.13~4.07 注7	0.340~3.880 注7	33.7 以下	28.0 未満	16.0 未満
悪性ないし悪性疑い21人	1.2 ± 0.1 (4.8%)	3.5 ± 0.7 (19.0%)	1.9 ± 1.3 (23.8%)	29.3 ± 39.0 (33.3%)	— (23.8%)	— (14.3%)
その他943人	1.2 ± 0.2 (6.3%)	3.5 ± 0.5 (6.4%)	1.3 ± 4.5 (9.1%)	29.3 ± 100.5 (14.2%)	— (8.2%)	— (13.1%)

表 9. 尿中ヨウ素データ

μ g/day

	最小値	25%値	中央値	75%値	最大値
悪性ないし悪性疑い21人	69	149	232	437	3510
その他946人	26	110	175	324	8910

注 1 FT4 (遊離サイロキシン) ..ヨードの数が4つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値(代表的疾患:バセドウ病)、甲状腺機能低下症では低値(代表的疾患:橋本病)になる

ことが多い。

注2 FT3（遊離トリヨードサイロニン）・・ヨードの数が3つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値（代表的疾患：バセドウ病）、甲状腺機能低下症では低値（代表的疾患：橋本病）になることが多い。

注3 TSH（甲状腺刺激ホルモン）・・脳の下垂体から出ているホルモンで甲状腺へ甲状腺ホルモンを出すよう命令する。

橋本病では高値、バセドウ病では低値になることが多い。

注4 Tg（サイログロブリン）・・甲状腺ホルモンになる直前の物質。甲状腺内に多量に存在する。

甲状腺が破壊されたり、腫瘍がTgを産生していたりする場合に高値になることが多い。

注5 TgAb（抗サイログロブリン抗体）・・・サイログロブリンに対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値になることが多い。

注6 TPOAb（抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体）・・ペルオキシダーゼという酵素に対しての自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値。

注7 基準値は年齢ごとに異なる。

(6) 地域別二次検査結果 (平成 30 年 12 月 31 日現在)

悪性ないし悪性疑いであった方の割合は、国が指定した避難区域等の 13 市町村が 0.02%、中通り、浜通り及び会津地方が 0.01%である。

表10. 地域別結果

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査対象者 の割合(%) イ/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い(人) ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
避難区域等 13市町村 注1	27,053	211	0.8	158	5	0.02
中通り 注2	121,792	752	0.6	555	8	0.01
浜通り 注3	41,246	321	0.8	213	6	0.01
会津地方 注4	27,585	203	0.7	133	2	0.01
合計	217,676	1,487	0.7	1,059	21	0.01

注 1 田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村

注 2 福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町

注 3 いわき市、相馬市、新地町

注 4 会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

3. こころのケア・サポート

(1) 一次検査におけるサポートについて

平成 27 年 7 月から公共施設等の一般会場での一次検査では検査結果説明ブースを設置し、検査終了後、医師が超音波画像を提示しながら、結果を説明している。平成 30 年 12 月 31 日現在で、説明ブースを利用した方は受診者 32,668 人のうち 27,715 人 (84.8%) であった。また、説明ブースを設置できない学校での検査については、学校説明会での対応や必要に応じて電話相談などの代替手段を行っている。

※説明ブースを利用した方には、検査 2 回目の方も含む。

(2) 二次検査におけるサポートについて

福島県立医科大学内にサポートチームを立ち上げ、二次検査対象者に対して、心配や不安へのこころのケア・サポートを行い、その他WEB相談による質問・相談を受け付けるなどの対応を行っている。

なお、本格検査開始以降、平成30年12月31日現在で、1,170人のサポートをしており、性別は男性411人、女性759人であった。この方々に延べ2,421回の相談対応等をしており、その内訳は初回受診時1,342回 (55.4%)、2回目以降受診時1,014回 (41.9%) (うち穿刺吸引細胞診時138回 (5.7%))、インフォームド Consent 時65回 (2.7%) であった。

また、保険診療移行後についても病院のチームと連携し、継続して支援を行っている。

※二次検査におけるサポートをした方には、検査 2 回目の方も含む。

別表 1

市町村別一次検査実施状況

平成 30 年 12 月 31 日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 注1	受診率 (%) イ/ア	年齢階級別受診者数(人) 年齢階級別内訳(%) 注2				イのうち県 外居住者 数(人) ウ注3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					4~9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上		
平成28年度実施対象市町村										
川俣町	2,142	1,407	34	65.7	408 29.0	544 38.7	409 29.1	46 3.3	57	4.1
浪江町	3,315	1,951	506	58.9	581 29.8	664 34.0	576 29.5	130 6.7	590	30.2
飯館村	987	603	23	61.1	174 28.9	261 43.3	151 25.0	17 2.8	32	5.3
南相馬市	11,540	7,063	1,233	61.2	2,208 31.3	2,726 38.6	1,839 26.0	290 4.1	1,282	18.2
伊達市	10,210	7,084	242	69.4	2,028 28.6	2,674 37.7	2,095 29.6	287 4.1	264	3.7
田村市	6,344	4,054	99	63.9	1,269 31.3	1,594 39.3	1,105 27.3	86 2.1	144	3.6
広野町	975	542	64	55.6	163 30.1	185 34.1	154 28.4	40 7.4	64	11.8
檜葉町	1,281	770	99	60.1	214 27.8	270 35.1	222 28.8	64 8.3	96	12.5
富岡町	2,751	1,474	298	53.6	392 26.6	509 34.5	451 30.6	122 8.3	325	22.0
川内村	297	171	15	57.6	47 27.5	72 42.1	49 28.7	3 1.8	15	8.8
大熊町	2,259	1,342	270	59.4	418 31.1	496 37.0	349 26.0	79 5.9	300	22.4
双葉町	1,133	463	117	40.9	139 30.0	184 39.7	117 25.3	23 5.0	126	27.2
葛尾村	211	129	4	61.1	36 27.9	50 38.8	32 24.8	11 8.5	8	6.2
福島市	49,340	34,076	2,090	69.1	10,279 30.2	12,202 35.8	10,178 29.9	1,417 4.2	2,391	7.0
二本松市	9,308	6,340	229	68.1	1,955 30.8	2,456 38.7	1,747 27.6	182 2.9	254	4.0
本宮市	5,615	3,897	124	69.4	1,316 33.8	1,445 37.1	1,030 26.4	106 2.7	122	3.1
大玉村	1,468	1,051	34	71.6	358 34.1	405 38.5	256 24.4	32 3.0	35	3.3
郡山市	59,469	38,063	2,843	64.0	11,582 30.4	14,398 37.8	10,611 27.9	1,472 3.9	3,050	8.0
桑折町	1,854	1,353	38	73.0	424 31.3	501 37.0	370 27.3	58 4.3	43	3.2
国見町	1,405	1,019	29	72.5	275 27.0	385 37.8	304 29.8	55 5.4	28	2.7
天栄村	966	634	24	65.6	191 30.1	258 40.7	164 25.9	21 3.3	24	3.8
白河市	11,352	7,639	291	67.3	2,261 29.6	2,853 37.3	2,251 29.5	274 3.6	352	4.6
西郷村	3,722	2,558	110	68.7	787 30.8	951 37.2	705 27.6	115 4.5	131	5.1
泉崎村	1,163	798	12	68.6	239 29.9	310 38.8	222 27.8	27 3.4	21	2.6
三春町	2,769	1,766	46	63.8	454 25.7	628 35.6	596 33.7	88 5.0	50	2.8
小計	191,876	126,247	8,874	65.8	38,198 30.3	47,021 37.2	35,983 28.5	5,045 4.0	9,804	7.8

注1 受診者のうち県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から県外へ出向いて実施した検査を受診した人数（平成 30 年 11 月 30 日現在）。

注2 上段には受診者数を、下段には受診者数イの階級別割合を記載。

注3 受診者のうち県外住所の方の人数。

・年齢階級は本格検査（検査 3 回目）の検査受診時点の年齢である。以降の別表も同様である。

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 注1	受診率 (%) イ/ア	年齢階級別受診者数(人) 年齢階級別内訳(%) 注2				イのうち県 外居住者 数(人) ウ注3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					4~9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上		
平成29年度実施対象市町村										
いわき市	56,810	36,577	2,000	64.4	8,792 24.0	13,724 37.5	11,601 31.7	2,460 6.7	1,984	5.4
須賀川市	14,113	9,241	273	65.5	2,570 27.8	3,476 37.6	2,699 29.2	496 5.4	291	3.1
相馬市	6,252	3,820	255	61.1	1,137 29.8	1,410 36.9	1,110 29.1	163 4.3	284	7.4
鏡石町	2,417	1,589	44	65.7	436 27.4	614 38.6	470 29.6	69 4.3	46	2.9
新地町	1,320	849	34	64.3	212 25.0	333 39.2	263 31.0	41 4.8	44	5.2
中島村	972	645	6	66.4	177 27.4	240 37.2	202 31.3	26 4.0	7	1.1
矢吹町	3,041	1,960	42	64.5	632 32.2	736 37.6	519 26.5	73 3.7	57	2.9
石川町	2,530	1,607	36	63.5	485 30.2	591 36.8	470 29.2	61 3.8	52	3.2
矢祭町	930	578	16	62.2	187 32.4	219 37.9	148 25.6	24 4.2	14	2.4
浅川町	1,210	819	27	67.7	214 26.1	316 38.6	251 30.6	38 4.6	39	4.8
平田村	1,101	691	8	62.8	208 30.1	268 38.8	196 28.4	19 2.7	13	1.9
棚倉町	2,749	1,748	40	63.6	536 30.7	677 38.7	479 27.4	56 3.2	47	2.7
塙町	1,492	889	27	59.6	260 29.2	348 39.1	242 27.2	39 4.4	27	3.0
鮫川村	617	382	12	61.9	120 31.4	154 40.3	96 25.1	12 3.1	16	4.2
小野町	1,716	1,029	20	60.0	318 30.9	423 41.1	254 24.7	34 3.3	19	1.8
玉川村	1,210	798	10	66.0	222 27.8	333 41.7	220 27.6	23 2.9	11	1.4
古殿町	946	622	16	65.8	197 31.7	232 37.3	158 25.4	35 5.6	15	2.4
檜枝岐村	94	47	5	50.0	14 29.8	13 27.7	17 36.2	3 6.4	4	8.5
南会津町	2,512	1,471	25	58.6	437 29.7	559 38.0	428 29.1	47 3.2	21	1.4
金山町	177	89	1	50.3	19 21.3	42 47.2	25 28.1	3 3.4	2	2.2
昭和村	127	73	2	57.5	26 35.6	26 35.6	20 27.4	1 1.4	3	4.1
三島町	174	107	1	61.5	24 22.4	44 41.1	37 34.6	2 1.9	1	0.9
下郷町	873	527	8	60.4	160 30.4	200 38.0	148 28.1	19 3.6	8	1.5
喜多方市	8,079	4,919	101	60.9	1,336 27.2	1,903 38.7	1,518 30.9	162 3.3	104	2.1
西会津町	885	476	9	53.8	135 28.4	175 36.8	145 30.5	21 4.4	15	3.2
只見町	642	391	7	60.9	119 30.4	147 37.6	112 28.6	13 3.3	6	1.5
猪苗代町	2,383	1,503	40	63.1	456 30.3	560 37.3	420 27.9	67 4.5	47	3.1
磐梯町	555	355	9	64.0	105 29.6	143 40.3	98 27.6	9 2.5	12	3.4
北塩原村	502	318	7	63.3	98 30.8	129 40.6	79 24.8	12 3.8	8	2.5
会津美里町	3,311	2,063	41	62.3	568 27.5	832 40.3	563 27.3	100 4.8	44	2.1
会津坂下町	2,790	1,734	48	62.2	489 28.2	679 39.2	490 28.3	76 4.4	37	2.1
柳津町	538	342	4	63.6	103 30.1	129 37.7	96 28.1	14 4.1	4	1.2
会津若松市	21,119	12,756	396	60.4	3,585 28.1	4,811 37.7	3,915 30.7	445 3.5	428	3.4
湯川村	606	414	5	68.3	121 29.2	159 38.4	115 27.8	19 4.6	5	1.2
小計	144,793	91,429	3,575	63.1	24,498 26.8	34,645 37.9	27,604 30.2	4,682 5.1	3,715	4.1
合計	336,669	217,676	12,449	64.7	62,696 28.8	81,666 37.5	63,587 29.2	9,727 4.5	13,519	6.2

別表 2

都道府県別県外検査実施状況

平成 30 年 11 月 30 日現在

都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)
北海道	7	354	福井県	1	23	広島県	2	33
青森県	2	143	山梨県	2	105	山口県	1	22
岩手県	3	306	長野県	2	139	徳島県	1	9
宮城県	2	2,543	岐阜県	1	42	香川県	1	17
秋田県	1	183	静岡県	2	112	愛媛県	1	12
山形県	3	594	愛知県	4	223	高知県	1	14
茨城県	4	766	三重県	1	25	福岡県	3	83
栃木県	7	750	滋賀県	1	22	佐賀県	1	5
群馬県	2	233	京都府	3	99	長崎県	2	27
埼玉県	3	583	大阪府	7	232	熊本県	1	31
千葉県	4	545	兵庫県	2	138	大分県	1	14
東京都	16	2,118	奈良県	2	30	宮崎県	1	29
神奈川県	5	1,027	和歌山県	1	6	鹿児島県	1	19
新潟県	2	588	鳥取県	1	10	沖縄県	1	54
富山県	2	23	島根県	1	15			
石川県	1	43	岡山県	3	60			
						合計	116	12,449

- ・受診者数は県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から県外へ出向いて実施した検査を受診した人数。
- ・福島県立医科大学から県外へ出向いて検査を行ったのは、神奈川県（1回）。

別表 3

市町村別一次検査結果

平成 30 年 12 月 31 日現在

	受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ 進捗状況 イ/ア(%)	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
			判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
			A1	A2	B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下
平成28年度実施対象市町村										
川俣町	1,407	1,405 99.9	488 34.7	908 64.6	9 0.6	0 0.0	9 0.6	7 0.5	0 0.0	913 65.0
浪江町	1,951	1,951 100.0	651 33.4	1,284 65.8	16 0.8	0 0.0	16 0.8	9 0.5	0 0.0	1,287 66.0
飯館村	603	603 100.0	202 33.5	397 65.8	4 0.7	0 0.0	4 0.7	2 0.3	0 0.0	397 65.8
南相馬市	7,063	7,059 99.9	2,564 36.3	4,443 62.9	52 0.7	0 0.0	52 0.7	31 0.4	0 0.0	4,466 63.3
伊達市	7,084	7,079 99.9	2,455 34.7	4,574 64.6	50 0.7	0 0.0	50 0.7	23 0.3	0 0.0	4,598 65.0
田村市	4,054	4,054 100.0	1,490 36.8	2,518 62.1	46 1.1	0 0.0	46 1.1	22 0.5	0 0.0	2,543 62.7
広野町	542	541 99.8	193 35.7	344 63.6	4 0.7	0 0.0	4 0.7	3 0.6	0 0.0	343 63.4
楡葉町	770	769 99.9	293 38.1	473 61.5	3 0.4	0 0.0	3 0.4	2 0.3	0 0.0	474 61.6
富岡町	1,474	1,474 100.0	509 34.5	952 64.6	13 0.9	0 0.0	13 0.9	3 0.2	0 0.0	959 65.1
川内村	171	171 100.0	41 24.0	129 75.4	1 0.6	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	130 76.0
大熊町	1,342	1,341 99.9	460 34.3	870 64.9	11 0.8	0 0.0	11 0.8	6 0.4	0 0.0	872 65.0
双葉町	463	463 100.0	172 37.1	289 62.4	2 0.4	0 0.0	2 0.4	0 0.0	0 0.0	290 62.6
葛尾村	129	129 100.0	50 38.8	79 61.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	79 61.2
福島市	34,076	34,036 99.9	11,957 35.1	21,888 64.3	191 0.6	0 0.0	191 0.6	104 0.3	0 0.0	21,984 64.6
二本松市	6,340	6,340 100.0	2,263 35.7	4,032 63.6	45 0.7	0 0.0	45 0.7	22 0.3	0 0.0	4,056 64.0
本宮市	3,897	3,897 100.0	1,356 34.8	2,524 64.8	17 0.4	0 0.0	17 0.4	8 0.2	0 0.0	2,535 65.1
大玉村	1,051	1,051 100.0	374 35.6	671 63.8	6 0.6	0 0.0	6 0.6	3 0.3	0 0.0	675 64.2
郡山市	38,063	38,053 100.0	13,054 34.3	24,764 65.1	235 0.6	0 0.0	235 0.6	130 0.3	0 0.0	24,871 65.4
桑折町	1,353	1,352 99.9	492 36.4	850 62.9	10 0.7	0 0.0	10 0.7	4 0.3	0 0.0	857 63.4
国見町	1,019	1,015 99.6	336 33.1	671 66.1	8 0.8	0 0.0	8 0.8	2 0.2	0 0.0	676 66.6
天栄村	634	634 100.0	213 33.6	414 65.3	7 1.1	0 0.0	7 1.1	1 0.2	0 0.0	419 66.1
白河市	7,639	7,638 100.0	2,661 34.8	4,937 64.6	40 0.5	0 0.0	40 0.5	23 0.3	0 0.0	4,960 64.9
西郷村	2,558	2,558 100.0	828 32.4	1,717 67.1	13 0.5	0 0.0	13 0.5	8 0.3	0 0.0	1,722 67.3
泉崎村	798	798 100.0	271 34.0	525 65.8	2 0.3	0 0.0	2 0.3	5 0.6	0 0.0	525 65.8
三春町	1,766	1,766 100.0	564 31.9	1,191 67.4	11 0.6	0 0.0	11 0.6	8 0.5	0 0.0	1,192 67.5
小計	126,247	126,177 99.9	43,937 34.8	81,444 64.5	796 0.6	0 0.0	796 0.6	427 0.3	0 0.0	81,823 64.8

受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)		
		判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)		
		A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下	
A1	A2									
いわき市	36,577	36,544	12,624	23,639	281	0	279	144	2	23,755
		99.9	34.5	64.7	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	65.0
須賀川市	9,241	9,230	3,227	5,921	82	0	82	45	0	5,962
		99.9	35.0	64.1	0.9	0.0	0.9	0.5	0.0	64.6
相馬市	3,820	3,816	1,533	2,250	33	0	33	20	0	2,268
		99.9	40.2	59.0	0.9	0.0	0.9	0.5	0.0	59.4
鏡石町	1,589	1,587	526	1,049	12	0	12	7	0	1,055
		99.9	33.1	66.1	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	66.5
新地町	849	848	306	535	7	0	7	4	0	537
		99.9	36.1	63.1	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	63.3
中島村	645	644	226	415	3	0	3	4	0	414
		99.8	35.1	64.4	0.5	0.0	0.5	0.6	0.0	64.3
矢吹町	1,960	1,959	681	1,270	8	0	8	4	0	1,273
		99.9	34.8	64.8	0.4	0.0	0.4	0.2	0.0	65.0
石川町	1,607	1,606	636	962	8	0	8	4	0	965
		99.9	39.6	59.9	0.5	0.0	0.5	0.2	0.0	60.1
矢祭町	578	578	196	379	3	0	3	1	0	381
		100.0	33.9	65.6	0.5	0.0	0.5	0.2	0.0	65.9
浅川町	819	819	292	518	9	0	9	3	0	524
		100.0	35.7	63.2	1.1	0.0	1.1	0.4	0.0	64.0
平田村	691	691	271	415	5	0	5	2	0	416
		100.0	39.2	60.1	0.7	0.0	0.7	0.3	0.0	60.2
棚倉町	1,748	1,748	631	1,107	10	0	10	8	0	1,114
		100.0	36.1	63.3	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	63.7
埴町	889	889	322	558	9	0	9	5	0	561
		100.0	36.2	62.8	1.0	0.0	1.0	0.6	0.0	63.1
鮫川村	382	382	139	239	4	0	4	3	0	241
		100.0	36.4	62.6	1.0	0.0	1.0	0.8	0.0	63.1
小野町	1,029	1,028	309	711	8	0	8	3	0	715
		99.9	30.1	69.2	0.8	0.0	0.8	0.3	0.0	69.6
玉川村	798	797	282	512	3	0	3	6	0	513
		99.9	35.4	64.2	0.4	0.0	0.4	0.8	0.0	64.4
古殿町	622	622	238	381	3	0	3	2	0	382
		100.0	38.3	61.3	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	61.4
檜枝岐村	47	47	21	26	0	0	0	0	0	26
		100.0	44.7	55.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.3
南会津町	1,471	1,471	551	909	11	0	11	3	0	913
		100.0	37.5	61.8	0.7	0.0	0.7	0.2	0.0	62.1
金山町	89	89	31	57	1	0	1	1	0	57
		100.0	34.8	64.0	1.1	0.0	1.1	1.1	0.0	64.0
昭和村	73	73	34	38	1	0	1	0	0	38
		100.0	46.6	52.1	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	52.1
三島町	107	107	28	78	1	0	1	1	0	79
		100.0	26.2	72.9	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	73.8
下郷町	527	527	220	302	5	0	5	1	0	306
		100.0	41.7	57.3	0.9	0.0	0.9	0.2	0.0	58.1
喜多方市	4,919	4,917	1,756	3,125	36	0	36	27	0	3,136
		100.0	35.7	63.6	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	63.8
西会津町	476	476	178	294	4	0	4	2	0	293
		100.0	37.4	61.8	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	61.6
只見町	391	391	144	245	2	0	2	1	0	247
		100.0	36.8	62.7	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	63.2
猪苗代町	1,503	1,502	524	963	15	0	15	7	0	974
		99.9	34.9	64.1	1.0	0.0	1.0	0.5	0.0	64.8
磐梯町	355	355	131	222	2	0	2	2	0	223
		100.0	36.9	62.5	0.6	0.0	0.6	0.6	0.0	62.8
北塩原村	318	318	107	209	2	0	2	1	0	209
		100.0	33.6	65.7	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	65.7
会津美里町	2,063	2,060	767	1,278	15	0	15	12	0	1,284
		99.9	37.2	62.0	0.7	0.0	0.7	0.6	0.0	62.3
会津坂下町	1,734	1,733	584	1,135	14	0	14	17	0	1,138
		99.9	33.7	65.5	0.8	0.0	0.8	1.0	0.0	65.7
柳津町	342	342	123	219	0	0	0	0	0	219
		100.0	36.0	64.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.0
会津若松市	12,756	12,745	4,517	8,137	91	0	90	54	1	8,177
		99.9	35.4	63.8	0.7	0.0	0.7	0.4	0.0	64.2
湯川村	414	412	151	258	3	0	3	2	0	260
		99.5	36.7	62.6	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	63.1
小計	91,429	91,353	32,306	58,356	691	0	688	396	3	58,655
		99.9	35.4	63.9	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	64.2
合計	217,676	217,530	76,243	139,800	1,487	0	1,484	823	3	140,478
		99.9	35.0	64.3	0.7	0.0	0.7	0.4	0.0	64.6

別表 4

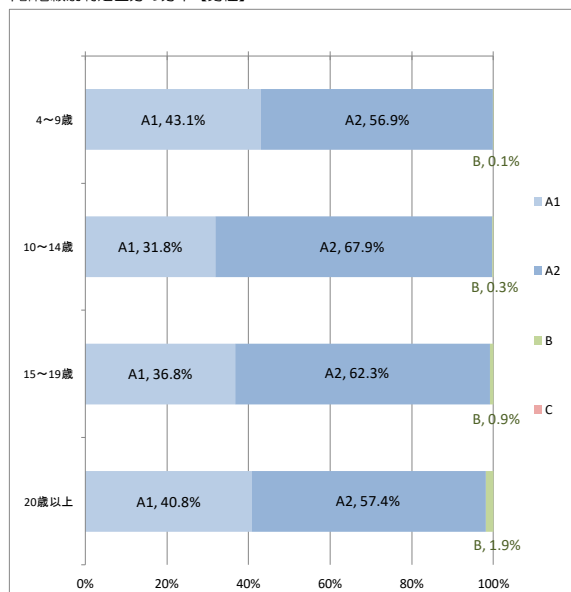
1 検査結果確定者の年齢及び性別

(単位 人)

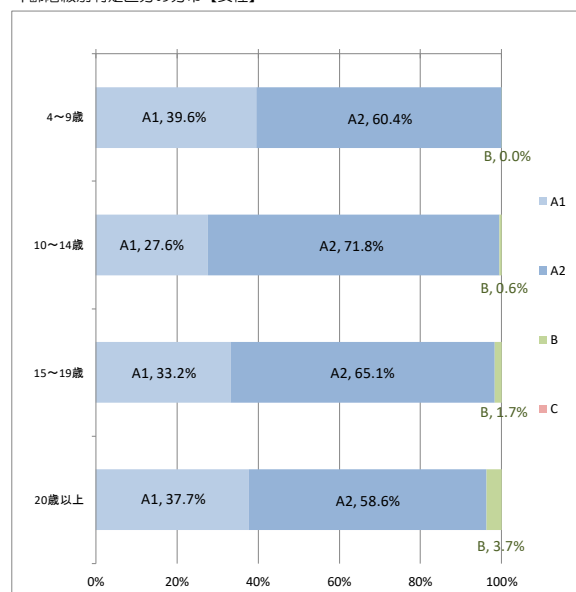
平成 30 年 12 月 31 日現在

判定・性別 年齢階級	A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計									
4～9歳	13,887	12,061	25,948	18,335	18,381	36,716	17	12	29	0	0	0	32,239	30,454	62,693
10～14歳	13,268	11,055	24,323	28,284	28,707	56,991	110	242	352	0	0	0	41,662	40,004	81,666
15～19歳	11,697	10,532	22,229	19,842	20,689	40,531	286	541	827	0	0	0	31,825	31,762	63,587
20歳以上	1,705	2,038	3,743	2,399	3,163	5,562	79	200	279	0	0	0	4,183	5,401	9,584
合計	40,557	35,686	76,243	68,860	70,940	139,800	492	995	1,487	0	0	0	109,909	107,621	217,530

年齢階級別判定区分の分布【男性】



年齢階級別判定区分の分布【女性】

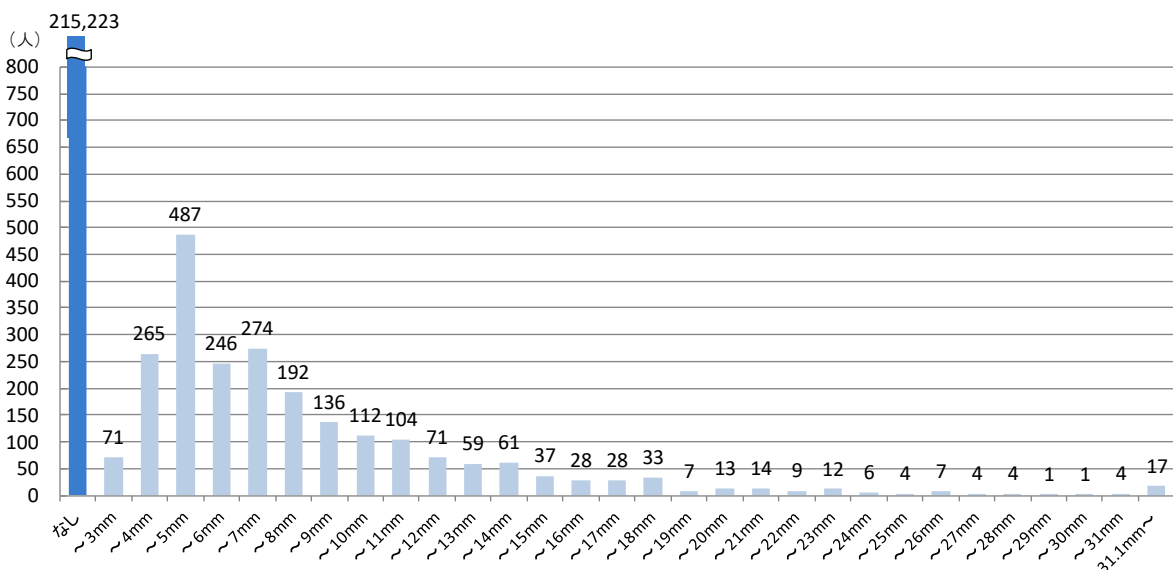
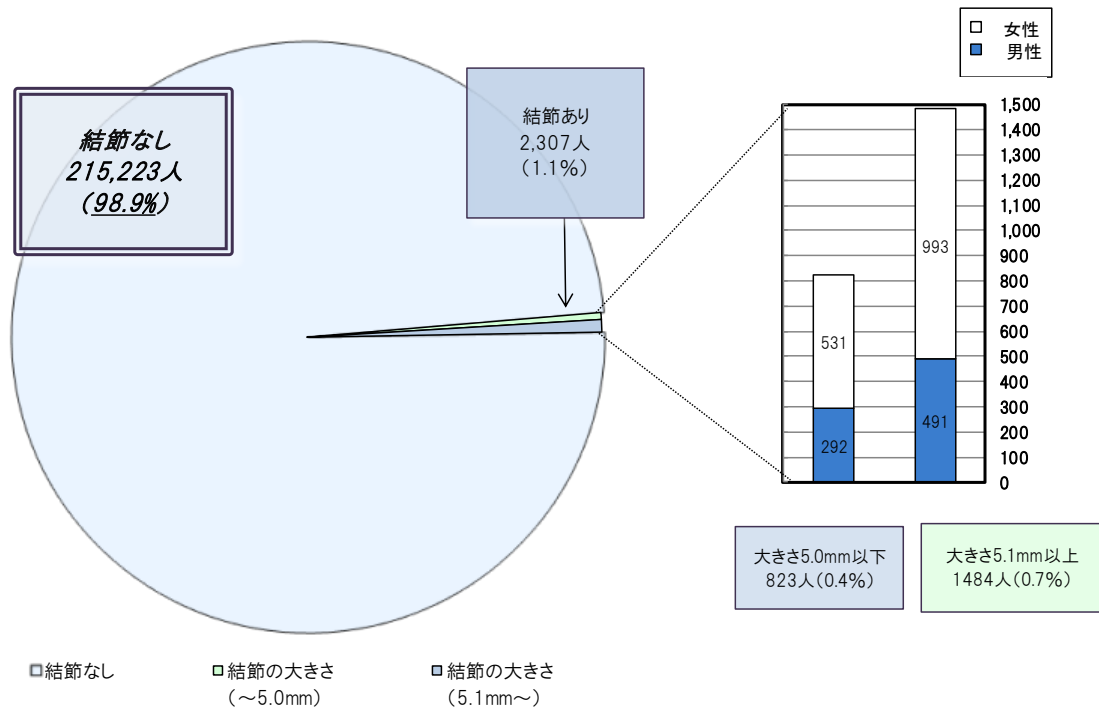


2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)

平成 30 年 12 月 31 日現在

結節の有無・大きさ	全体			判定区分	割合
	男性	女性			
なし	215,223	109,126	106,097	A1	98.9%
～3.0mm	71	34	37	A2	0.4%
3.1～5.0mm	752	258	494		
5.1～10.0mm	960	326	634	B	0.7%
10.1～15.0mm	332	110	222		
15.1～20.0mm	109	27	82		
20.1～25.0mm	45	17	28		
25.1mm～	38	11	27		
計	217,530	109,909	107,621		

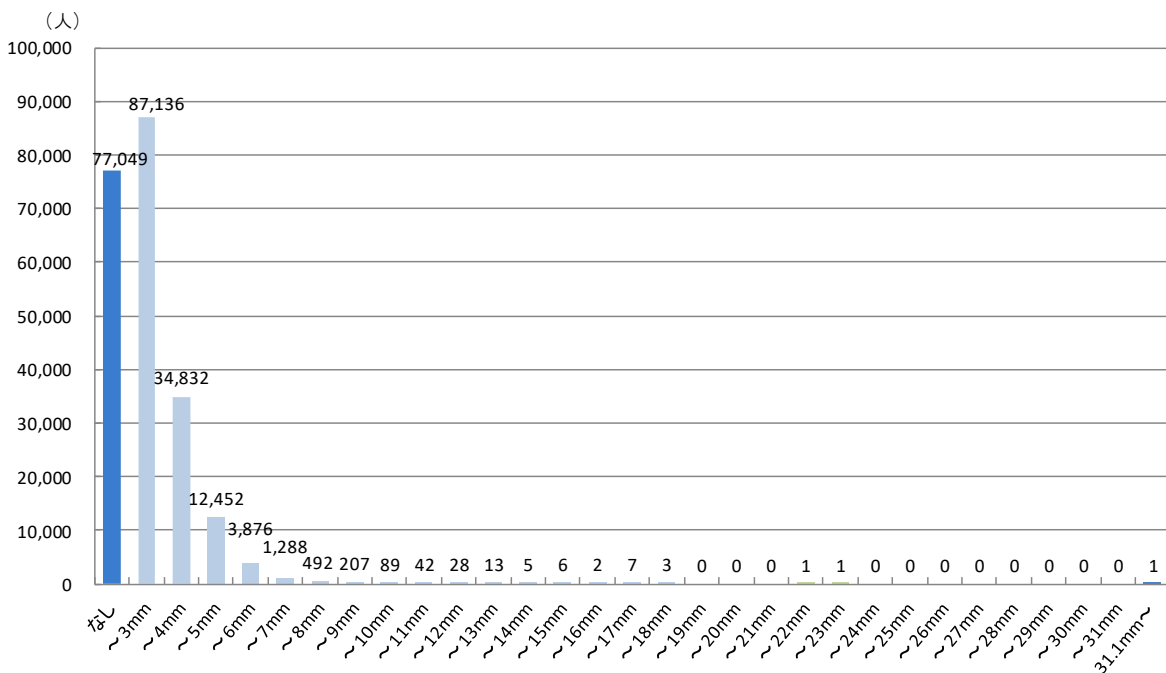
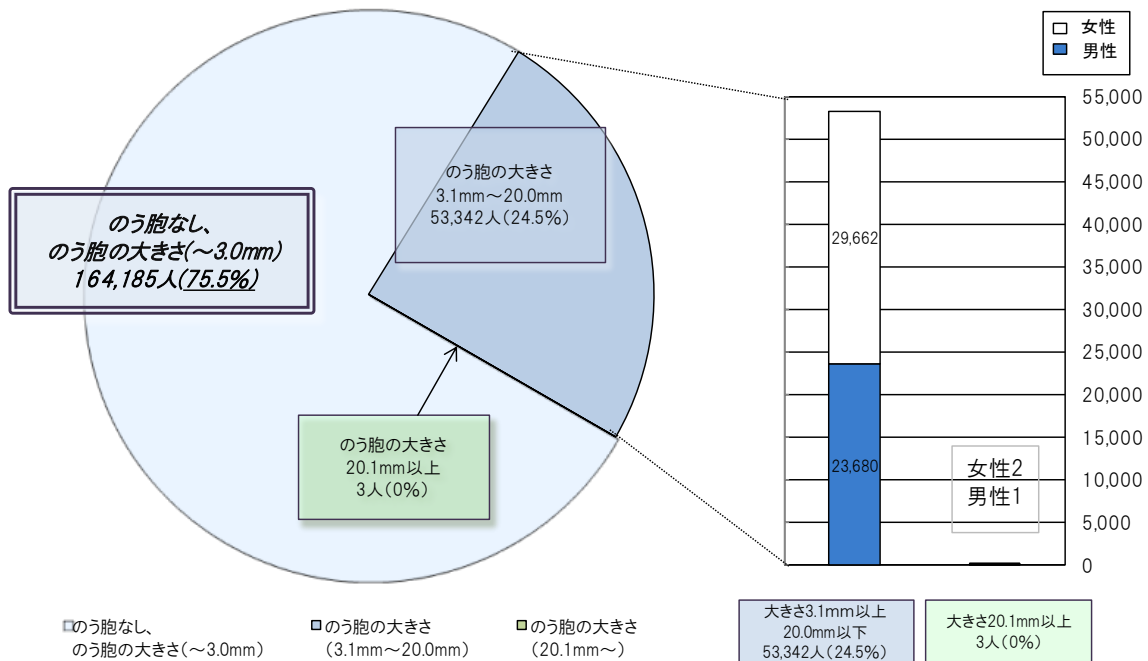


3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)

平成 30 年 12 月 31 日現在

のう胞の有無・大きさ	全体	判定区分		割合
		男性	女性	
なし	77,049	40,842	36,207	A1 75.5%
～3.0mm	87,136	45,386	41,750	
3.1～5.0mm	47,284	21,565	25,719	
5.1～10.0mm	5,952	2,085	3,867	
10.1～15.0mm	94	25	69	
15.1～20.0mm	12	5	7	A2 24.5%
20.1～25.0mm	2	0	2	
25.1mm～	1	1	0	
計	217,530	109,909	107,621	B 0.001%



別表 5

地域別二次検査実施状況

平成 30 年 12 月 31 日現在

市町村名	一次検査実施者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ 率 イ/ア(%)	計 ウ 受診率 ウ/イ(%)	二次検査実施者(人)				結果確定数(人)				
				ウのうち 4～9歳 エ 率 エ/ウ(%)	ウのうち 10～14歳 オ 率 オ/ウ(%)	ウのうち 15～19歳 カ 率 カ/ウ(%)	ウのうち 20歳以上 キ 率 キ/ウ(%)	計 ク 率 ク/ク(%)	A1相当 ケ 率 ケ/ク(%)	A2相当 コ 率 コ/ク(%)	A1・A2相当以外	
				ウのうち 細細胞診 実施者 シ 率 シ/サ(%)	サ 率 サ/ク(%)	シ 率 シ/サ(%)						
避難区域等 13市町村 注1	27,053	211	158	1	36	94	27	150	0	19	131	13
		0.8	74.9	0.6	22.8	59.5	17.1	94.9	0.0	12.7	87.3	9.9
中通り 注2	121,792	752	555	14	111	316	114	528	5	42	481	31
		0.6	73.8	2.5	20.0	56.9	20.5	95.1	0.9	8.0	91.1	6.4
浜通り 注3	41,246	321	213	2	52	105	54	195	2	23	170	14
		0.8	66.4	0.9	24.4	49.3	25.4	91.5	1.0	11.8	87.2	8.2
会津地方 注4	27,585	203	133	4	25	69	35	122	1	12	109	6
		0.7	65.5	3.0	18.8	51.9	26.3	91.7	0.8	9.8	89.3	5.5
合計	217,676	1,487	1,059	21	224	584	230	995	8	96	891	64
		0.7	71.2	2.0	21.2	55.1	21.7	94.0	0.8	9.6	89.5	7.2

注 1 田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村

注 2 福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町

注 3 いわき市、相馬市、新地町

注 4 会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

別表 6

悪性ないし悪性疑い者の手術症例

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 平成 28 年度実施対象市町村 |
| | ・悪性ないし悪性疑い 12 人（手術実施 11 人：乳頭癌 11 人） |
| 2 | 平成 29 年度実施対象市町村 |
| | ・悪性ないし悪性疑い 9 人（手術実施 4 人：乳頭癌 4 人） |
| 3 | 1～2 の合計 |
| | ・悪性ないし悪性疑い 21 人（手術実施 15 人：乳頭癌 15 人） |

県民健康調査「甲状腺検査【本格検査（検査4回目）】」実施状況

I 調査概要

1. 目的

子どもたちの健康を長期に見守るために、甲状腺の状態を把握するための先行検査及び甲状腺の状態を継続して確認するための本格検査（検査2回目、検査3回目）に引き続き、本格検査（検査4回目）を実施する。

2. 対象者

震災時福島県にお住いの概ね18歳以下であった全県民（平成4年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民）

3. 実施期間

平成30年4月から（平成30年度・31年度予定）

(1) 18歳以下の対象者

平成30年度及び平成31年度の2か年で市町村順に実施

(2) 19歳以上の対象者

年齢（学年）ごとに実施

平成30年度：平成8年度、10年度生まれの方

平成31年度：平成9年度、11年度生まれの方

(3) 25歳時の節目の検査対象者

20歳を超えた方は、5年ごとの節目の検査を実施

平成30年度：平成5年度生まれの方

平成31年度：平成6年度生まれの方

なお、報告については別途行う。

4. 実施機関

福島県から委託を受けた福島県立医科大学が、対象者の利便性も考慮し、福島県内外の医療機関等と連携して検査を実施している。（平成30年12月31日現在の協定締結数）

(1) 一次検査

(i) 県内検査実施機関 77か所

(ii) 県外検査実施機関 116か所

(2) 二次検査

(i) 県内検査実施機関 5か所（福島県立医科大学を含む）

(ii) 県外検査実施機関 36か所

5. 検査方法

(1) 一次検査

超音波画像診断装置により甲状腺の超音波検査を実施。

なお、検査の結果は、以下の基準により複数の専門医により判定している。

(i) A判定：(A1) 結節やのう胞を認めなかった場合

(A2) 5.0 mm以下の結節や20.0 mm以下ののう胞を認めた場合

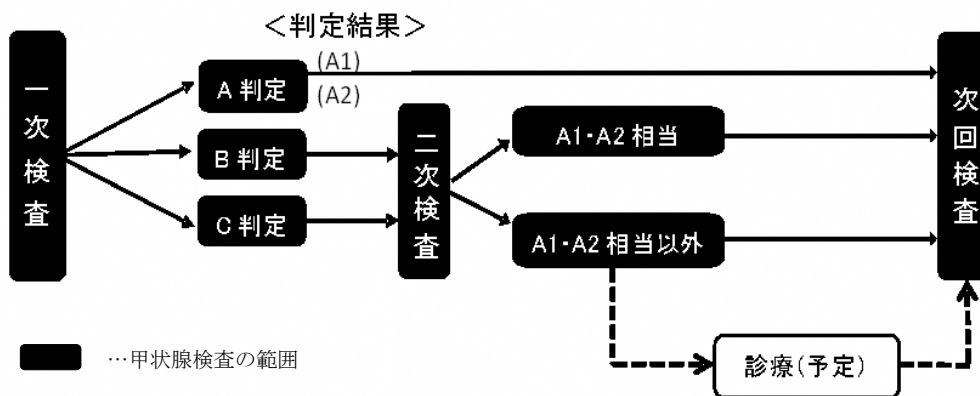
- (ii) B判定：5.1 mm以上の結節や20.1 mm以上ののう胞を認めた場合
A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した場合も含む。
- (iii) C判定：甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要する場合

(2) 二次検査

一次検査の結果、B判定またはC判定となった場合は、二次検査の対象となる。二次検査では、詳細な超音波検査、血液検査及び尿検査を行い、必要に応じて穿刺吸引細胞診を実施する。早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施する。
なお、二次検査の結果、診療（予定）となる方がいる。

(3) 検査の流れ

図 1.検査の流れ



6. 実施対象年度別市町村

平成 30 年度及び平成 31 年度の各実施対象市町村は次のとおり。(18 歳以下の対象者)

図 2. 実施対象年度別市町村



- 平成 30 年度一次検査実施市町村 (25 市町村)
- 平成 31 年度一次検査実施市町村 (34 市町村)

II 調査結果概要（平成 30 年 12 月 31 日現在）

1. 一次検査結果

（1）一次検査実施状況

平成 30 年 12 月 31 日までに 76,979 人（26.2%）の検査を実施した（市町村別受診状況及び本県以外の都道府県別受診状況は、別表 1 及び別表 2 のとおり）。

そのうち、60,777 人（79.0%）の受診者について検査結果が確定し、結果通知を発送した（市町村別結果状況は、別表 3 のとおり）。

検査結果は A 判定（表 1 の A1 及び A2 判定）の方が 60,350 人（99.3%）、B 判定の方が 427 人（0.7%）、C 判定の方は 0 人であった。

表 1. 一次検査進捗状況

平成 30 年 12 月 31 日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ(ウ/イ)	結果判定数(人)				
		受診率 (%) イ(イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))				
					A		二次検査対象者		
					A1 エ(エ/ウ)	A2 オ(オ/ウ)	B カ(カ/ウ)	C キ(キ/ウ)	
平成30年度 実施対象市町村計	167,844	72,435 (43.2)	4,208	57,878 (79.9)	20,358 (35.2)	37,137 (64.2)	383 (0.7)	0 (0.0)	
平成31年度 実施対象市町村計	126,101	4,544 (3.6)	284	2,899 (63.8)	1,038 (35.8)	1,817 (62.7)	44 (1.5)	0 (0.0)	
合計	293,945	76,979 (26.2)	4,492	60,777 (79.0)	21,396 (35.2)	38,954 (64.1)	427 (0.7)	0 (0.0)	

表 2. 結節・のう胞の人数・割合

平成 30 年 12 月 31 日現在

	結果判定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ(イ/ア)	5.0mm以下 ウ(ウ/ア)	20.1mm以上 エ(エ/ア)	20.0mm以下 オ(オ/ア)
平成30年度 実施対象市町村計	57,878	381 (0.7)	204 (0.4)	2 (0.0)	37,321 (64.5)
平成31年度 実施対象市町村計	2,899	44 (1.5)	15 (0.5)	0 (0.0)	1,839 (63.4)
合計	60,777	425 (0.7)	219 (0.4)	2 (0.0)	39,160 (64.4)

- ・小数で表示されている数値は、その下の位で四捨五入を行っている。以降の表、別表も同様である。
- ・5年ごとの節目に検査を行う対象者（平成4年度～平成7年度生まれ）を除いている。節目の検査対象者については、別途、計上する。
- ・平成4年度生まれの対象者（約22,000人）は平成29年度、平成5年度生まれの対象者（約22,000人）は平成30年度、平成6年度生まれの対象者（約22,000人）は平成31年度、平成7年度生まれの対象者（約21,000人）は平成32年度に検査を実施する。

(2) 年齢階級別受診率

各年度4月1日時点の年齢階級別の受診率は表3のとおり。

表3.実施対象市町村における年齢階級別受診率

平成30年12月31日現在

	年齢階級 注	計	年齢階級別内訳		
			6～11歳	12～17歳	18歳～24歳
平成30年度実施対象市町村計	対象者数(人) ア	167,844	56,751	64,828	46,265
	受診者数(人) イ	72,435	28,837	41,122	2,476
	受診率(%) イ/ア	43.2	50.8	63.4	5.4
	年齢階級 注		7～11歳	12～17歳	18歳～24歳
平成31年度実施対象市町村計	対象者数(人) ア	126,101	34,099	47,275	44,727
	受診者数(人) イ	4,544	607	2,031	1,906
	受診率(%) イ/ア	3.6	1.8	4.3	4.3
	年齢階級 注		7～11歳	12～17歳	18歳～24歳
合 計	対象者数(人) ア	293,945	90,850	112,103	90,992
	受診者数(人) イ	76,979	29,444	43,153	4,382
	受診率(%) イ/ア	26.2	32.4	38.5	4.8

注 年齢階級は、各年度4月1日時点の年齢。

(3) 本格検査(検査3回目)結果との比較

本格検査(検査4回目)を受診した方の本格検査(検査3回目)結果との比較については、表4のとおり。

検査3回目でA判定(A1及びA2判定)と判断された54,338人のうち、検査4回目でA判定(A1及びA2判定)は54,139人(99.6%)、B判定は199人(0.4%)であった。

また、検査3回目でB判定と判断された235人のうち、検査4回目でA判定(A1及びA2判定)は47人(20.0%)、B判定は188人(80.0%)であった。

表4.本格検査(検査3回目)結果との比較

平成30年12月31日現在

		本格検査 (検査3回目)結果 計 注1	本格検査(検査4回目)結果内訳 注2			
			A		B エ (エ/ア)	C オ (オ/ア)
			A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)		
本格検査 (検査3回目) 検査結果	A1	18,844 (100.0)	14,632 (77.6)	4,190 (22.2)	22 (0.1)	0 (0.0)
	A2	35,494 (100.0)	4,147 (11.7)	31,170 (87.8)	177 (0.5)	0 (0.0)
	B	235 (100.0)	1 (0.4)	46 (19.6)	188 (80.0)	0 (0.0)
	C	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	受診なし	6,204 (100.0)	2,616 (42.2)	3,548 (57.2)	40 (0.6)	0 (0.0)
計		60,777 (100.0)	21,396 (35.2)	38,954 (64.1)	427 (0.7)	0 (0.0)

注1 上段は検査4回目結果確定者の検査3回目検査結果(人)。検査3回目結果総数(217,530人)の内訳ではない。

注2 上段は検査3回目結果に対する検査4回目の検査結果内訳(人)。下段は割合(%)。

2. 二次検査結果

(1) 二次検査実施状況

平成30年12月31日までに、対象者427人のうち143人(33.5%)が受診し、そのうち90人(62.9%)が二次検査を終了した。

その90人のうち、詳細な検査の結果、9人(A1相当1人とA2相当8人)(10.0%)は、一次検査基準でA1、A2の範囲内であることが確認された(甲状腺に疾病のある方を含む)。81人(90.0%)は、A1・A2相当以外と確認された。

表5.二次検査進捗状況

平成30年12月31日現在

	対象者数 (人)	受診者数(人) 受診率 (%)	確定率 (%)	結果確定数(人)			
				A1相当	A2相当	A1・A2相当以外	
						うち細胞診受診者 キ(キ/カ)	カ(カ/ウ)
ア	イ(イ/ア)	ウ(ウ/イ)	エ(エ/ウ)	オ(オ/ウ)	カ(カ/ウ)	キ(キ/カ)	
平成30年度 実施対象市町村計	383	135 (35.2)	87 (64.4)	1 (1.1)	8 (9.2)	78 (89.7)	6 (7.7)
平成31年度 実施対象市町村計	44	8 (18.2)	3 (37.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (100.0)	0 (0.0)
合計	427	143 (33.5)	90 (62.9)	1 (1.1)	8 (8.9)	81 (90.0)	6 (7.4)

(2) 細胞診等結果

穿刺吸引細胞診を実施した方のうち、2人が悪性ないし悪性疑いの判定となった。
2人の性別は男性1人、女性1人であった。

表6.細胞診結果

ア 平成30年度実施対象市町村	<ul style="list-style-type: none"> 悪性ないし悪性疑い 2人 男性：女性 1人：1人
イ 平成31年度実施対象市町村	<ul style="list-style-type: none"> 悪性ないし悪性疑い 0人

(3) 血液検査及び尿中ヨウ素(平成30年12月31日現在)

表7 血液データ 平均±SD(異常値の割合)

	FT4 注1 (ng/dL)	FT3 注2 (pg/mL)	TSH 注3 (μIU/mL)	Tg 注4 (ng/mL)	TgAb 注5 (IU/mL)	TPOAb 注6 (IU/mL)
基準値	0.95~1.74 注7	2.13~4.07 注7	0.340~3.880 注7	33.7 以下	28.0 未満	16.0 未満
悪性ないし悪性疑い2人	—	—	—	—	—	—
その他83人	1.3 ± 0.2 (6.0%)	3.6 ± 0.6 (10.8%)	1.2 ± 0.7 (10.8%)	24.4 ± 38.7 (13.3%)	— (7.2%)	— (6.0%)

表8.尿中ヨウ素データ

μg/day

	最小値	25%値	中央値	75%値	最大値
悪性ないし悪性疑い2人	—	—	—	—	—
その他81人	32	134	228	328	2580

注1 FT4(遊離サイロキシン)・・・ヨードの数が4つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値(代表的疾患：バセドウ病)、甲状腺機能低下症では低値(代表的疾患：橋本病)になるこ

とが多い。

注2 FT3（遊離トリヨードサイロニン）・・・ヨードの数が3つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値（代表的疾患：バセドウ病）、甲状腺機能低下症では低値（代表的疾患：橋本病）になることが多い。

注3 TSH（甲状腺刺激ホルモン）・・・脳の下垂体から出ているホルモンで甲状腺へ甲状腺ホルモンを出すよう命令する。

橋本病では高値、バセドウ病では低値になることが多い。

注4 Tg(サイログロブリン)・・・甲状腺ホルモンになる直前の物質。甲状腺内に多量に存在する。

甲状腺が破壊されたり、腫瘍がTgを産生していたりする場合に高値になることが多い。

注5 TgAb（抗サイログロブリン抗体）・・・サイログロブリンに対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値になることが多い。

注6 TPOAb（抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体）・・・ペルオキシダーゼという酵素に対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値。

注7 基準値は年齢ごとに異なる。

3. こころのケア・サポート

検査対象者へのこころのケア・サポートとして、次の取組を行っている。

(1) 一次検査のサポートについて

甲状腺検査対象者に対して、公共施設等の一般会場では、検査結果説明ブースにおいて、検査終了後、医師が超音波画像を提示しながら結果の説明を行った。

平成30年4月以降、平成30年12月31日現在で、全会場で検査結果説明ブースを設置し、受診者985人のうち985人（100%）が利用した。

(2) 出張説明会・出前授業について

検査対象者や保護者に対して甲状腺検査の理解を深めるため、出張説明会や出前授業を実施した。

平成30年4月以降、平成30年12月31日現在で、24会場で677人に対して説明等を行った。

(3) 二次検査のサポートについて

福島県立医科大学内にサポートチームを立ち上げ、二次検査対象者に対して、心配や不安へのこころのケア・サポートを行い、その他WEB相談による質問・相談を受け付けるなどの対応を行っている。

なお、本格検査（検査4回目）開始以降、平成30年12月31日現在で、119人のサポートをしており、性別は男性36人、女性83人であった。この方々に延べ198回の相談対応等をしており、その内訳は初回受診時119回（60.1%）、2回目以降受診時79回（39.9%）であった。

また、保険診療移行後についても病院のチームと連携し、継続して支援を行っている。

別表 1

市町村別一次検査実施状況

平成 30 年 12 月 31 日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 注1	受診率 (%) イ/ア	年齢階級別受診者数(人) 年齢階級別内訳(%) 注2			イのうち県 外居住者 数(人) ウ注3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					6~11歳	12~17歳	18~24歳		
平成30年度実施対象市町村									
川俣町	1,831	1,095	24	59.8	458 41.8	570 52.1	67 6.1	27	2.5
浪江町	2,857	881	241	30.8	338 38.4	449 51.0	94 10.7	286	32.5
飯館村	852	496	14	58.2	202 40.7	267 53.8	27 5.4	17	3.4
南相馬市	10,197	4,852	650	47.6	2,114 43.6	2,479 51.1	259 5.3	712	14.7
伊達市	8,780	5,663	122	64.5	2,286 40.4	3,011 53.2	366 6.5	136	2.4
田村市	5,433	3,097	42	57.0	1,389 44.8	1,518 49.0	190 6.1	54	1.7
広野町	800	257	26	32.1	132 51.4	113 44.0	12 4.7	26	10.1
榑葉町	1,094	185	40	16.9	91 49.2	84 45.4	10 5.4	43	23.2
富岡町	2,339	406	142	17.4	129 31.8	212 52.2	65 16.0	160	39.4
川内村	267	101	9	37.8	36 35.6	63 62.4	2 2.0	9	8.9
大熊町	2,019	393	162	19.5	169 43.0	174 44.3	50 12.7	174	44.3
双葉町	978	148	52	15.1	61 41.2	72 48.6	15 10.1	50	33.8
葛尾村	174	56	2	32.2	18 32.1	30 53.6	8 14.3	2	3.6
福島市	43,235	27,153	1,342	62.8	11,259 41.5	13,966 51.4	1,928 7.1	1,405	5.2
二本松市	8,102	5,184	137	64.0	2,186 42.2	2,719 52.4	279 5.4	132	2.5
本宮市	4,910	2,966	71	60.4	1,307 44.1	1,504 50.7	155 5.2	73	2.5
大玉村	1,287	868	16	67.4	397 45.7	434 50.0	37 4.3	17	2.0
郡山市	52,400	11,085	943	21.2	1,512 13.6	7,564 68.2	2,009 18.1	1,388	12.5
桑折町	1,609	1,078	22	67.0	463 42.9	540 50.1	75 7.0	21	1.9
国見町	1,204	776	13	64.5	291 37.5	427 55.0	58 7.5	16	2.1
天栄村	839	411	4	49.0	188 45.7	207 50.4	16 3.9	6	1.5
白河市	9,969	2,865	87	28.7	759 26.5	1,713 59.8	393 13.7	138	4.8
西郷村	3,263	1,823	34	55.9	730 40.0	956 52.4	137 7.5	51	2.8
泉崎村	1,025	137	1	13.4	11 8.0	88 64.2	38 27.7	1	0.7
三春町	2,380	459	12	19.3	52 11.3	282 61.4	125 27.2	12	2.6
小計	167,844	72,435	4,208	43.2	26,578 36.7	39,442 54.5	6,415 8.9	4,956	6.8

注1 受診者のうち県外検査実施機関で検査を受診した人数（平成 30 年 11 月 30 日現在）。

注2 上段には受診者数を、下段には受診者数イの階級別割合を記載。

注3 受診者のうち県外住所の方の人数。

・年齢階級は本格検査（検査 4 回目）の検査受診時点の年齢である。以降の別表も同様である。

平成 30 年 12 月 31 日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 注1	受診率 (%) イ/ア	年齢階級別受診者数(人) 年齢階級別内訳(%) 注2			イのうち県 外居住者 数(人) ウ注3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					6~11歳	12~17歳	18~24歳		
平成31年度実施対象市町村									
いわき市	49,582	1,022	139	2.1	197 19.3	291 28.5	534 52.3	111	10.9
須賀川市	12,372	1,012	36	8.2	76 7.5	588 58.1	348 34.4	15	1.5
相馬市	5,504	295	19	5.4	75 25.4	150 50.8	70 23.7	18	6.1
鏡石町	2,133	163	7	7.6	10 6.1	93 57.1	60 36.8	4	2.5
新地町	1,159	57	5	4.9	8 14.0	33 57.9	16 28.1	1	1.8
中島村	846	91	1	10.8	8 8.8	54 59.3	29 31.9	1	1.1
矢吹町	2,671	280	3	10.5	24 8.6	187 66.8	69 24.6	4	1.4
石川町	2,181	151	3	6.9	17 11.3	83 55.0	51 33.8	2	1.3
矢祭町	816	36	1	4.4	5 13.9	25 69.4	6 16.7	1	2.8
浅川町	1,064	89	1	8.4	2 2.2	66 74.2	21 23.6	4	4.5
平田村	968	82	2	8.5	12 14.6	49 59.8	21 25.6	2	2.4
棚倉町	2,398	180	4	7.5	18 10.0	138 76.7	24 13.3	4	2.2
塙町	1,297	76	2	5.9	4 5.3	58 76.3	14 18.4	2	2.6
鮫川村	519	32	1	6.2	5 15.6	21 65.6	6 18.8	1	3.1
小野町	1,488	185	2	12.4	17 9.2	127 68.6	41 22.2	2	1.1
玉川村	1,049	56	1	5.3	3 5.4	39 69.6	14 25.0	0	0.0
古殿町	817	34	5	4.2	3 8.8	13 38.2	18 52.9	3	8.8
檜枝岐村	87	2	0	2.3	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0	0.0
南会津町	2,128	37	3	1.7	10 27.0	18 48.6	9 24.3	2	5.4
金山町	147	4	0	2.7	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0	0.0
昭和村	115	3	0	2.6	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0	0.0
三島町	148	0	0	0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	0.0
下郷町	747	8	1	1.1	4 50.0	3 37.5	1 12.5	1	12.5
喜多方市	6,945	62	3	0.9	22 35.5	33 53.2	7 11.3	4	6.5
西会津町	761	12	0	1.6	7 58.3	3 25.0	2 16.7	0	0.0
只見町	555	19	3	3.4	6 31.6	5 26.3	8 42.1	2	10.5
猪苗代町	2,068	81	0	3.9	17 21.0	48 59.3	16 19.8	0	0.0
磐梯町	477	1	0	0.2	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0	0.0
北塩原村	445	6	0	1.3	0 0.0	5 83.3	1 16.7	0	0.0
会津美里町	2,822	41	5	1.5	7 17.1	10 24.4	24 58.5	5	12.2
会津坂下町	2,399	55	7	2.3	9 16.4	16 29.1	30 54.5	8	14.5
柳津町	463	4	0	0.9	0 0.0	0 0.0	4 100.0	1	25.0
会津若松市	18,411	358	29	1.9	91 25.4	94 26.3	173 48.3	29	8.1
湯川村	519	10	1	1.9	0 0.0	1 10.0	9 90.0	1	10.0
小計	126,101	4,544	284	3.6	657 14.5	2,258 49.7	1,629 35.8	228	5.0
合計	293,945	76,979	4,492	26.2	27,235 35.4	41,700 54.2	8,044 10.4	5,184	6.7

別表 2

都道府県別県外検査実施状況

平成 30 年 11 月 30 日現在

都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)
北海道	7	95
青森県	2	65
岩手県	3	136
宮城県	2	1,048
秋田県	1	63
山形県	3	276
茨城県	4	265
栃木県	7	283
群馬県	2	85
埼玉県	3	232
千葉県	4	199
東京都	16	640
神奈川県	5	301
新潟県	2	227
富山県	2	5
石川県	1	12

都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)
福井県	1	6
山梨県	2	41
長野県	2	55
岐阜県	1	12
静岡県	2	32
愛知県	4	72
三重県	1	7
滋賀県	1	5
京都府	3	44
大阪府	7	80
兵庫県	2	52
奈良県	2	4
和歌山県	1	3
鳥取県	1	7
島根県	1	7
岡山県	3	15

都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)
広島県	2	4
山口県	1	11
徳島県	1	0
香川県	1	13
愛媛県	1	1
高知県	1	8
福岡県	3	38
佐賀県	1	0
長崎県	2	13
熊本県	1	5
大分県	1	4
宮崎県	1	8
鹿児島県	1	1
沖縄県	1	12
合計	116	4,492

・受診者数は県外検査実施機関で検査を受診した人数

別表 3

市町村別一次検査結果

平成 30 年 12 月 31 日現在

	受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ 進捗状況 イ/ア(%)	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
			判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
			A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下
A1	A2									
平成30年度実施対象市町村										
川俣町	1,095	1,071 97.8	394 36.8	673 62.8	4 0.4	0 0.0	4 0.4	2 0.2	0 0.0	677 63.2
浪江町	881	771 87.5	271 35.1	493 63.9	7 0.9	0 0.0	7 0.9	3 0.4	0 0.0	494 64.1
飯館村	496	451 90.9	169 37.5	279 61.9	3 0.7	0 0.0	3 0.7	2 0.4	0 0.0	282 62.5
南相馬市	4,852	4,742 97.7	1,685 35.5	3,027 63.8	30 0.6	0 0.0	30 0.6	20 0.4	0 0.0	3,036 64.0
伊達市	5,663	5,582 98.6	1,918 34.4	3,631 65.0	33 0.6	0 0.0	33 0.6	17 0.3	0 0.0	3,650 65.4
田村市	3,097	2,762 89.2	1,025 37.1	1,724 62.4	13 0.5	0 0.0	13 0.5	10 0.4	0 0.0	1,727 62.5
広野町	257	255 99.2	80 31.4	172 67.5	3 1.2	0 0.0	3 1.2	1 0.4	0 0.0	173 67.8
楢葉町	185	181 97.8	73 40.3	108 59.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	108 59.7
富岡町	406	328 80.8	118 36.0	208 63.4	2 0.6	0 0.0	2 0.6	0 0.0	0 0.0	208 63.4
川内村	101	88 87.1	33 37.5	54 61.4	1 1.1	0 0.0	1 1.1	0 0.0	0 0.0	55 62.5
大熊町	393	348 88.5	126 36.2	220 63.2	2 0.6	0 0.0	2 0.6	1 0.3	0 0.0	222 63.8
双葉町	148	126 85.1	46 36.5	80 63.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	80 63.5
葛尾村	56	45 80.4	12 26.7	32 71.1	1 2.2	0 0.0	1 2.2	0 0.0	0 0.0	32 71.1
福島市	27,153	23,617 87.0	8,176 34.6	15,318 64.9	123 0.5	0 0.0	122 0.5	73 0.3	1 0.0	15,375 65.1
二本松市	5,184	5,057 97.6	1,762 34.8	3,251 64.3	44 0.9	0 0.0	43 0.9	18 0.4	1 0.0	3,277 64.8
本宮市	2,966	2,766 93.3	971 35.1	1,785 64.5	10 0.4	0 0.0	10 0.4	7 0.3	0 0.0	1,785 64.5
大玉村	868	833 96.0	276 33.1	551 66.1	6 0.7	0 0.0	6 0.7	1 0.1	0 0.0	555 66.6
郡山市	11,085	4,879 44.0	1,786 36.6	3,033 62.2	60 1.2	0 0.0	60 1.2	26 0.5	0 0.0	3,064 62.8
桑折町	1,078	1,052 97.6	376 35.7	669 63.6	7 0.7	0 0.0	7 0.7	2 0.2	0 0.0	672 63.9
国見町	776	757 97.6	247 32.6	501 66.2	9 1.2	0 0.0	9 1.2	1 0.1	0 0.0	508 67.1
天栄村	411	32 7.8	16 50.0	16 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	0 0.0	16 50.0
白河市	2,865	1,360 47.5	501 36.8	843 62.0	16 1.2	0 0.0	16 1.2	10 0.7	0 0.0	851 62.6
西郷村	1,823	457 25.1	179 39.2	274 60.0	4 0.9	0 0.0	4 0.9	6 1.3	0 0.0	275 60.2
泉崎村	137	103 75.2	39 37.9	63 61.2	1 1.0	0 0.0	1 1.0	1 1.0	0 0.0	64 62.1
三春町	459	215 46.8	79 36.7	132 61.4	4 1.9	0 0.0	4 1.9	2 0.9	0 0.0	135 62.8
小計	72,435	57,878 79.9	20,358 35.2	37,137 64.2	383 0.7	0 0.0	381 0.7	204 0.4	2 0.0	37,321 64.5

	受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ 進捗状況 イ/ア(%)	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
			判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
			A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下

平成31年度実施対象市町村

いわき市	1,022	706	250	449	7	0	7	2	0	454
		69.1	35.4	63.6	1.0	0.0	1.0	0.3	0.0	64.3
須賀川市	1,012	488	159	322	7	0	7	4	0	327
		48.2	32.6	66.0	1.4	0.0	1.4	0.8	0.0	67.0
相馬市	295	262	86	170	6	0	6	1	0	174
		88.8	32.8	64.9	2.3	0.0	2.3	0.4	0.0	66.4
鏡石町	163	84	31	50	3	0	3	0	0	51
		51.5	36.9	59.5	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	60.7
新地町	57	52	20	32	0	0	0	1	0	32
		91.2	38.5	61.5	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	61.5
中島村	91	58	23	35	0	0	0	0	0	35
		63.7	39.7	60.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.3
矢吹町	280	177	70	105	2	0	2	1	0	105
		63.2	39.5	59.3	1.1	0.0	1.1	0.6	0.0	59.3
石川町	151	91	40	48	3	0	3	0	0	48
		60.3	44.0	52.7	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0	52.7
矢祭町	36	29	10	19	0	0	0	0	0	19
		80.6	34.5	65.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.5
浅川町	89	64	24	39	1	0	1	0	0	39
		71.9	37.5	60.9	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	60.9
平田村	82	40	10	30	0	0	0	1	0	30
		48.8	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	75.0
棚倉町	180	143	56	86	1	0	1	2	0	86
		79.4	39.2	60.1	0.7	0.0	0.7	1.4	0.0	60.1
塙町	76	60	23	37	0	0	0	0	0	37
		78.9	38.3	61.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.7
鮫川村	32	21	9	12	0	0	0	0	0	12
		65.6	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1
小野町	185	96	27	67	2	0	2	0	0	69
		51.9	28.1	69.8	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	71.9
玉川村	56	26	9	15	2	0	2	0	0	16
		46.4	34.6	57.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	61.5
古殿町	34	25	12	13	0	0	0	0	0	13
		73.5	48.0	52.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.0
檜枝岐村	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1
		50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
南会津町	37	20	6	13	1	0	1	0	0	14
		54.1	30.0	65.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	70.0
金山町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
昭和村	3	3	2	1	0	0	0	0	0	1
		100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
三島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
下郷町	8	5	3	2	0	0	0	0	0	2
		62.5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
喜多方市	62	49	21	28	0	0	0	0	0	28
		79.0	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1
西会津町	12	7	1	6	0	0	0	0	0	6
		58.3	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7
只見町	19	13	6	7	0	0	0	0	0	7
		68.4	46.2	53.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.8
猪苗代町	81	50	18	31	1	0	1	0	0	31
		61.7	36.0	62.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	62.0
磐梯町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北塩原村	6	1	0	1	0	0	0	0	0	1
		16.7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
会津美里町	41	29	9	18	2	0	2	0	0	19
		70.7	31.0	62.1	6.9	0.0	6.9	0.0	0.0	65.5
会津坂下町	55	50	25	24	1	0	1	0	0	25
		90.9	50.0	48.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	50.0
柳津町	4	4	0	4	0	0	0	0	0	4
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
会津若松市	358	240	85	150	5	0	5	2	0	151
		67.0	35.4	62.5	2.1	0.0	2.1	0.8	0.0	62.9
湯川村	10	5	3	2	0	0	0	1	0	2
		50.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0
小計	4,544	2,899	1,038	1,817	44	0	44	15	0	1,839
		63.8	35.8	62.7	1.5	0.0	1.5	0.5	0.0	63.4
合計	76,979	60,777	21,396	38,954	427	0	425	219	2	39,160
		79.0	35.2	64.1	0.7	0.0	0.7	0.4	0.0	64.4

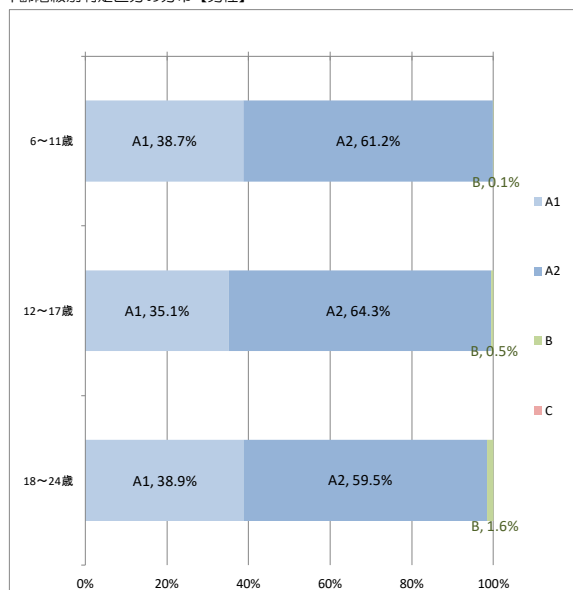
別表 4

1 検査結果確定者の年齢及び性別

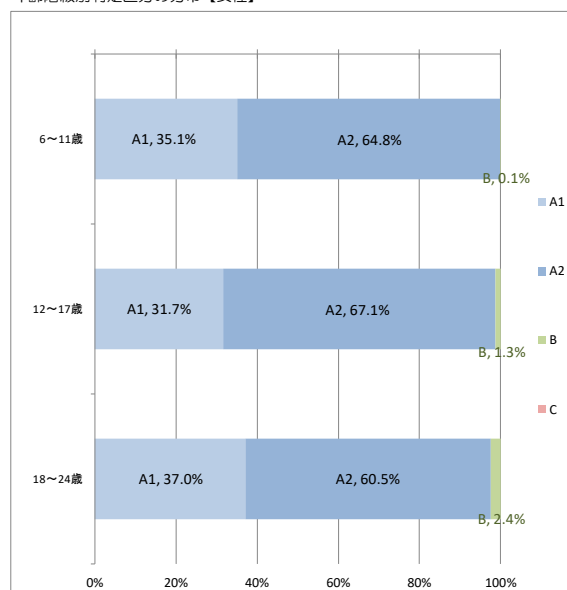
(単位 人)
平成 30 年 12 月 31 日現在

判定・性別 年齢階級	A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計									
6～11歳	4,474	3,895	8,369	7,065	7,194	14,259	11	14	25	0	0	0	11,550	11,103	22,653
12～17歳	5,815	4,951	10,766	10,643	10,477	21,120	86	196	282	0	0	0	16,544	15,624	32,168
18～24歳	1,122	1,139	2,261	1,714	1,861	3,575	45	75	120	0	0	0	2,881	3,075	5,956
合計	11,411	9,985	21,396	19,422	19,532	38,954	142	285	427	0	0	0	30,975	29,802	60,777

年齢階級別判定区分の分布【男性】



年齢階級別判定区分の分布【女性】

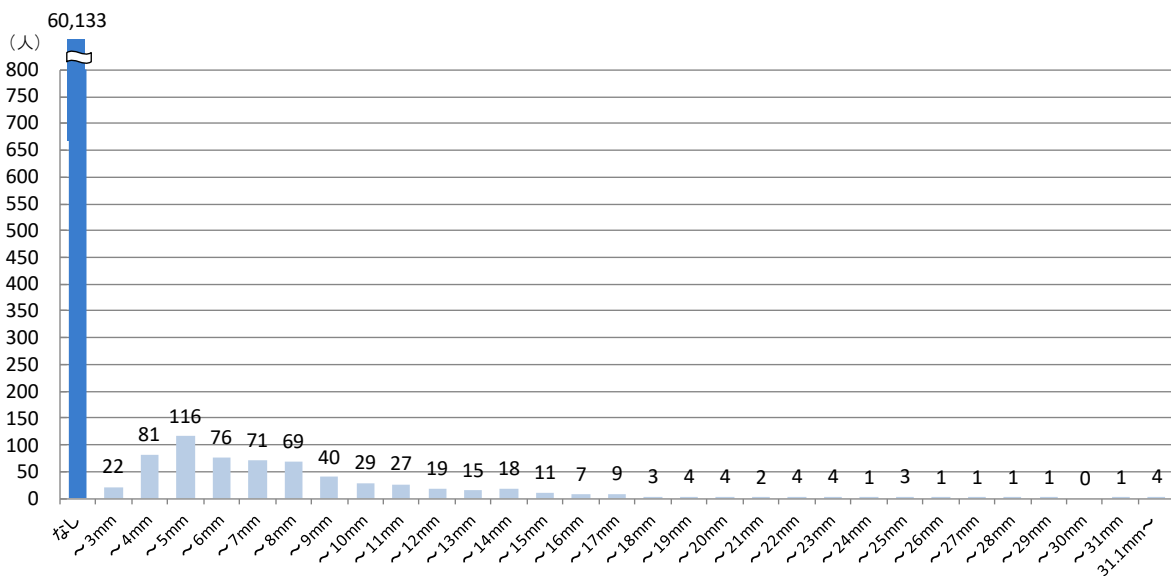
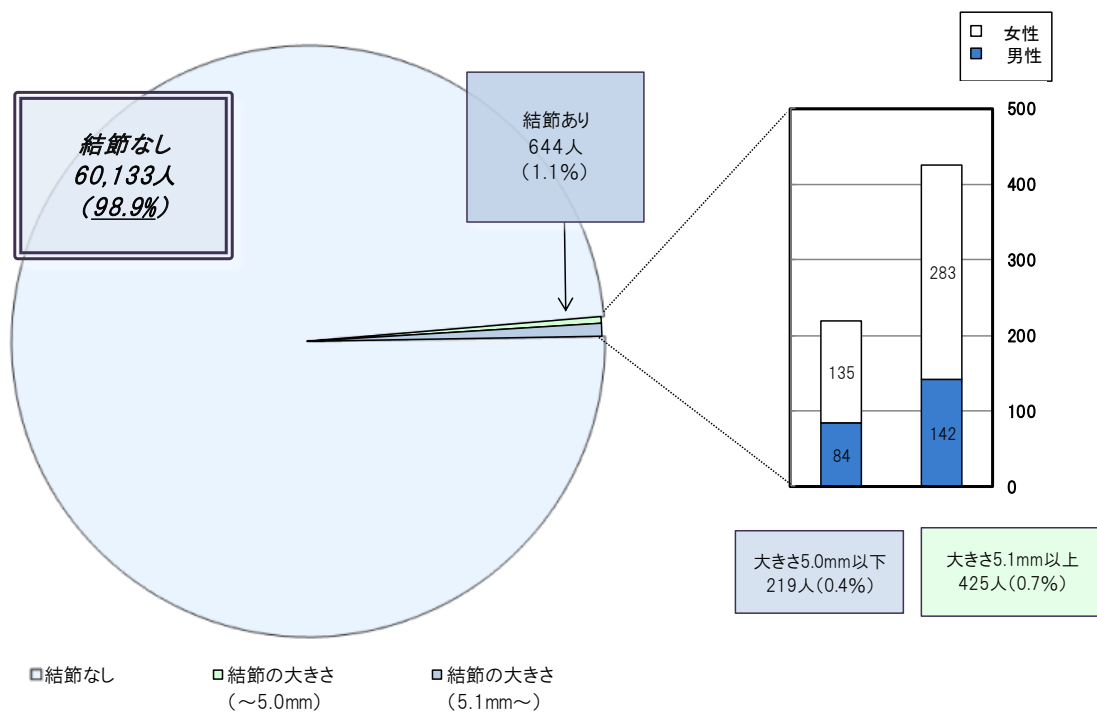


2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)

平成 30 年 12 月 31 日現在

結節の有無・大きさ	全体			判定区分	割合
	男性	女性			
なし	60,133	30,749	29,384	A1	98.9%
～3.0mm	22	12	10	A2	0.4%
3.1～5.0mm	197	72	125		
5.1～10.0mm	285	98	187	B	0.7%
10.1～15.0mm	90	31	59		
15.1～20.0mm	27	9	18		
20.1～25.0mm	14	4	10		
25.1mm～	9	0	9		
計	60,777	30,975	29,802		

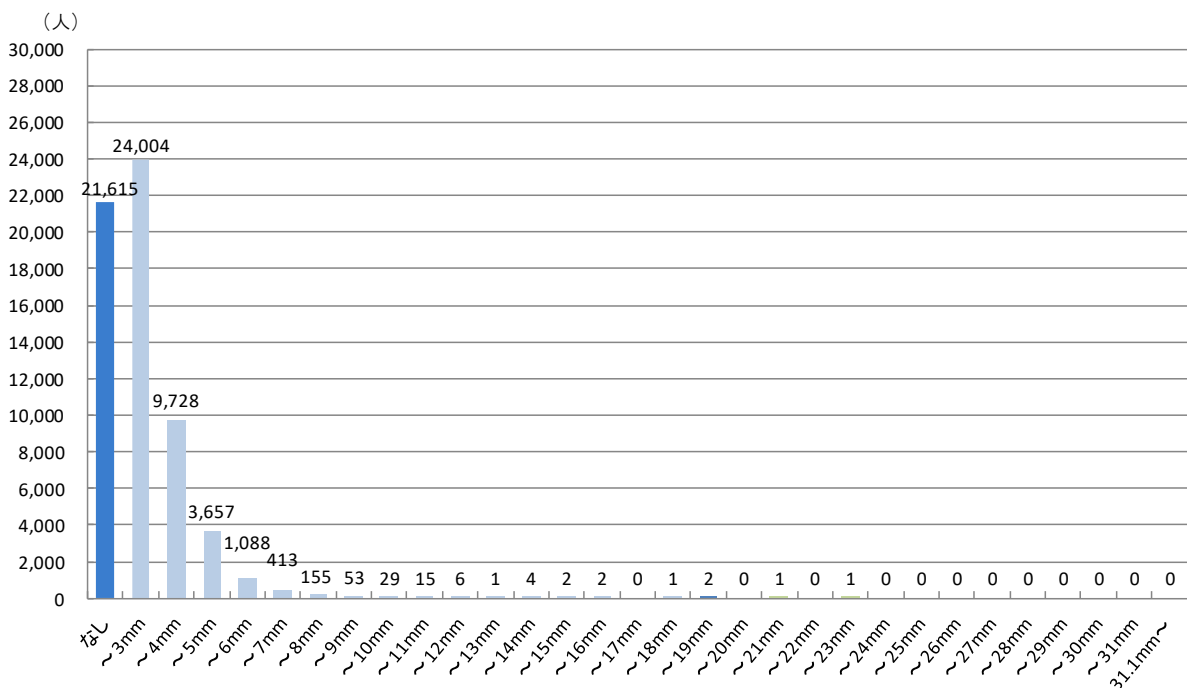
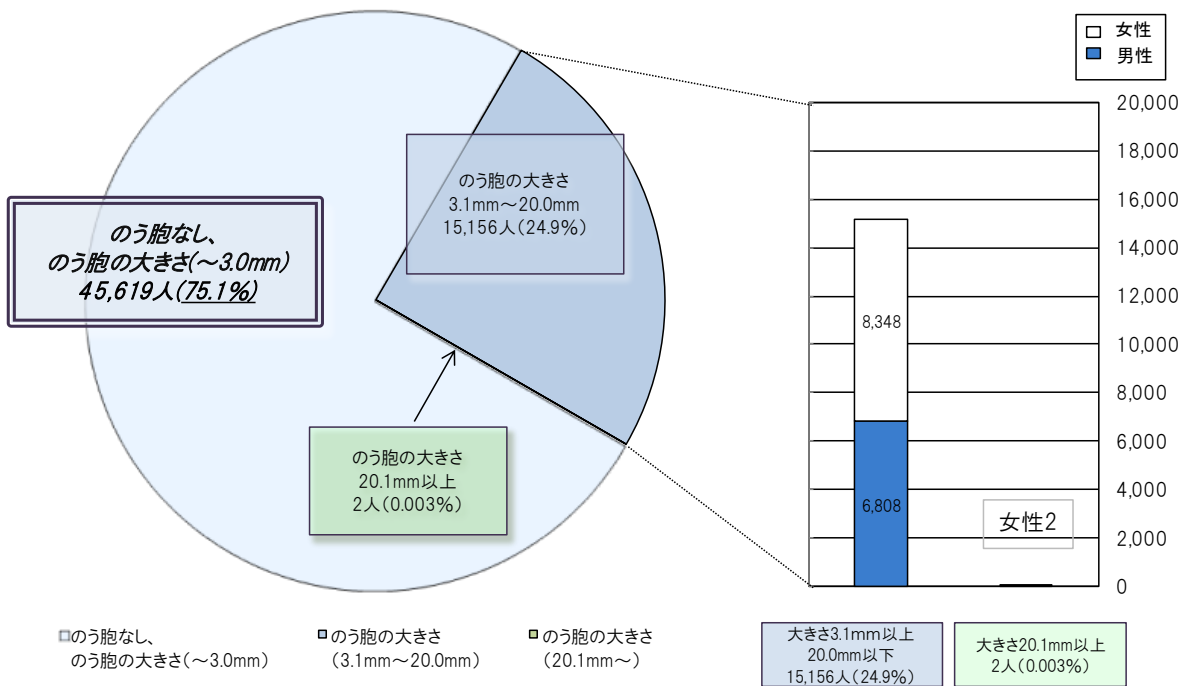


3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)

平成 30 年 12 月 31 日現在

のう胞の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男性	女性		
なし	21,615	10,120	A1	75.1%
～3.0mm	12,672	11,332	A2	
3.1～5.0mm	6,141	7,244		
5.1～10.0mm	657	1,081		
10.1～15.0mm	10	18	B	0.003%
15.1～20.0mm	0	5		
20.1～25.0mm	0	2		
25.1mm～	0	0		
計	60,777	29,802		



第12回 甲状腺検査評価部会 開催報告

- 1 日時：平成31年2月22日（金） 14:00～16:00
- 2 場所：コラッセふくしま 4階 多目的ホール
- 3 出席者：部会員7名（欠席1名）
- 4 内容等（当日の会議資料については、④－5ページ以降を参照）

(1) 本格検査（検査2回目）結果について

ア 本格検査（検査2回目）の細胞診実施に関する分析結果

福島医大より二次検査時結節径分類別細胞診実施率及び悪性ないし悪性疑いの発見率について、一次検査実施年度別、4地域別（避難区域等、中通り、浜通り、会津地方）、先行検査時細胞診実施の有無別にみた分析結果（資料1-1）を提示し説明した。分析は、先行検査と本格検査（検査2回目）の両方とも受診した方を対象とした。

- ①（図1～3）一次検査実施年度別では、10.0mm以下および10.1～20.0mmの群では、2014年度実施群において細胞診実施率と悪性ないし悪性疑い発見率が高い傾向を示した。
- ②（図4～6）地域別では、細胞診実施率及び悪性ないし悪性疑い発見率は、避難区域等>中通り>浜通り>会津地方の順であった。また、結節径10.0mm以下及び10.1～20.0mmの群では、避難区域等と中通りにおいて細胞診実施率と悪性ないし悪性疑い発見率は高く、20.1mmの群では、細胞診実施率に明らかな地域差は認められない。
- ③（図7～9）先行検査において細胞診を実施している場合、いずれの結節径においても本格検査（検査2回目）の細胞診実施率及び悪性ないし悪性疑い発見率は低くなる傾向があった。

<部会員意見等>

- ・細胞診実施率が地域によって3倍近く違い、それが悪性ないし悪性疑いの発見率と相関しており、線量との関係を見るときに非常に解釈が難しい。
- ・年度あるいは地域による悪性ないし悪性疑いの発見率の差について、検査間隔、年齢、受診率、細胞診実施率等が影響していると考えられる。
- ・年度によるB判定率の違い、先行検査の結果も考慮できれば考慮した方がよい。

イ 市町村別 UNSCEAR 推計甲状腺吸収線量と悪性あるいは悪性疑い発見率との関係性

福島医大より線量と悪性ないし悪性疑い発見率との関係について、UNSCEAR（アンスケア）2013年報告書の市町村別の推計甲状腺吸収線量を使用した解析結果（資料1-2、参考資料5）を提示し説明した。

今回の解析については、市町村ごとに全て同じ線量をあてはめているが、実際には一人一人行動により違いがあるため実際の個人線量とは異なること、UNSCEARの推定線量については、不確実性が高く、線量が過大評価になっている可能性があることが説明された。

- ①震災時年齢が6-14歳の対象者及び15歳以上の対象者において、線量依存性の悪性ないし悪性疑い発見の性・年齢調整オッズ比の上昇傾向は認められなかった。
- ②各市町村平均推計甲状腺総吸収線量の最大値を用いた分析と最小値を用いた分析の間に明らかな差異は認められなかった。

<部会員意見等>

- ・20mGy以上25mGy未満でオッズ比が上昇しているように見えることについては、交絡因子を調整したときどう動くか、今後の解析となる。線量効果関係があるのであれば、線量が上がると

したがってオッズ比が上がるパターンとなるはずであり、そうはなっていない。

- ・ 今後の解析の提案として、性・年齢の他、地域の受診状況、細胞診の実施割合、実施年度などが挙げられる。
- ・ 本来は罹患をアウトカムとし、先行検査を受けた全員について、検査以外で発見された甲状腺がんも把握すべきであり、がん登録との照合を是非進めてもらいたい。

(2) 甲状腺検査対象者への説明・同意について

福島医大から甲状腺検査のお知らせ文の改訂案(資料2-1)を提示し説明した。

これまでのお知らせ文を修正するとともに、これまでの議論を踏まえた検査のメリット・デメリットについて資料を添付する案を提示した。

改訂案に対して事前に各部会員からいただいた意見(資料2-2)を基に協議を行った。

部会での議論を踏まえ、部会長において修正案を検討し、部会員からの意見を得ながら次回部会までに整理することとなった。

ア 検査の目的について

部会員より「甲状腺にかかる健康被害を最小限にすること」「放射線と甲状腺がんの関連を正しく評価すること」を記載すべきとの意見があった。

第8回部会での同発言に対して、第9回部会にて県事務局より「検討委員会及び評価部会設置要綱における目的に包含されると考えている」と説明していたことから、あらためて説明するとともに、「検査は県民の不安に応えるために始まり、子供の健康を長期に見守るために実施してきた」ものであり、「検査の目的自体を変更するためには、お知らせ文の修正とは別に協議が必要と考える」と説明した。

<部会員意見等>

- ・ 目的の記載は、何のための検査なのかということを考えてもらうための情報として有用。
- ・ 検診を行うことによって甲状腺がんによる死亡減少やそれにまつわる健康被害を少なくするという。甲状腺検査はそのような利益を与えることを目的としているのではないか。
- ・ 線量は少ないが、不安があるから検査を始めたというのがこの検査の主旨だと思う。
- ・ (「県民の不安に応えるために」) 始まった状況としての記載でよいのではないか。
- ・ 目的を示さないとそもそもインフォームド・コンセントと言えない。
- ・ この検査の目的は不安に応えること。ほとんどの人が心配するような状況ではないことを受診者に伝えるのが第一の目的である

イ メリット・デメリットについて

メリット・デメリットの提示において、特に国際がん研究機関(IARC)専門家グループの提言の取り扱いについての議論となった。

<部会員意見等>

- ・ IARC報告書で一番大きな事実として指摘されている「専門家が“不利益が利益を上回る”と判断している」ということを必ず伝えるべき。
- ・ 小児甲状腺がんの早期診断のメリットについては、IARC報告書でもはっきり解析できるデータを持っておらず、余り明確になっていない。
- ・ IARC報告書の内容は尊重すべきであり、どこかには書かなくてはいけないと思うが、

改訂案の内容を書き換えることはしない方がよいのではないか。

- ・ 専門家の意見を羅列するという形で情報提供するのは非常に混乱するのではないか。証拠に基づいた記述をするために、既存のシステマティックレビューの結果を引用するということが考えられ、それがIARCのレポートだと思う。
- ・ IARCレポートでは、QOLをエンドポイントとした解析をやっていない。
- ・ 死亡率はもともと低い。子供にとってはQOLが大事である。
- ・ (メリット「安心と生活の質的向上」に対して) どのように測るのか。検診を受けない人と比べて相対として改善したというのであれば言える。しかし、異常がないことがわかればではなく、間違っていて異常があるといわれた人たちの不安も考えなければならない。
- ・ 総量としてメリットとデメリットどちらが大きいのかという判断を誰がするのか。専門家の意見も含めてばらばら意見を羅列して判断を受診者に求めるという態度だけでいいのか。
- ・ エビデンスを積み重ねてという説明は論文としてはいいかもしれないが、これは一般に配る説明文なので、この改訂案でいいのではないか。
- ・ もともと部会でメリット・デメリット両方を説明した方がいいという意見が出てこれを作っている。部会としてはメリット・デメリットどちらが多いかという判断まではしないものと理解している。両面を記述している今の改訂案でよいのではないか。
- ・ 福島の検診を機に対象外(他県や大人)への検診の広がりがある。そういったものは推奨されないという事実はちゃんと記載した方がよい。
- ・ 受診者の理解度の調査で、不利益が存在していることを知っている人がほぼいないという結果がある。理解度のギャップを埋めるのが一番重要である。
- ・ IARC報告書では、検査を実施するかしないかは地域の社会的状況に応じて決めるべきとなっている。福島では、住民の感情なり社会的状況なりを考慮して検査が行われている。
- ・ 小児科領域では臨床研究をやるときは小学生でも同意書を求めるので、小学生からもサインを求めるべき。また、小学生でもわかる説明文書も作ってもらいたい。

本格検査(検査2回目)の細胞診実施に関する分析結果

1. 一次検査実施年度別にみた二次検査時結節径分類別細胞診実施率および悪性ないし悪性疑いの発見率*

図1. 一次検査実施年度別にみた二次検査時結節径分類別結節有所見者の割合**

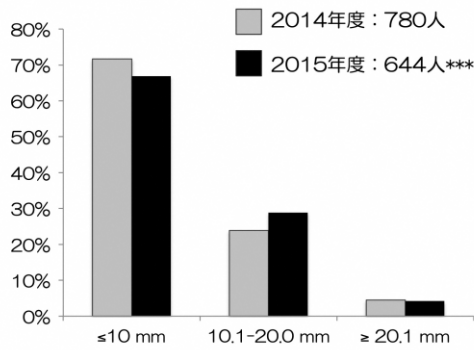


図2. 一次検査実施年度別にみた細胞診実施率および悪性ないし悪性疑いの発見率****

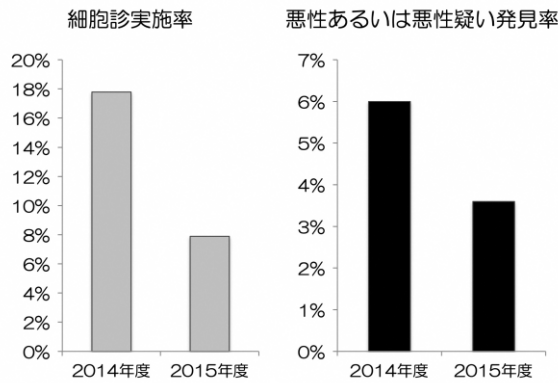
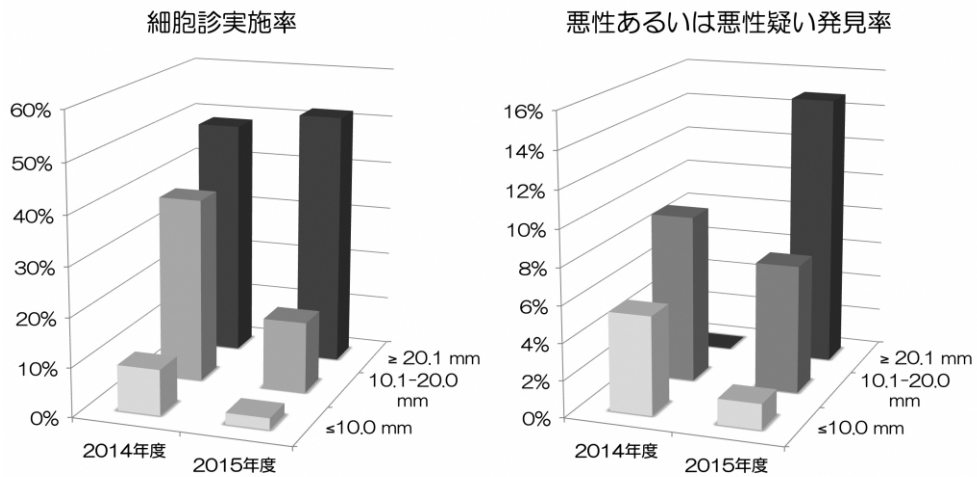


図3. 二次検査時結節径分類別細胞診実施率および悪性ないし悪性疑いの発見率****



* 2017年6月30日までのデータを用いた分析

** 先行検査、本格検査(検査2回目)ともに受診した方を対象

*** 2015年度には2016年度実施分を含む

**** 二次検査時結節有所見者数に対する比率

結果のまとめ

- $\leq 10.0\text{mm}$ および $10.1\text{--}20.0\text{mm}$ の群では、2014年度実施群において細胞診実施率と悪性あるいは悪性疑い発見率が高い傾向を示した。

2. 地域別にみた二次検査時結節径分類別細胞診実施率および悪性ないし悪性疑いの発見率*

図4. 地域別にみた二次検査時結節径分類別結節有所見者数の割合**

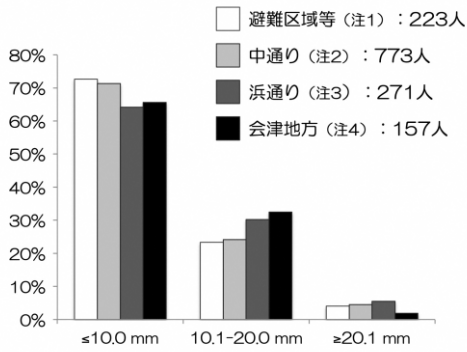


図5. 地域別にみた細胞診実施率および悪性ないし悪性疑いの発見率***

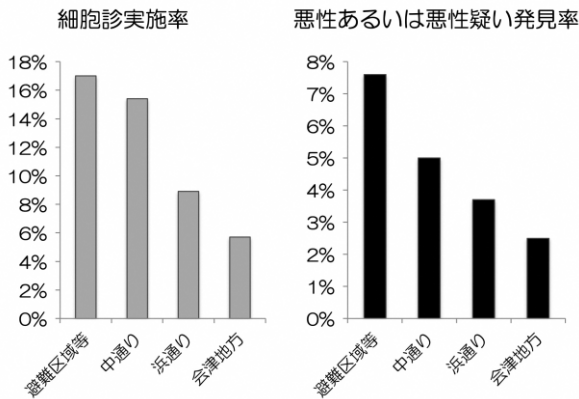
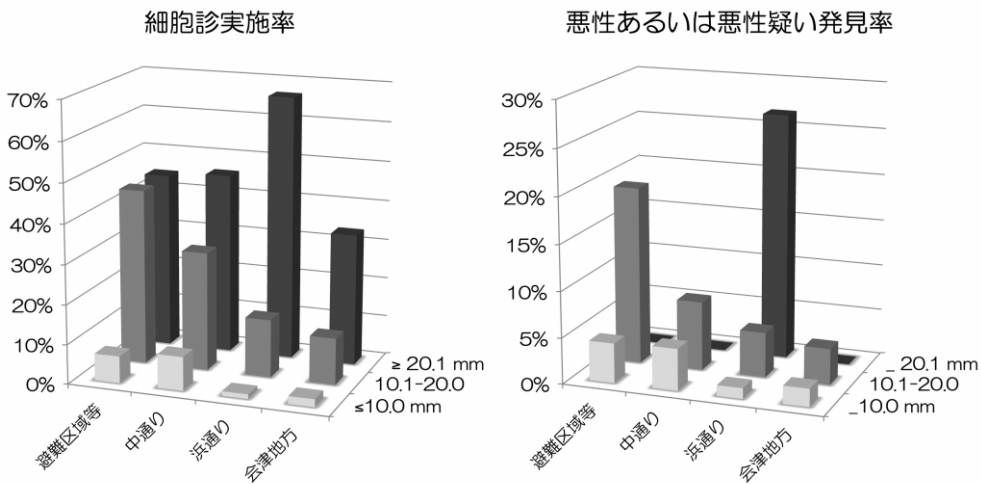


図6. 二次検査時結節径分類別細胞診実施率および悪性ないし悪性疑いの発見率***



* 2017年6月30日までのデータを用いた分析

** 先行検査、本格検査(検査2回目)ともに受診した方を対象

*** 二次検査時結節有所見者数に対する比率

注1 田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村

注2 福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町

注3 いわき市、相馬市、新地町

注4 会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

結果のまとめ

- 細胞診実施率および悪性ないし悪性疑いの発見率は、避難区域等>中通り>浜通り>会津地方であった。
- $\leq 10.0\text{mm}$ および $10.1\text{-}20.0\text{mm}$ の群では、避難区域等と中通りにおいて細胞診実施率と悪性あるいは悪性疑い発見率が高い傾向を示した。
- $\geq 20.1\text{mm}$ 群では、細胞診実施率に明らかな地域差は認めなかった。

3. 先行検査時細胞診実施の有無別にみた二次検査時結節径分類別細胞診実施率および悪性ないし悪性疑いの発見率*

図7. 先行検査時細胞診実施の有無別にみた二次検査時結節径分類別結節有所見者数の割合**

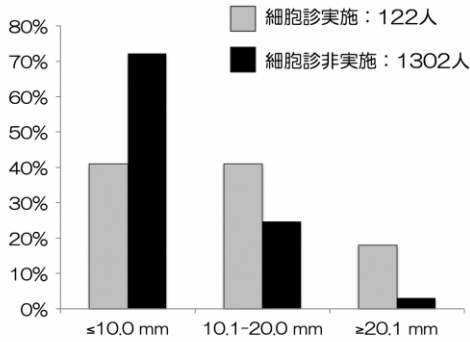


図8. 先行検査時細胞診実施の有無別にみた細胞診実施率および悪性ないし悪性疑いの発見率***

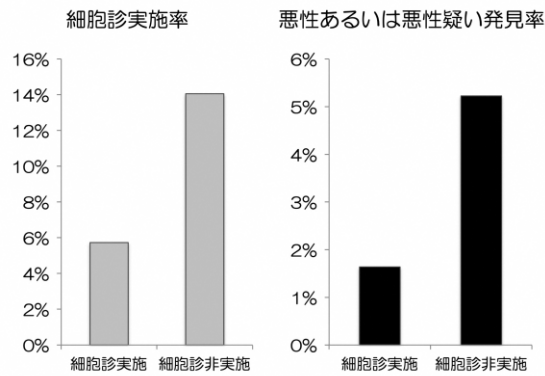
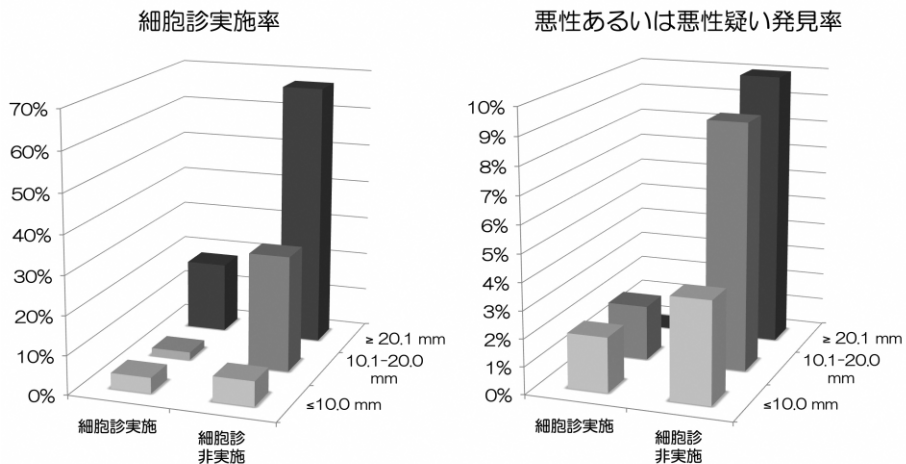


図9. 二次検査時結節径分類別細胞診実施率および悪性ないし悪性疑いの発見率***



* 2017 年 6 月 30 日までのデータを用いた分析

** 先行検査、本格検査(検査 2 回目)ともに受診した方を対象とし、先行検査において細胞診を実施した方 122 人と実施しなかった方 1302 人に分類し、本格検査時の結果を分析

*** 二次検査時結節有所見者数に対する比率

結果のまとめ

- 先行検査において細胞診を実施している場合、いずれの結節径においても本格検査において細胞診実施率および悪性ないし悪性疑いの発見率は低くなる傾向があった。

107. 事故にともなう日本の住民の被ばくの全体像を捉えるために、本委員会はまた日本の公衆における集団実効線量と集団甲状腺吸収線量を推定した。その結果得られた事故直後1年間、事故から10年間、そして生涯にわたる期間それぞれの集団実効線量と集団甲状腺吸収線量を表8に示している。集団実効線量に最も大きく寄与する被ばく経路は、地表に沈着した¹³⁴Csと¹³⁷Csによるの外部被ばくと、これらの放射性核種を食品から摂取する内部被ばくの2つの長期被ばく経路であった。事故直後1年間の集団甲状腺吸収線量に最も大きく寄与したのは、¹³¹Iの吸入と経口摂取による内部被ばくであった。

表8. 日本の住民(2010年の人口は約1億2800万人)における集団実効線量と集団甲状腺吸収線量

線量カテゴリー	被ばく期間		
	最初の1年間	10年間	80歳まで
集団実効線量 (1000人・シーベルト)	18	36	48
甲状腺集団吸収線量 (1000人・グレイ)	82	100	112

108. 福島第一原発事故による日本の住民のこれらの集団線量推定値を、旧ソビエト連邦で1986年に生じたチェルノブイリ事故後に放射線被ばくした欧州諸国の住民の集団線量推定値と比較することができる。環境測定値と人の測定値の結果から20年間(1986年-2005年)について本委員会が推定した集団実効線量と集団甲状腺吸収線量は、それぞれ約360,000¹⁶人・Svと2,300,000人・Gyであった。生涯にわたる継続的被ばくを考慮すると、それらの値はそれぞれ、約400,000人・Svと2,400,000人・Gyである。福島第一原発事故後の生涯被ばくによる日本の住民の集団実効線量は、チェルノブイリ事故後に被ばくした欧州住民の集団実効線量の約10%から15%である。同様に、集団甲状腺吸収線量はチェルノブイリ事故における集団甲状腺吸収線量の約5%であった。

4. 他の国における被ばく線量の評価

109. 日本の近隣諸国ならびに世界の他の地域における公衆の線量を評価するに当たって本委員会は、WHOの予備被ばく評価[W11]の結果を含む、文献に発表された推定値の検討を基本とし、加盟各国が行った広範囲な測定値と線量評価を補足的に使用した(附録C参照)。この情報の解析に基づいて、本委員会は日本国外に居住する住民の事故による事故直後1年間における平均実効線量を0.01mSv未満と結論づけた。

E. 不確かさ

110. このタイプの評価は、不完全な知識と情報にもとづき一定の仮定を前提にするため、その結果には不確かさがともなうものである。不確かさの主な発生源は附録Cで詳述しているが、重要な要素を以下に概説する。

¹⁶ 甲状腺線量の寄与を除外した場合、約 260,000 人・Sv [U12]。

111. 外部被ばくによる線量の推定は、基本的に地表に沈着した放射性核種の測定レベルに基づくものであった。¹³⁷Csと¹³⁴Csの個別測定値に関しては不確かさの程度が比較的小さかったが、¹³¹Iについては測定を開始する前にすでに大量の放射性壊変が発生しているため不確かさの度合いが大きかった。行政区画平均線量を推定するとき、測定値が行政区画か県ごとにどれくらい正確に放射性核種の空間分布を表したかという点も不確かさを伴うものであった。福島県については十分な空間をカバーした広範囲な測定が実施され、特定の行政区画に関する推定行政区画平均線量は2倍の範囲内で正確であると考えられた。グループ4の県の場合は測定値数が比較的小さく、県平均線量の不確かさはより大きいと考えられた。

112. 不確かさの別の原因は、時間の経過にともなう放射性核種の放出率の推移と放出時の気象状況についての知見が不完全であることである。ATDM解析の結果を特定の場所における線量の推定に使用した場合には、大きな不確かさが生じる。可能なかぎり放射性核種の環境濃度測定値を使って線量を評価してはいるが、一部の推定は、放射性核種の想定放出パターンとATDM解析の結果を使って行なっている。3月に避難したコミュニティの避難前と避難中の吸入と外部被ばくによる線量の推定は、放出率の推定値とATDM解析に直接基づいている。これらの住民グループの地区平均実効線量と臓器吸収線量は、特定の場所と時間に関するATDM解析の結果に不確かさがあるため、一般的に4倍から5倍過大評価若しくは過小評価される可能性がある。

113. 吸入による甲状腺吸収線量の評価に影響を及ぼしたもう1つの要素は、大気中の粒子状およびガス状¹³¹Iの比率であった。大気の測定データは限られており、ほとんどは、放出サイトから相当離れたところのデータであった。周辺地域に比べて甲状腺吸収線量が大きかったと考えられる福島県においては、大気中の粒子状およびガス状¹³¹Iの相対量に関する測定データはなく、この比の値は、粒子状およびガス状のヨウ素放出量が等しかったという仮定に基づくATDM解析の結果から得ている。この比の推定値は、主要な被ばく期間にわたって最大2倍の不確かさを有している。

114. 食品における放射性核種の測定値に基づく線量にも不確かさがあり(附録C)、これを定量化するのは困難であった。当局は、最高レベルの濃度の食品を特定することを優先したため、食品をランダムにサンプリングしていなかった。したがって、本委員会が使用した平均濃度の値は過大評価の原因になった可能性があり、特に、測定値が比較的小さかった事故後の数カ月間はその可能性が高い。多くの測定結果は検出限界よりも低く、その場合本委員会は検出限界値を有するものと仮定した。これも、経口摂取による人々の線量が高目に評価される原因となった。食物の流通・消費パターンの変化も不確かさの別の原因であった。福島県で消費された食物の25%が県内産であったと仮定した場合、事故後1年間の経口摂取による実効線量の推定値は、本委員会の推定値の30%になると考えられる。

115. 実効線量と放射性核種の体内摂取後の関連臓器における吸収線量を確定するのに標準的なモデルが使用された。これらのモデルは、特定の代謝特性を有する標準サイズの人に基づいて作成された。日本の食事は、安定ヨウ素を比較的多く含んでいる。そのため、標準的なモデルで示されるよりも、甲状腺への放射性ヨウ素の移行が少なく、したがって、この線源からの線量がわずかながら少なかった可能性がある。しかし、それらの影響は全体として、線量評価に関連した他の不確かさと比較して小さかったと思われる(附録C参照)。

3. 飲料水中の放射性核種の経口摂取による内部被ばくの評価

C61. 飲料水中の放射性核種の測定は日本の当局が実施し、本委員会に提供された。推定被ばく線量はこれらの測定結果に基づいているが、施行された全ての制限策も考慮に入れている（表 C4 参照）。放射性核種のレベルは、事故後数か月間の限られた期間のみ上昇していた。

C62. 福島県内においては、各行政区画に居住する人々の平均実効線量を推定した。全国的には、各都道府県に居住する人々の平均実効線量を推定した。線量は週平均もしくは月平均として算出した。福島県内の行政区画においては、2011年3月から2011年5月にかけて、週間平均線量を計算した。それ以降については、飲料水中の放射性核種濃度が大幅に減少し、測定回数が減ったため、月間平均線量を計算した。福島以外の各都道府県に対しては、2011年3月から2012年3月までの期間について月間平均線量を計算した。全ての月間平均線量は歴史に基づいている。

E. 避難したコミュニティの住民の線量評価

C63. 本附録のセクション I で要約した通り、日本の当局は、放射線被ばくを低減するために大規模な措置を講じた。事故後数回にわたり広範囲に及ぶ避難が実施され、食物出荷も制限された。

C64. 福島第一原発サイトから 20 km 圏内の住民は、2011年3月11日から15日までに予防措置として避難した。双葉町、楡葉町、大熊町、富岡町、および川内村の住民の大多数と、20 km 圏内の区域に居住する南相馬市、田村市、浪江町、葛尾村の住民は 2011年3月12日に避難した。したがって、その後放射性核種の放出が発生した時点では、大半の住民が、より大きい被害を受けた地域にはいなかった。これらの住民の被ばくは、以下の被ばくシナリオに基づいて推定した。しかし、20 km 圏内の病院にいた患者や老人ホームの入居者、ならびに少数の住民の避難は、2011年3月12日から数日が経過するまで完了していない[T4]。

C65. その後、日本政府は、環境測定に基づき、特に福島第一原発サイトから北西にあたる地域の計画的避難を開始した。飯館村の全村民をはじめ、浪江町、川俣町および葛尾村の一部の住民が 2011年3月から6月にかけて避難した。これらの地域からの集団においては、避難前、避難中および避難後の期間について線量評価した。外部および内部被ばく経路については、ATDM の結果のみに基づいて評価した。経口摂取による被ばく経路については、食品中の放射性核種の放射能濃度測定値に基づいて評価を行った。避難先に到着した住民の一部はそこに留まったが、多数、特に若い家族は、日本の他の地域に移住した。しかし、事故直後の1年間で避難者が受けた線量を推定するにあたっては、彼らが1年間避難先に留まったと仮定した。

C66. 避難前と避難中の線量評価は、地方当局が彼らの活動、具体的には彼らの居住場所と移動について把握するために、福島県の全県民（200万人）を対象に実施したアンケート調査結果に基づいている。県民の約21%がアンケートに完全回答した。放射線医学総合研究所（放医研）は、この調査結果を用いて、事故後の福島第一原発周辺住民の移動に関する18の代表的シナリオを定義した[A5]。これら18のシナリオを全て表 C5 に要約する。地区ごとの避難者数に関する情報は補足資料 C-12 に記載する。

表 C5.放医研の調査に基づく18の避難シナリオ

シナリオ	2011年3月11日時点の居住地	避難先		
1	富岡町	3月12日: 川内村役場	3月16日: ビッグパレット ふくしま(郡山市)	
2	大熊町	3月12日: 船曳職業訓練センター(田村市)		
3	双葉町	3月12日: 08:00に川俣小学校	3月19日: さいたまスーパーアリーナ	3月31日: 旧騎西 県立高校(加須市)
4	双葉町	3月12日: 21:00に川俣小学校	3月19日: さいたまスーパーアリーナ	3月31日: 旧騎西 県立高校(加須市)
5	檜葉町	3月12日: いわき市役所	3月31日: 船曳職業訓練センター(田村市)	
6	檜葉町	3月12日: いわき市役所	3月16日: 会津美里町役場(会津美里町)	
7	浪江町	3月12日: つしま活性化センター	3月16日: 安達体育館 (二本松市)	
8	田村市	3月12日: デンソー東日本	3月31日: ビッグパレット ふくしま(郡山市)	
9	南相馬市	3月15日: 伊達市役所	3月31日: あづま総合体育館(福島市)	
10	広野町	3月12日: 小野町役所(小野町)		
11	川内村	3月13日: 川内小学校	3月16日: ビッグパレット ふくしま(郡山市)	
12	葛尾村	3月14日: あづま総合体育館(福島市)		
13	浪江町 つしま活性化センター	3月23日: 安達体育館(二本松市)		
14	葛尾村	3月21日: あづま総合体育館(福島市)		
15	飯舘村	5月29日: 福島市役所飯野出張所(福島市)		
16	飯舘村	6月21日: 福島市役所飯野出張所(福島市)		
17	南相馬市	5月20日: 南相馬市役所(南相馬市)		
18	川俣町 山木屋地区	6月1日: 川俣町役場(川俣町)		

C67. 18 の避難シナリオの中から、通常的生活状況、避難準備する住民、避難、および屋内退避の 4 種類の人間の活動について考察した。通常的生活状況に対しては、避難対象外区域の外部および吸入による被ばく計算で用いたものと同一の人間の挙動に関する仮定を使用した。避難の準備、避難および屋内退避に対しては、本委員会は、行われた活動の性質を反映させた居住係数と呼吸速度（通常的生活状況に関して想定したものと異なる）を仮定した。各場所の建物の種類、そして福島第一原発の地元住民の時間的および空間的移動を特定するために、放医研の調査結果を用いた。18 の避難シナリオに対する評価では、NOAA-GDAS ATDM による沈着密度と大気中濃度の結果を採用した。それ以外には、避難対象外区域の外部被ばくと吸入による線量の評価のための前章で詳述したものと同一の入力パラメータと方法を適用した。

C68. 現在、環境修復の規模と効果に関する詳細情報は入手できていないため、これらの措置の効果を見込んだ線量評価は不可能であった。推定は、修復措置が実施されずに、避難集落の住民が、事故から 1 年、2 年または 3 年後に自分たちの家と通常的生活に戻ったなら彼らが受けるであろう線量について行なわれた（下表 19 参照）。

F. 集団線量評価

C69. 一般公衆の集団線量は、主に防護の最適化や放射線防護技術または防護措置の比較に用いられる。長期間にわたる非常に低い個人線量を総計することは適切ではない。これまで、長期間に亘る集団線量に対して、環境への放射性核種の放出に付随する他の事象（たとえば、大気圏核実験やチェルノブイリ事故後のグローバルフォールアウト）による集団線量との比較が行われてきた。本委員会は、日本国民の集団実効線量と甲状腺の集団吸収線量の推定を実施した。公衆の集団実効線量に対する主な寄与因子は、長期的な被ばく経路、すなわち、地表に沈着した ^{134}Cs と ^{137}Cs による外部被ばくおよび食物中の同放射性核種の摂取による内部被ばくである。

C70. 特定地域への外部被ばくによる集団線量は、人口の規模、放射性核種の沈着密度、居住形態、および地元住民の職業に依拠する。国の統計データによると、日本国民の約 30% が平屋から 3 階建てまでの木造家屋に、さらに 30% が平屋から 3 階建てまでの耐火木造家屋に、そして約 40% がコンクリートの高層アパートに居住すると推定される。また、成人人口の約 10% が屋外労働者であると想定された。

C71. 陸圏の食物の摂取による集団線量は、全国各地における食物の総生産量をもとに、食物の廃棄物量を考慮に入れて推定した。集団線量の推定にあたり、日本当局の勧告基準を上回る放射能濃度の食物は摂取されなかったと仮定した。事故後に日本で生産された食物の大部分における放射能濃度は基準値を下回り、規制が広範囲に実施されていたこともよく知られている。放射能濃度が規制基準を上回った一部の食物がわずかに消費されたとしても、推定集団線量への影響は小さかったと考えられる。

C72. 推定集団線量と甲状腺の集団吸収線量は、日本の 2010 年国勢調査[M20]が提供する日本の人口の年齢と社会的構成要素、ならびに行政区画別、都道府県別の人口分布に基づいている。集団線量は、福島県全域の住民とその他都道府県の住民について評価した。この方法の詳細については補足資料 C-12 に記載する。

Table C-16.2. Average absorbed dose to the thyroid of 10-year-old children in the first year after the accident for Fukushima Prefecture (excluding evacuated areas)

The dose estimates are quoted to two decimal places, but this does not imply that level of accuracy

District	Population in 2010 (persons)	Average deposition density of ^{137}Cs on soil (Bq/m^2)	Absorbed dose to thyroid by pathway, 10-year-old child, first year (mGy)				Total
			External (plume)	External (ground)	Inhalation (plume)	Ingestion	
Fukushima Ken	2 029 064						
Aizubange Town	17 918	39 561	0.01	0.72	3.93	15.24	19.90
Aizumisato Town	24 631	14 621	0.00	0.27	0.59	15.24	16.10
Aizuwakamatsu City	131 928	24 840	0.00	0.46	0.94	15.24	16.64
Asakawa Town	7 402	23 778	0.00	0.42	0.70	15.24	16.36
Bandai Town	4 293	21 539	0.00	0.39	0.98	15.24	16.61
Date City	69 963	147 327	0.00	2.75	4.62	15.24	22.61
Fukushima City	296 181	229 756	0.00	4.25	9.24	15.24	28.73
Furudono Town	6 374	21 729	0.00	0.39	0.73	15.24	16.37
Hanawa Town	10 663	19 907	0.00	0.35	0.63	15.24	16.23
Hinoemata Village	696	2 432	0.00	0.04	0.03	15.24	15.32
Hirata Village	7 595	17 057	0.00	0.40	0.66	15.24	16.30
Inawashiro Town	16 982	24 640	0.00	0.45	0.84	15.24	16.53
Ishikawa Town	19 175	11 805	0.00	0.21	0.35	15.24	15.80
Iwaki City	354 297	26 637	0.01	1.09	14.81	15.24	31.16
Izumizaki Village	6 949	55 844	0.00	1.06	1.77	15.24	18.08
Kagamiishi Town	13 651	56 832	0.00	1.05	1.57	15.24	17.85
Kanayama Town	2 871	3 167	0.00	0.05	0.12	15.24	15.41
Kawamata Town	16 847	89 663	0.00	1.73	8.11	15.24	25.08
Kitakata City	55 824	20 601	0.01	0.46	2.73	15.24	18.44
Kitashiobara Village	3 791	49 415	0.01	0.88	3.32	15.24	19.46
Koori Town	14 708	208 995	0.00	3.74	5.74	15.24	24.72
Koriyama City	341 781	162 842	0.00	2.83	4.74	15.24	22.82
Kunimi Town	9 952	88 496	0.00	1.60	2.77	15.24	19.61
Miharu Town	17 942	83 625	0.00	1.55	3.08	15.24	19.87
Minamiaizu Town	19 896	5 132	0.00	0.09	0.11	15.24	15.45
Minamisoma City	72 941	109 564	0.00	2.04	3.45	15.24	20.73
Mishima Town	2 213	13 653	0.00	0.24	0.49	15.24	15.97
Motomiya City	30 771	123 962	0.00	2.14	3.61	15.24	21.00
Nakajima Village	4 865	24 789	0.00	0.45	0.70	15.24	16.39
Nihonmatsu City	63 751	196 780	0.01	3.43	8.74	15.24	27.41
Nishiaizu Town	8 237	6 164	0.00	0.10	0.23	15.24	15.58
Nishigo Village	18 615	95 946	0.00	1.62	2.83	15.24	19.69
Ono Town	11 983	21 524	0.00	0.41	0.89	15.24	16.54
Otama Village	8 130	160 958	0.00	2.96	5.75	15.24	23.96
Samegava Village	4 259	21 109	0.00	0.40	0.74	15.24	16.39
Citynchi Town	9 039	49 593	0.00	0.99	1.02	15.24	17.26
Cityrakawa City	66 544	72 128	0.00	1.38	2.18	15.24	18.81

District	Population in 2010 (persons)	Average deposition density of ^{137}Cs on soil (Bq/m^2)	Absorbed dose to thyroid by pathway, 10-year-old child, first year (mGy)				Total
			External (plume)	External (ground)	Inhalation (plume)	Ingestion	
Shomogo Town	7 010	3 371	0.00	0.06	0.09	15.24	15.40
Showa Village	1 632	12 239	0.00	0.22	0.34	15.24	15.80
Soma City	38 187	54 637	0.00	0.97	1.26	15.24	17.47
Sukagawa City	78 819	72 012	0.00	1.41	2.16	15.24	18.82
Tadami Town	5 277	5 326	0.00	0.20	0.59	15.24	16.03
Tamakawa Village	7 295	15 702	0.00	0.28	0.46	15.24	15.99
Tamura City	43 231	33 801	0.00	0.74	1.51	15.24	17.49
Tanagura Town	15 702	45 177	0.00	0.81	1.24	15.24	17.30
Tenei Village	6 589	115 528	0.00	1.96	3.27	15.24	20.47
Yabuki Town	18 688	33 479	0.00	0.61	1.01	15.24	16.86
Yamatsuri Town	6 821	6 302	0.00	0.12	0.23	15.24	15.59
Yanaizu Town	4 263	13 126	0.00	0.24	0.43	15.24	15.91
Yukawa Village	3 455	37 554	0.00	0.69	2.53	15.24	18.46

Table C-18.5. Estimated settlement-average^a absorbed doses to the thyroid of 10-year old children in the first year evacuated from localities in Fukushima Prefecture, including doses received before and during the evacuation and at the destination

Locality	NIRS Scenario No	Evacuation dose (mGy)	Destination	Destination dose (mGy)	Total dose (mGy)	Projected dose ^b (mGy)	Averted dose (mGy)
Tomiooka Town	1	4.4	Koriyama City	23	27	650	630
Okuma Town	2	0.0	Tamura City	18	18	410	400
Futaba Town	3	10	Saitama [Saitama]	1.5	12	230	220
Futaba Town	4	12	Saitama [Saitama]	1.5	14	230	210
Naraha Town	5	37	Tamura City	18	55	103	48
Naraha Town	6	29	Aizumisato Town	16	45	103	58
Namie Town	7	31	Nihonmatsu City	27	58	110	51
Tamura City	8	1.5	Koriyama City	23	25	18	--
Minamisoma City	9	5.3	Fukushima City	29	34	21	--
Hirono Town	10	0.0	Ono Town	17	17	52	35
Kawauchi Village	11	4.2	Koriyama City	23	27	21	--
Katsurao Village	12	0.0	Fukushima City	29	29	38	9
Tsushima Activation Center, Namie Town	13	45	Nihonmatsu City	13	58	109	51
Katsurao Village	14	35	Fukushima City	14	49	38	--
Iitate Village	15	31	Fukushima City	2.6	34	55	21
Iitate Village	16	32	Fukushima City	2.2	34	55	21
Minamisoma City	17	25	Minamisoma City	1.4	27	21	--
Yamakiya Region, Kawamata Town	18	41	Kawamata Town	1.1	42	25	--

^a The reported doses are the ranges of the settlement-average doses for the evacuation scenarios. These estimates of dose are intended to be characteristic of the average dose received by people evacuated from each settlement and do not reflect the range of doses received by individuals within the evacuated settlement population.

^b Projected dose for the first year for the locality if it had not been evacuated.

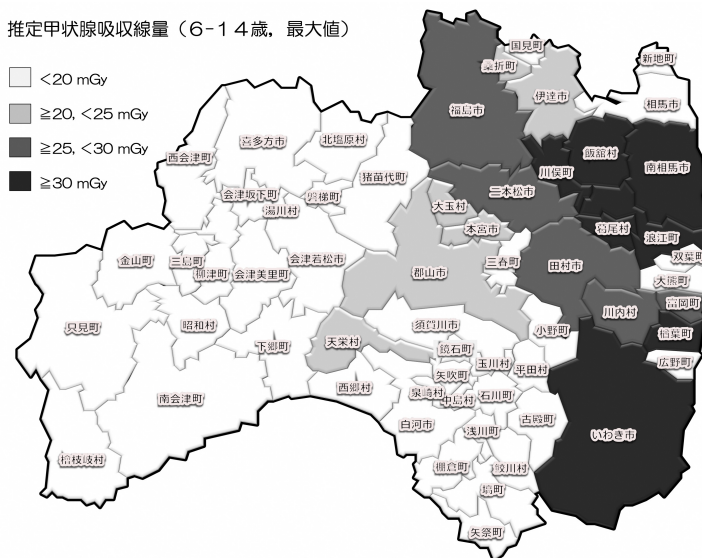
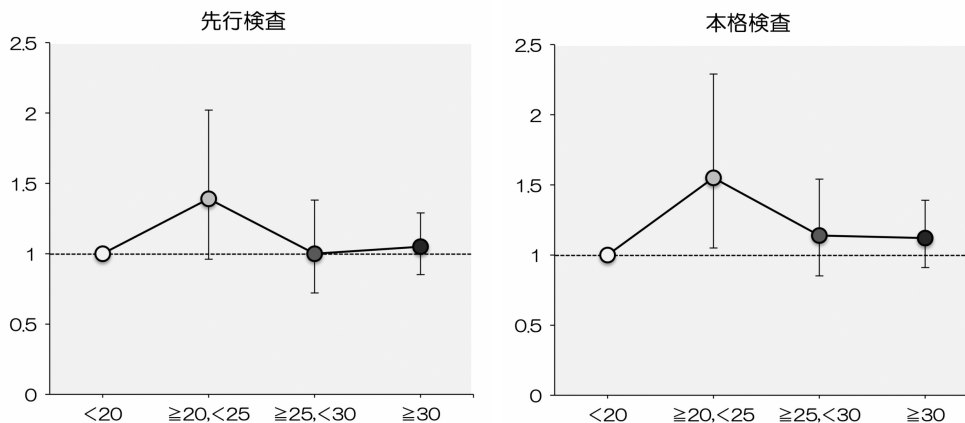
同じ市町村であっても避難経路により線量に違いがある。今回の解析では、線量の最大値・最小値それぞれで解析を行っている。

【例：楡葉町】
 田村市に避難した場合、線量は55mGy(最大値)
 会津美里町に避難した場合、線量は45mGy(最小値)

市町村別 UNSCEAR 推計甲状腺吸収線量と悪性あるいは悪性疑い発見率との関係性

1. 震災時 6-14 歳の対象者における UNSCEAR 推計甲状腺吸収線量と悪性あるいは悪性疑い発見率との関係性*

図1. 各市町村別推定甲状腺吸収線量最大値**により分類した震災時 6-14 歳の対象者における悪性あるいは悪性疑い発見の性・年齢調整オッズ比*** (垂直方向の直線は 95%信頼区間を示す)

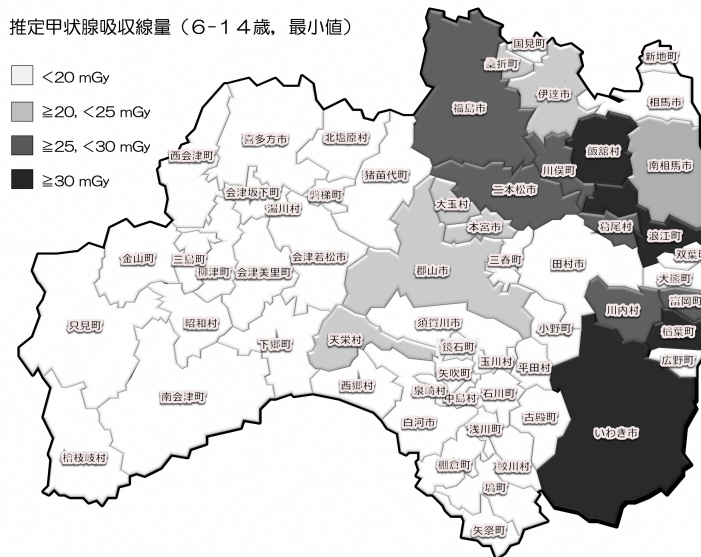
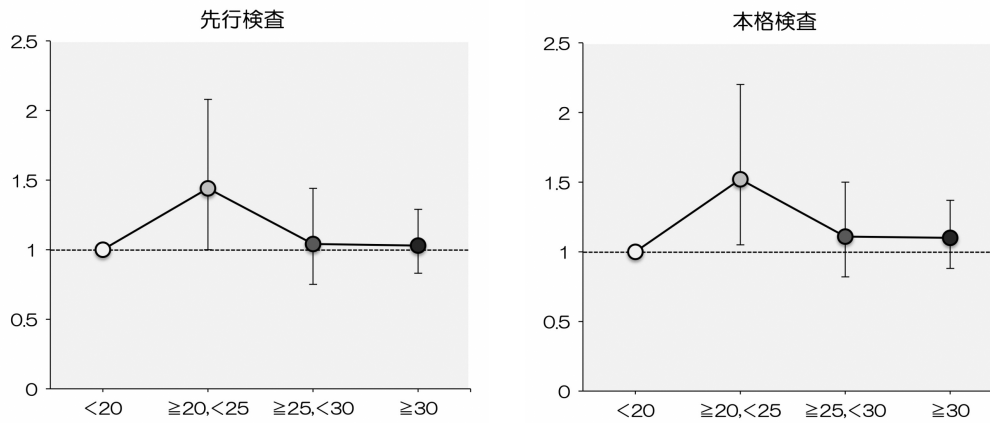


* 2017年6月30日までのデータを用いた分析。

** UNSCEAR 2013 Report, Annex A, ATTACHMENT C-16, Table C-16.2 の推定甲状腺総吸収線量(Total) および ATTACHMENT C-18, Table C-18.5 の推定甲状腺総吸収線量(Total dose)を使用。同一の市町村で複数の推定線量が提示されている場合は最大値を使用。

*** <20mGy を基準とした性・年齢調整オッズ比を表示。

図2. 各市町村別推定甲状腺吸収線量最小値*により分類した震災時 6-14 歳の対象者における悪性あるいは悪性疑い発見の性・年齢調整オッズ比** (垂直方向の直線は 95%信頼区間を示す)

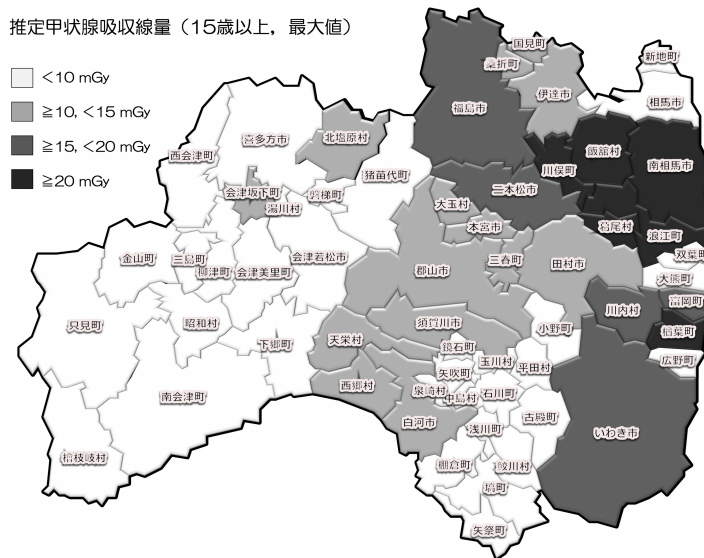
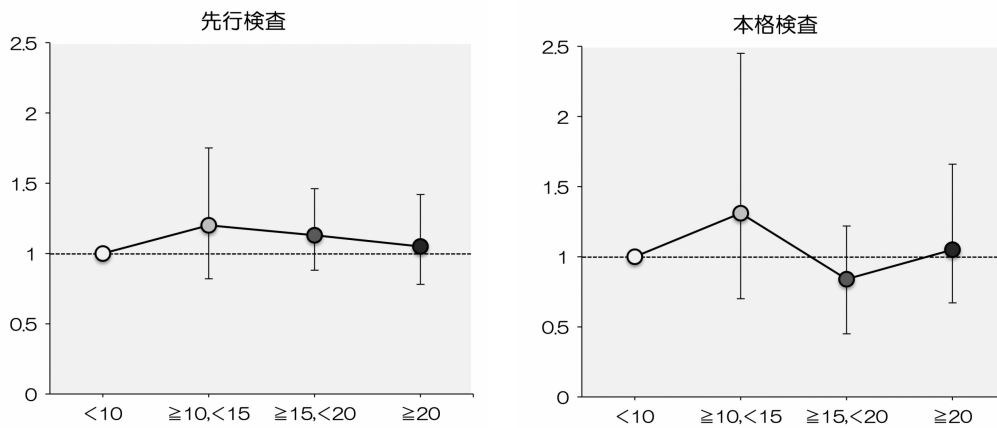


* UNSCEAR 2013 Report, Annex A, ATTACHMENT C-16, Table C-16.2 の推定甲状腺総吸収線量(Total)および ATTACHMENT C-18, Table C-18.5 の推定甲状腺総吸収線量(Total dose)を使用。同一の市町村で複数の推定線量が提示されている場合は最小値を使用。

** <20mGy を基準とした性・年齢調整オッズ比を表示。

2. 震災時 15 歳以上の対象者における UNSCEAR 推計甲状腺吸収線量と悪性あるいは悪性疑い発見率との関係性*

図 3. 各市町村別推定甲状腺吸収線量最大値**により分類した震災時 15 歳以上の対象者における悪性あるいは悪性疑い発見の性・年齢調整オッズ比*** (垂直方向の直線は 95%信頼区間を示す)

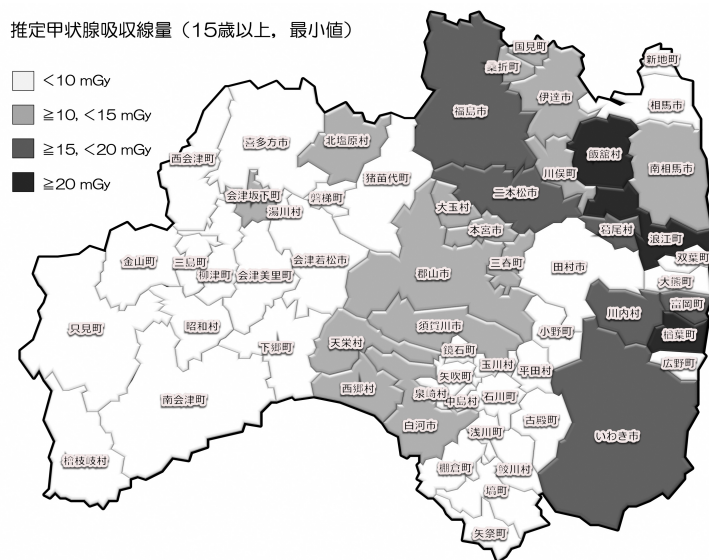
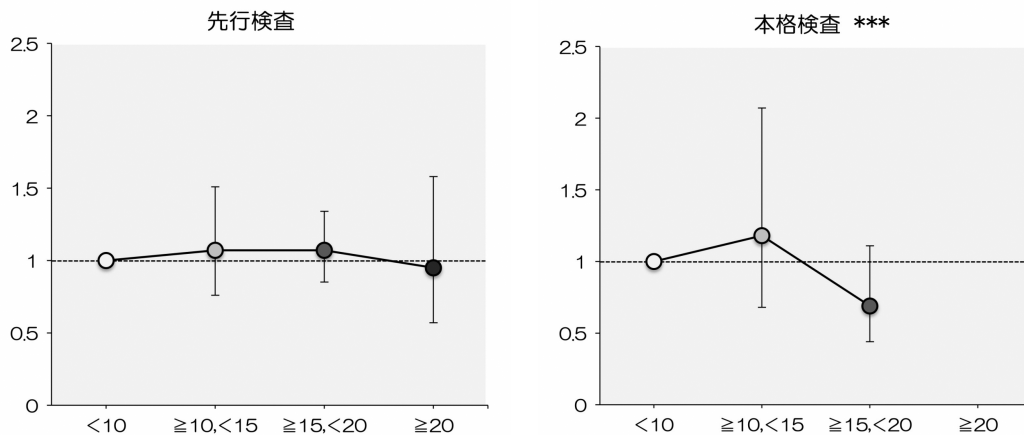


* 2017 年 6 月 30 日までのデータを用いた分析。

** UNSCEAR 2013 Report, Annex A, ATTACHMENT C-16, Table C-16.1 の推定甲状腺総吸収線量(Total)および ATTACHMENT C-18, Table C-18.4 の推定甲状腺総吸収線量(Total dose)を使用。同一の市町村で複数の推定線量が提示されている場合は最大値を使用。

*** <10mGy を基準とした性・年齢調整オッズ比を表示。

図4. 各市町村別推定甲状腺吸収線量最小値*により分類した震災時 15 歳以上の対象者における悪性あるいは悪性疑い発見の性・年齢調整オッズ比**（垂直方向の直線は 95%信頼区間を示す）



* UNSCEAR 2013 Report, Annex A, ATTACHMENT C-16, Table C-16.1 の推定甲状腺総吸収線量(Total)および ATTACHMENT C-18, Table C-18.4 の推定甲状腺総吸収線量(Total dose)を使用。同一の市町村で2種類の推定線量が提示されている場合は最小値を使用。

** <10mGy を基準とした性・年齢調整オッズ比を表示。

*** 本格検査では ≥20mGy の市町村において悪性あるいは悪性疑いの発見がないため、 ≥20mGy は計算不能。

結果のまとめ

- UNSCEAR による推定甲状腺吸収線量は、理論的な計算による事故後 1 年間の推定値である。
- 震災時年齢が 6-14 歳の対象者および 15 歳以上の対象者において、線量依存性の悪性あるいは悪性疑い発見の性・年齢調整オッズ比の上昇傾向は認められなかった。
- 各市町村平均推定甲状腺総吸収線量の最大値を用いた分析とおよび最小値を用いた分析の間に明らかな差違は認められなかった。

【改訂案】

※最初に同封の「甲状腺検査について」をお読みください。

甲状腺検査のお知らせ

福島県及び福島県立医科大学では、東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、子どもたちの健康を長期に見守るために、甲状腺検査を実施しています。この検査は、原発事故により放出された放射性ヨウ素等の影響で小児甲状腺がんが増加するのではないかとの懸念が高まったことを受け、県民の不安に応えるために始めました。

この検査では、甲状腺の状態を超音波診断装置で調べますが、個別に放射線被ばくの影響がわかるものではありません。

この検査に限らず、どのような検査にもメリットとデメリットはあります。甲状腺検査を受診することで想定されるメリットとしては、検査の結果、問題がなければ、放射線の健康影響を心配されている方の安心につながることや、問題があれば（治療を必要とする変化が発見されれば）、早期診断早期治療につながる可能性があります。

デメリットとしては、一生気づかずに過ごすかもしれない無害の甲状腺がんを無用に診断する可能性や治療の必要のない結節やのう胞が発見されることによりかえって不安になるなどの心への影響が考えられます。

メリット・デメリットの詳細については、別紙の「甲状腺検査について」をご覧ください。

受診されるかどうかはご本人（未成年の方はご本人と保護者）のご希望によりますので、検査の内容と意義をご理解していただいて、受診を希望されるかどうか、ご返信にてお知らせください。

（同封の「甲状腺検査 受診の手引き」をご参照のうえ、必要書類を同封の返信用封筒によりご返送ください。）

甲状腺検査対象者及び保護者 様

（検査日、検査場所等）

- 1 検査対象者
- 2 検査日
- 3 検査時間
- 4 検査場所
- 5 同意確認書兼
問診票の提出期限
- 6 検査内容

**検査の同意・不同意に関わらず裏面の
「同意確認書」にご記入のうえご返送ください。**

【お問い合わせ先】

甲状腺検査の検査場所や日時の変更などに関するお問い合わせ（検査会場や検査実施機関への直接のお問い合わせはご遠慮ください。）

福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター 放射線医学県民健康管理センター

コールセンター TEL024-549-5130 (9:00~17:00土日・祝日12/29~1/3を除く)

※おかけ間違いのないようご注意ください メールアドレス:kenkan@fmu.ac.jp

1 超音波診断装置を用いた甲状腺の検査については、メリットのみならずデメリットも指摘されてお
2 ます。そのため、放射線被ばくがない場合は、一般的には症状のない人に対する甲状腺の超音波検査は
3 行われてきませんでした。福島県及び福島県立医科大学では、東京電力福島第一原子力発電所事故の影
4 響で甲状腺がんが増加するのではないかと懸念に対応するため甲状腺検査を開始しております。本甲
5 状腺検査を受診することにもメリットとデメリットがあることが考えられており、専門家からの主な意
6 見を表記しましたので、検査同意確認書に記入される際の参考としていただければ幸いです。

＜甲状腺検査のメリット・デメリット＞

●メリット

- 10 (1) 検査で甲状腺に異常がないことが分かれば、放射線の健康影響を心配している方にとって、
11 安心とそれによる生活の質的向上に繋がります。※1
- 12 (2) 早期診断・早期治療により手術合併症リスクや治療に伴う副作用リスク、再発のリスクを
13 低減する可能性があります。※2
- 14 (3) 検査を続けていくことで、放射線の影響に関する情報を県民にお伝えすることができます。
15
- 16 (4) 超音波検査は被ばくせず、痛みなども伴わない検査です。
17

●デメリット

- 19 (1) 将来的に症状やがんによる死亡を引き起こさないがんを診断してしまう可能性があります。
20 若い方の甲状腺がんは、一般的に重症になることが少ないとされています。自覚症状等で
21 発見される前に、超音波検査によって、甲状腺がんを発見することにより、がんによる死
22 亡率を低減できるかどうかは、これまで科学的に明らかにされていません。※3
- 23 (2) 治療を必要としない結節やのう胞も発見されることや(※4)、良性の結節であっても二
24 次検査や細胞診を勧奨されることがあるため、受診者やご家族にご心労をおかけしてしま
25 う可能性があります(※5)。
- 26 (3) がんまたはがん疑いの病変が早期診断された場合、治療や経過観察の長期化による心理的
27 負担の増大(※5)、社会的・経済的不利益が生じる可能性があります(※6)。
- 28 (4) がんまたはがん疑いが発見されて手術に至った場合、術後合併症等の健康被害を引き起こ
29 す可能性があります。※2

●参考

32 ※1. 福島県の本格検査の実績では、受診者の 0.7~0.8%の方が B 判定を受けましたが、残り約
33 99%以上の方は、A 判定で問題のない結果になっています。

34 ※2. 甲状腺がんに対する手術は、これまで欧米では主に甲状腺全摘術で行われていましたが、日
35 本では進行したがん以外に対しては切除範囲を限定した手術が選択されているため、手術に
36 による合併症は欧米より少ないことが知られています。ここで紹介する事例は福島県立医科大
37 学附属病院(以下、「福島医大」という。)の実績であり、日本全体ではありませんが、福
38 島医大で手術された 125 名の小児甲状腺がん症例とチェルノブイリ事故後ベラルーシの甲
39 状腺がん症例の比較では、福島医大での症例が甲状腺機能低下症の割合(8.7%対 57.6%)、
40 副甲状腺機能低下症の割合(0%対 12.3%)、反回神経麻痺の割合(0.8%対 6.8%)のい
41 ずれも低くなっています。 * () 内の数値は前が福島医大、後ろがベラルーシの値です。

42 ※3. 本甲状腺検査では、5.0mm 以下の結節は二次検査の対象としておらず、5.1mm 以上の結節
43 に対しても穿刺吸引細胞診の実施基準を適用することにより過剰な診断を抑制する対策を行
44 い、デメリットの低減を図っています。(裏面に続く)

- 45
- 46 ※4. のう胞は「中に液体がたまった袋状のもの」で、健康な方にも見つかることの多い良性のもの
47 のです。のう胞の中は液体だけで細胞がないため、がんになることはありません。
48 結節は「しこり」とも呼ばれ、甲状腺の細胞の密度が変化したものです。結節には良性和悪
49 性（がん）があり、多くは良性です。なお、5.0mm以下でも二次検査を受けた方が良いと
50 判断された場合はB判定としています。
- 51 ※5. 福島県の本格検査の実績では、B判定を受けた対象者の5～11%の方に細胞診が勧奨されて
52 います。福島医大では、二次検査受診者の方には、心のケアサポートチームの専門スタッフ
53 により、皆様の不安に寄り添う対応をしております。また、医学専用ダイヤルでのご相談も
54 受け付けております。
- 55 ※6. 福島県では県民健康調査甲状腺検査サポート事業を行っており、甲状腺検査後の治療や経過
56 観察に必要な医療費のサポートを行っています。
57
58
59

60 福島県・福島県立医科大学
61

※最初に同封の「甲状腺検査受診の手引き」をお読みください。

甲状腺検査のお知らせ

福島県及び福島県立医科大学では、東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、子どもたちの健康を長期に見守るために、甲状腺検査を実施しています。この検査は、一人一人の甲状腺の状態を長期にわたり観察し、健康な生活を送るための支援につなげたり、将来的な健康影響についての調査に役立てるものです。

この検査は、超音波検査などで甲状腺の状態を調べますが、個別に放射線被ばくの影響を調べるものではありません。検査によって、甲状腺の状態がある程度分かりますので、その結果をお伝えします。検査の結果、治療が必要な変化が発見され、早期発見早期治療につながることもありますが、甲状腺の特性上、治療の必要のない変化も数多く認めることになり、ご心配をお掛けすることもあります。そのため、甲状腺の超音波検査による検診は、一般的には行われてきませんでした。

受診されるかどうかはご本人(20歳まではご本人と保護者)のご希望によりますので、検査の内容と意義をご理解していただき、受診を希望されるかどうか、ご返信にてお知らせください。

(同封の「甲状腺検査受診の手引き」をご確認のうえ、必要書類を同封の返信用封筒によりご返送ください。)

甲状腺検査対象者及び保護者 様

(検査日、検査場所等)

- 1 検査対象者
- 2 検査日
- 3 検査時間
- 4 検査場所
- 5 同意確認書兼
問診票の提出期限
- 6 検査内容

検査の同意・不同意に関わらず裏面の
「同意確認書」にご記入のうえご返送ください。

【お問い合わせ先】

甲状腺検査の検査場所や日時の変更などに関するお問い合わせ（検査会場や検査実施機関への直接のお問い合わせはご遠慮ください。）

福島県立医科大学 Fukushima国際医療科学センター 放射線医学県民健康管理センター

コールセンターTEL024-549-5130 (9:00~17:00土日・祝日を除く) <http://fukushima-mimamori.jp/thyroid-examination/>

※おかけ間違いのないようご注意ください。 メールアドレス：kenkan@fmu.ac.jp



甲状腺検査のお知らせ改訂案への部会員意見

1 甲状腺検査のお知らせ(表面)について

① 資料全体

[阿美部会員] 現行の甲状腺検査のお知らせに在った、今まで甲状腺の超音波検診が一般的に行われて来なかった記載がなくなり、かえって曖昧に感じる。

② 18-23 行目

福島県及び福島県立医科大学では、東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、子どもたちの健康を長期に見守るために、甲状腺検査を実施しています。この検査は、原発事故により放出された放射性ヨウ素等の影響で小児甲状腺がんが増加するのではないかと懸念が高まったことを受け、県民の不安に応えるために始められました。

この検査では、甲状腺の状態を超音波診断装置で調べますが、個別に放射線被ばくの影響がわかるものではありません。

[祖父江部会員] 超音波検査の目的を「子どもたちの健康を長期に見守るために」および「県民の不安に応えるために」と記載されているが、第10回甲状腺検査評価部会(平成30年7月8日)資料4-1に示したように、「本検査は甲状腺にかかわる健康影響を最小限にすることと放射線と甲状腺がんとの関連を正しく評価することを目的としています。」とした方がよい。

[高野部会員] 甲状腺検査の目的は、評価部会で決定された内容を記載すべきです。特に22-23行(後段)の内容は県民が理解するのは困難な表記になってしまっています。

[南谷部会員] そもそも社会の懸念に答える形で始められた甲状腺健診であるという趣旨を明示していただいたことに賛同します。

③ 24-31 行目

この検査に限らず、どのような検査にもメリットとデメリットはあります。

甲状腺検査を受診することで想定されるメリットとしては、検査の結果、問題がなければ、放射線の健康影響を心配されている方の安心につながることや、問題があれば(治療を必要とする変化が発見されれば)、早期診断早期治療につながる可能性があります。

デメリットとしては、一生気づかずに過ごすかもしれない無害の甲状腺がんを無用に診断する可能性や治療の必要のない結節やのう胞が発見されることによりかえって不安になるなどの心への影響が考えられます。

メリット・デメリットの詳細については、別紙の「甲状腺検査について」をご覧ください。

[祖父江部会員] 別紙の「甲状腺検査について」の内容との整合性があるので、中途半端に利益と不利益の内容を書かない方がよいのではないか。むしろ、IARCレポート(2018)にあるように、専門家は不利益が利益を上回ると判断していることを知らせるべき。

[高野部会員] 「甲状腺検査について」の説明内容と重複するため不要と思います。

④ 32-34 行目

受診されるかどうかはご本人(未成年の方はご本人と保護者)のご希望によりますので、検査の内容と意義をご理解していただいて、受診を希望されるかどうか、ご返信にてお知らせください。

[祖父江部会員] 中学卒業後または16歳以上の未成年については、本人からも同意が必要である旨の説明を加えるべき。

[高野部会員] 15歳以下は保護者のみ、16歳-19歳は本人と保護者の両方の同意が必要です。

2 (別紙) 甲状腺検査について

⑤ 資料全体

[祖父江部会員] 利益と不利益の記述を、専門家の意見として記述するのか、証拠に基づいて記述するのかを事前に決定しておく必要がある。私は、第10回甲状腺検査評価部会(平成30年7月8日)資料4-1に示したように、証拠に基づいた記述にすべきと思う。論文ではない福島のデータを引用するのは、利益不利益の証拠ではなく、実態を表現する意味合いに限定した方がよい。

独自に証拠に基づいた記述をするのであれば、チームを作って系統的レビューをすべきだが、その場合でも、既存のガイドライン等がどのような証拠のまとめを公表しているかは引用すべき。すなわち、IARCレポート(2018)での「(19ページ) the harms outweigh the benefits at the population level. There is evidence from observational studies in adults that thyroid screening leads to overdiagnosis with no mortality reduction. Data on thyroid cancer biology suggest that this may also be true for children and adolescents. Radiation-induced thyroid cancer, as suggested by data from the Chernobyl accident, appears to have a similar favourable prognosis as sporadic thyroid cancer. Therefore, screening populations of children and adolescents regardless of risk levels (i.e. thyroid radiation dose) is expected to also result in issues related to overdiagnosis without clear public health benefits.」、あるいは、「(46ページ) However, the evidence is currently lacking on the benefit of early treatment in children and adolescents. Even within the present Expert Group, there is a debate about whether and how prospective data could be obtained to ultimately determine whether the benefits of selective thyroid screening outweigh the harms (e.g. overdiagnosis, treatment without clinical benefit, treatment-related complications, and anxiety due to diagnosis or false-positive test results) in a higher-risk population. Based on the available scientific evidence, the Expert Group recommends against population thyroid screening in case of a nuclear accident, because the harms outweigh the benefits at the population level (i.e. risk of overdiagnosis with no mortality reduction) (see Chapter 3).」を引用すべき。

[高野部会員] メリット・デメリットは学術的な用語とは言えず、国際的に標準的に使用されている用語の直訳として利益と害というべきです。

⑥ 1-6 行目

超音波診断装置を用いた甲状腺の検査については、メリットのみならずデメリットも指摘されております。そのため、放射線被ばくがない場合は、一般的には症状のない人に対する甲状腺の超音波検診は行われてきませんでした。福島県及び福島県立医科大学では、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響で甲状腺がんが増加するのではないかと懸念に対応するため甲状腺検査を開始しております。本甲状腺検査を受診することにもメリットとデメリットがあることが考えられており、専門家からの主な意見を表記しましたので、検査同意確認書に記入される際の参考としていただければ幸いです。

[片野部会員] 「専門家からの主な意見を表記」⇒「県民健康調査検討委員会で検討された項目を表記」

[祖父江部会員] (1-3行目)「超音波診断装置を用いた甲状腺の検査については、メリットのみならずデメリットも指摘されております。そのため、放射線被ばくがない場合は、一般的には症状のない人に対する甲状腺の超音波検診は行われてきませんでした。」→「症状のない一般成人に対する甲状腺超音波検査は、不利益が利益を上回ると判断されているため、検診として推奨されていません。」

(5-6行目) 専門家からの主な意見を表記しましたので、→証拠に基づいた記述の方がよい。

[高野部会員] 内容が重複しているので整理が必要です。またこの中に IARC の勧告の内容は提示すべきです。特に、「超音波スクリーニングは利益より害が大きい」としている点は必ず県民に知らせるべきです。

【改訂例】「福島県及び福島県立医科大学では、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響で甲状腺がんが増加するのではないかと懸念に対応するため甲状腺検査を開始しております。超音波診断装置を用いた甲状腺検査については、利益が明らかではなく、検査の害も指摘されております。そのため、放射線被ばくがない場合は、症状のない人に対する甲状腺の超音波検診は行われてきませんでした。世界保健機関（WHO）の国際がん研究機関（IARC）の専門家グループは、今後の原発事故時には、全住民を対象とする甲状腺検査は害が利益を上回ることからしない方がよいとする勧告を出しています。」

⑦ 7行目～

[高野部会員] 各専門家のばらばらな意見の羅列をするべきではありません。県民が知るべきは確固たるエビデンスに基づいた見解です。整理の仕方としては

- 甲状腺検査を受けた場合の予想される利益
- 甲状腺検査を受けた場合の予想される害
- その他

の3項目が良いと思います。

⑧ メリット全体

[高野部会員] 検査対象者の利益として提示できる事実はほとんどありません。記載するとすればデメリットの中に記載されている内容となるでしょう。

「自覚症状等で発見される前に、超音波検査で甲状腺がんを発見することにより、がんによる死亡率を低減できることはこれまでに明らかになっていません。」

⑨ メリット(1)

検査で甲状腺に異常がないことが分かれば、放射線の健康影響を心配している方にとって、安心とそれによる生活の質的向上に繋がります。※1

[祖父江部会員] 証拠に基づいた内容ではない。

[高野部会員] エビデンスがありません。

⑩ メリット(2)

早期診断・早期治療により手術合併症リスクや治療に伴う副作用リスク、再発のリスクを低減する可能性があります。※2

[祖父江部会員] 証拠に基づいた内容ではない。

[高野部会員] エビデンスがありません。

⑪ メリット(3)

検査を続けていくことで、放射線の影響に関する情報を県民にお伝えすることができます。

[片野田部会員] これは受診者のメリットではないので削除でよいのではないのでしょうか。

[祖父江部会員] 内容が不明確。

[高野部会員] 対象者自身への利益ではないのでここで記載するのは不適當です。

⑫ メリット(4)

超音波検査は被ばくせず、痛みなども伴わない検査です。

[祖父江部会員] 利益ではない。

[高野部会員] 対象者自身への利益ではないのでここで記載するのは不適當です。

⑬ デメリット(1)、(2)、(4)

[高野部会員] 若年者の甲状腺がんに限って言えば早期診断・早期治療が必ずしも利益にはならないという考え方をしっかり伝えるべきです。これを説明するためには若年者の甲状腺癌が通常のがんとは大きく異なる自然史を持っていることを説明する必要があります。

【改訂例】「(1) 小さいままで成長を止め一生害を与えないタイプの甲状腺がんが高頻度で存在します。超音波検査は非常に高感度なため、そのような無害な甲状腺がんを高い確率で検出します。このことが次のような害をもたらします。

- ① 本来不要であった手術を受けざるをえなくなり、術後合併症等の健康被害を引き起こす可能性があります。
- ② 青少年期にがん患者であると診断されることにより、長期間の治療や経過観察に伴う心理負担の増大や社会・経済的不利益が生じる可能性があります。」

⑭ デメリット(1)

将来的に症状やがんによる死亡を引き起こさないがんを診断してしまう可能性があります。若い方の甲状腺がんは、一般的に重症になることが少ないとされています。自覚症状等で発見される前に、超音波検査によって、甲状腺がんを発見することにより、がんによる死亡率を低減できるかどうかは、これまで科学的に明らかにされていません。※3

[阿美部会員] 検診のデメリットのため、甲状腺のがん検診は推奨されていないことを、記載した方が良いと思う。

[加藤部会員] 「若い方の甲状腺がんは----少ないとされています。」→「若い人」はいらなないと思います。なぜなら、子供や若年者に出現しやすいタイプの乳頭癌（充実亜型、びまん亜型）は、大人の乳頭癌よりも転移の範囲が広く、予後も若干悪い。

[祖父江部会員] 「自覚症状等で発見される前に、超音波検査にて、甲状腺がんを発見することにより、がんによる死亡率を低減できることはこれまで明らかにされていません。」→不利益のところではなく、利益のところに「利益が示されていない」と書くべき。

[南谷部会員] 吉田部会員により提示された資料では、決して転移等が少なくはありません。また、隈病院の論文でも active surveillance をした場合、若年で進行が速いと記載されています (Miyachi A, Surgery. 2018 Jan;163(1):48-52.)。

もともと甲状腺乳頭がんの死亡率は低いので、早期診断による死亡率の変化も有意になるとは思えません。別の指標を用いて比較すべきです。

⑮ デメリット(3)

がんまたはがん疑いの病変が早期診断された場合、治療や経過観察の長期化による心理的負担の増大(※5)、社会的・経済的不利益が生じる可能性があります(※6)。

[片野部会員] この項目の脚注に、本格検査において対象者または受診者 10 万人中 15 例～50 例のがんまたはがん疑いが発見されたこと、それが細胞診受診者中 30%～50%に当たることを記載すべきだと思います。

⑯ デメリット(4)

がんまたはがん疑いが発見されて手術に至った場合、術後合併症等の健康被害を引き起こす可能性があります。※2

[南谷部会員] この項目は、手術のデメリットであって、甲状腺検査のデメリットではありません。診断されて手術を選択する際に提示されるべきデメリットです。

⑰ 参考※全体

[阿美部会員] 参考※の内容について、甲状腺検査を受けるように誘導しているように感じる。

[南谷部会員] 文字が多いので、「参考」項目は視覚的に表とか、グラフにできたほうが良いように感じました。

⑱ 参考※2.

甲状腺がんに対する手術は、これまで欧米では主に甲状腺全摘術で行われていましたが、日本では進行したがん以外に対しては切除範囲を限定した手術が選択されているため、手術による合併症は欧米より少ないことが知られています。ここで紹介する事例は福島県立医科大学附属病院（以下、「福島医大」という。）の実績であり、日本全体ではありませんが、福島医大で手術された125名の小児甲状腺がん症例とチェルノブイリ事故後ベラルーシの甲状腺がん症例の比較では、福島医大での症例が甲状腺機能低下症の割合（8.7%対57.6%）、副甲状腺機能低下症の割合（0%対12.3%）、反回神経麻痺の割合（0.8%対6.8%）のいずれも低くなっています。
*（ ）内の数値は前が福島医大、後ろがベラルーシの値です。

[片野田部会員] ベラルーシの検査とは時代も機器も異なるため、今回の検査における有害事象の値を記載すれば十分だと思います。また「低い」という価値判断も不要。

[高野部会員] この書き方では※2は超音波検査を受けることで合併症等が低減できる根拠として出されていますが、本来は超音波を受けた集団と受けない集団とでの比較したデータを提示する必要がありますので、これを（2）をサポートする根拠として提示するのは不適切です。

福島県立医科大学の手術成績が良好である、という事実は提示してもよいかと思いますが、その場合前述の●甲状腺検査を受けた場合の予想される害（1）①の後に、手術成績が海外と比べて良好であることを述べた上で、「●その他」の参考データとして付け加えたらよろしいかと思います。

⑲ 参考※3.

本甲状腺検査では、5.0mm以下の結節は二次検査の対象としておらず、5.1mm以上の結節に対しても穿刺吸引細胞診の実施基準を適用することにより過剰な診断を抑制する対策を行い、デメリットの低減を図っています。

[片野田部会員] 5.0mmの結節を基準にすることがなぜ抑制になるのかがわかりませんでした。

[高野部会員] この記述では「検査がしっかり管理されているから不必要な診断は起こらないんだ」という誤った理解に対象者を誘導しかねません。この基準で不必要な診断が防げていることは証明されておらず、仮に防げていると主張した場合、対象者の甲状腺がんの罹患率が極端な上昇を呈している事実と矛盾します。現在の基準でも不必要な診断をしてしまった症例は多数存在していると考えるのが正しいはずで、「●その他」の参考データとして付け加えても良いですが、正確を期すために記述の最後に「デメリットの軽減を図っていますが、それによってどの程度不必要な診断を減らせるかは現時点では不明です。」と一言断りが必要です。

⑳ 参考※5.

福島県の本格検査の実績では、B判定を受けた対象者の5~11%の方だけに細胞診が勧奨されています。福島医大では、二次検査受診者の方には、心のケアサポートチームの専門スタッフにより、皆様の不安に寄り添う対応をしております。また、医学専用ダイヤルでのご相談も受け付けております。

[片野田部会員] B判定を受けた数を分母とするのではなく、2次検査を受けた数を分母とすべきです（その場合5~13%が細胞診）。

3 その他

[阿美部会員] 一般的な状況においては、超音波による甲状腺癌検診は推奨されない事実を、きちんとわかりやすく記載した方が良いと思われま。

[加藤部会員] これまでの検査の説明が不備で正当性がないということになると、これまでのデータが倫理上大きな問題になるのを危惧します。

甲状腺癌の一般論と原発事故後の特殊な条件での甲状腺癌調査は分けて考えないとこれまでの努力が報われなくなる。

[高野部会員] 医療行為におけるインフォームドコンセントの目的としては、対象者に検査についての十分な知識を提供することで対象者を健康被害から守ることと同時に、対象者が検査内容を正しく理解して検査を受けることで、検査による不利益が発生した場合に検査実施者を不要なトラブルから守ることであるかと思えます。したがって、害については可能性の段階であっても起こりうる事象はすべて提示する必要がありますし、科学的根拠に乏しい利益の提示、すなわち希望的予測を伝えることは厳に慎むべきです。現行の検査体制を守ることが検査対象や検査実施者を守ることに優先されるべきではありません。

提示された文面では、特に健康被害が発生した場合に検査実施者を守りきることができるかどうか、という点で不安を感じます。最終的な文面については医療訴訟を専門とする法律家にご確認いただいた方がよろしいのではないかと思います。

無症状の若年者に対する甲状腺超音波スクリーニングの是非は国際的な注目を集めており、福島県における有識者の判断の責任は非常に重いものとなります。科学に基づかない医療行為は対象者に必ず害をもたらします。政治的なバイアスを極力排して科学的に正しい情報に限りて提示すべきです。

第7回 学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会 開催報告

1 日時：平成31年1月16日（水） 10:00～11:30

2 場所：杉妻会館 3階「百合」

3 出席者：部会員9名（欠席者1名）

4 議事内容等

(1) 説明事項

事務局より、「県民健康調査データの第三者提供における倫理指針上の『IC 手続困難な場合』への該当性について」及び「学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会での論点（案）【第6回検討項目】について」において、前回出された主な意見を提示し、説明した。

《部会員意見等》

- ・オプトアウトは、「県民の利益」というよりは、「データ提供者の権利」に配慮するためではないか。
- ・データ提供の拒否をするのは、「県民」ではなく「データの提供者」ではないか。
- ・少なくともデータを提供する人の権利利益に対しての配慮は必要である。
- ・オプトアウトの実施により、あまりにもデータ提供拒否件数が多い場合、得られるデータによる解析の科学性が失われてしまうと、県民は不利益を被るのではないか。

(2) 検討事項

事務局より、これまでの部会で検討された学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会での論点の取りまとめ及び学術研究目的のための第三者提供に関するガイドライン整備に向けた方針とする「福島県県民健康調査データの学術研究目的のための第三者提供の在り方に関する報告書（案）」を提示し、内容について検討した。

《部会員意見等》

● データについて

(データ提供の対象とする研究)

- ・強く公益性を意識するという意味でも、「公益性のある」学術研究とするべきである。

● 審査基準について（データ提供時）

(研究計画の的確性)

- ・データ提供時の審査であるため、「公表内容」ではなく「公表予定内容」ではないか。
- ・どういった分析で仮説が検証できると思っているのか確認することは必要であり、あまりにも実現性がないと思われるものはその場ではじけるようにするためにも、「明らかに不適切な分析方法になっていないか」という項目は残しておいてもよいのではないか。
- ・あまりにも不適切な分析方法を予定している場合は、データ提供時に拒否しておいた方がよいため、ある程度の解析方針は示していただく必要はある。
- ・一つのテーマでたくさん論文を書こうと思うと、10個も書ける内容はできてしまい、データ提供の意味合いが弱くなるので、「原則一つの論文」という文言でよいのではないか。
- ・データ提供時の審査において、「原則一つの論文となっているか」を確認することは少し困難であり、やはり論文投稿時の審査項目ではないか。
- ・論文が重複する可能性が非常に高いからではなく、研究計画が茫洋としたものではなく、ある程度こういう論文を書きたいという方向性をしっかり示し考え煮詰めた上で申請すべきということを強調したいという観点から、「原則一つの論文」としていただきたい。
- ・一つの特定の目的を達成するような研究計画になっているかどうかということ、データ提供時に確認するということであると考え。
- ・データ提供の対象とする研究は「研究成果をピアレビュー付きの学術論文として公表する」ことであるため、ここではあえて「論文」という言葉で縛るしかないと考え。

(研究の実行可能性)

- ・「過去の実績」や「人的及び組織的な体制の整備状況等」について総合的に判断する際に、若手研究者の研究も阻害されないように運用していただきたい。

● 審査基準について（論文投稿時）

(審査項目)

- ・データ利用申請時と論文投稿時において、分析方法が完全に一致する可能性も少し難しいので、むしろここで、データ提供時の審査基準である「研究計画と公表内容との整合性がとれているか」を確認する必要があると考える。

● 不適切行為について

(不適切行為の内容)

- ・提供したデータの返却を求めると及び申請者のコンピュータにコピーがないことを証明することは非現実的であり困難であるため、提供したデータは、研究終了後「廃棄する」ということを誓約させることが現実的である。
- ・「返却」に限定するのではなくて、もう少し広いやりとりも可能性として報告書の中に入れていただきたい。
- ・返却をもって、紛失していないという証拠にはなると思われるが、他例では「廃棄」の場合が多い気もするので、事務局で適切な文言を検討していただきたい。
- ・ハードディスクが突然故障して消えてしまうことはあり得ることで、それを「紛失」というふうに捉えるのは少し難しいのではないかと。

(3) その他

事務局より、県民健康調査データの第三者提供に向けたスケジュール（予定）を改めて提示し、「県民健康調査」検討委員会への報告書（確定版）の提出及び試行期間におけるデータ提供申請受付開始までの流れについて確認した。

《部会員意見等》

(スケジュール（予定）について)

- ・県民への周知やオプトアウトなどについて、十分な説明をする期間を設定することが必要であるため、次にスケジュールなどを提示する際に盛り込んでいただきたい。
- ・現在のスケジュールにおいて、データ提供開始時期が2020年4月以降と提示されているが、県民への周知期間などもそれなりに必要であるため、ガイドライン確定後のスケジュールについて、もう少し検討していただきたい。
- ・申請者の立場からすると試行も本番も変わらないので、第三者提供の県民への周知というものを別途スケジュールの中に入れておくべきである。

(費用負担について)

- ・審査費用やデータ提供を受ける際の費用負担について、学术论文で公益性が高いとはいいつつも、どのように取り扱うか考えていく必要がある。
- ・データ提供を申請する研究者は、研究費を確保して研究に用いるためのデータ提供先に費用を支払うことが一般的であるため、データ提供に当たり手数料を求めるなど有償で提供することも考える必要があるかもしれない。

5 次回部会に向けた対応

- ・第8回の検討部会は、改めて日程調整を行った上で開催予定とした。
- ・次回以降の部会において、報告書（案）に対して今回いただいた意見を反映し、報告書（確定版）として承認を得る予定。

県民健康調査甲状腺検査サポート事業の実施状況について

平成31年4月8日

県民健康調査課

1 県民健康調査甲状腺検査サポート事業の概要

(1) 県民健康調査甲状腺検査サポート事業の目的

- ・県民健康調査甲状腺検査後に生じた経済的負担に対して支援を行う。
- ・保険診療に係る診療情報を県民健康調査の基礎資料として活用し、将来にわたる県民の健康の維持、増進を図る。(事業開始：平成27年7月)

(2) 事業内容

- ・対象者に支援金を交付する。
- ・対象者の県民健康調査甲状腺検査後の治療等に関する情報を活用し、県民の皆様の健康の維持、増進を図る。

(3) 支援対象者

甲状腺検査の対象者であって甲状腺検査を受けており、甲状腺しこり等(結節性病変)があつて医療機関で当該病変の保険診療を受けている者

(他の公的制度(こどもの医療費助成制度、生活保護、帰還困難区域等に係る一部負担金免除等)により医療費の全額助成を受けている場合は対象外)

(4) 支援対象経費

- ア 甲状腺しこり等(結節性病変)に係る保険診療の医療費(実際の自己負担分)
- イ 支援金申請で発生した診療情報個人票の文書作成料、戸籍謄本の発行手数料等

2 県民健康調査甲状腺検査サポート事業の実施状況

事業開始(平成27年7月10日)から平成30年12月までの実施状況(本事業に申請のあつた情報)

(1) 県民健康調査甲状腺検査サポート事業の目的支援金交付状況

ア 交付件数	375件(延べ)
・平成27年度	121件
・平成28年度	104件
・平成29年度	88件
・平成30年度※	62件 ※平成30年4月から12月まで
イ 交付人数	257人(実人数)
・男性	90人
・女性	167人

ウ 交付時年齢 18歳～26歳
(震災当時の年齢 11歳～18歳)

エ 支援金交付者の震災当時の住所

・浜通り 47人
・中通り 165人
・会津 25人
・避難区域等※ 20人

※ 田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、
双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村

(2) 手術事例状況

ア 手術を含む交付件数 95件 (実人数93人)

・平成27年度 42件
・平成28年度 25件
・平成29年度 15件
・平成30年度 13件

イ 交付者の性別

・男性 38人
・女性 55人

ウ 術時年齢 18歳～24歳
(震災当時の年齢 12歳～18歳)

エ 病理診断結果

(ア) 甲状腺がん 87件
・乳頭がん 85件
・低分化がん 1件
・濾胞がん 1件

(イ) 甲状腺がん以外 6件 (濾胞腺腫等)

甲状腺検査結果の状況

1 先行検査（平成30年3月31日現在）【実施年度：平成23年度～25年度】

一次検査（平成27年4月30日検査終了）

- 対象者数 367,637人
- 受診者数 300,472人（受診率 81.7%）
- 結果判定数 300,472人（判定率 100.0%）
- 判定区分別内訳

A判定 (A 1)	: 154,605人 (51.5%)
(A 2)	: 143,573人 (47.8%)
B判定	: 2,293人 (0.8%)
C判定	: 1人 (0.0%)

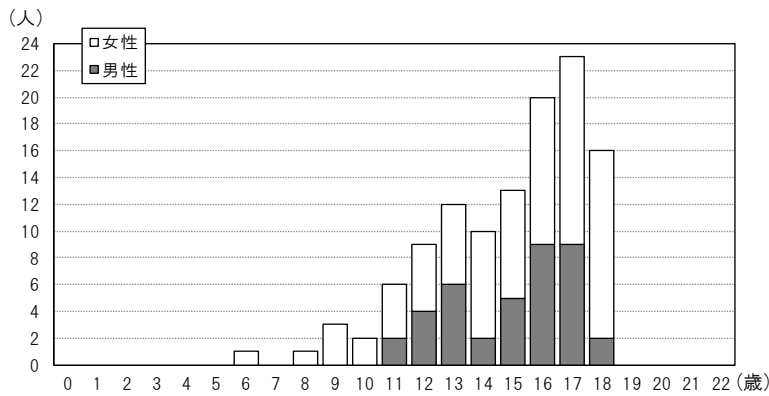
二次検査（平成30年3月31日現在）

- 対象者数 2,293人
 - 受診者数 2,130人（受診率 92.9%）
 - 結果確定数 2,091人（確定率 98.2%）
- うち、穿刺吸引細胞診実施は547人

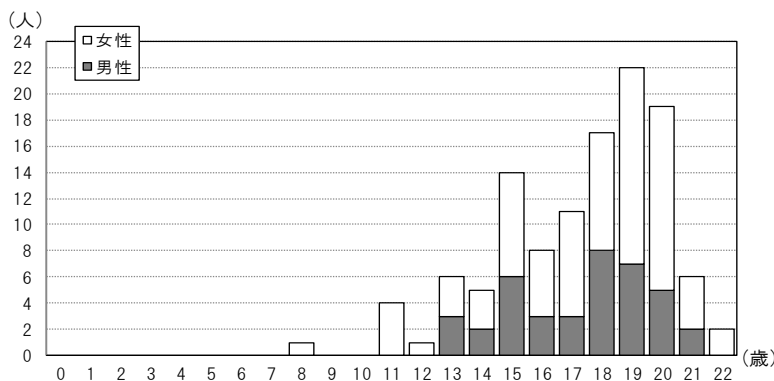
穿刺吸引細胞診等結果概要	
悪性ないし悪性疑い	116人
男性：女性	39人：77人
平均年齢	17.3±2.7歳（8-22歳）、震災当時14.9±2.6歳（6-18歳）
平均腫瘍径	13.9±7.8mm（5.1-45.0mm）

◇ 細胞診で悪性ないし悪性疑いであった116人の年齢、性分布

[平成23年3月11日時点の年齢による分布]



[二次検査時点の年齢による分布]



2 本格検査（検査2回目）（平成30年3月31日現在）【実施年度：平成26年度～27年度】

一次検査

- 対象者数 381,244人
- 受診者数 270,540人（受診率 71.0%）
- 結果判定数 270,529人（判定率 100.0%）
- 判定区分別内訳

A判定 (A1)	: 108,718人 (40.2%)
(A2)	: 159,584人 (59.0%)
B判定	: 2,227人 (0.8%)
C判定	: 0人 (0.0%)

二次検査

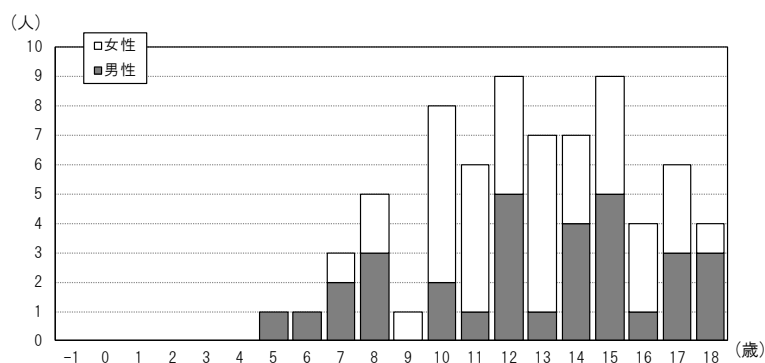
- 対象者数 2,227人
- 受診者数 1,874人（受診率 84.1%）
- 結果確定数 1,826人（確定率 97.4%）
- うち、穿刺吸引細胞診実施は207人

穿刺吸引細胞診等結果概要

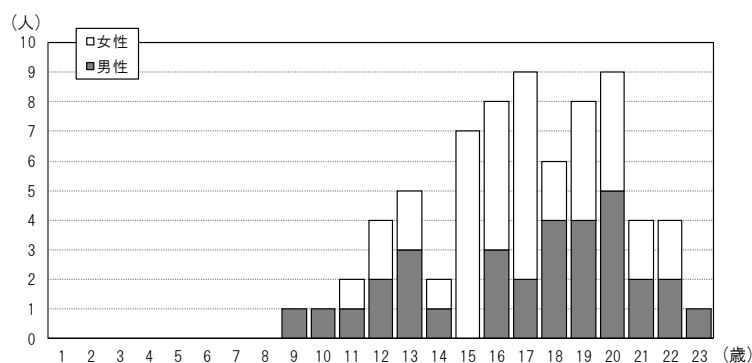
- 悪性ないし悪性疑い 71人
- 男性：女性 32人：39人
- 平均年齢 16.9±3.2歳（9-23歳）、震災当時12.6±3.2歳（5-18歳）
- 平均腫瘍径 11.1±5.6mm（5.3-35.6mm）

◇ 細胞診で悪性ないし悪性疑いであった71人の年齢、性分布

[平成23年3月11日時点の年齢による分布]



[二次検査時点の年齢による分布]



3 本格検査（検査3回目）（平成30年12月31日現在）【実施年度：平成28年度～29年度】

一次検査

- 対象者数 336,669人
(25歳時の節目の検査対象者である平成4・5年度生まれを除く)
- 受診者数 217,676人 (受診率 64.7%)
- 結果判定数 217,530人 (判定率 99.9%)
- 判定区分別内訳

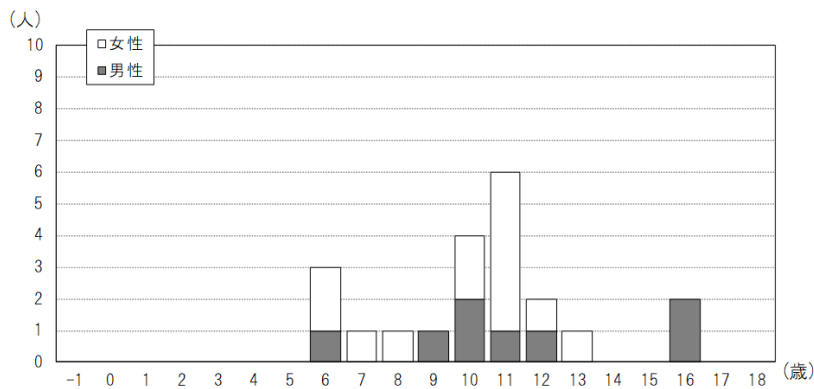
A判定 (A1)	: 76,243人 (35.0%)
(A2)	: 139,800人 (64.3%)
B判定	: <u>1,487人 (0.7%)</u>
C判定	: <u>0人 (0.0%)</u>

二次検査

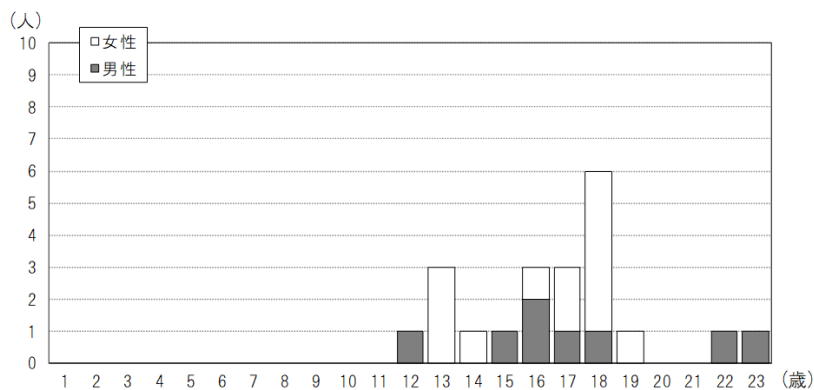
- 対象者数 1,487人
 - 受診者数 1,059人 (受診率 71.2%)
 - 結果確定数 995人 (確定率 94.0%)
- うち、穿刺吸引細胞診実施は64人

穿刺吸引細胞診等結果概要	
・悪性ないし悪性疑い	21人
・男性：女性	8人：13人
・平均年齢	16.7±2.8歳 (12-23歳)、震災当時10.3±2.8歳 (6-16歳)
・平均腫瘍径	14.2±6.9mm (5.6-33.0mm)

◇ 細胞診で悪性ないし悪性疑いであった21人の年齢、性分布
[平成23年3月11日時点の年齢による分布]



[二次検査時点の年齢による分布]



4 本格検査（検査4回目）（平成30年12月31日現在）【実施年度：平成30年度～31年度】

一次検査

- 対象者数 293,945 人
(25歳時の節目の検査対象者である平成4～7年度生まれを除く)
- 受診者数 76,979 人 (受診率 26.2%)
- 結果判定数 60,777 人 (判定率 79.0%)
- 判定区分別内訳

A判定 (A1) :	21,396 人 (35.2%)
(A2) :	38,954 人 (64.1%)
B判定 :	<u>427 人 (0.7%)</u>
C判定 :	<u>0 人 (0.0%)</u>

二次検査

- 対象者数 427 人
 - 受診者数 143 人 (受診率 33.5%)
 - 結果確定数 90 人 (確定率 62.9%)
- うち、穿刺吸引細胞診実施は6人

穿刺吸引細胞診等結果概要

- 悪性ないし悪性疑い 2人
- 男性：女性 1人：1人

5 25歳時の節目の検査（平成30年9月30日現在）【実施年度：平成29年度～】

一次検査

- 対象者数 22,653 人 (平成4年度生まれ)
- 受診者数 2,005 人 (受診率 8.9%)
- 結果判定数 1,989 人 (判定率 99.2%)
- 判定区分別内訳

A判定 (A1) :	816 人 (41.0%)
(A2) :	1,085 人 (54.6%)
B判定 :	<u>88 人 (4.4%)</u>
C判定 :	<u>0 人 (0.0%)</u>

二次検査

- 対象者数 88 人
 - 受診者数 67 人 (受診率 76.1%)
 - 結果確定数 58 人 (確定率 86.6%)
- うち、穿刺吸引細胞診実施は3人

穿刺吸引細胞診等結果概要

- 悪性ないし悪性疑い 2人
- 男性：女性 1人：1人

(参考) 悪性ないし悪性疑いと判定された人数及び手術症例等

先行検査から本格検査（検査4回目）及び25歳時の節目の検査までの状況

悪性ないし悪性疑いの判定数 212人

うち 手術実施 169人

（良性結節1人、乳頭癌166人、低分化癌1人、その他の甲状腺癌1人）

先行検査 H30.3.31 現在 【実施年度：平成23年度～25年度】

計 116人（男性39人：女性77人）

（手術実施102人：良性結節1人、乳頭癌100人、低分化癌1人）

本格検査（検査2回目） H30.3.31 現在 【実施年度：平成26年度～27年度】

計 71人（男性32人：女性39人）

（手術実施52人：乳頭癌51人、その他の甲状腺癌1人）

本格検査（検査3回目） H30.12.31 現在 【実施年度：平成28年度～29年度】

・平成28年度実施対象市町村 12人（男性6人：女性6人）

（手術実施11人：乳頭癌11人）

・平成29年度実施対象市町村 9人（男性2人：女性7人）

（手術実施4人：乳頭癌4人）

計 21人（男性8人：女性13人）

（手術実施15人：乳頭癌15人）

本格検査（検査4回目） H30.12.31 現在 【実施年度：平成30年度～31年度】

・平成30年度実施対象市町村 2人（男性1人：女性1人）

（手術実施0人：乳頭癌0人）

・平成31年度実施対象市町村 0人（男性0人：女性0人）

（手術実施0人：乳頭癌0人）

計 2人（男性1人：女性1人）

（手術実施0人）

25歳時の節目の検査 H30.9.30 現在 【実施年度：平成29年度～】

計 2人（男性1人：女性1人）

（手術実施0人）

子育て世代包括支援センターの全国展開

- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、子育て世代包括支援センターに保健師等を配置して、「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」を一体的に提供できるよう、きめ細かな相談支援等を行う。
- 母子保健法を改正し、子育て世代包括支援センターを法定化(平成29年4月1日施行)(法律上は「母子健康包括支援センター」)。
- 実施市町村数:525市区町村(1,106か所)(平成29年4月1日現在) ➢ 平成32年度末までに全国展開を目指す。

※各市区町村が実情に応じて必要な箇所数や管轄区域を判断して設置。



近隣住民やボランティアなどによるインフォーマルなサービス